

**芦屋のまちづくりについての市民アンケート
調査結果報告書**

平成 30 年 3 月

目 次

1	調査概要	1
2	結果の要約	4
3	調査結果	6
I	お住まいの地域の住み心地や定住意向について	6
問 1	地域の住み心地	6
問 2	現在の居住地	8
問 3	市内居住歴	9
問 4	芦屋市に住むきっかけ.....	11
問 5	芦屋市を選んだ理由	13
問 6	定住意向.....	15
問 7	住み続けたい理由	17
問 8	転出したい理由	20
II	芦屋市のまちづくり目標の達成状況について	22
問 9	35 項目の施策目標の評価	22
問 10	芦屋市政への評価.....	96
問 11	今後 3 年間で力を入れる施策.....	98
問 12	普段、情報を得る方法	113
問 13	行政情報を得る方法	114
問 14	よく利用する SNS	116
問 15	「広報あしや」の満足度	117
問 16	「広報あしや」について不満の理由.....	119
問 17	市ホームページの満足度	120
問 18	市ホームページについて不満の理由.....	122
問 19	仕事と生活の両立	123
問 20	D V 専門相談の認知状況	124
問 21	自然や生き物と親しむ機会の有無.....	126
問 22	まちなみ景観の美しさ	128
問 23	環境に配慮した生活	130
問 24	「市民マナー条例」の認知状況.....	132
問 25	清潔なまちを守る行動の実践状況.....	134
問 26	自転車事故賠償保険への加入状況.....	136

Ⅲ 芦屋市が行うシティプロモーションについて	138
問 27 ログマーク・キャッチコピーの認知度	138
問 28 ログマーク・キャッチコピーを知ったきっかけ.....	140
問 29 給食レシピ本「芦屋の給食」の認知度	142
問 30 給食レシピ本「芦屋の給食」を知ったきっかけ.....	144
Ⅳ 幸福感について	146
問 31 幸福感の点数.....	146
問 32 幸福感の判断で重視した事項.....	148
問 33 幸福感の判断で重視した基準.....	150
◆回答者の属性について	152
1 年齢	152
2 性別	152
3 家族構成.....	153
4 同居家族.....	153
5 職業	154
6 主な勤め先（通学先）	155
7 住居形態.....	156
8 自由記述.....	157
参考資料	163
1 アンケート調査票	164

1 調査概要

(1) 調査目的

芦屋市では、10年間のまちづくりの指針となる「第4次芦屋市総合計画」を平成23年(2011年)に策定し、「自然とみどりの中で絆を育み、“新しい暮らし文化”を創造・発信するまち」を目指した取組を進めてきた。

平成32年度(2020年度)に計画が最終年度を迎えること、平成30年度(2018年度)から新たなまちづくりの指針となる新しい総合計画の策定に向けた取組を予定していることから、市民のこれまでのまちづくりに対する評価や今後の課題等を把握することを目的として調査を実施した。

(2) 調査方法

①調査対象	芦屋市在住の20歳以上の市民3,000人 (平成29年12月31日現在の住民基本台帳登録者)
②調査対象の抽出方法	過去の市民意識調査における年代別の回答傾向を踏まえ、想定される回答サンプル数の年代別・地区別の構成比が実際の芦屋市の人口構成に近似するように抽出サンプル数を設定した上で、住民基本台帳から無作為抽出した。
③調査方法	1. 郵送による配布・回収(礼状兼督促状を2回送付) 2. パソコン・スマートフォン等によりWEBで回答(郵送によるアンケート票にWEB回答の案内状を同封)
④調査期間	平成30年2月2日(金)から2月16日(金)まで

(3) 配布・回収状況

	件数	備考
①対象者数	3,000	
②有効配布数	2,997	未配達3件
③有効回答数	1,611	用紙回収1,389件, WEB回収222件
④有効回収率	53.7%	③有効回答数÷②有効配布数

[過去の調査との回答状況の比較]

	調査時期	配布数(未配達数)	有効回収数	有効回収率(%)
平成16年度調査	平成17年2月	2,000(15件)	1,203	60.6
平成20年度調査	平成20年10月	3,000(15件)	1,811	60.7
平成24年度調査	平成24年11月	2,000(11件)	1,015	51.0
平成26年度調査	平成27年2月	3,000(11件)	1,426	47.7
平成29年度調査	平成30年2月	3,000(3件)	1,611	53.7

(4) 性別・年代別回答状況

従来のアンケートでは、若年層の回答率が低く、高齢層の回答率が高い傾向がみられるため、過去の年齢階層別の回答率を考慮して、年齢別の抽出数を設定した。

結果として性別・年齢別の構成比においては、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られている。

性別	年代	母集団		回答者	
		実数	比率	実数	比率
男性	20代	3,652	4.6%	80	5.0%
	30代	4,428	5.6%	81	5.0%
	40代	7,063	8.9%	132	8.2%
	50代	6,171	7.8%	109	6.8%
	60代	5,875	7.4%	111	6.9%
	70代	4,866	6.1%	124	7.7%
	80歳以上	3,058	3.9%	51	3.2%
	不明				
	計	35,113	44.2%	688	42.7%
女性	20代	3,982	5.0%	79	4.9%
	30代	5,360	6.8%	99	6.1%
	40代	8,699	11.0%	199	12.4%
	50代	7,267	9.2%	159	9.9%
	60代	7,067	8.9%	153	9.5%
	70代	6,422	8.1%	136	8.4%
	80歳以上	5,458	6.9%	87	5.4%
	不明				
	計	44,255	55.8%	912	56.6%
不明	20代				
	30代				
	40代			1	
	50代				
	60代				
	70代				
	80歳以上				
	不明			10	
	計			11	
計	20代	7,634	9.6%	159	9.9%
	30代	9,788	12.3%	180	11.2%
	40代	15,762	19.9%	332	20.6%
	50代	13,438	16.9%	268	16.6%
	60代	12,942	16.3%	264	16.4%
	70代	11,288	14.2%	260	16.1%
	80歳以上	8,516	10.7%	138	8.6%
	不明			10	0.6%
	計	79,368	100.0%	1,611	100.0%

※「母集団」は、各地区の実際の人口から0～19歳人口を除いた数値。平成29年12月31日現在。

(5) 地区別回答状況

地区別の構成比について母集団と回答者の比率を比較すると、概ね実際の人口構成に近似した回答が得られている。

地区	母集団		回答者	
	実数	比率	実数	比率
山手小学校区	16,743	21.1%	325	20.2%
岩園小学校区	10,777	13.6%	218	13.5%
朝日ヶ丘小学校区	7,800	9.8%	149	9.2%
精道小学校区	10,856	13.7%	217	13.5%
宮川小学校区	9,725	12.3%	222	13.8%
打出浜小学校区	8,205	10.3%	185	11.5%
浜風小学校区	5,937	7.5%	96	6.0%
潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	4,954	6.2%	103	6.4%
南芦屋浜地区	4,368	5.5%	85	5.3%
不明			11	0.7%
合計	79,365	100.0%	1,611	100.0%

※「母集団」は、各地区の実際の人口から0～19歳人口を除いた数値。平成29年12月31日現在。

(6) 分析についての注意点

- ・集計・分析においては、実数とともに、特記しない限り有効回答数（N=1,611）を母数とした出現率（%）を算出している。
- ・集計結果において、出現率の値は全て小数点以下第二位を四捨五入して表記しているため、合計値が100%にならない場合がある。また、いくつかの選択肢の回答を合計して「肯定的意見」や「否定的意見」として集約する場合、グラフ上の出現率（%）の合計と記述の出現率（%）が異なる場合がある（記述の%は、出現率を単純に合算するのではなく、改めて回答実数の合計値を母数で除して算出しているため）。
- ・「2つ以上を選択」の複数回答設問については、出現率の合計が100%を超える場合がある。
- ・なお、本報告における「前回調査」は平成26年度に実施した市民アンケート調査を指す。

2 結果の要約

① 地域の住み心地や定住意向

- 現在、住んでいる地域（町，学区など）について，91.2%と極めて高い比率の回答者が「住みよい」と答えており，前回からもわずかに高まっている。
- 住む場所として芦屋市を選んだ理由で最も多いのは「地域イメージが良い」，続いて「生活環境（まちの清潔さ）」。「交通が便利」，「通勤・通学に便利」など利便性に対する評価も高い。
- 今後の芦屋市への定住意向は83.9%と高く，前回からほぼ横ばい。若い世代では一定の転出意向もある。
- 住み続けたい理由で最も多いのは「交通が便利である」で，利便性が大きな理由に。続いて「長年，住み慣れて愛着がある」「地域イメージが良い」など都市への愛着やブランド性に関わる項目が続く。
- 市外に引っ越したい理由は「物価や住居費の負担が大きい」や「買い物や医療など日常生活に不便である」が多い。

② 芦屋市のまちづくりへの評価

- まちづくりへの評価では，「清潔さ」「自然と緑を守り育てる文化」「建物と景観の調和」「環境に配慮した暮らし」など，環境や景観と調和した美しいまちづくりへの評価等が高い。また，医療サービスに対する評価も高い。（評価点による）

上位5項目

- ②清潔なまちづくりが進んでいる
- ②自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している
- ②建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している
- ⑭市民が適切な診療を受けられる
- ④環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる

- 年代別にみると，「⑧子どもが健やかに成長」「⑨青少年が社会で自立」「⑩学校園・家庭・地域の連携」など，子どもが育つ環境に対して，若い世代を中心に肯定的に評価する回答が多くなっている。
- 一方，「⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境」では，特に子育ての中心層でもある30～40歳代を中心に否定的な評価が強くなっている。
- 「⑭適切な診療」「⑮保健・医療・福祉の連携体制」など保健・医療サービスについては，よりニーズが高いと考えられる年齢の高い層で肯定的な評価の比率が高くなっている。
- 「⑰犯罪が起きにくい」「⑱防災力向上」など安全な環境，あるいは「④環境に配慮した暮らし」「⑤清潔なまちづくり」など，身近な生活環境に対しては，若い世代ほど高く評価する傾向を示している。
- 市政に対しては，67.4%の回答者がうまくいっていると評価し，前回からほぼ横ばいである。

- 今後、3年間で特に力を入れて取り組むべき施策としては、「高齢者の暮らし」「子育てと仕事との両立」という年代に応じた取組への意見が多く、以下、生活利便とまちの活力の両面から「商業の活性化」、暮らしの環境としての「交通ルール・マナー」「保健・医療・福祉連携」が続く。

上位
重要
5項目

- ⑩高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている
- ⑪子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている
- ⑫市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している
- ⑬交通ルールやマナーに関する意識が高まっている
- ⑭地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している

- 力を入れる施策を選んだ理由を読み解くと、商業の活性化や商業配置に関する意見が多く、これに交通マナー・ルールや公共交通（バス交通）など市内移動に関する意見、そして子育て（子どもを預ける環境等）から高齢者（高齢化への漠然とした不安等）まで、ライフステージに応じた生活環境の向上などへの期待を示す意見が多くなっている。
- 様々な情報を得るための情報媒体に関しては、「広報あしや」が年代・地域に関わらず一定の役割を果たす一方、一般の媒体では、SNSやインターネットを中心とする若者から、テレビ・新聞に頼る年齢の高い層まで、大きな相違がある。
- 「環境に配慮した生活」の90%超をはじめ、環境体験や清掃活動など、自ら取り組む環境系の活動への参加・実践状況は比較的高い。
- 行政施策に関する認知度は、「マナー条例」の90%超に対し、「自転車保険」50%、「DV相談室」30%など、取組によって差が大きい。

③ シティプロモーションについて

- シティプロモーションに使用するロゴマーク・キャッチフレーズの認知度は13.3%に留まり、市民への浸透度にはまだ課題がある。
- 給食レシピ本「芦屋の給食」の認知度は回答者の半数程度まで進んでいる。

④ 幸福感について

- 現在の幸福感について、不幸と感じる人は多くなく、前回と比較すると、「幸福」と感じる人が増え、「普通」と感じる人が減っている。
- 幸福度の判断には、「健康状況」が最も大きな基準となっており、「家族関係」「家計の状況」と続いている。

⑤ 自由記述について

- 自由意見欄には、1,611の回収票のうち425件（26.4%）で何らかの意見・提案等が記載されていた。
- 項目別に分類すると、生活利便性やまちの活性化の側面から、市内商業の活性化を期待する意見が最も多く記載されている。
- また、バス交通を始めとする公共交通・交通マナーなど市内の交通・移動に関する意見、そして景観やまちの清潔さなど、住宅都市としてのブランド性に関わる意見が続いており、こうした分野への関心の高さを示している。

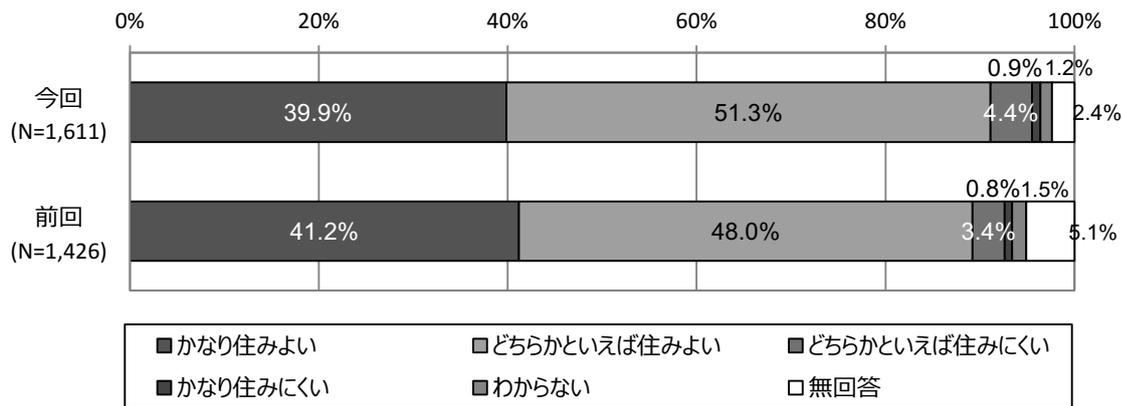
3 調査結果

I. お住まいの地域の住み心地や定住意向についておたずねします。

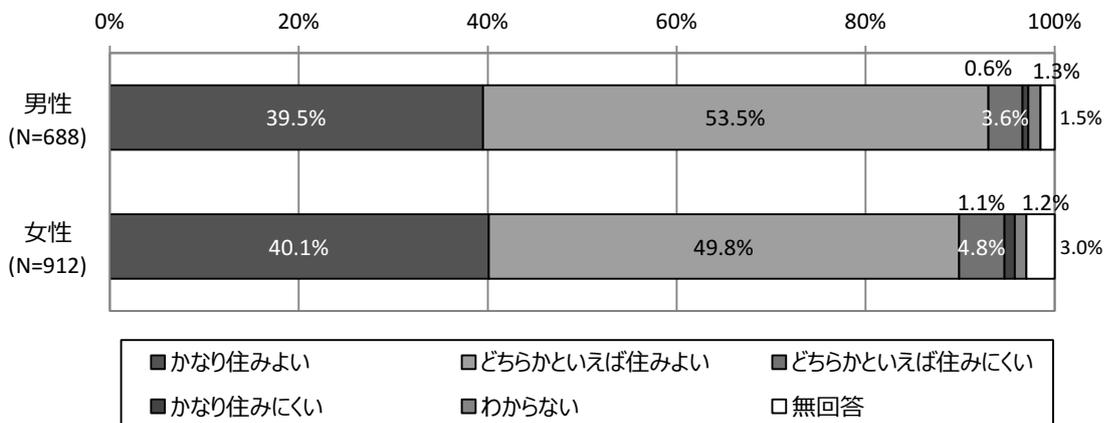
問1 あなたは、今お住まいになっている地域（町，学区など）を住みよいところだと思いますか。【単数回答】

- 住んでいる地域の住み心地は「かなり住みよい」が39.9%、「どちらかといえば住みよい」が51.3%となっており、合わせて91.2%の回答者が「住みよい」と答えている。
- 前回との比較で、「かなり住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた住みよき評価は、全体では大きな変化はみられないが、年代別では70歳代で11.2ポイント上がった。
- また地区別では、南芦屋浜地区で14.5ポイント、潮見小学校区で10.3ポイント上がった。

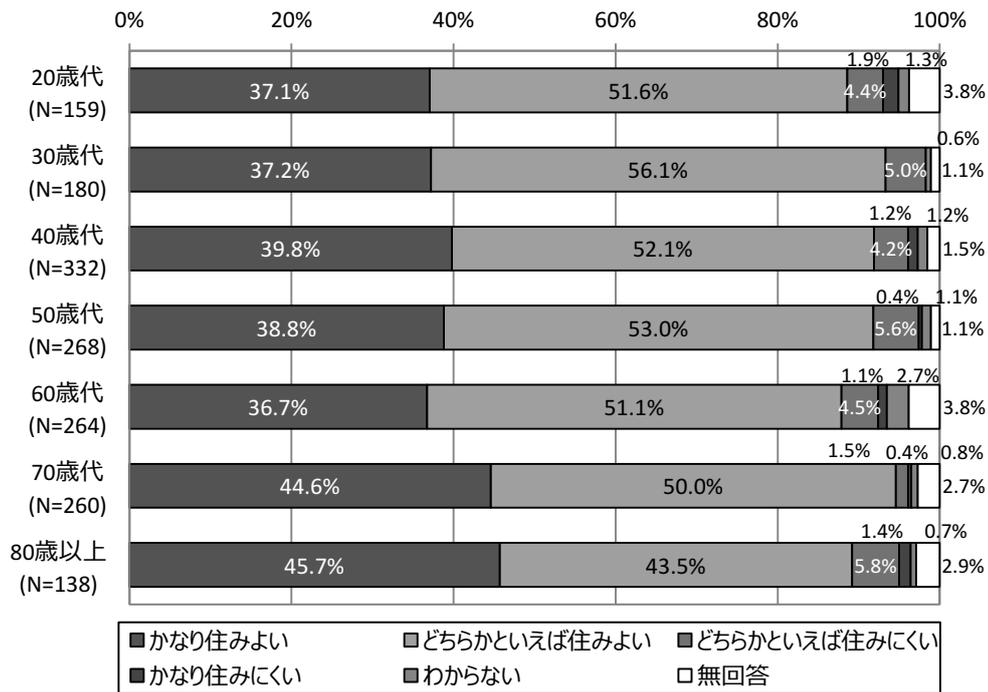
調査数	1,611	100.0%
かなり住みよい	642	39.9%
どちらかといえば住みよい	826	51.3%
どちらかといえば住みにくい	71	4.4%
かなり住みにくい	14	0.9%
わからない	20	1.2%
無回答	38	2.4%



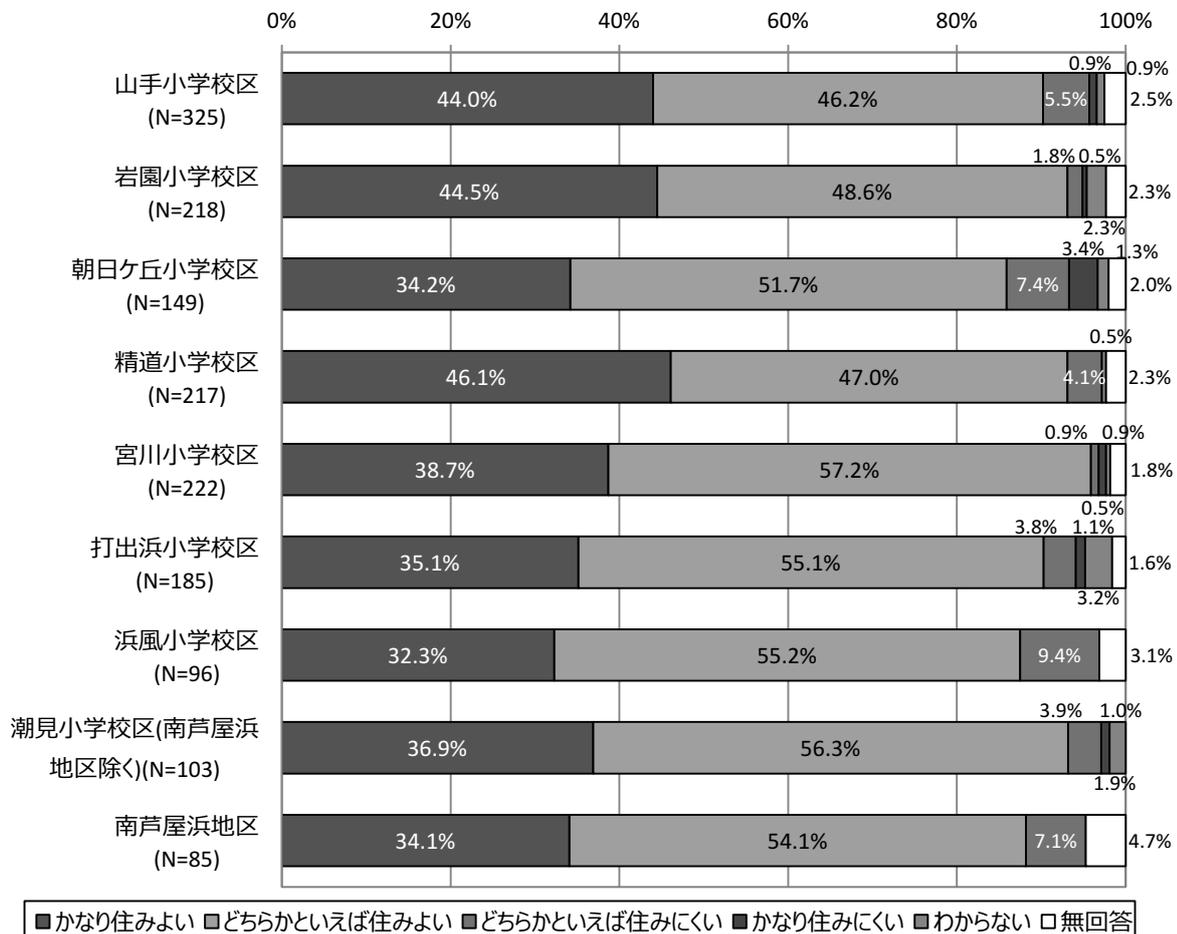
○性別では、統計的に有意な差はない。



○年代別では、統計的に有意な差はない。
 ○70歳代と80歳以上において「かなり住みよい」の比率が全体に比べてやや高い。



○各地区とも「かなり住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせて80%を超えている。
 ○特に、精道小学校区で「かなり住みよい」の比率が他地区に比べ高い。



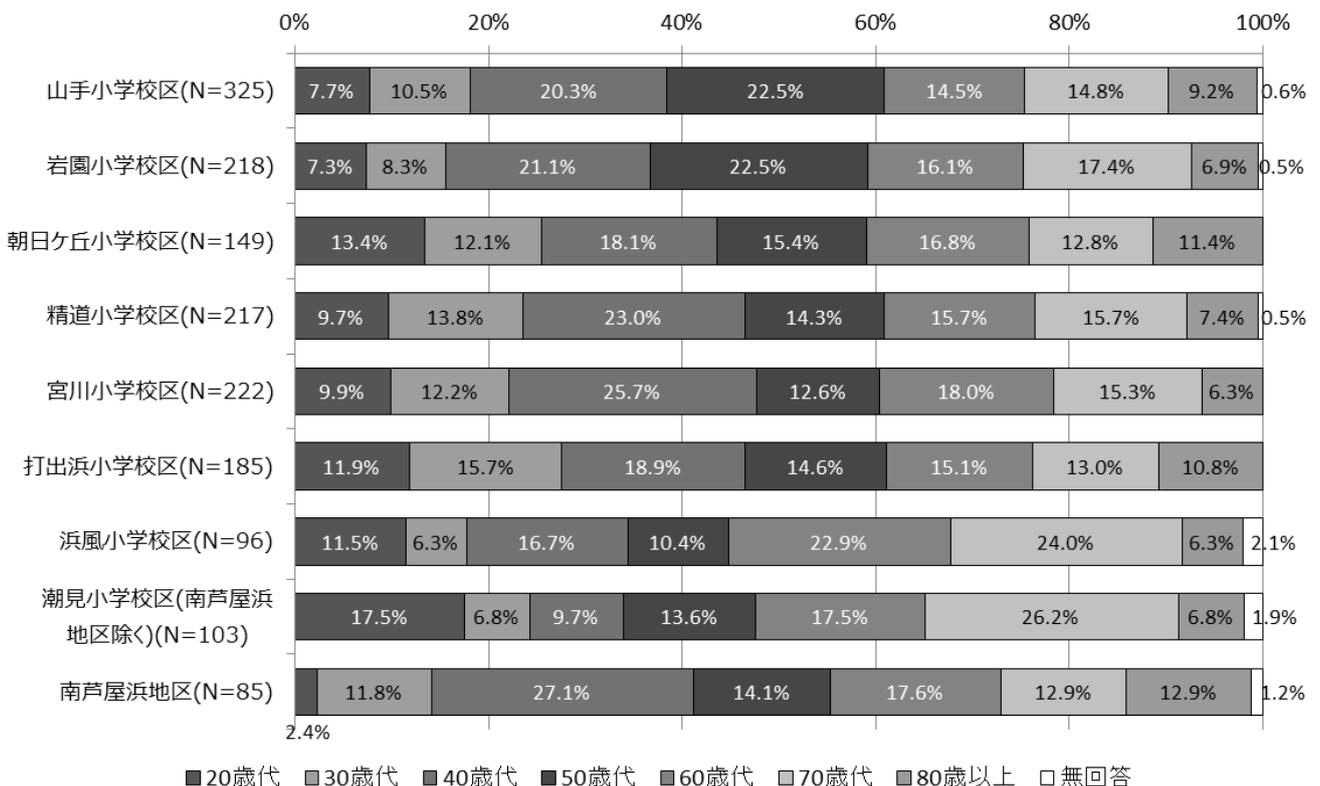
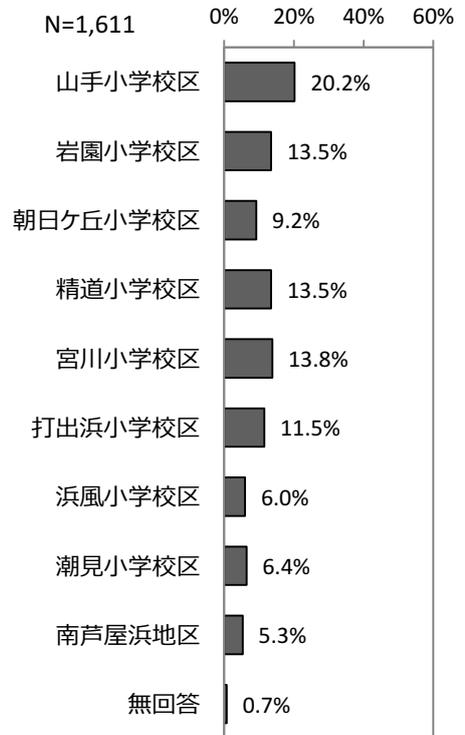
問2 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。【単数回答】

○回答者の居住地は「山手小学校区」が20.2%と最も多く、「宮川小学校区」13.8%、「岩園小学校区」「精道小学校区」13.5%と続いている。

【年代別】

○年代別にみると「浜風小学校区」や「潮見小学校区」で70歳以上の年代の高い層からの回答がやや多くなっている。一方、「潮見小学校区」では、20歳代からの回答の比率も高くなっている。

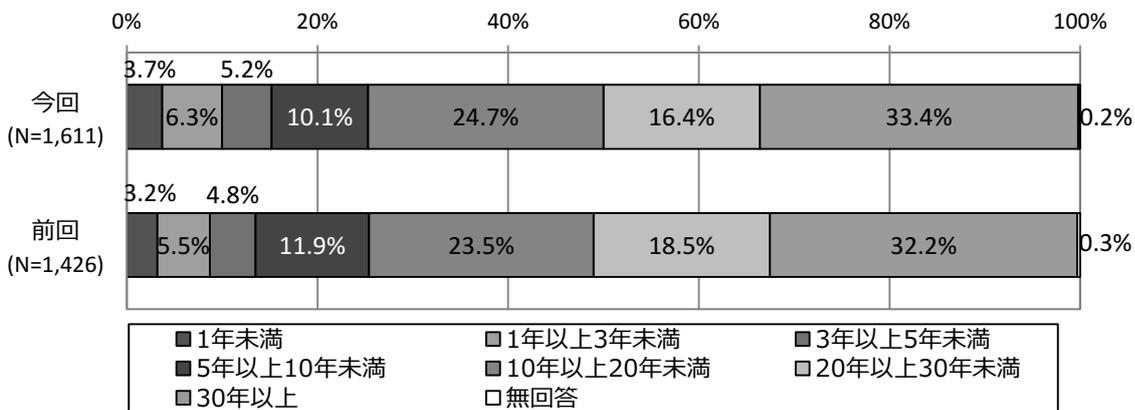
調査数	1,611	100.0%
山手小学校区	325	20.2%
岩園小学校区	218	13.5%
朝日ヶ丘小学校区	149	9.2%
精道小学校区	217	13.5%
宮川小学校区	222	13.8%
打出浜小学校区	185	11.5%
浜風小学校区	96	6.0%
潮見小学校区（南芦屋浜地区除く）	103	6.4%
南芦屋浜地区	85	5.3%
無回答	11	0.7%



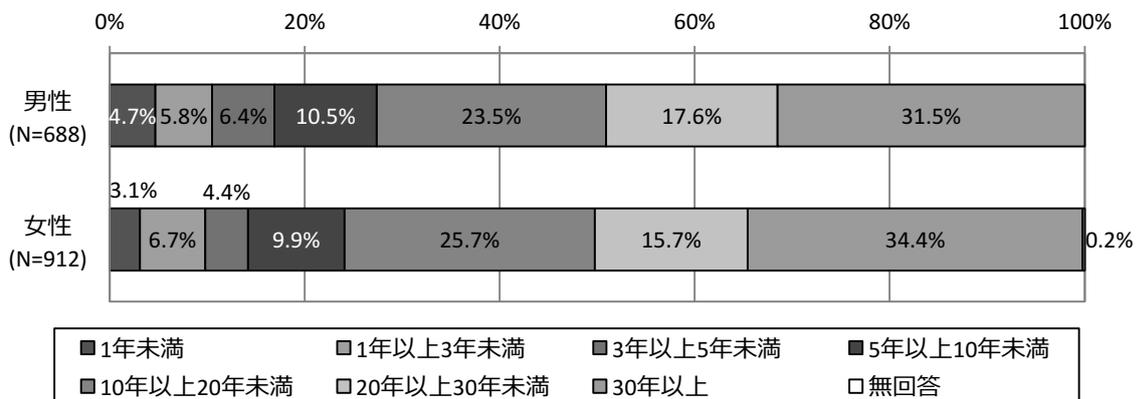
問3 あなたは、市内で、通算何年暮らしていますか（以前に転出して戻られた場合は、前に住んでいた年数も含めてお答えください）。【単数回答】

○回答者の居住年数は「30年以上」の比率が33.4%で最も高く、「10年以上20年未満」24.7%、「20年以上30年未満」16.4%と続く。20年以上でほぼ半数（49.8%）を占める。
○前回との比較で、大きな変化はみられない。

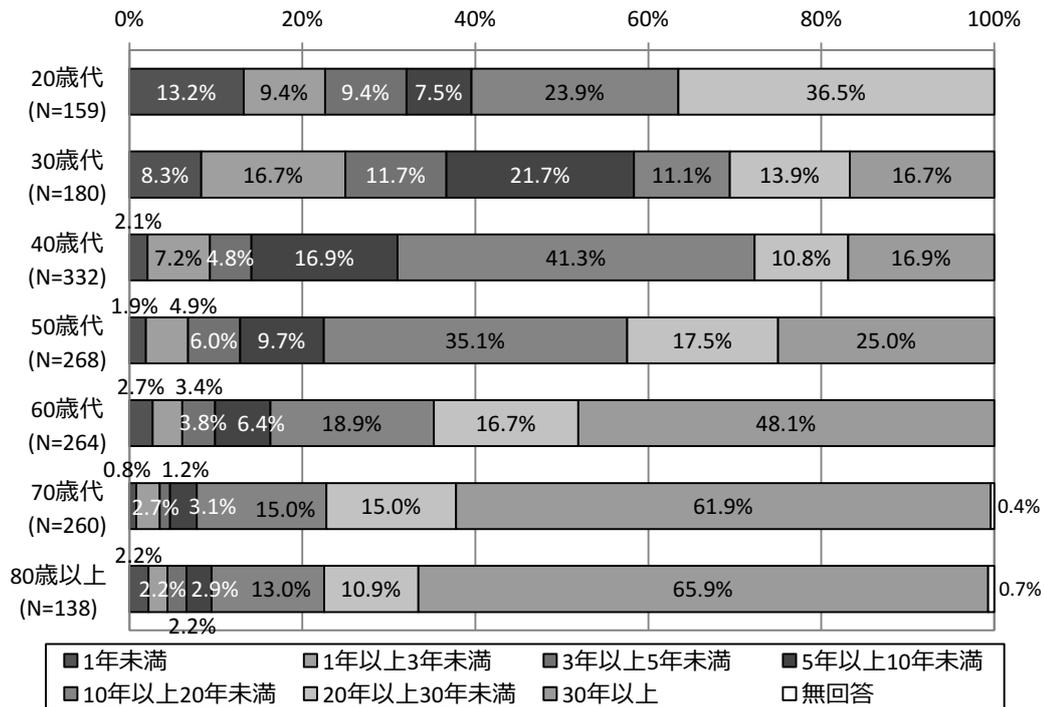
調査数	1,611	100.0%
1年未満	60	3.7%
1年以上3年未満	101	6.3%
3年以上5年未満	84	5.2%
5年以上10年未満	162	10.1%
10年以上20年未満	398	24.7%
20年以上30年未満	265	16.4%
30年以上	538	33.4%
無回答	3	0.2%



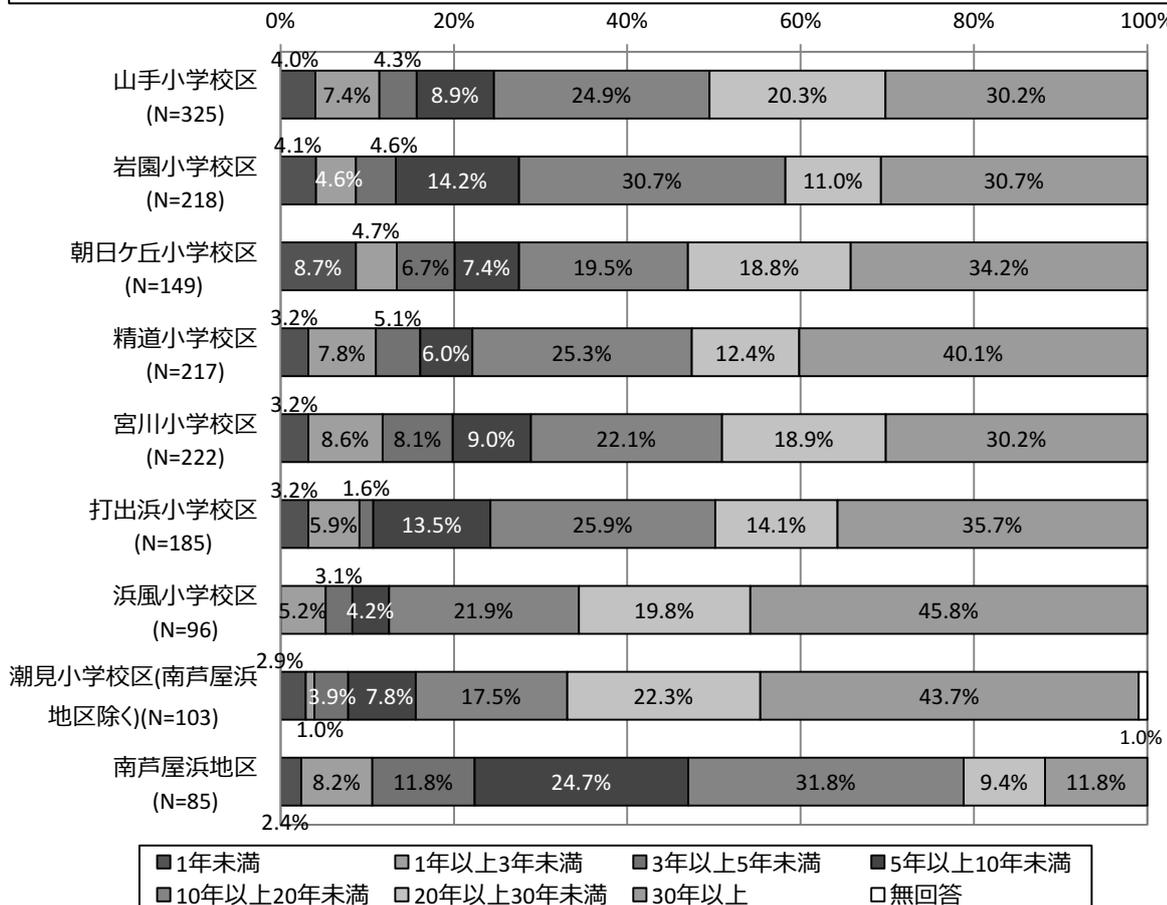
○性別で違いはみられない。



○年代別にみると、「30歳代」のみ、10年未満の回答が半数を超え、その他の年代では「20歳代」を含め、10年以上の回答が6割を超える。



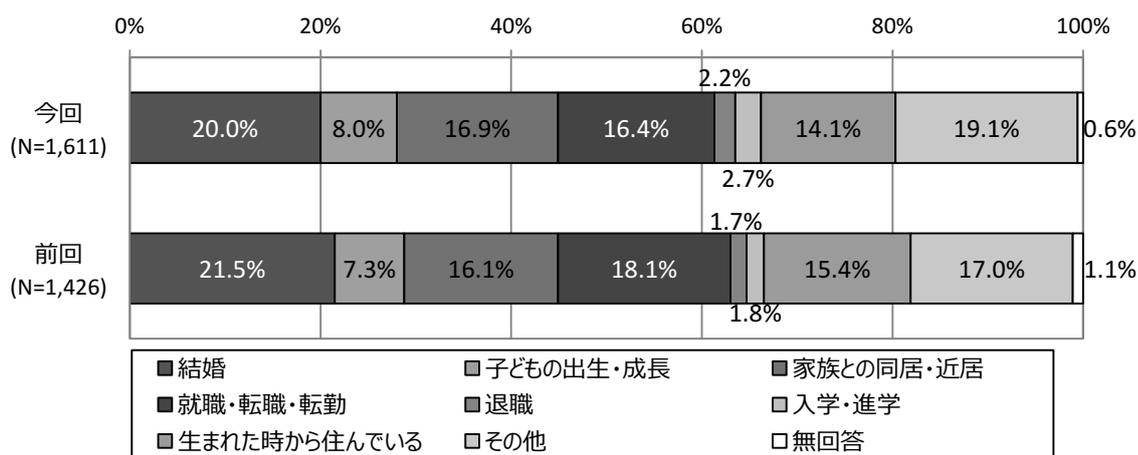
○地区別にみると、潮見小学校区や浜風小学校区で居住年数の長い比率が高い。朝日ヶ丘小学校区では「1年未満」の比率が高くなっている。



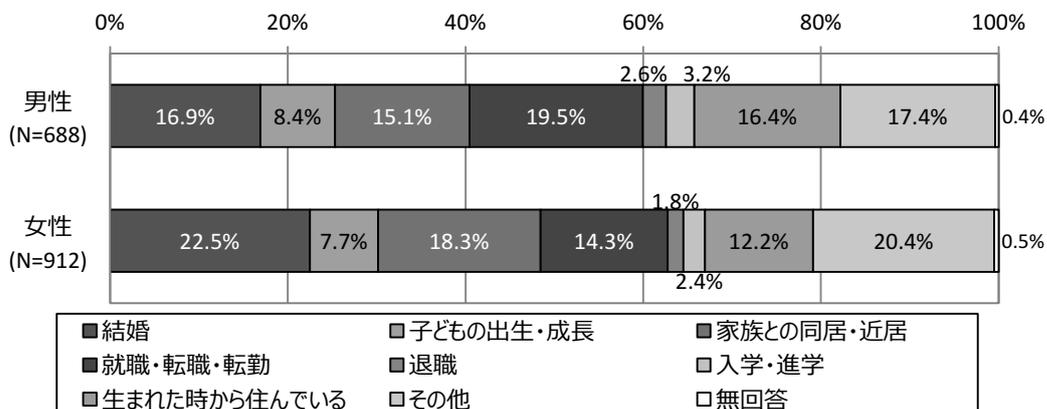
問4 あなたが、芦屋市に住むことになったきっかけは何ですか。【単数回答】

- 居住のきっかけは「結婚」が20.0%で最も比率が高く、「その他」19.1%、「家族との同居・近居」16.9%、「就職・転職・転勤」16.4%と続いている。
- 「その他」の具体的な意見の記載では、住宅の購入によるものが最も多く、親の引っ越しに伴うもの、震災のほか、「住みたいまちだった、憧れだった」との意見もみられる。
- 前回との比較で、全体では大きな変化はみられない。年代別では、30歳代で「結婚」の比率が下がる（-11.9ポイント）一方、「子どもの出生・成長」の比率が上がっている（+9.2ポイント）。

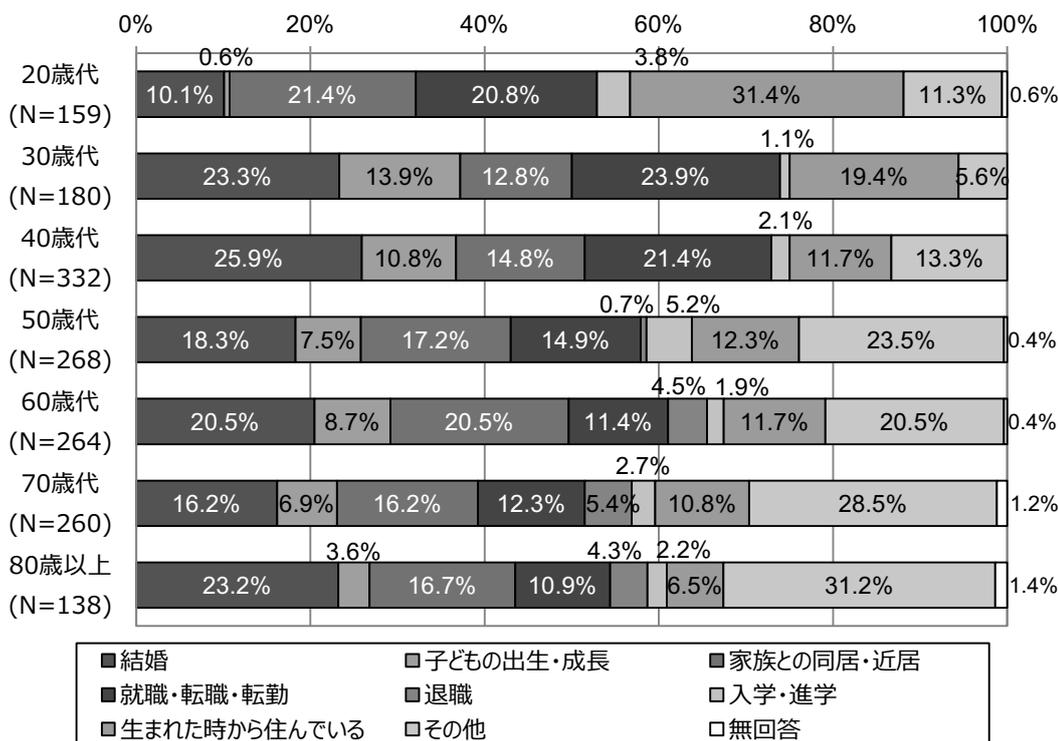
調査数	1,611	100.0%
結婚	323	20.0%
子どもの出生・成長	129	8.0%
家族との同居・近居	272	16.9%
就職・転職・転勤	264	16.4%
退職	35	2.2%
入学・進学	44	2.7%
生まれた時から住んでいる	227	14.1%
その他	308	19.1%
無回答	9	0.6%



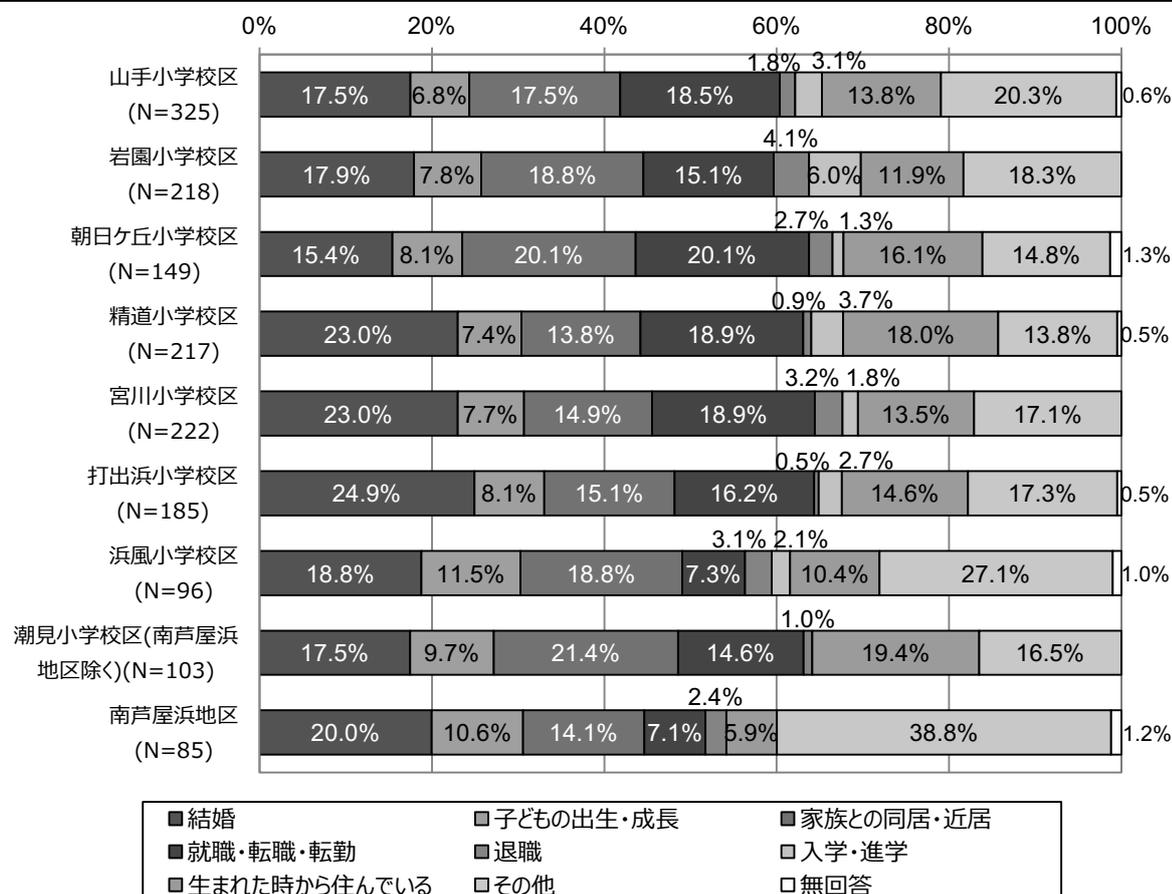
- 性別では、男性で「就職・転職・転勤」の比率が高い一方、女性では「結婚」の比率が高くなっている。



○年代別にみると、「20歳代」で「生まれた時から住んでいる」の比率が高く、「30歳代」「40歳代」では「子どもの出生・成長」「就職・転職・転勤」の比率が高くなっている。



○地区別にみると、南芦屋浜地区で「生まれた時から住んでいる」の比率が低く、また浜風小学校区とともに「就職・転職・転勤」の比率も低くなっている。

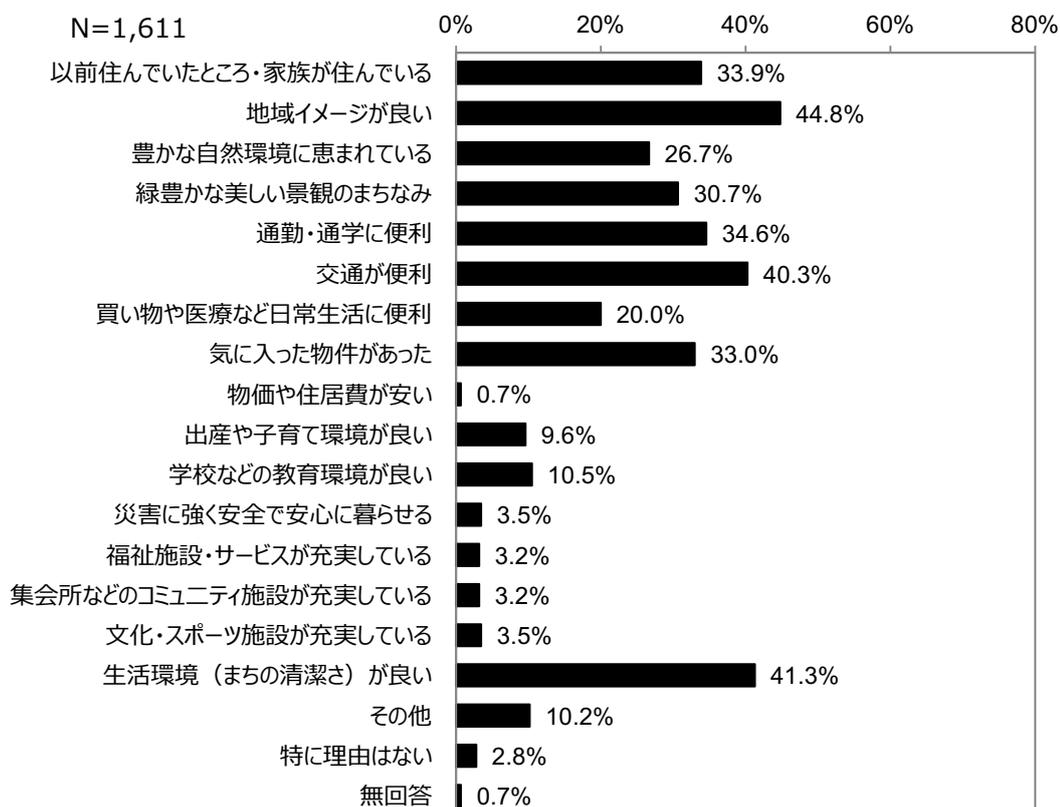


問5 あなたが、居住地として芦屋市を選ばれた理由は何ですか。【複数回答】

○居住地として芦屋市を選んだ理由は「地域イメージが良い」が44.8%で最も比率が高く、「生活環境（まちの清潔さ）が良い」41.3%、「交通が便利」40.3%、「通勤・通学に便利」34.6%、「以前住んでいたところ・家族が住んでいる」33.9%と続いている。

○前回との比較では、全体では大きな変化はみられない。年代別では、「地域イメージが良い」の比率が30歳代（+11.4ポイント）及び50歳代（+11.5ポイント）で高くなっている。

調査数	1,611	100.0%
以前住んでいたところ・家族が住んでいる	546	33.9%
地域イメージが良い	722	44.8%
豊かな自然環境に恵まれている	430	26.7%
緑豊かな美しい景観のまちなみ	494	30.7%
通勤・通学に便利	557	34.6%
交通が便利	649	40.3%
買い物や医療など日常生活に便利	323	20.0%
気に入った物件があった	532	33.0%
物価や住居費が安い	12	0.7%
出産や子育て環境が良い	154	9.6%
学校などの教育環境が良い	169	10.5%
災害に強く安全で安心して暮らせる	57	3.5%
福祉施設・サービスが充実している	52	3.2%
集会所などのコミュニティ施設が充実している	51	3.2%
文化・スポーツ施設が充実している	56	3.5%
生活環境（まちの清潔さ）が良い	666	41.3%
その他	165	10.2%
特に理由はない	45	2.8%
無回答	11	0.7%



【性別】

○性別では、女性で「気に入った物件があった」が4位に入るなどの違いはみられるが、統計的に有意な差はない。

【年代別】

○年代別にみると、「地域イメージが良い」「交通が便利」「生活環境（まちの清潔さ）が良い」が全ての年代で5位以内に位置している。

○50歳代以下では、「通勤通学に便利」、50～70歳代では「緑豊かな美しい景観のまちなみ」、80歳以上では「買い物や医療など日常生活に便利」への回答が多くなっている。

【地区（小学校区）別】

○地区別にみると、「地域イメージが良い」「生活環境（まちの清潔さ）が良い」が全ての地区で5位までに位置している。

○市域南部に位置する浜風小学校区、潮見小学校区、南芦屋浜地区において、「豊かな自然環境に恵まれている」「緑豊かな美しい景観のまちなみ」がそれぞれ上位に入っている。

	市全体	性別	
		男性	女性
1位	地域イメージ	地域イメージ	地域イメージ
2位	まちの清潔さ	交通が便利	まちの清潔さ
3位	交通が便利	まちの清潔さ	交通が便利
4位	通勤・通学便利	通勤・通学便利	気に入った物件
5位	家族が居住	家族が居住	家族が居住

	年代別						
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1位	家族が居住	地域イメージ	地域イメージ	地域イメージ	まちの清潔さ	交通が便利	まちの清潔さ
2位	地域イメージ	家族が居住	通勤・通学便利	まちの清潔さ	地域イメージ	まちの清潔さ	交通が便利
3位	通勤・通学便利	通勤・通学便利	まちの清潔さ	交通が便利	交通が便利	地域イメージ	地域イメージ
4位	交通が便利	まちの清潔さ	交通が便利	通勤・通学便利	気に入った物件	美しい景観	日常生活便利
5位	まちの清潔さ	交通が便利	気に入った物件	美しい景観	美しい景観	豊かな自然	気に入った物件

	地区別						
	山手	岩園	朝日ヶ丘	精道	宮川	打出浜	浜風
1位	地域イメージ	地域イメージ	まちの清潔さ	交通が便利	地域イメージ	地域イメージ	美しい景観
2位	交通が便利	まちの清潔さ	地域イメージ	家族が居住	交通が便利	交通が便利	まちの清潔さ
3位	まちの清潔さ	交通が便利	交通が便利	地域イメージ	通勤・通学便利	まちの清潔さ	地域イメージ
4位	通勤・通学便利	家族が居住	家族が居住	通勤・通学便利	まちの清潔さ	家族が居住	豊かな自然
5位	気に入った物件	通勤・通学便利	通勤・通学便利	まちの清潔さ	気に入った物件	気に入った物件	家族が居住

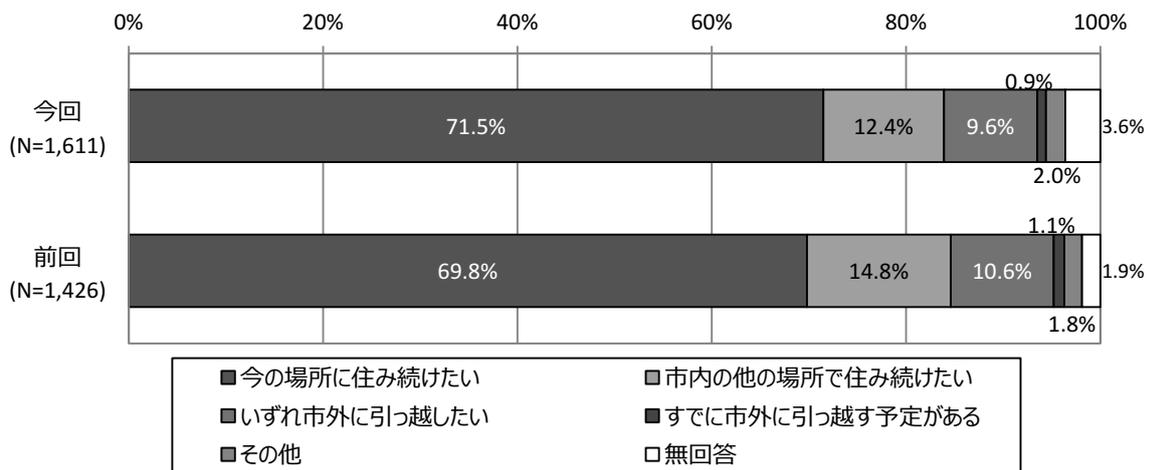
	地区別	
	潮見	南芦屋浜
1位	まちの清潔さ	気に入った物件
2位	地域イメージ	美しい景観
3位	美しい景観	豊かな自然
4位	通勤・通学便利	まちの清潔さ
5位	豊かな自然	地域イメージ

※順位間の野線がない部分は同順位

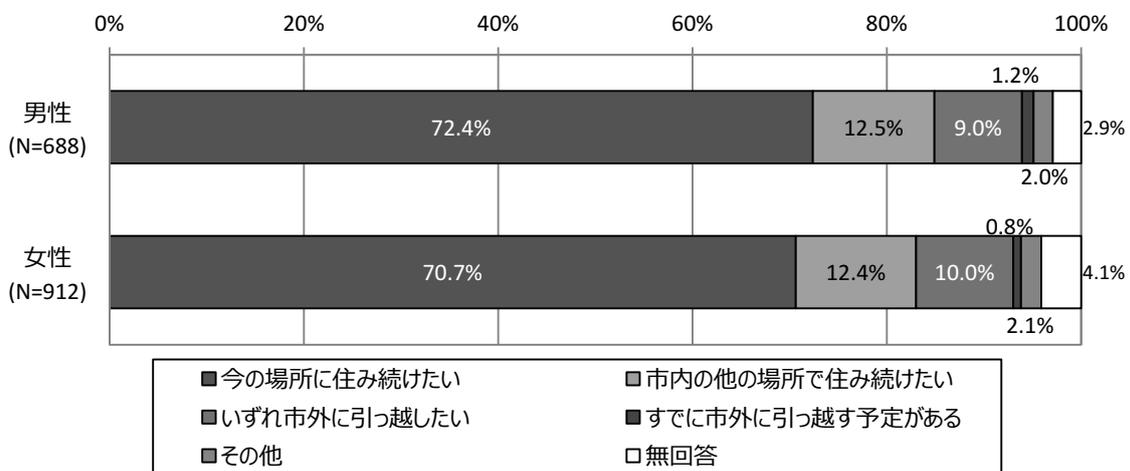
問6 あなたは、今のお住まいにずっと住んでいたいと思いますか。転勤等による移転予定の有無に関わらず、ご自身の気持ちとしてお答えください。【単数回答】

○定住意向は、「今の場所に住み続けたい」が71.5%と最も高い比率を示し、「市内の他の場所で住み続けたい」(12.4%)を合わせると、83.9%が芦屋市内で定住したいと考えている。
 ○前回と比較すると、「今の場所に住み続けたい」が微増、「市内の他の場所で住み続けたい」が微減で、ほぼ横ばいとなっている。「今の場所に住み続けたい」と「市内の他の場所で住み続けたい」を合わせた定住意向が年代別で80歳以上(-14.3ポイント)、地区別で南芦屋浜地区(-10.7ポイント)で低下しているが、転出意向に大きな変化はなく、それぞれ無回答の比率が上がっている(80歳以上+10.0ポイント、南芦屋浜地区+10.6ポイント)。

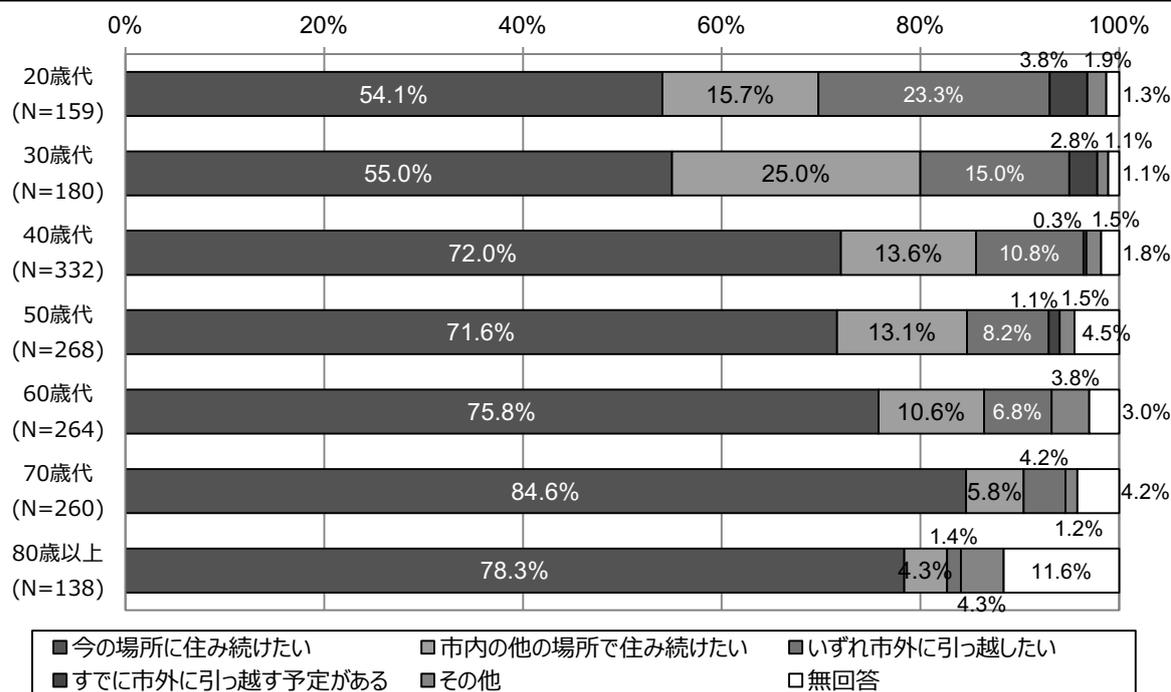
調査数	1,611	100.0%
今の場所に住み続けたい	1,152	71.5%
市内の他の場所で住み続けたい	199	12.4%
いずれ市外に引っ越したい	154	9.6%
すでに市外に引っ越す予定がある	15	0.9%
その他	33	2.0%
無回答	58	3.6%



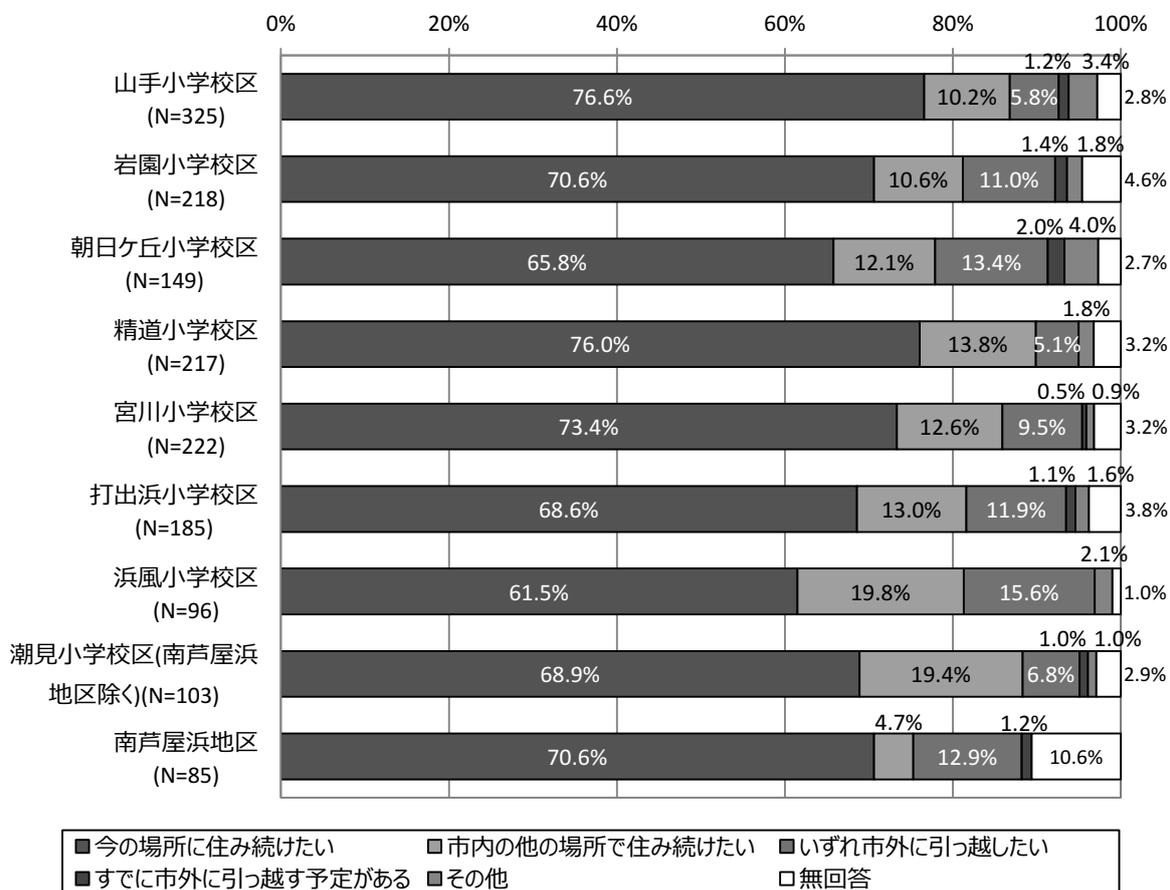
○男性の方が定住意向は高いが、統計的に有意な差はない。



○年代別にみると、年齢の高い層ほど「今の場所に住み続けたい」の比率が高い。20歳代、30歳代ではこの比率が50%強にとどまり、特に20歳代では「いずれ市外に引っ越したい」の比率が23.3%に達している。



○地区別にみると、浜風小学校区、潮見小学校区で「市内の他の場所で住み続けたい」の比率が高く、浜風小学校区では「いずれ市外に引っ越したい」の比率もやや高い。

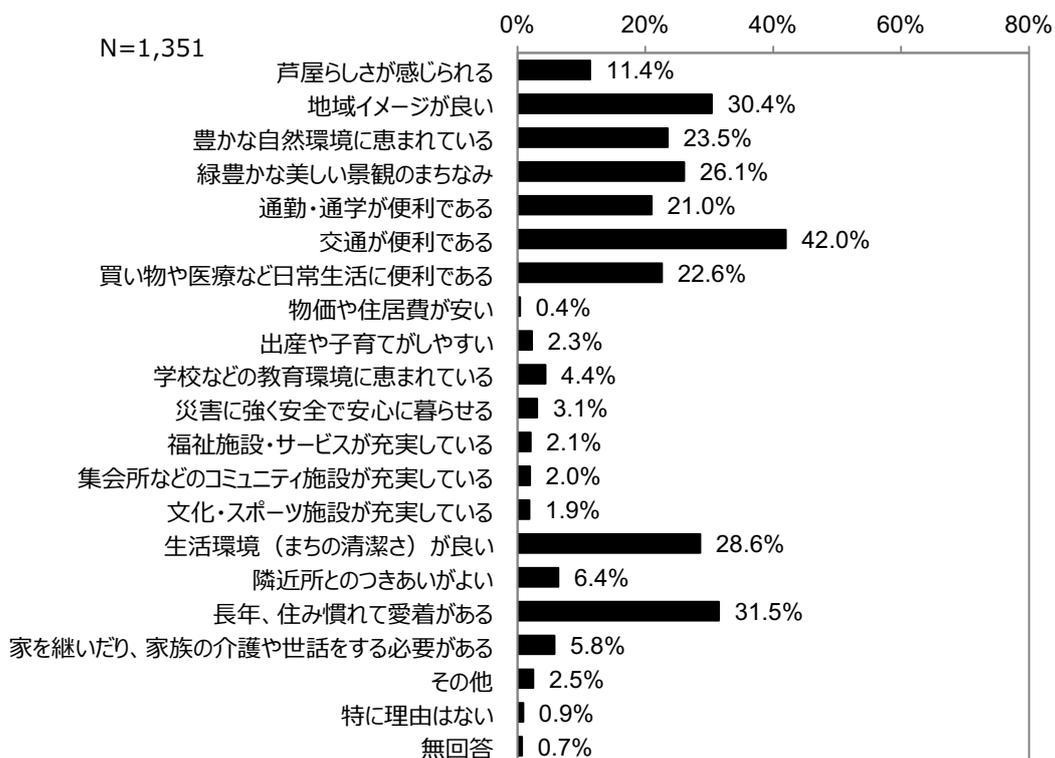


問7 芦屋市に住み続けたい理由。【回答3つ】

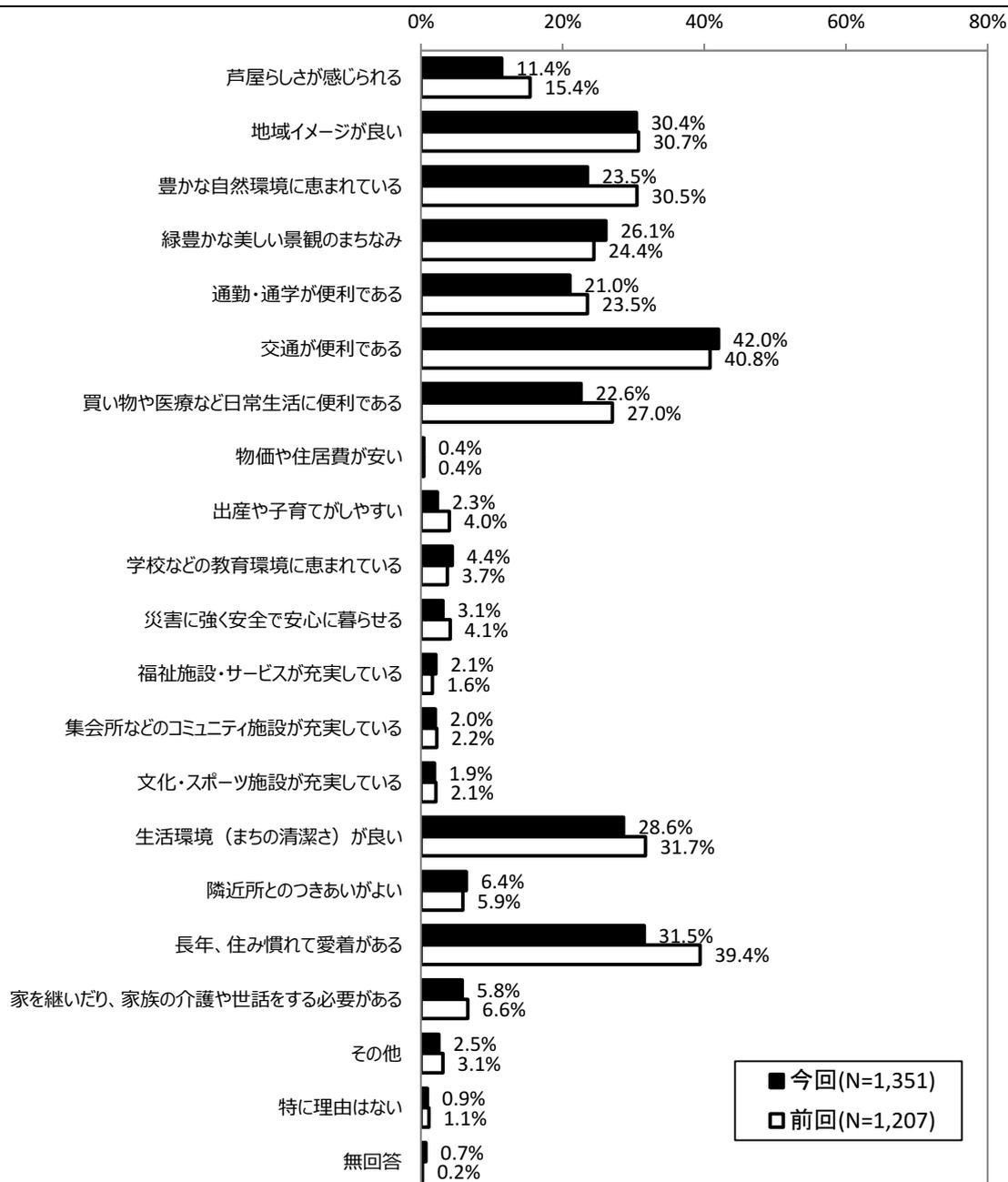
○芦屋市に住み続けたい理由は、「交通が便利である」が42.0%で最も高い比率を示し、「長年、住み慣れて愛着がある」31.5%、「地域イメージが良い」30.4%と続いている。

調査数	1,351	100.0%
芦屋らしさを感じられる	154	11.4%
地域イメージが良い	411	30.4%
豊かな自然環境に恵まれている	318	23.5%
緑豊かな美しい景観のまちなみ	353	26.1%
通勤・通学が便利である	284	21.0%
交通が便利である	567	42.0%
買い物や医療など日常生活に便利である	305	22.6%
物価や住居費が安い	6	0.4%
出産や子育てがしやすい	31	2.3%
学校などの教育環境に恵まれている	60	4.4%
災害に強く安全で安心して暮らせる	42	3.1%
福祉施設・サービスが充実している	28	2.1%
集会所などのコミュニティ施設が充実している	27	2.0%
文化・スポーツ施設が充実している	25	1.9%
生活環境（まちの清潔さ）が良い	387	28.6%
隣近所とのつきあいがよい	86	6.4%
長年、住み慣れて愛着がある	426	31.5%
家を継いだり、家族の介護や世話をする必要がある	79	5.8%
その他	34	2.5%
特に理由はない	12	0.9%
無回答	10	0.7%

※問6において、「今の場所に住み続けたい」「市内の他の場所で住み続けたい」と回答した1,351件を母数としている。



- 前回と比較すると、いずれも「交通が便利である」が最も高い比率を示している。
- 「交通が便利である」「緑豊かな美しい景観のまちなみ」の比率が微増する一方、「長年、住み慣れて愛着がある」が7.9ポイント、「豊かな自然環境に恵まれている」が7.0ポイント低下している。
- 年代別では、「長年、住み慣れて愛着がある」の比率が20歳代(-11.5ポイント)、50歳代(-10.9ポイント)、60歳代(-13.1ポイント)で下がったほか、30歳代で「買い物や医療など日常生活に便利である」(-11.8ポイント)、40歳代で「地域イメージが良い」(-10.2ポイント)、「豊かな自然環境に恵まれている」は40歳代(-12.0ポイント)及び70歳代(-10.5ポイント)で比率が下がった。
- 地区別では、「緑豊かな美しい景観のまちなみ」の比率が浜風小学校区(+11.9ポイント)及び南芦屋浜地区(+16.2ポイント)で上がる一方、「豊かな自然環境に恵まれている」が山手小学校区(-11.0ポイント)、「芦屋らしさを感じられる」が朝日ヶ丘小学校区(-12.7ポイント)及び打出浜小学校区(-11.9ポイント)、「買い物や医療など日常生活に便利である」が南芦屋浜地区(-14.0ポイント)、「生活環境が良い」が潮見小学校区(-22.6ポイント)で比率を下げている。



【性別】

○性別では、順位は異なるが上位5項目は同様である。男性で「地域イメージが良い」「通勤通学に便利」「文化・スポーツ施設が充実している」の比率が、女性で「物価や住居費が安い」「隣近所とのつきあいがよい」「長年、住み慣れて愛着がある」の比率がそれぞれ高い。

【年代別】

○年代別にみると、「交通が便利」「長年、住み慣れて愛着がある」が全ての年代で5位までに位置している。

○20・30歳代では「地域イメージが良い」「通勤通学に便利」の比率が高く、「買い物や医療など日常生活に便利である」の比率が相対的に低い。「通勤通学に便利」の比率は40歳代でも高い。

○60歳代以上では「通勤通学に便利」の比率が相対的に低く、「買い物や医療など日常生活に便利である」の比率が高い。また70歳以上では「交通が便利」の比率が高く、「地域イメージが良い」は低い。

【地区（小学校区）別】

○地区別にみると、「長年、住み慣れて愛着がある」が全地区で、「地域イメージが良い」が浜風小学校区を除く8地区で、「交通が便利である」が南芦屋浜地区を除く8地区で5位までに位置している。

○山手小学校区、浜風小学校区、潮見小学校区、南芦屋浜地区で「豊かな自然環境に恵まれている」の比率が、さらにこのうち山手小学校区を除く3地区で、「緑豊かな美しい景観のまちなみ」の比率も高くなっている。

	市全体	性別	
		男性	女性
1位	交通が便利	交通が便利	交通が便利
2位	長年の愛着	地域イメージ	長年の愛着
3位	地域イメージ	長年の愛着	まちの清潔さ
4位	まちの清潔さ	まちの清潔さ	美しい景観
5位	美しい景観	美しい景観	地域イメージ

	年代別						
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1位	地域イメージ	地域イメージ	交通が便利	交通が便利	交通が便利	交通が便利	交通が便利
2位	交通が便利	交通が便利	通勤・通学便利	地域イメージ	長年の愛着	長年の愛着	長年の愛着
3位	まちの清潔さ	通勤・通学便利	まちの清潔さ	長年の愛着	地域イメージ	日常生活便利	日常生活便利
4位	通勤・通学便利	まちの清潔さ	地域イメージ	美しい景観	美しい景観	豊かな自然	美しい景観
5位	長年の愛着	長年の愛着	長年の愛着	まちの清潔さ	まちの清潔さ	まちの清潔さ	豊かな自然

	地区別(1)						
	山手	岩園	朝日ヶ丘	精道	宮川	打出浜	浜風
1位	交通が便利	交通が便利	長年の愛着	交通が便利	交通が便利	交通が便利	美しい景観
2位	地域イメージ	地域イメージ	地域イメージ	長年の愛着	長年の愛着	長年の愛着	豊かな自然
3位	豊かな自然	まちの清潔さ	交通が便利	地域イメージ	地域イメージ	日常生活便利	長年の愛着
4位	まちの清潔さ	長年の愛着	まちの清潔さ	通勤・通学便利	まちの清潔さ	地域イメージ	交通が便利
5位	長年の愛着	美しい景観 日常生活便利	美しい景観	まちの清潔さ	日常生活便利	まちの清潔さ	日常生活便利

	地区別(2)	
	潮見	南芦屋
1位	交通が便利	美しい景観
2位	豊かな自然	豊かな自然
3位	美しい景観	まちの清潔さ
4位	長年の愛着	地域イメージ
5位	地域イメージ	長年の愛着

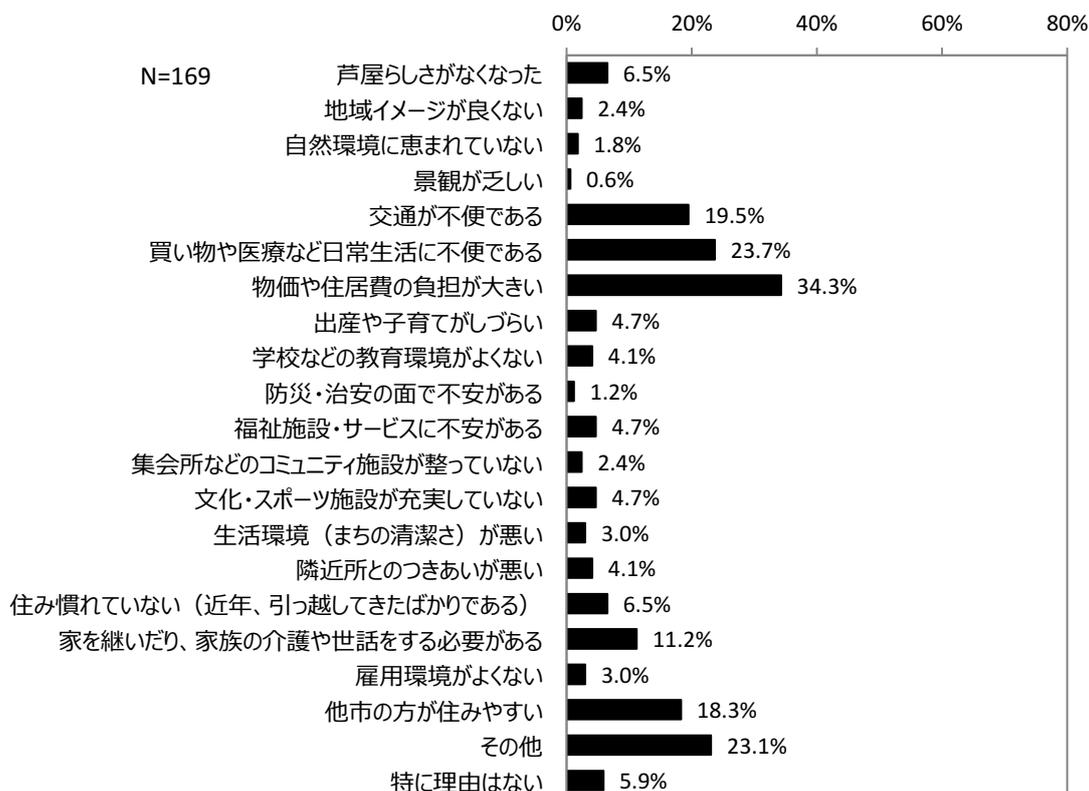
※順位間の罫線がない部分は同順位

問8 市外へ引っ越したい（引っ越す予定がある）とお考えの理由。【回答3つ】

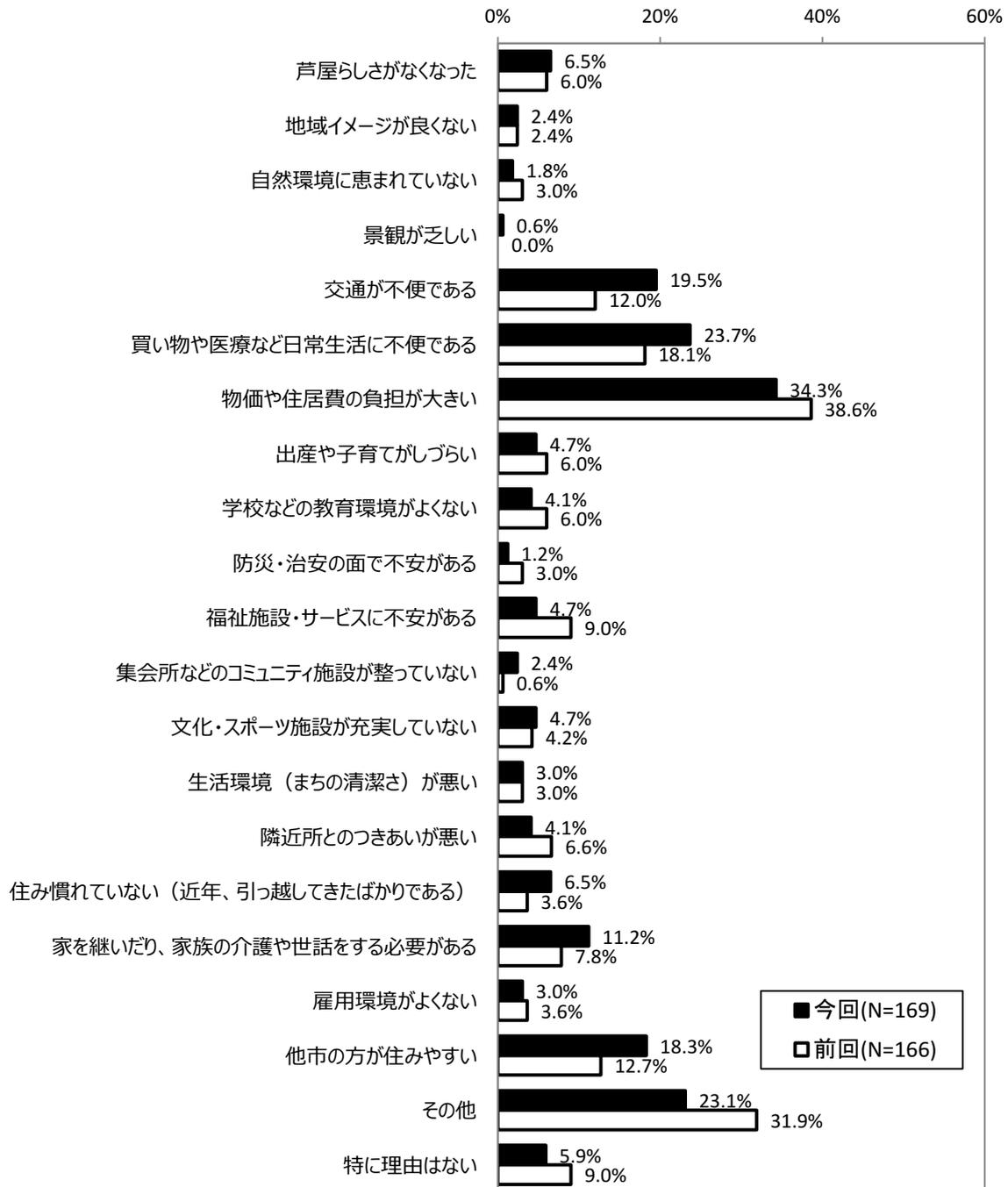
- 市外に引っ越したい理由は、「物価や住居費の負担が大きい」が34.3%で最も高い比率を示し、「買い物や医療など日常生活に不便である」23.7%、「交通が不便である」19.5%と続いている。
- 「その他」の具体的な意見では、就職・転勤など仕事都合によるものが多く、結婚や家族（子ども）との同居、地方への移住希望等がみられる。

調査数	169	100.0%
芦屋らしさがなくなった	11	6.5%
地域イメージが良くない	4	2.4%
自然環境に恵まれていない	3	1.8%
景観が乏しい	1	0.6%
交通が不便である	33	19.5%
買い物や医療など日常生活に不便である	40	23.7%
物価や住居費の負担が大きい	58	34.3%
出産や子育てがしづらい	8	4.7%
学校などの教育環境が良くない	7	4.1%
防災・治安の面で不安がある	2	1.2%
福祉施設・サービスに不安がある	8	4.7%
集会所などのコミュニティ施設が整っていない	4	2.4%
文化・スポーツ施設が充実していない	8	4.7%
生活環境（まちの清潔さ）が悪い	5	3.0%
隣近所とのつきあいが悪い	7	4.1%
住み慣れていない（近年、引っ越してきたばかりである）	11	6.5%
家を継いだり、家族の介護や世話をする必要がある	19	11.2%
雇用環境が良くない	5	3.0%
他市の方が住みやすい	31	18.3%
その他	39	23.1%
特に理由はない	10	5.9%

※問6において、「いずれ市外に引っ越したい」「すでに市外に引っ越す予定がある」と回答した169件を母数としている。



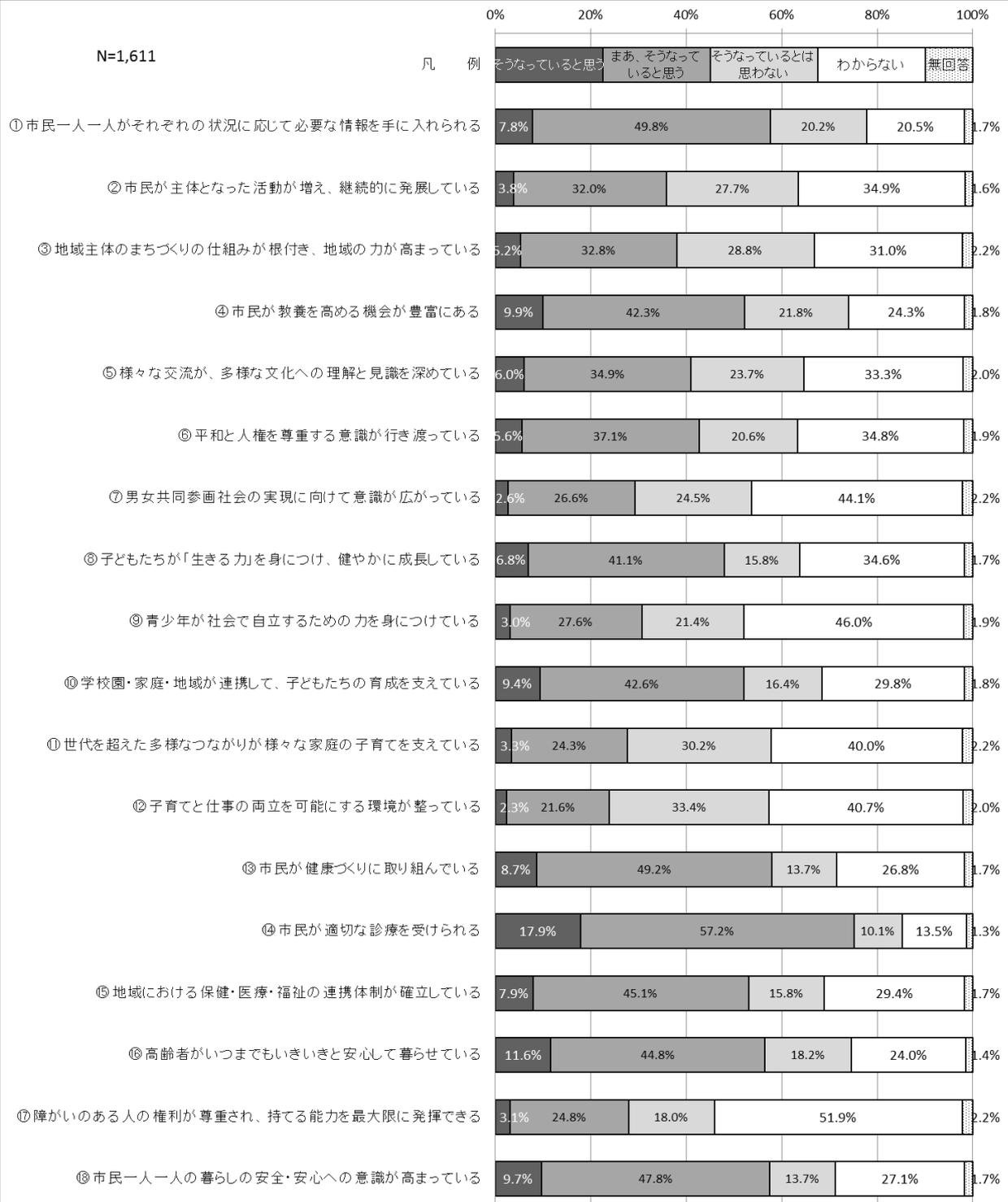
- 前回調査と比較すると、いずれも「物価や住居費の負担が大きい」が最も高い比率を示している。ただし今回調査ではそのポイントは低下している。
- また、「福祉施設・サービスに不安がある」「その他」の比率も低下している。
- 一方、「交通が不便である」「買い物や医療など日常生活に不便である」「他市の方が住みやすい」の比率が上がった。特に「交通が不便である」は女性で大きく増加(+10.5ポイント)している。



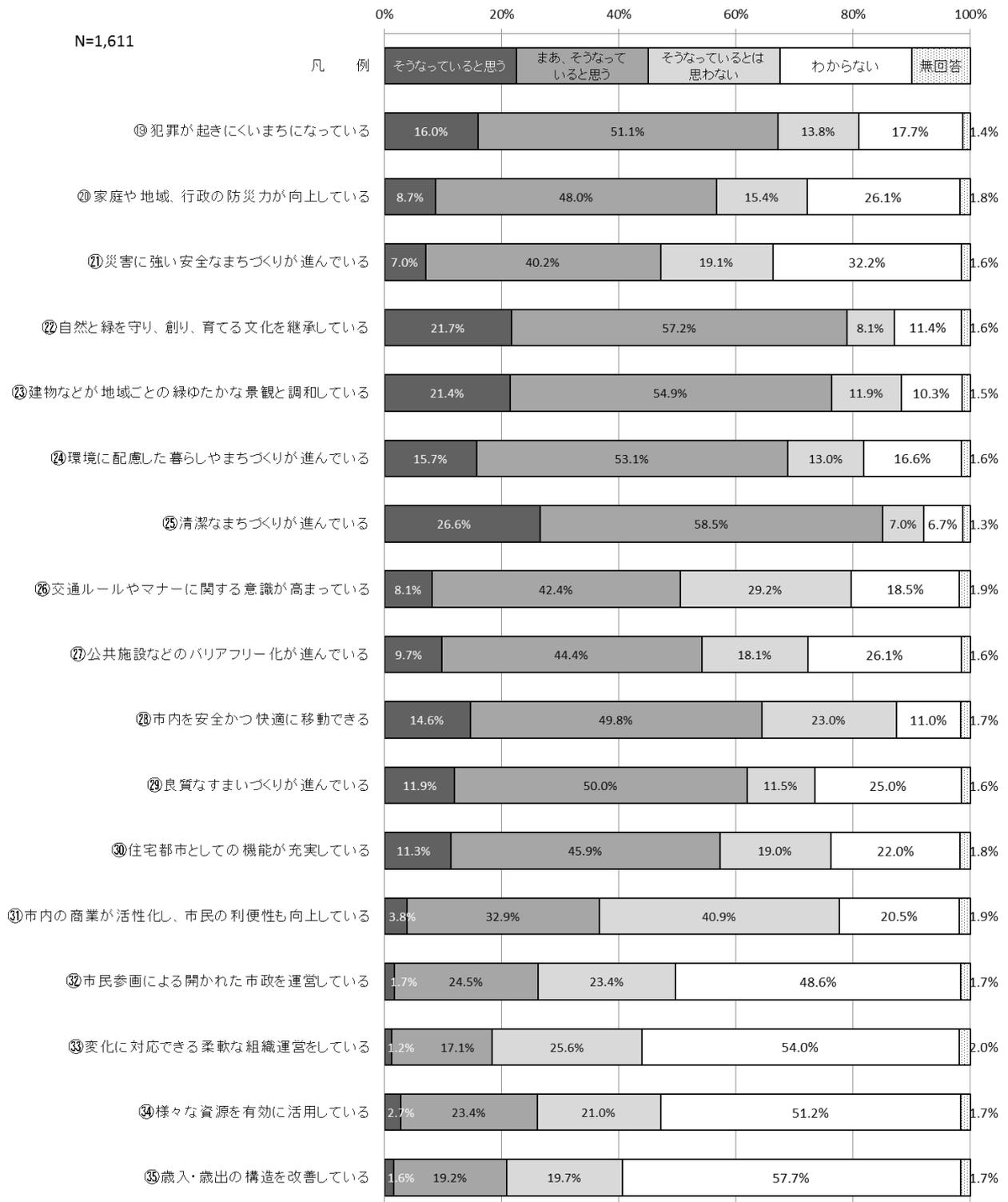
Ⅱ. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。

問9 下表に示す35の項目は、第4次芦屋市総合計画（平成23年度～32年度）の基本構想に掲げた施策の目標です。35項目それぞれについて、今の芦屋市の現状をどのように感じていますか。【単数回答】

○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は「㉕清潔なまちづくりが進んでいる」が最も高く、「㉒自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している」「㉓建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している」「㉔市民が適切な診療を受けられる」「㉔環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる」と続いている。



○否定的意見の「そうなのではない」との比率は「⑩市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」が最も高く、以下「⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている」「⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている」「⑫交通ルールやマナーに関する意識が高まっている」「④市民が教養を高める機会が豊富にある」と続いている。



	合計	そう なっ て 思 う	ま あ、 そ う な っ て 思 う	思 わ な い そ う な っ て い る と は	わ か ら な い	無 回 答
①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	100.0%	7.8%	49.8%	20.2%	20.5%	1.7%
②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	100.0%	3.8%	32.0%	27.7%	34.9%	1.6%
③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	100.0%	5.2%	32.8%	28.8%	31.0%	2.2%
④市民が教養を高める機会が豊富にある	100.0%	9.9%	42.3%	21.8%	24.3%	1.8%
⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	100.0%	6.0%	34.9%	23.7%	33.3%	2.0%
⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	100.0%	5.6%	37.1%	20.6%	34.8%	1.9%
⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	100.0%	2.6%	26.6%	24.5%	44.1%	2.2%
⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	100.0%	6.8%	41.1%	15.8%	34.6%	1.7%
⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている	100.0%	3.0%	27.6%	21.4%	46.0%	1.9%
⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	100.0%	9.4%	42.6%	16.4%	29.8%	1.8%
⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	100.0%	3.3%	24.3%	30.2%	40.0%	2.2%
⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	100.0%	2.3%	21.6%	33.4%	40.7%	2.0%
⑬市民が健康づくりに取り組んでいる	100.0%	8.7%	49.2%	13.7%	26.8%	1.7%
⑭市民が適切な診療を受けられる	100.0%	17.9%	57.2%	10.1%	13.5%	1.3%
⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	100.0%	7.9%	45.1%	15.8%	29.4%	1.7%
⑯高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている	100.0%	11.6%	44.8%	18.2%	24.0%	1.4%
⑰障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	100.0%	3.1%	24.8%	18.0%	51.9%	2.2%
⑱市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	100.0%	9.7%	47.8%	13.7%	27.1%	1.7%
⑲犯罪が起きにくいまちになっている	100.0%	16.0%	51.1%	13.8%	17.7%	1.4%
⑳家庭や地域、行政の防災力が向上している	100.0%	8.7%	48.0%	15.4%	26.1%	1.8%
㉑災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	100.0%	7.0%	40.2%	19.1%	32.2%	1.6%
㉒自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	100.0%	21.7%	57.2%	8.1%	11.4%	1.6%
㉓建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	100.0%	21.4%	54.9%	11.9%	10.3%	1.5%
㉔環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる	100.0%	15.7%	53.1%	13.0%	16.6%	1.6%
㉕清潔なまちづくりが進んでいる	100.0%	26.6%	58.5%	7.0%	6.7%	1.3%
㉖交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	100.0%	8.1%	42.4%	29.2%	18.5%	1.9%
㉗公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	100.0%	9.7%	44.4%	18.1%	26.1%	1.6%
㉘市内を安全かつ快適に移動できる	100.0%	14.6%	49.8%	23.0%	11.0%	1.7%
㉙良質なすまいづくりが進んでいる	100.0%	11.9%	50.0%	11.5%	25.0%	1.6%
㉚住宅都市としての機能が充実している	100.0%	11.3%	45.9%	19.0%	22.0%	1.8%
㉛市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	100.0%	3.8%	32.9%	40.9%	20.5%	1.9%
㉜市民参画による開かれた市政を運営している	100.0%	1.7%	24.5%	23.4%	48.6%	1.7%
㉝変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	100.0%	1.2%	17.1%	25.6%	54.0%	2.0%
㉞様々な資源を有効に活用している	100.0%	2.7%	23.4%	21.0%	51.2%	1.7%
㉟歳入・歳出の構造を改善している	100.0%	1.6%	19.2%	19.7%	57.7%	1.7%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

施策目標（35分野）ごとの集計

◆評点と重要度による散布図の提示

35分野の施策目標について、

- ・縦軸を満足度とし、「そうなっていると思う」3点、「まあ、そうなっていると思う」2点、「そうっていないと思わない」1点の係数をかけ、母数（選択した回答者の数）で割って平均した評点を示す。
- ・横軸を重要度とし、問11において、35分野の中から選ばれた、今後重要と考える分野（3つ選択）の出現率を示す。

◆評点と重要度からみた施策への評価

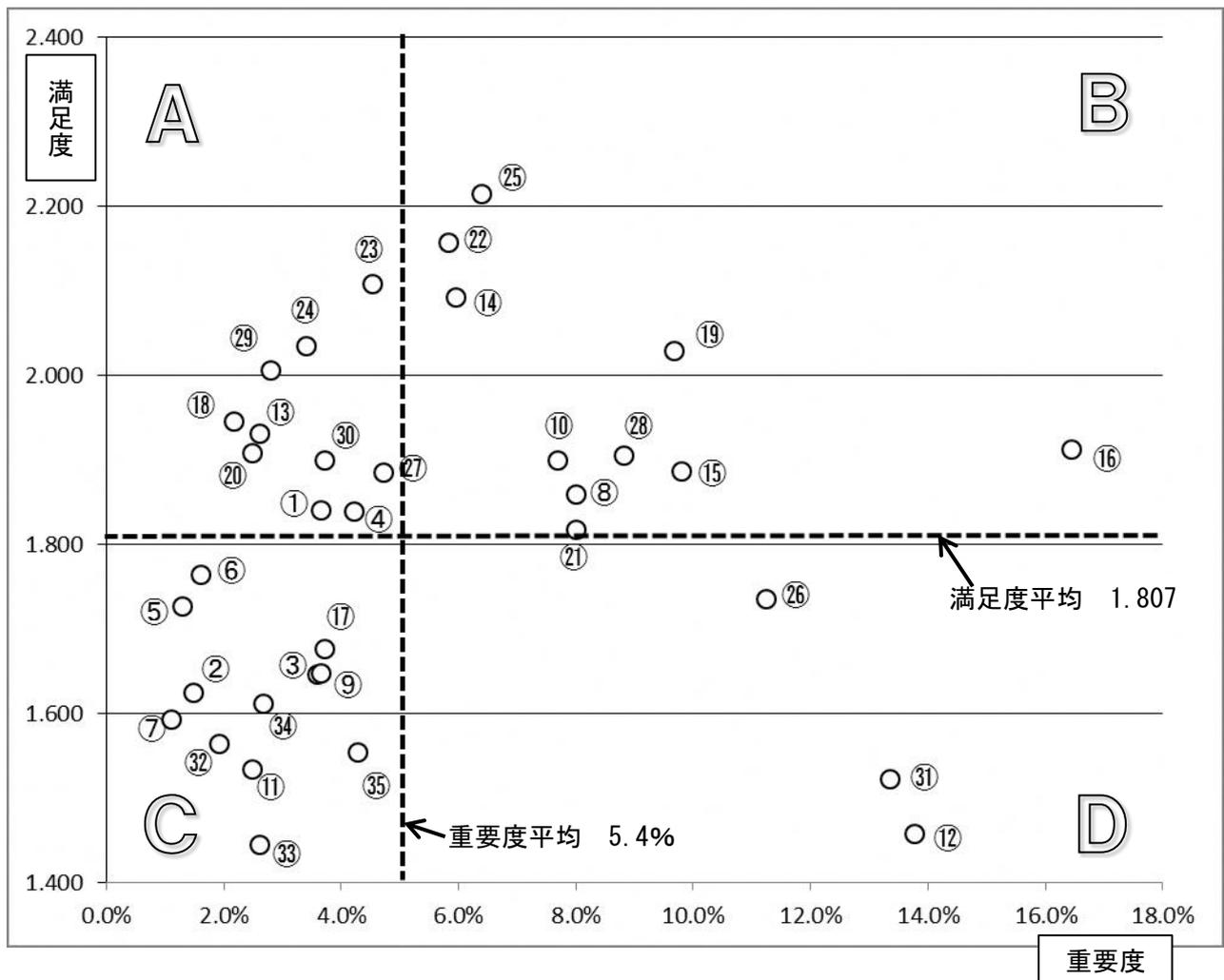
上記の散布図を平均値で4象限に区分し、相対的な位置づけを明らかにする。

象限A…満足度が高く、重要度が低い／施策が評価され、緊急性は低いと意識される分野

象限B…満足度・重要度ともに高い／施策が評価されているが、さらに発展が求められる分野

象限C…満足度・重要度ともに低い／施策への評価は低く、関心も低い分野

象限D…満足度が低く、重要度が高い／市民満足度が低く、重点的な取組が求められる分野

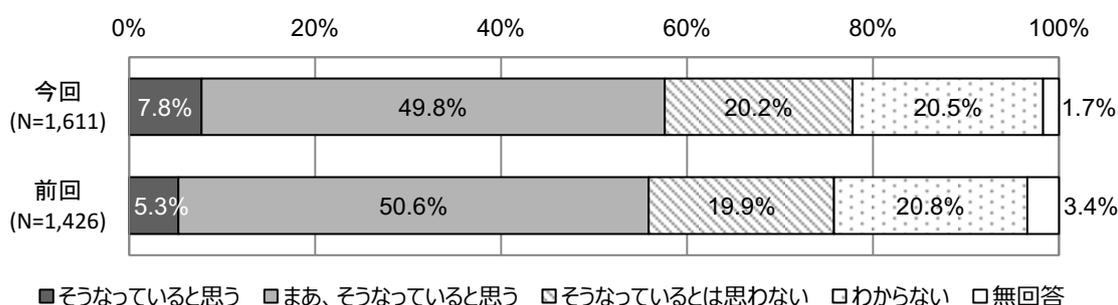


① 市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる

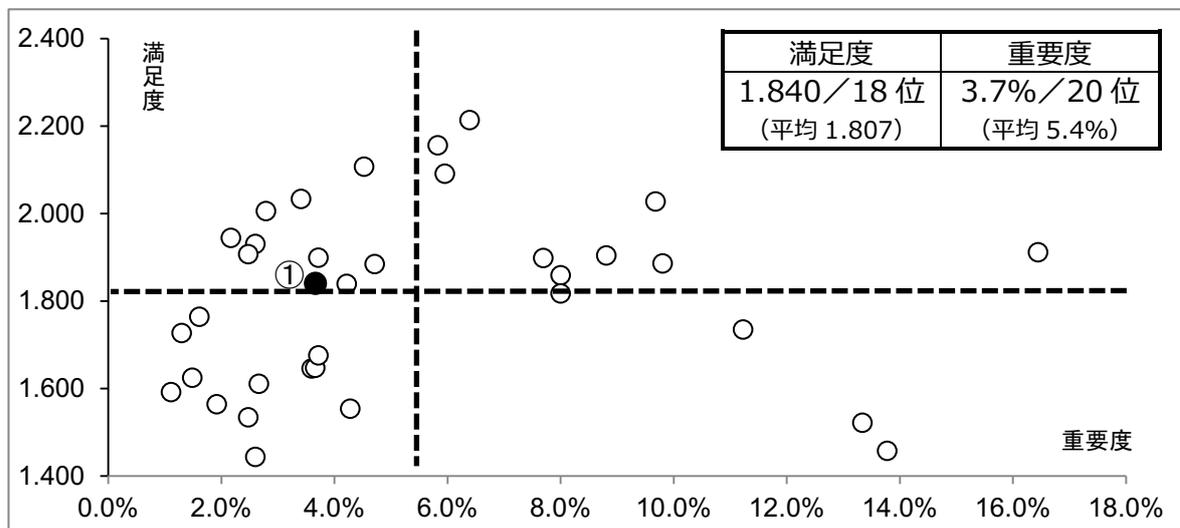
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	1-1-1	市民が必要とする情報や行政が市民に届けたい情報を効果的に発信します。
	1-1-2	本市の住宅都市としての魅力発信につながる情報提供に努めます。

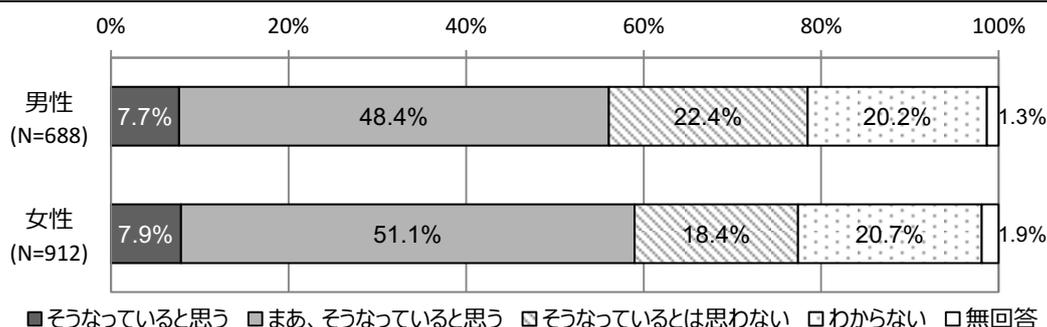
- 「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 57.5%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 20.2%となっている。
- 満足度、重要度とも中位に位置している。
- 前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、20 歳代で肯定的意見の比率が 10.0 ポイント上がっている。また、精道小学校区でも肯定的意見の比率が上がる (+12.0 ポイント) 一方、「わからない」の比率が 10.6 ポイント下がった。南芦屋浜地区では肯定的意見の比率が下がる (-11.9 ポイント) 一方、「わからない」の比率が 11.2 ポイント上がっている。



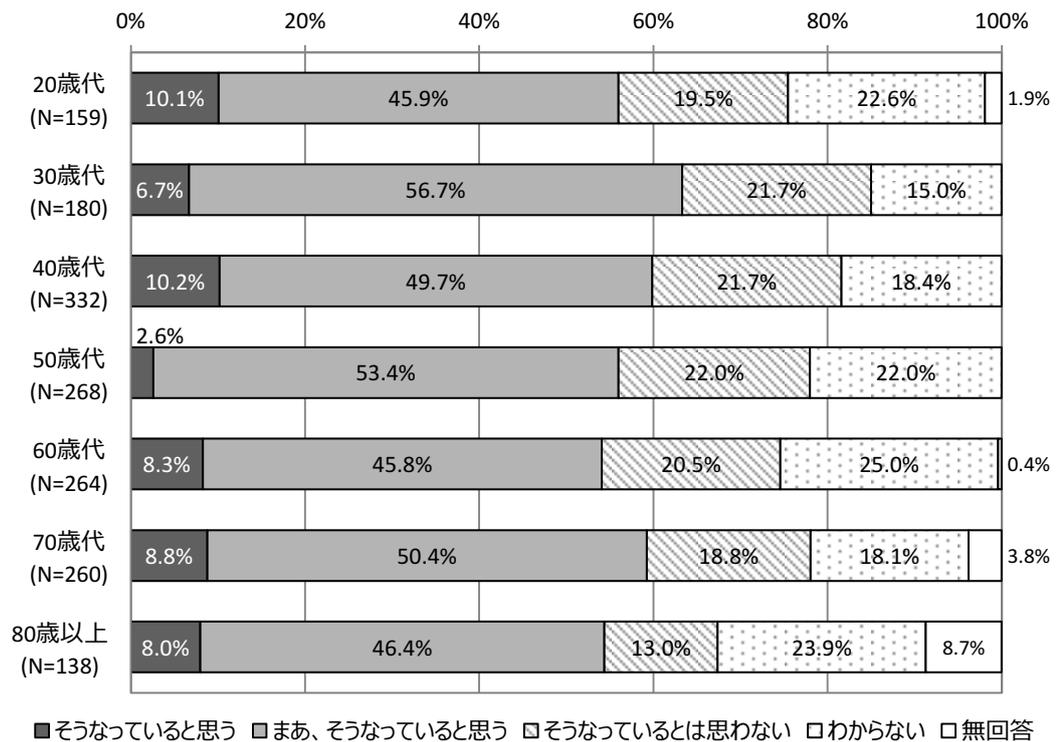
【満足度と重要度からみた施策の評価】



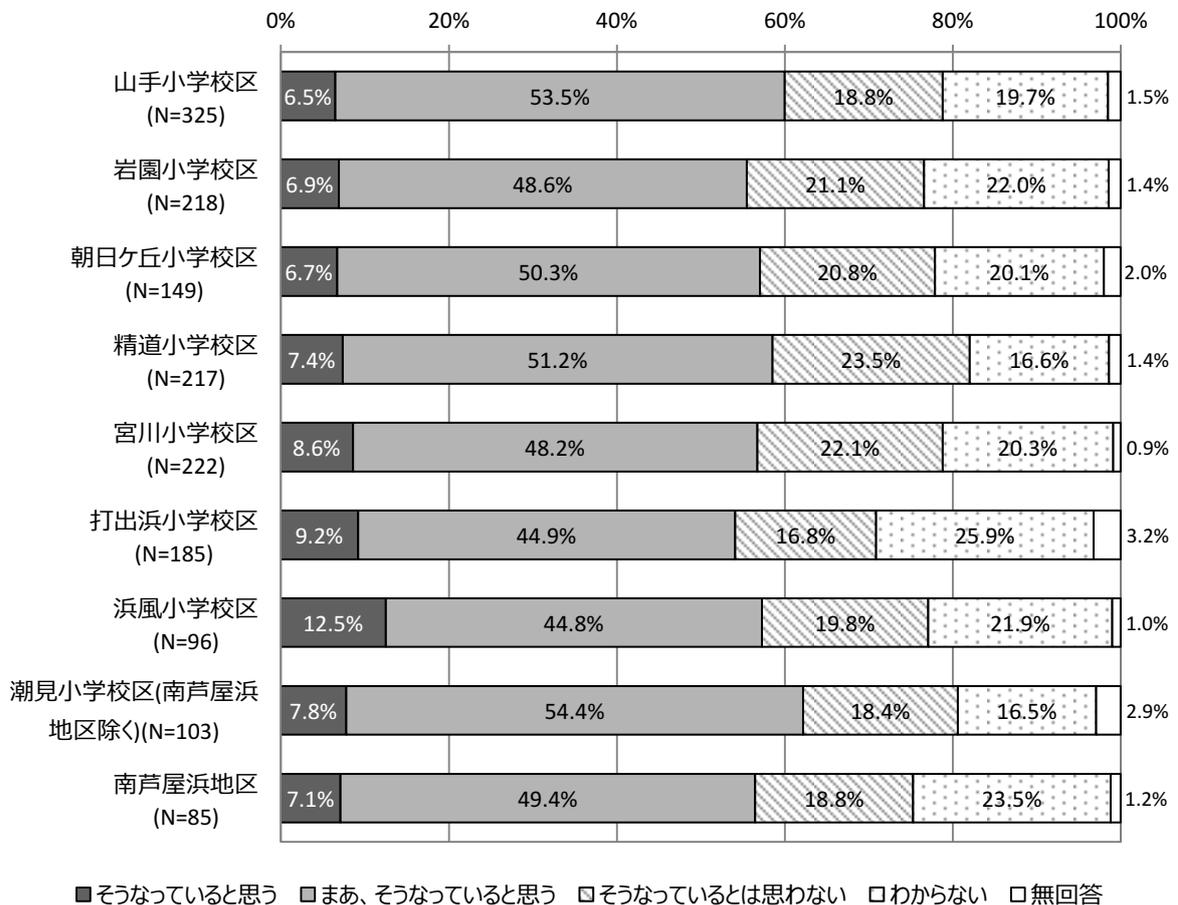
○否定的意見は男性でやや多いが、統計的に有意な差はない。



○年代別では、50歳代で「そうなっていると思う」の比率が低い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



② 市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している

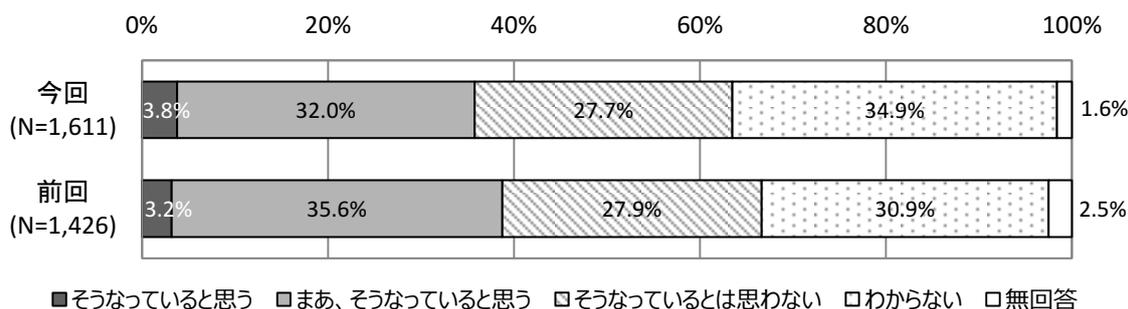
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	1-2-1	市民の意欲・特技・経験を生かし、地域を支える市民の力を豊かにする取組を支援します。
	1-2-2	市民が市民活動に参加しやすい環境をつくります。

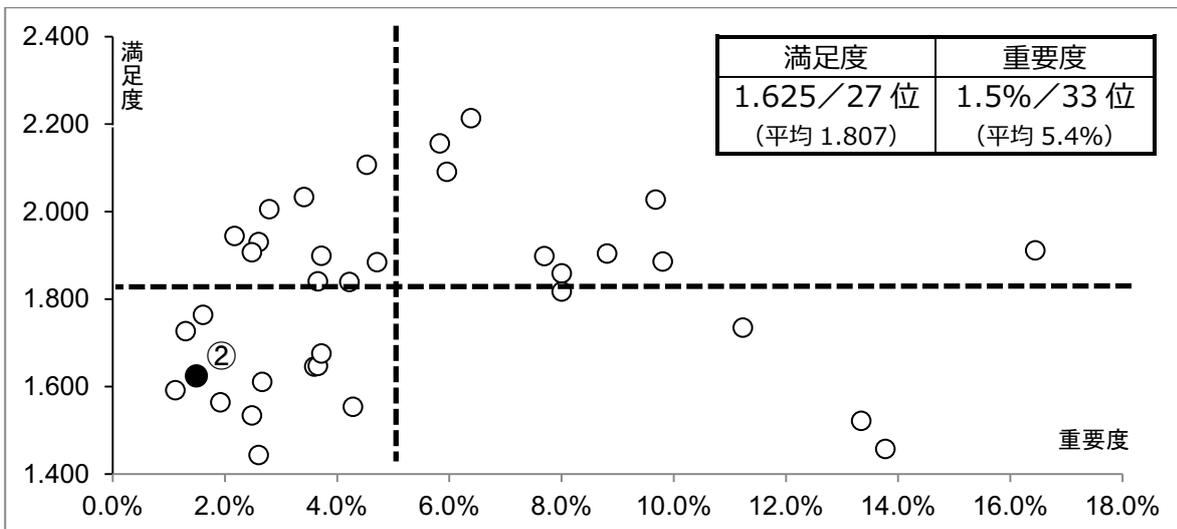
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は35.8%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は27.7%となっている。

○満足度、重要度とも低位に位置している。

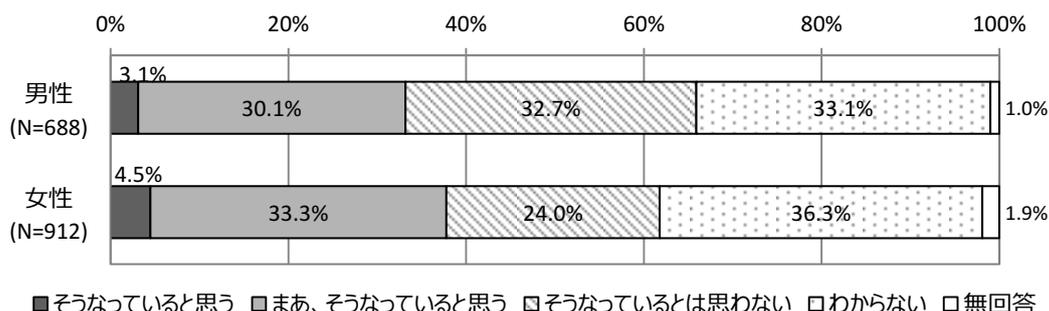
○前回との比較では、肯定的意見の比率が下がり、「わからない」の比率が上がっている。この傾向は特に浜風小学校区（肯定的意見-14.3ポイント、わからない+13.9ポイント）で顕著である。



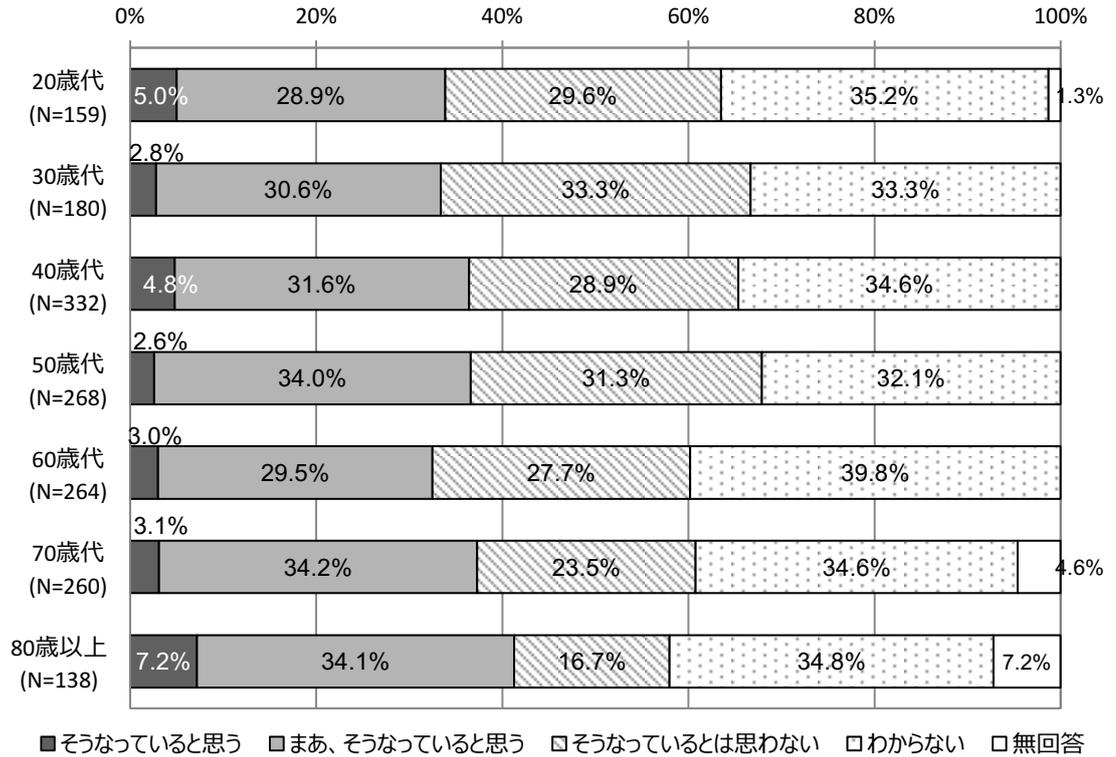
【満足度と重要度からみた施策の評価】



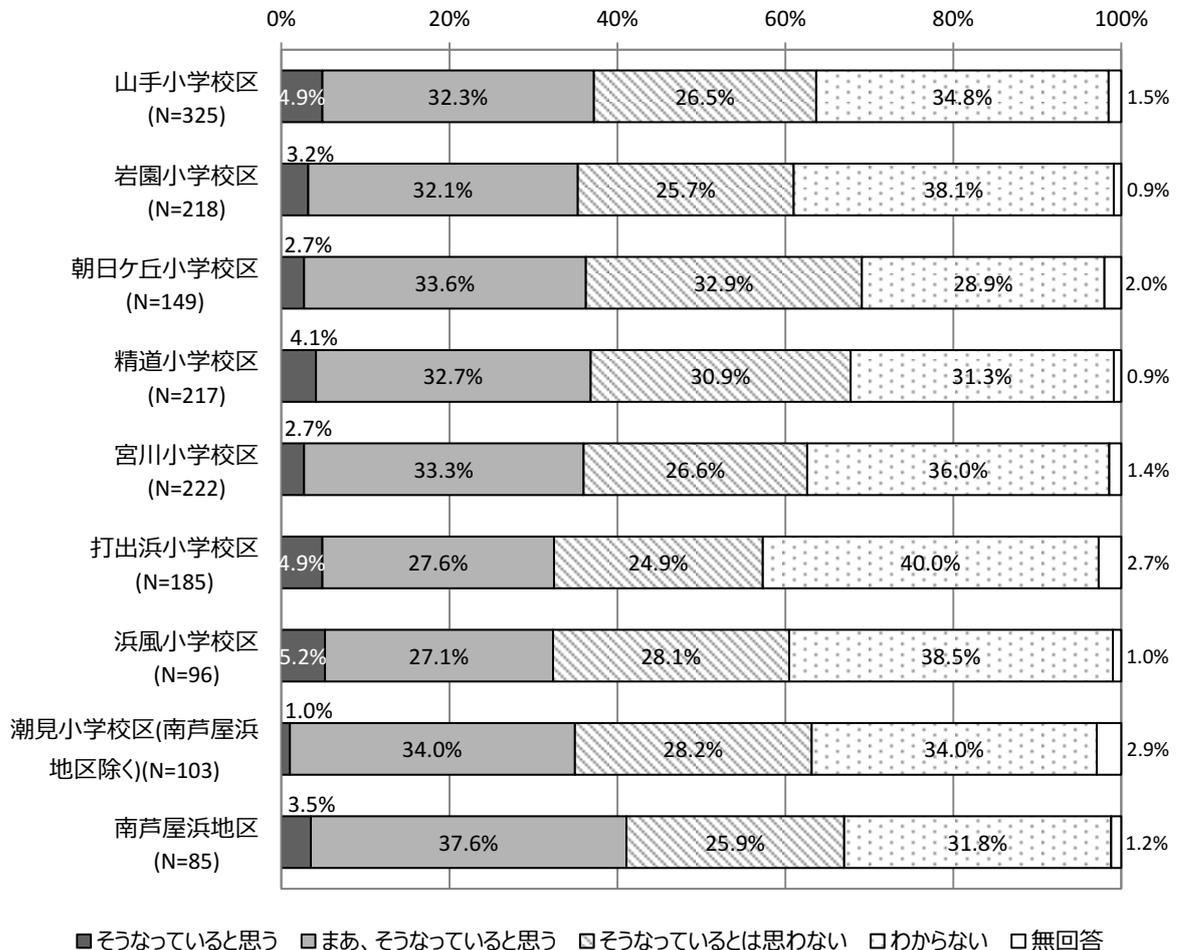
○否定的意見は男性の方が多くなっている。



○年代別では、統計的に有意な差はない。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

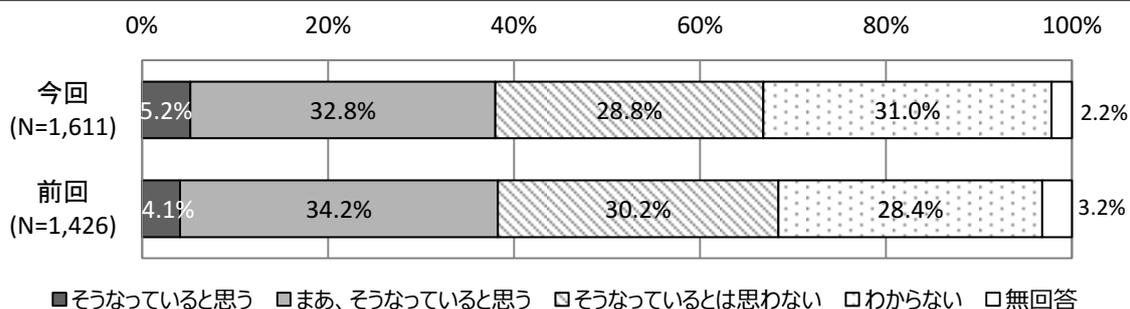


③ 地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている

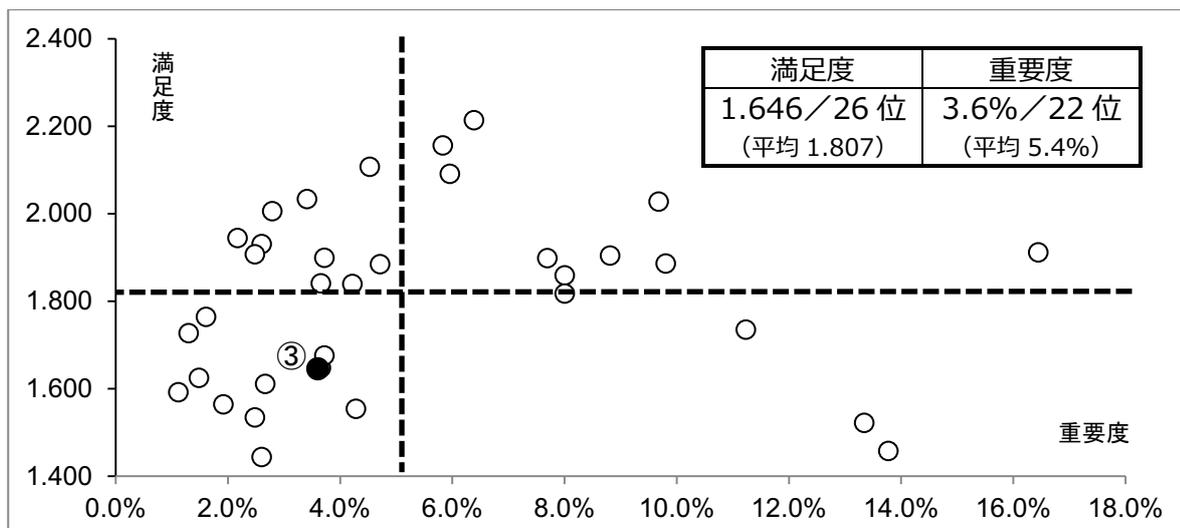
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	1-3-1	市民主体の地域課題の解決と地域運営への取組を支援します。
------	-------	------------------------------

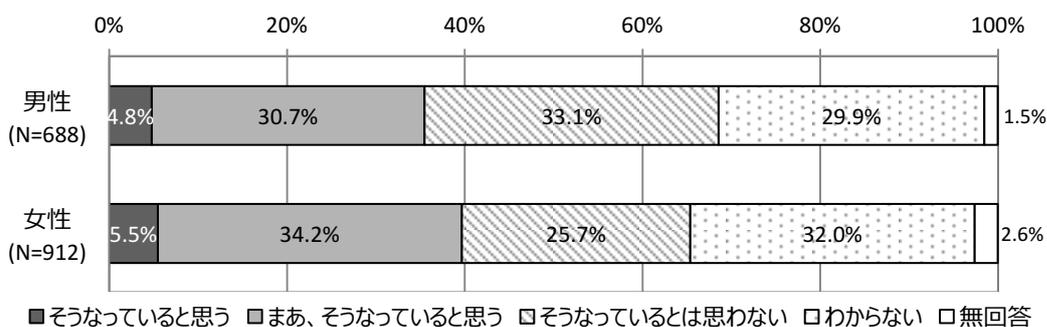
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 37.9%、否定的意見の「そうになっていると思わない」は 28.8%となっている。
 ○満足度は低位、重要度は中位に位置している。
 ○前回との比較では、全体では大きな変化はみられないが、精道小学校区では肯定的意見の比率が 10.1 ポイント上がっている。



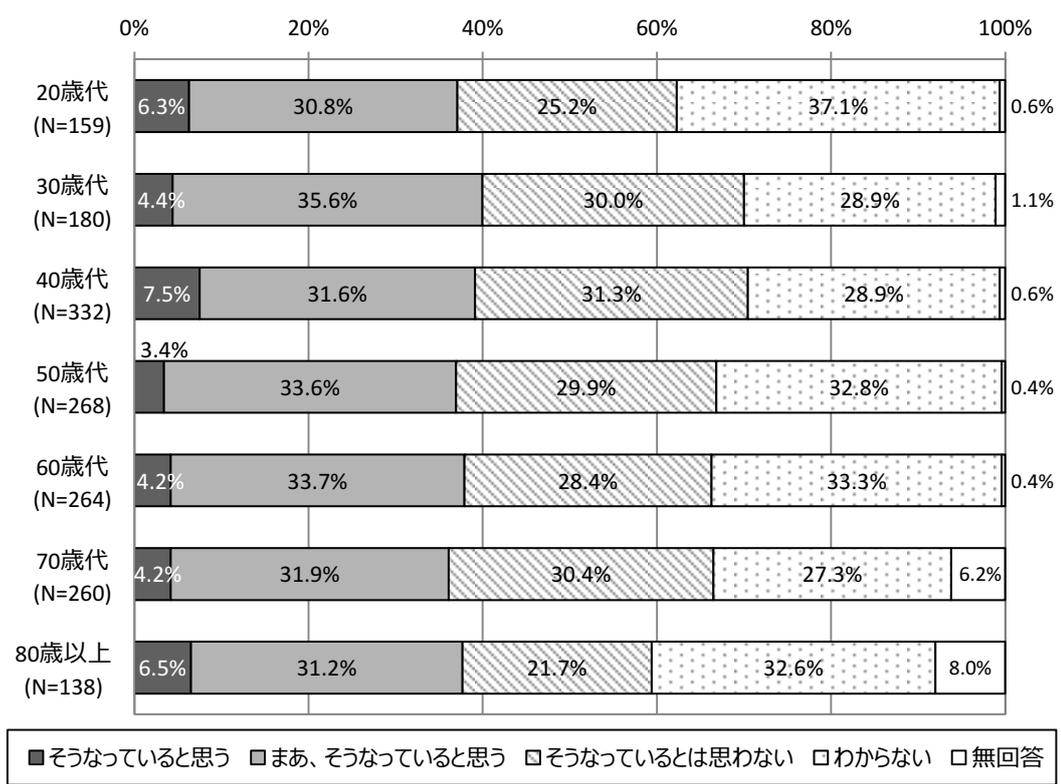
【満足度と重要度からみた施策の評価】



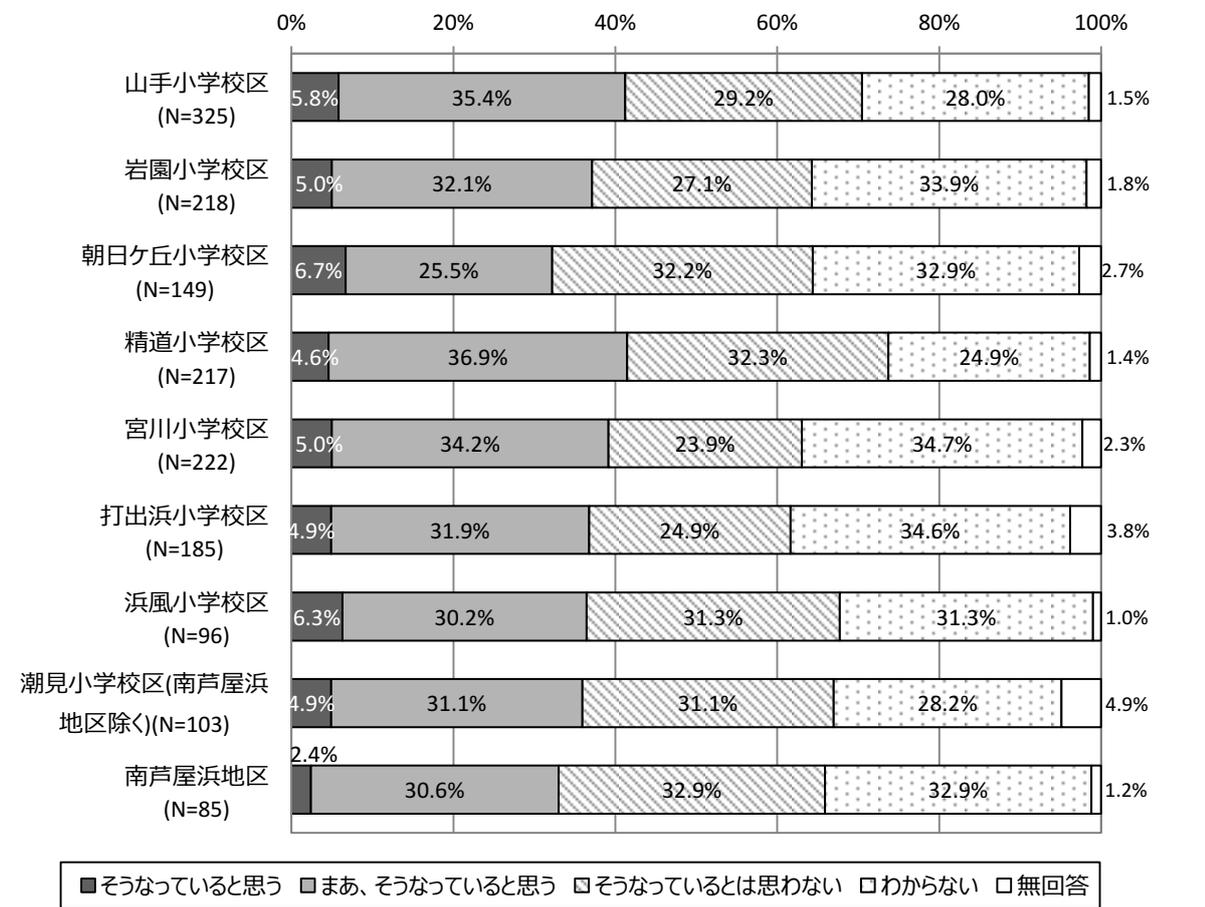
○男性の方が否定的意見は多くなっている。



○20歳代で「わからない」の比率が高いが、統計的に有意な差はない。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



④ 市民が教養を高める機会が豊富にある

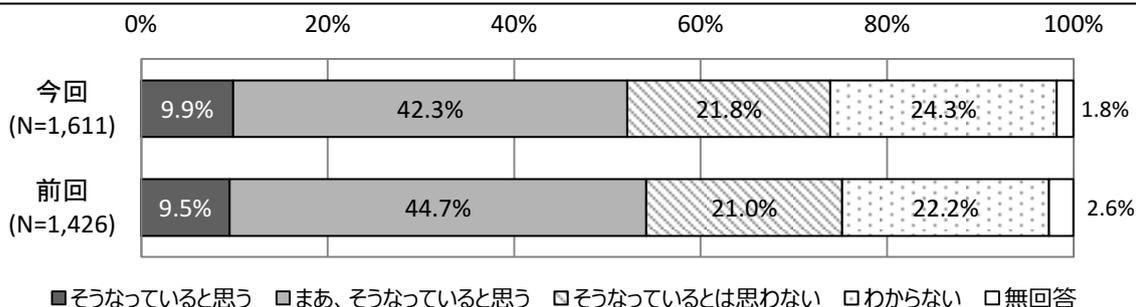
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	2-1-1	芦屋の文化を見つめなおし、個性豊かで幅広い芦屋文化をまちの魅力として広く発信します。
	2-1-2	芦屋の文化を身近に感じ、守り、次の世代に継承できる取組を進めます。
	2-1-3	市民が主体となって活躍する知の循環型社会の構築を目指します。
	2-1-4	地域の情報拠点として、公立図書館を充実させます。
	2-1-5	「するスポーツ・みるスポーツ・ささえるスポーツ」を推進し、全ての市民が健康で豊かなスポーツ文化を楽しむことができる環境を創ります。

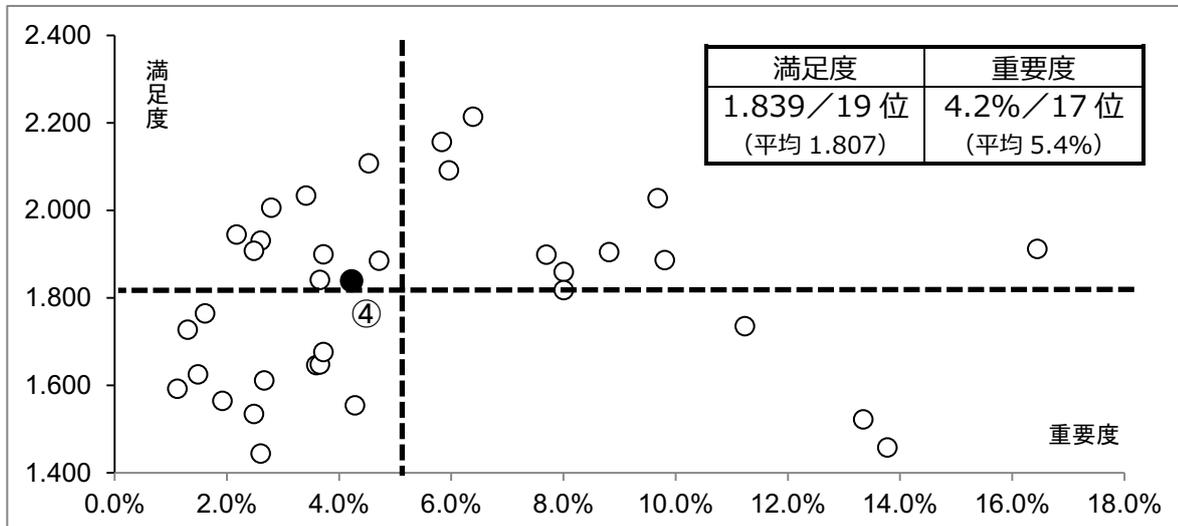
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 52.1%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 21.8%となっている。

○満足度、重要度とも中位に位置している。

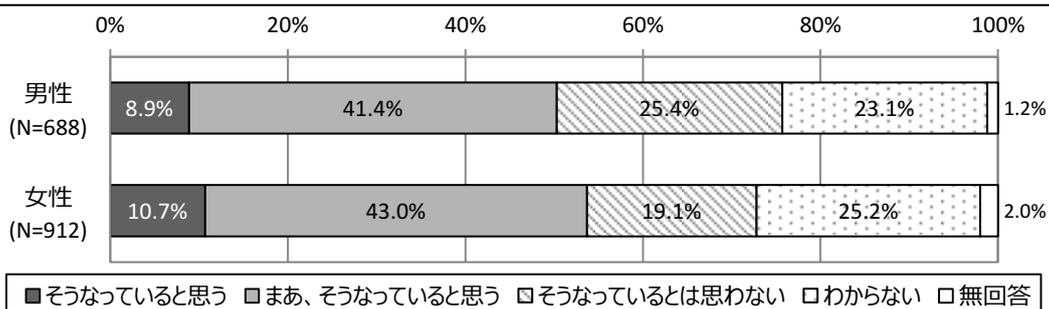
○前回との比較では、大きな変化はみられない。



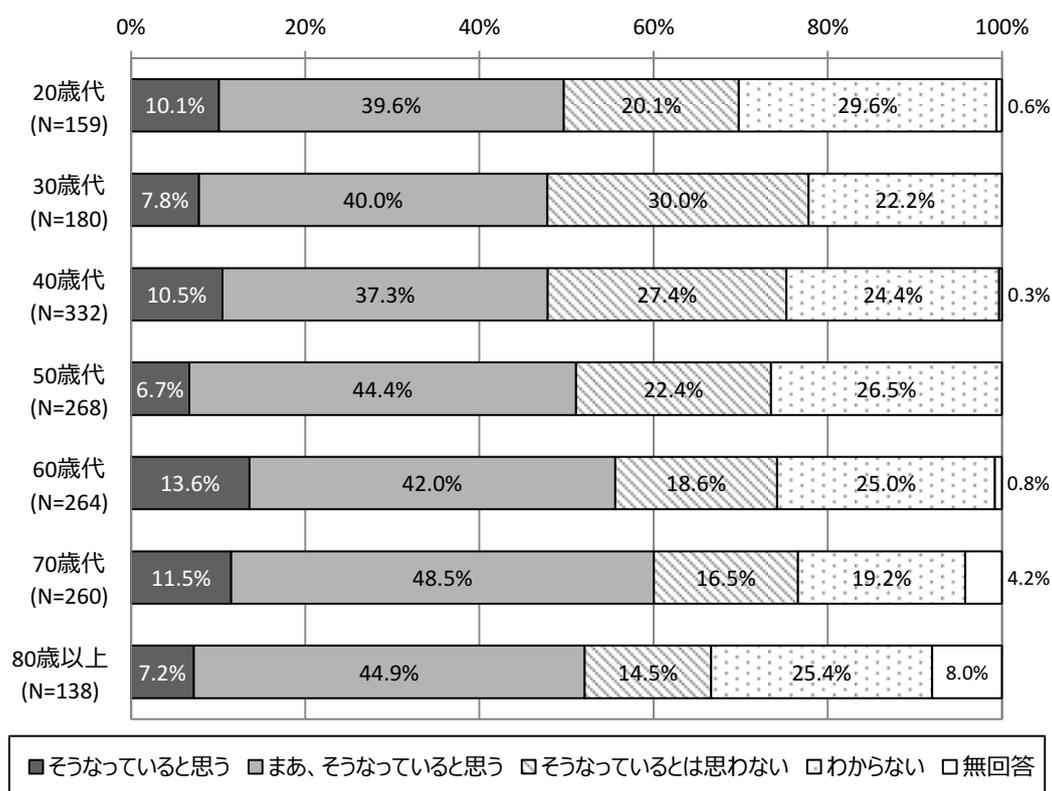
【満足度と重要度からみた施策の評価】



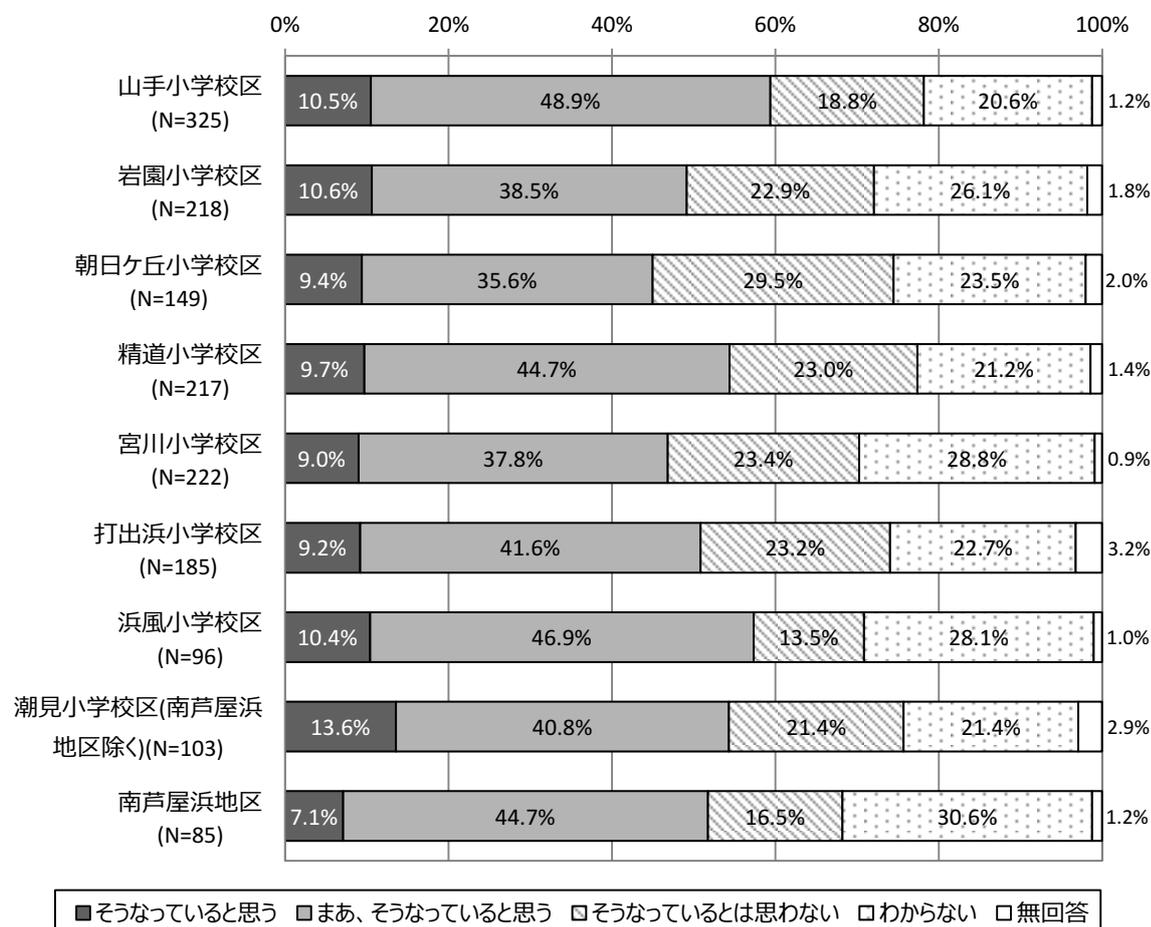
○否定的意見は男性の方が多くなっている。



○60～70歳代など年齢の高い層ほど肯定的な回答が多くなる傾向にある。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

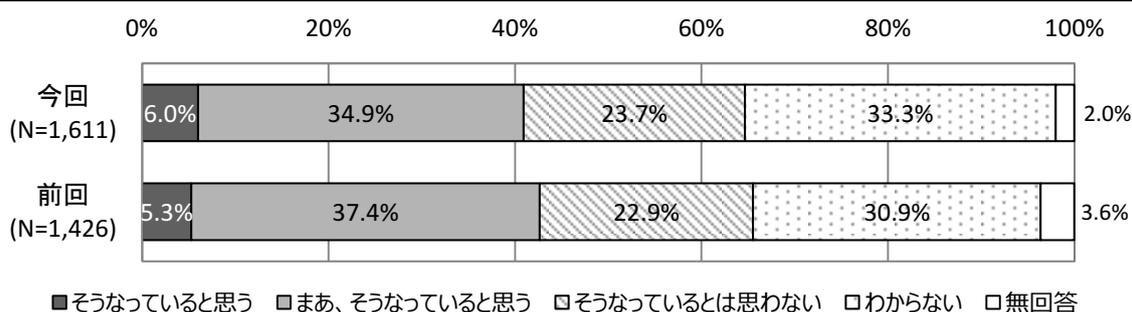


⑤ 様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている

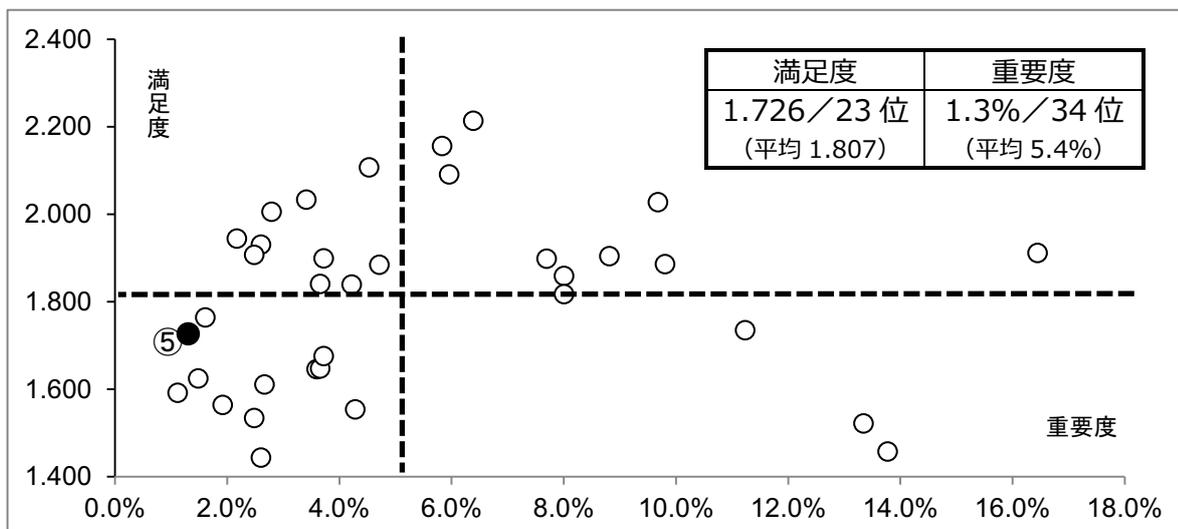
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	2-2-1	多様な文化を持つ人々との交流を促進し、お互いの理解を深めます。
	2-2-2	外国人住民が安心して暮らせる共生のまちづくりを進めます。

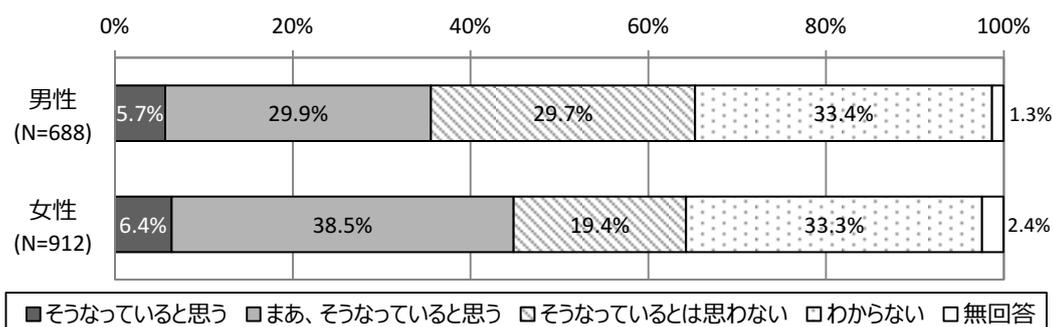
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は41.0%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は23.7%となっている。
 ○満足度は中位、重要度は低位に位置している。
 ○前回との比較で大きな変化はみられない。



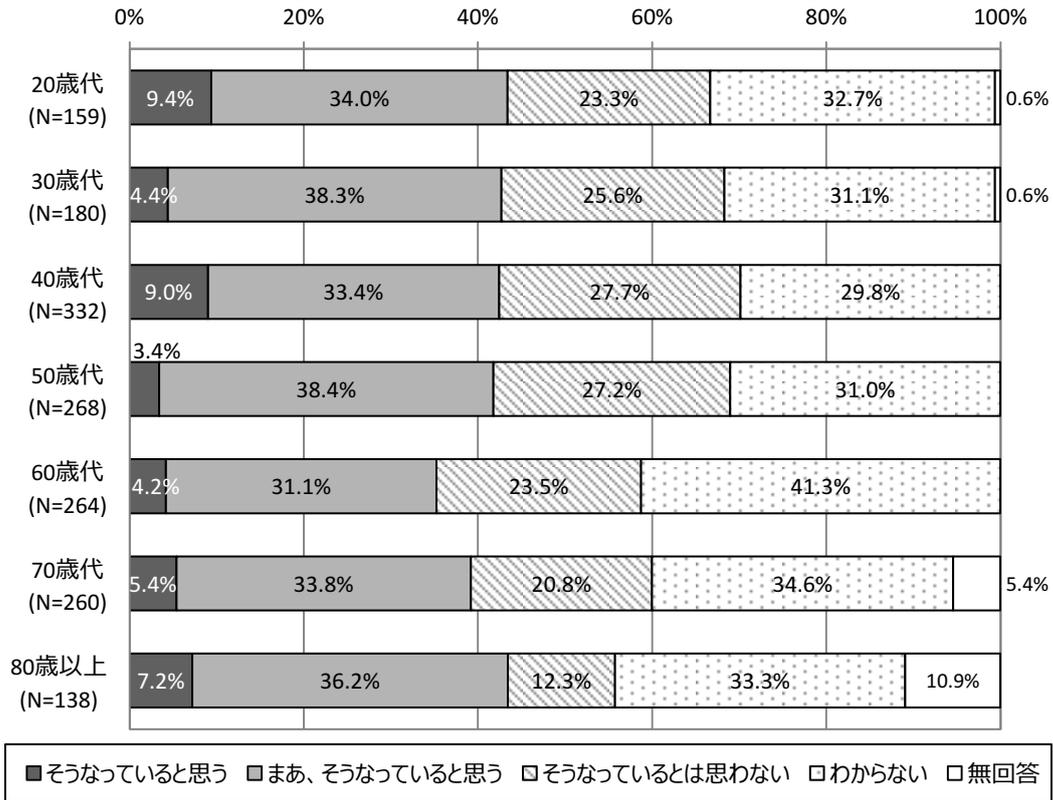
【満足度と重要度からみた施策の評価】



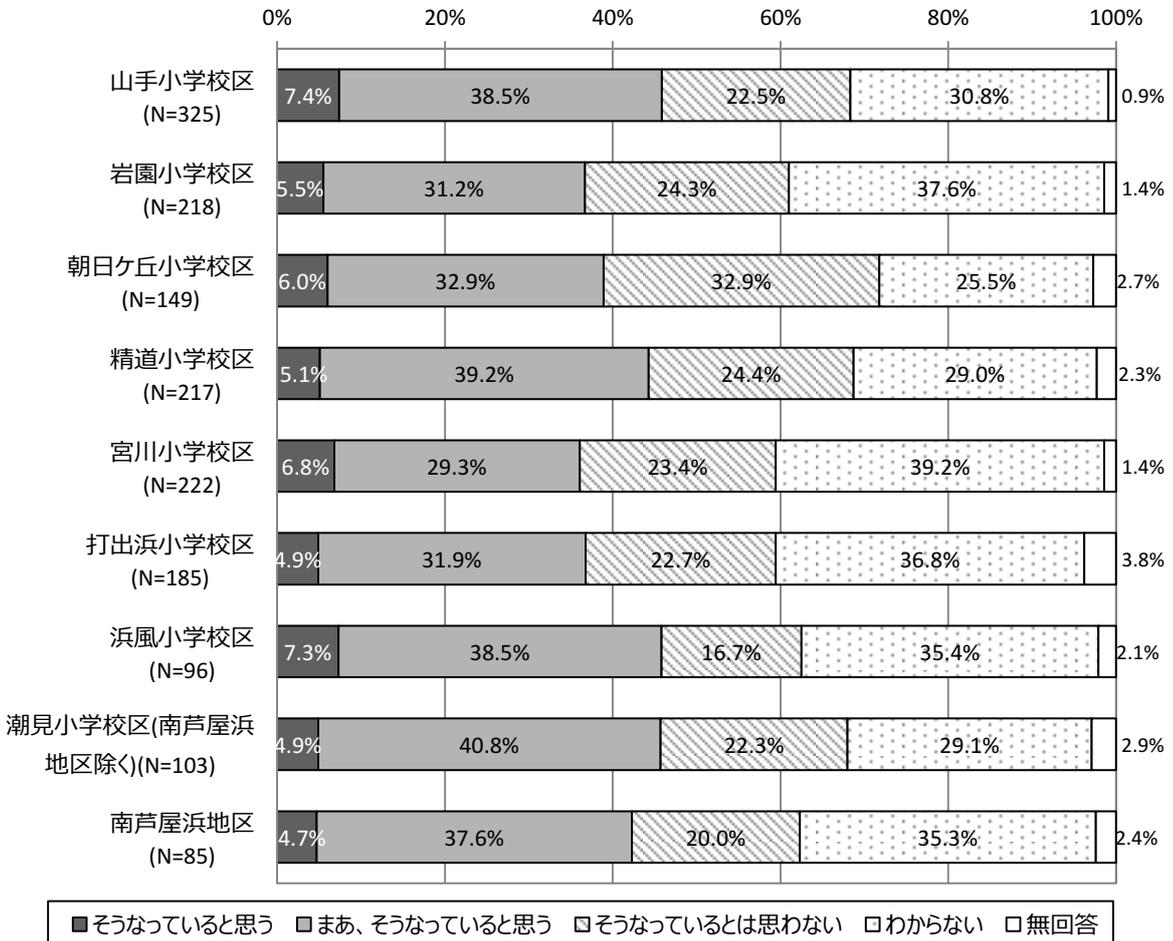
○女性で肯定的な回答、男性で否定的な回答が多くなっている。



○年代別では、50歳代で「そうなっている」の比率が低い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

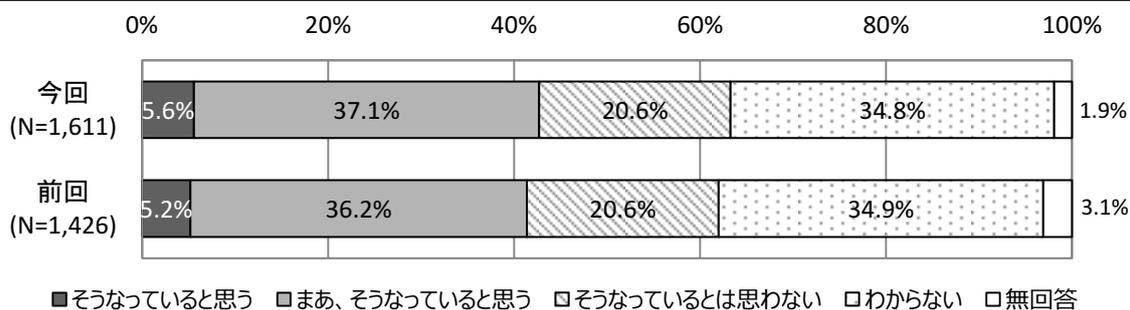


⑥ 平和と人権を尊重する意識が行き渡っている

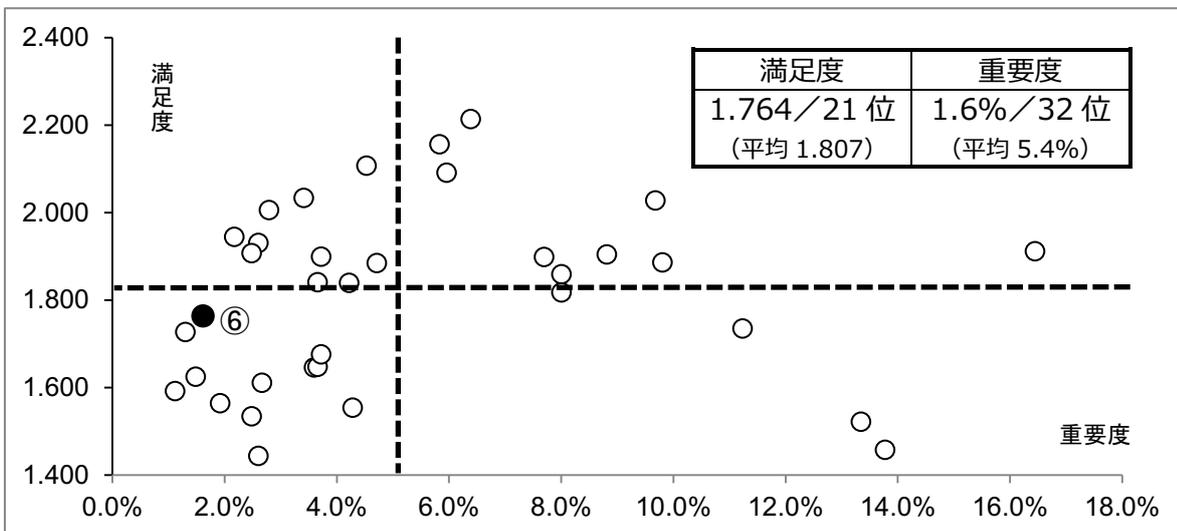
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	3-1-1	非核・平和意識の高揚を図るため各種事業を充実します。
	3-1-2	「人権教育・人権啓発に関する総合推進指針」に基づき人権啓発事業に取り組みます。
	3-1-3	全ての市民の人権が守られるよう取り組みます。

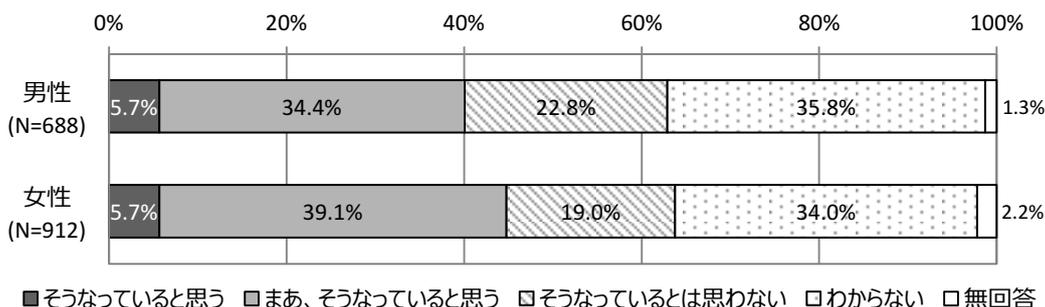
- 「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 42.7%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 20.6%となっている。
- 満足度は中位、重要度は低位に位置している。
- 前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、20 歳代では肯定的意見の比率が 18.1 ポイント上がり、否定的意見の比率が 16.3 ポイント下がっている。



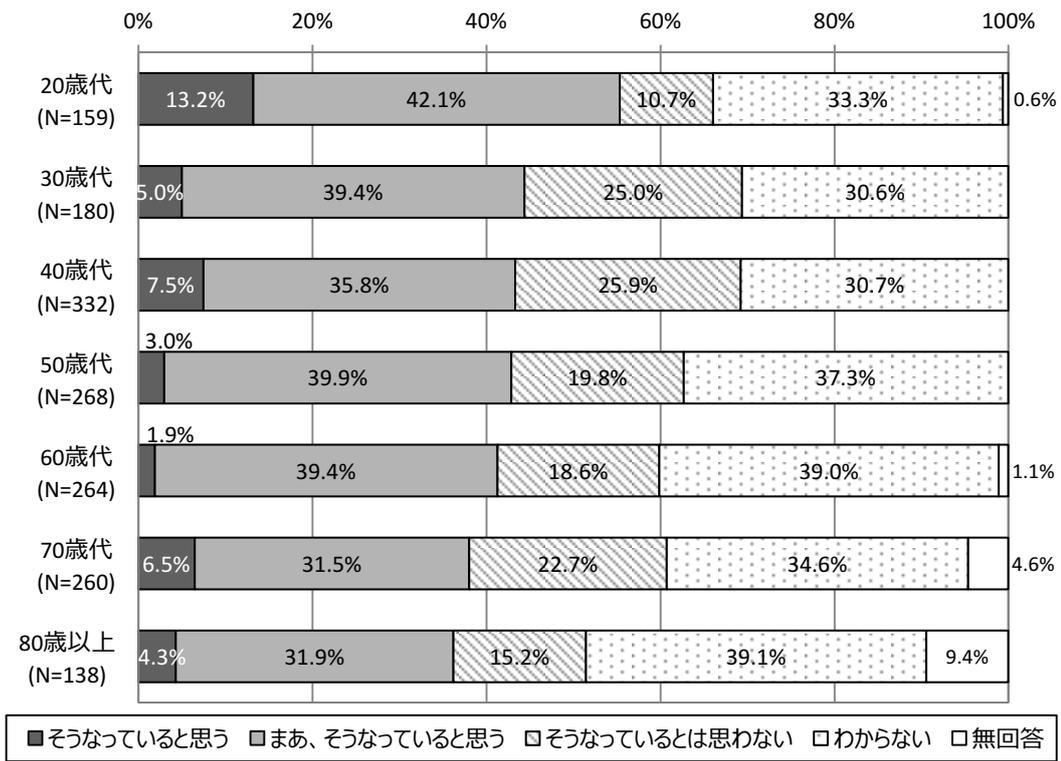
【満足度と重要度からみた施策の評価】



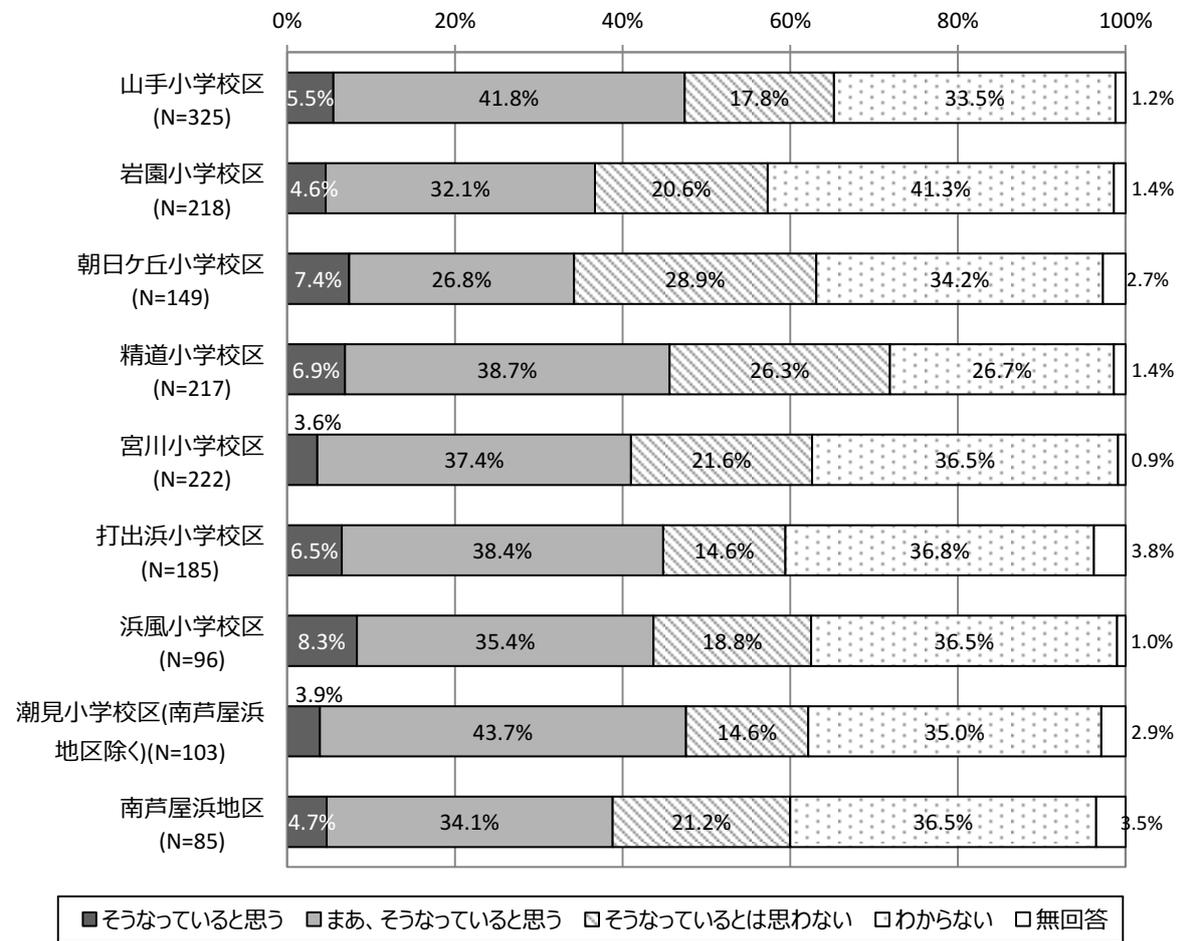
○女性で肯定的な回答、男性では否定的な意見がやや多くなっている。



○20歳代で肯定的意見の比率が高く、年齢が高くなるにつれ、低下する傾向にある。



○朝日ヶ丘小学校区で肯定的意見の比率が低く、また、精道小学校区とともに否定的意見の比率が高くなっている。

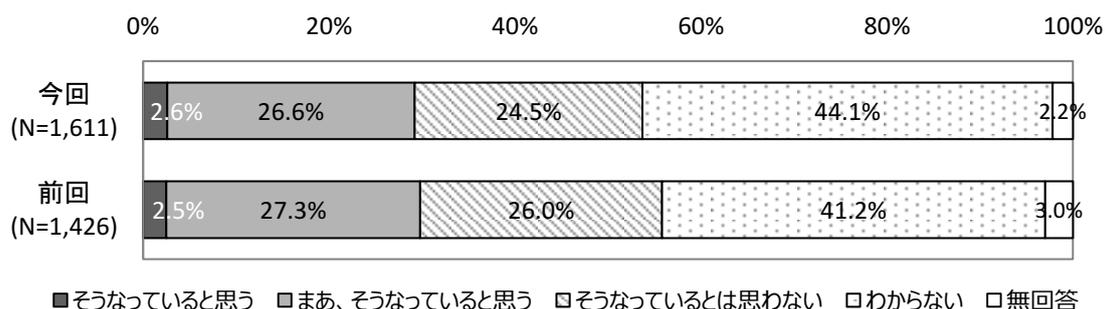


⑦ 男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている

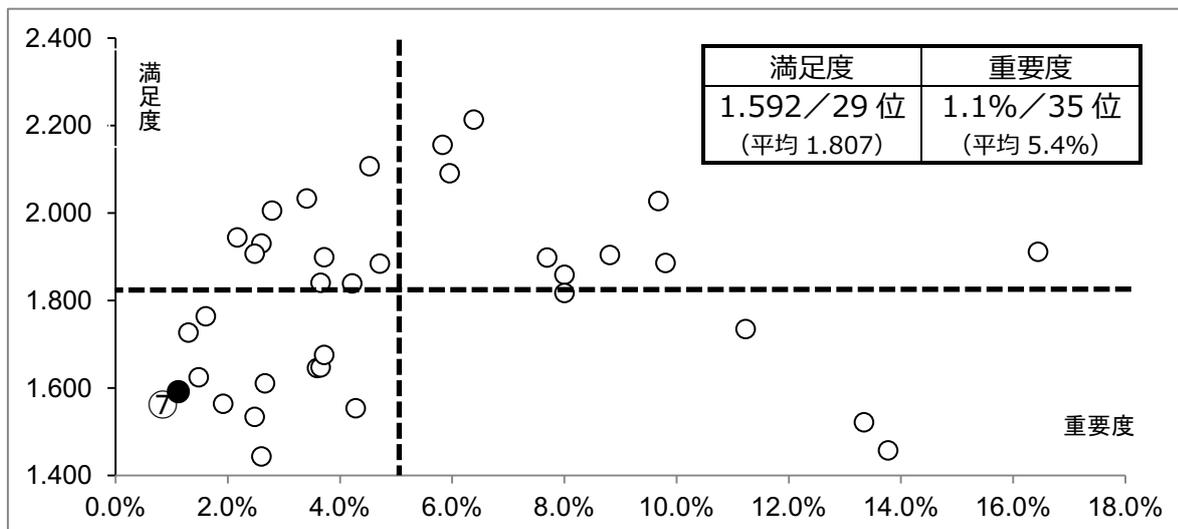
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	3-2-1	性別による固定的な役割分担意識の解消などにより、女性の社会参画を進めます。
	3-2-2	性別による人権侵害の防止、啓発に努めます。

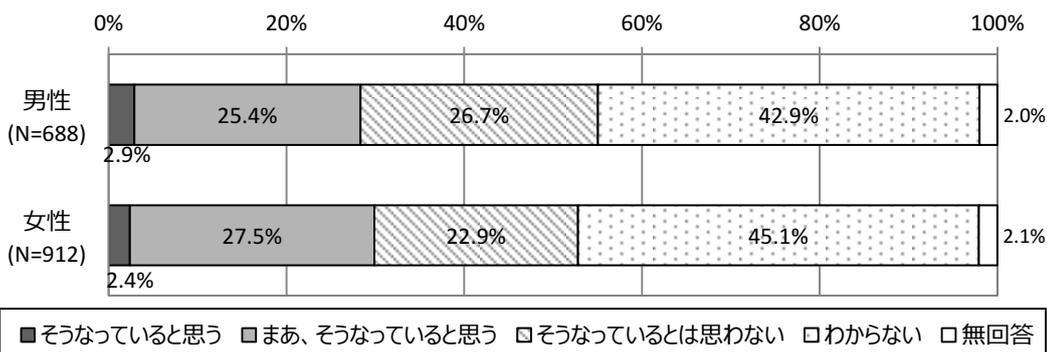
- 「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 29.2%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 24.5%である。また、「わからない」の比率が高い。
- 満足度、重要度とも低位に位置している。
- 前回との比較で大きな変化はみられない。



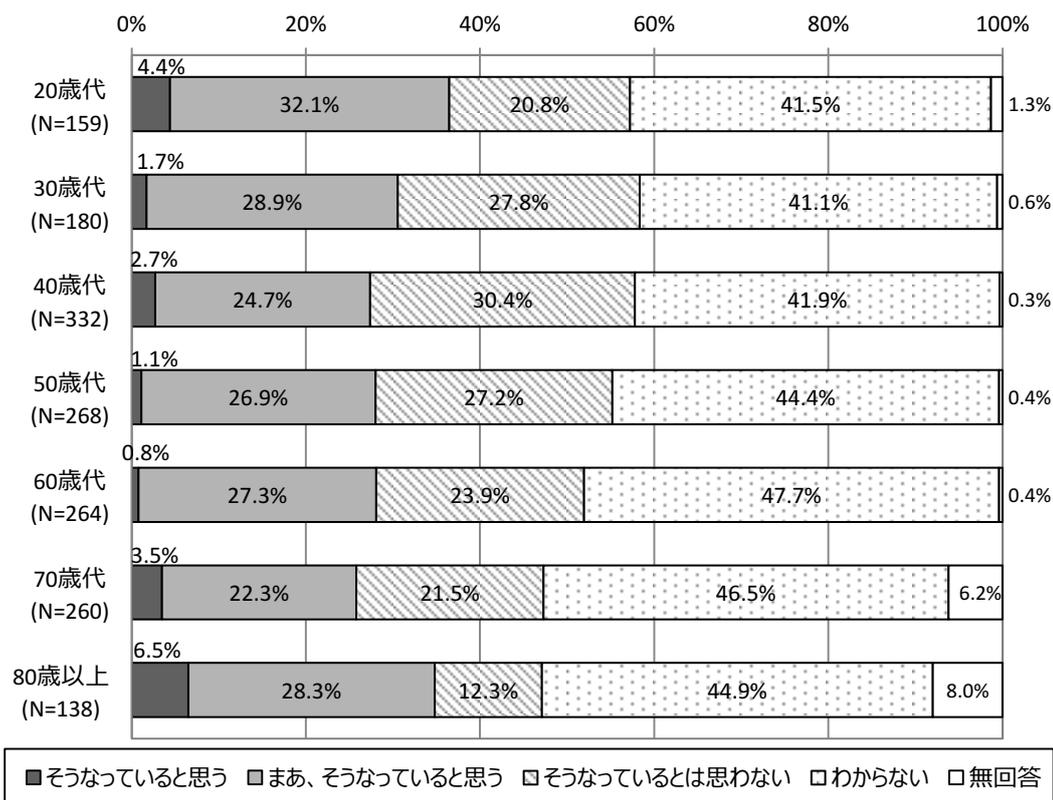
【満足度と重要度からみた施策の評価】



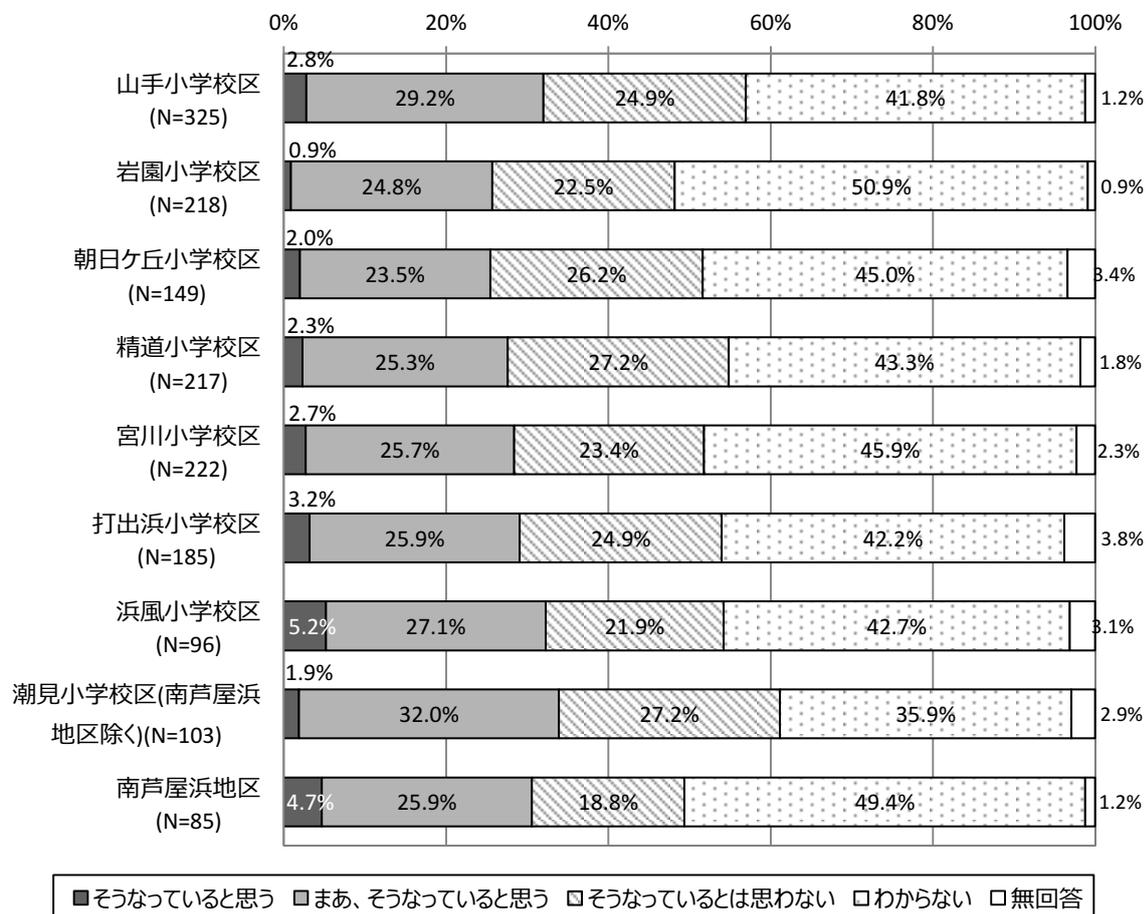
○性別では、統計的に有意な差はない。



○肯定的な回答の比率は20歳代、80歳代で高く、40～70歳代では低くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



⑧ 子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している

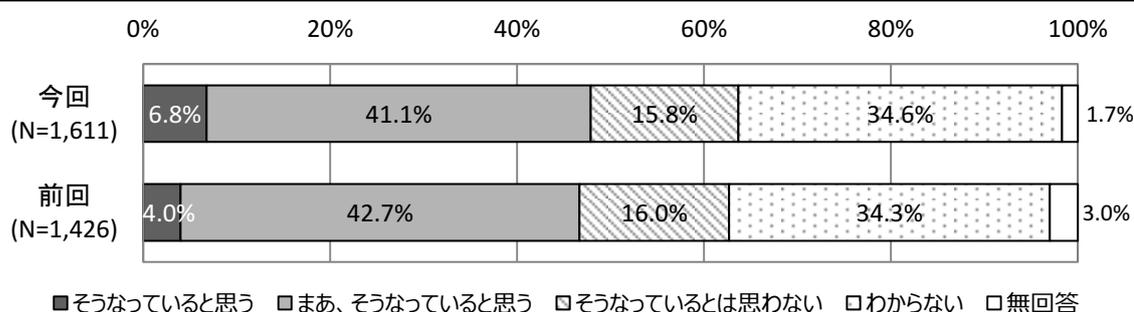
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	4-1-1	就学前の子どもの健やかな発達を保障する教育・保育を提供します。
	4-1-2	子どもたちの学習意欲の向上と学力の定着を図る指導を充実します。
	4-1-3	子どもたちが命や人権を大切にする「豊かな心」と、「健やかな体」をバランスよく身に付けられるよう取り組みます。
	4-1-4	教職員の専門性及び指導力の向上に取り組みます。
	4-1-5	心やすらぐ充実した教育環境の整備を計画的に進めます。

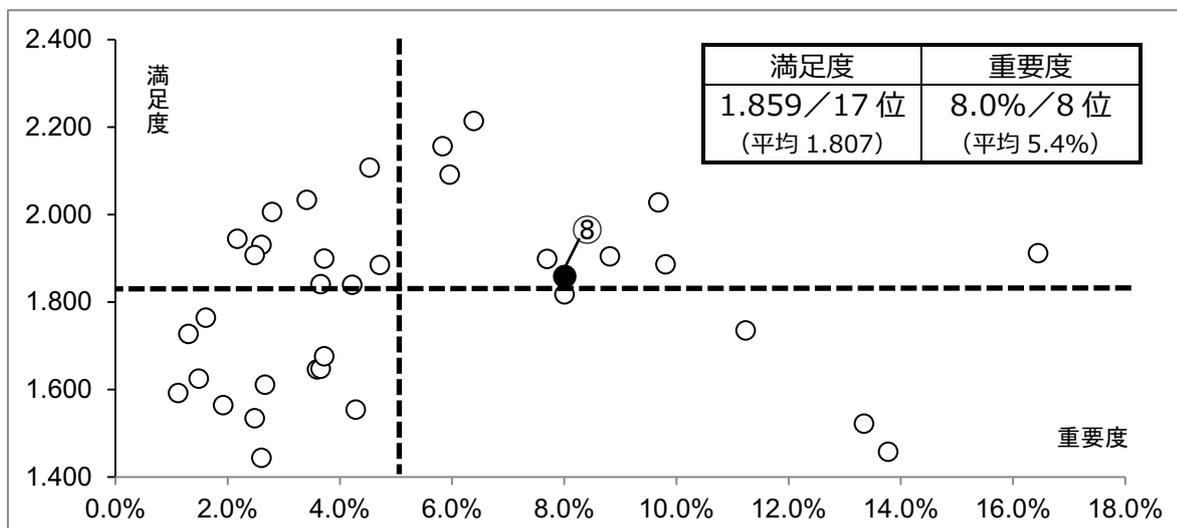
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は47.9%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は15.8%となっている。

○満足度は中位、重要度は上位に位置している。

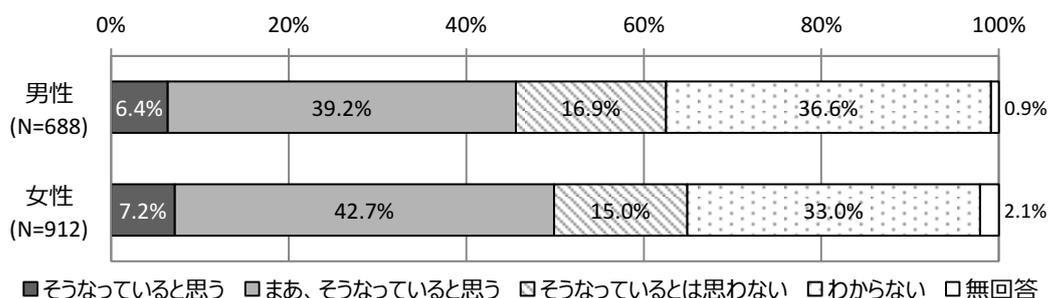
○前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、打出浜小学校区で肯定的意見の比率が11.8ポイント上がっている。



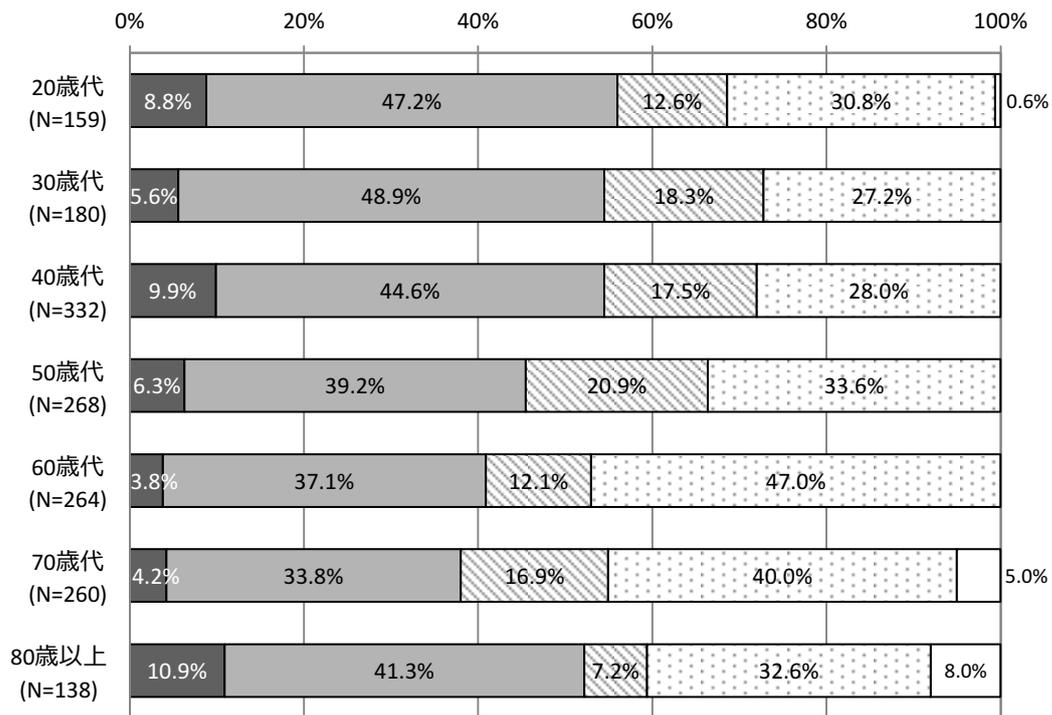
【満足度と重要度からみた施策の評価】



○女性で肯定的な回答がやや多いが、統計的に有意な差はない。

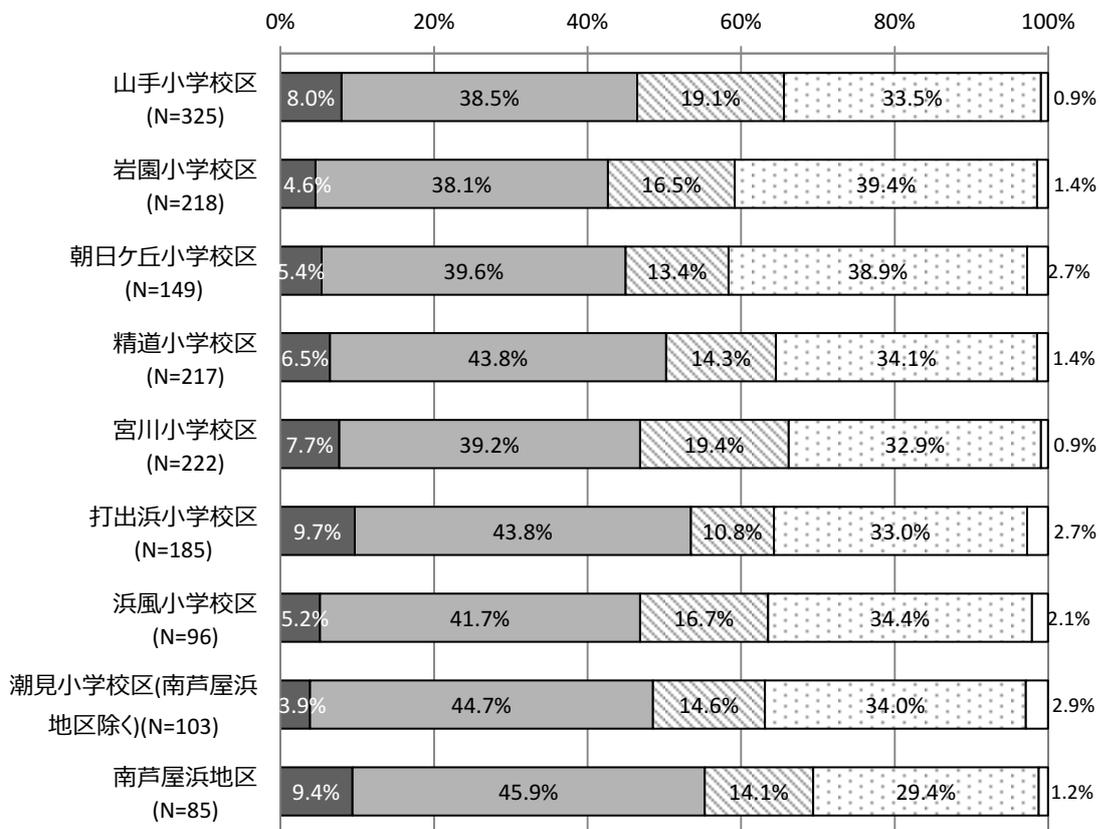


○肯定的な回答の比率は40歳代以下の若い世代で高く、60～70歳代では低くなっている。



■そうになっていると思う □まあ、そうになっていると思う □そうになっているとは思わない □わからない □無回答

○地区別では、統計的に有意な差はない。



■そうになっていると思う □まあ、そうになっていると思う □そうになっているとは思わない □わからない □無回答

⑨ 青少年が社会で自立するための力を身につけている

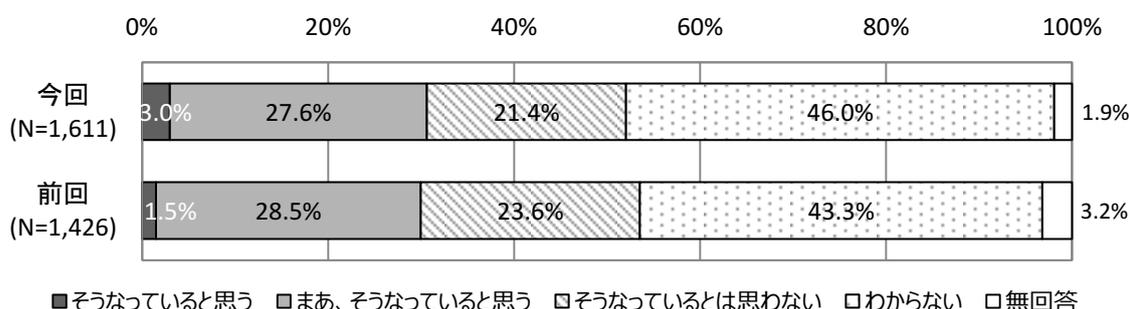
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	4-2-1	子ども・若者が将来の夢や希望を持てるよう支援します。
	4-2-2	困難を有する子ども・若者を支援します。
	4-2-3	子ども・若者の健やかな育成に努めます。

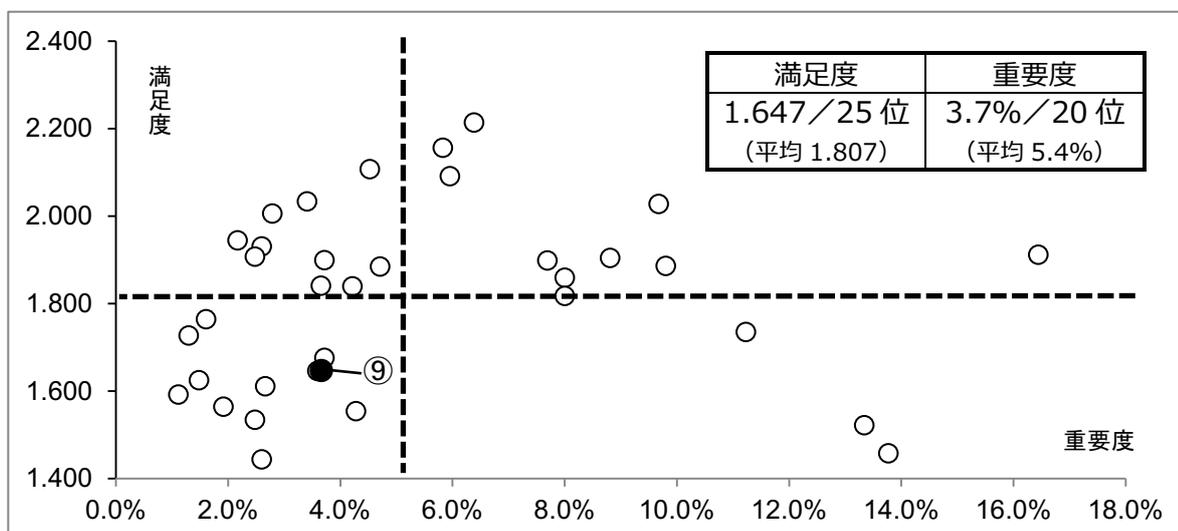
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 30.7%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 21.4%となっている。

○満足度は低位、重要度は中位に位置している。

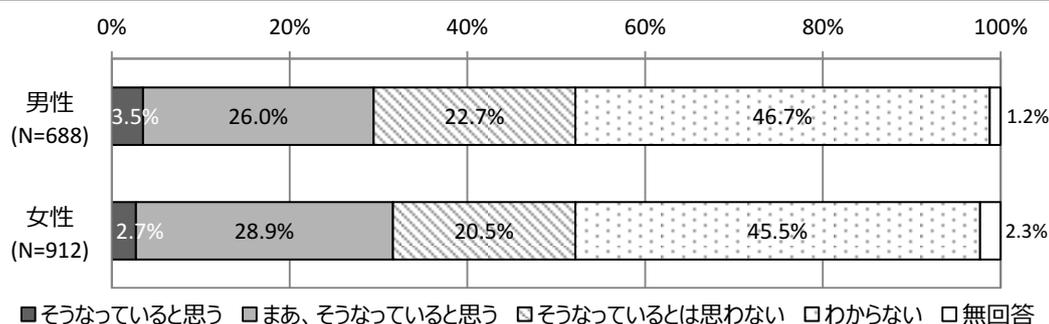
○前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、肯定的意見の比率が年代別の 20 歳代で 10.2 ポイント、地区別の潮見小学校区で 10.9 ポイント上がっている。



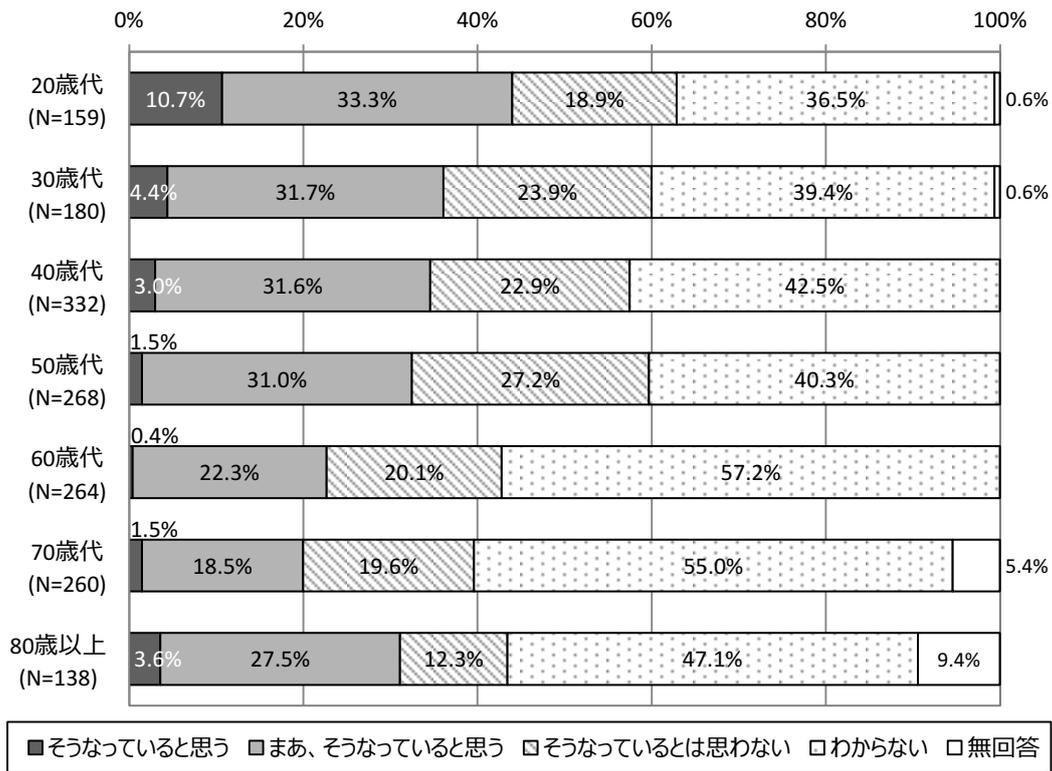
【満足度と重要度からみた施策の評価】



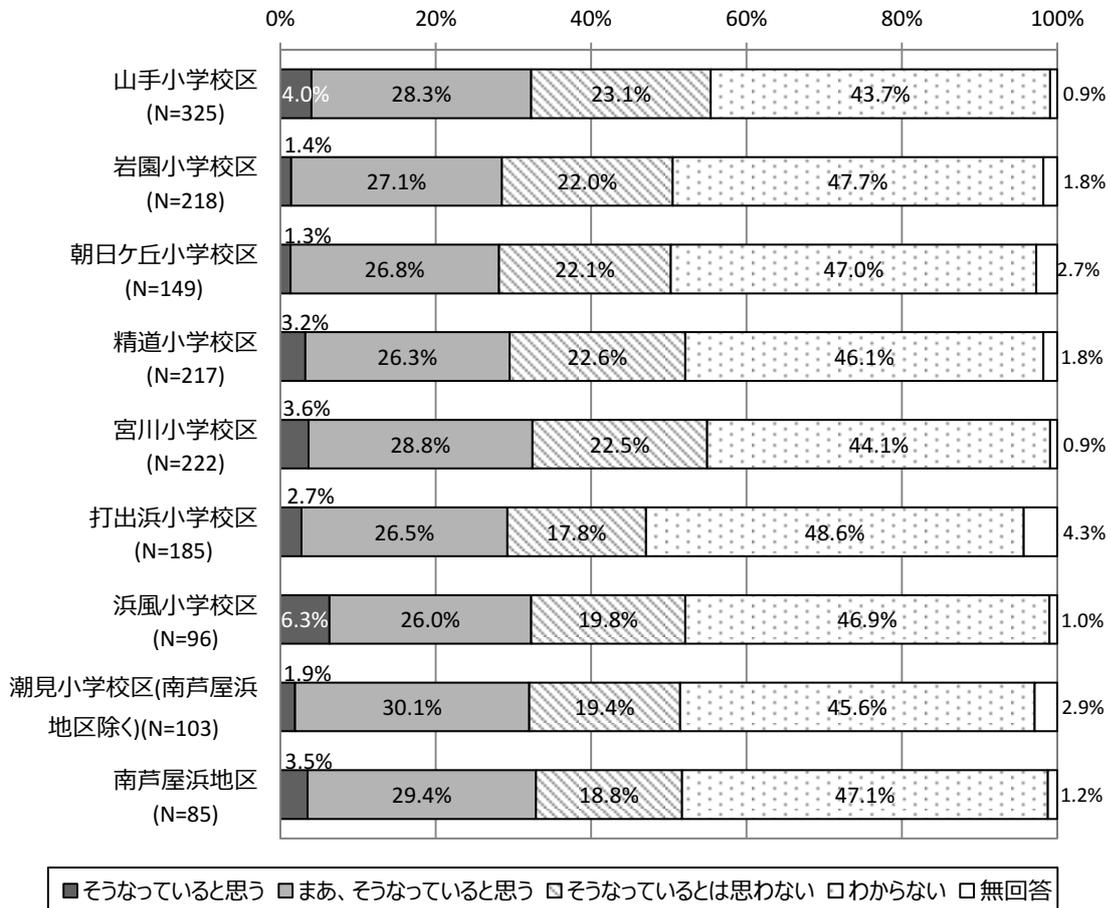
○性別では、統計的に有意な差はない。



○20歳代をはじめ若い層ほど肯定的な回答の比率が高く、60～70歳代では低くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



⑩ 学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている

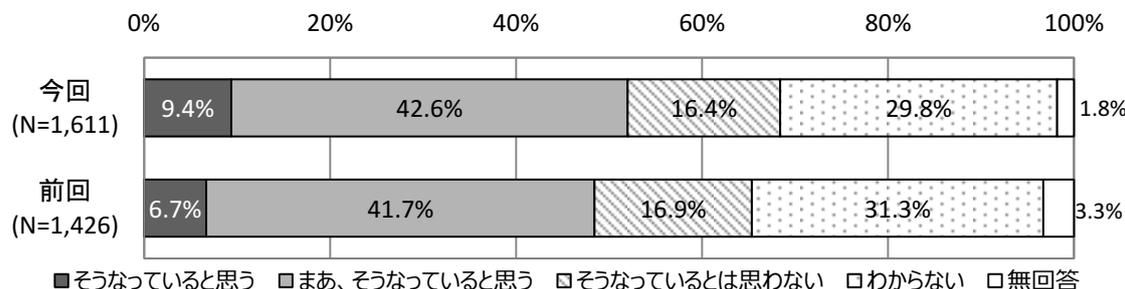
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	4-3-1	学校園・家庭・地域が連携し相互協力のもと、子どもたちの学びを支えます。
	4-3-2	地域と連携した子どもたちの居場所づくりの充実を図ります。
	4-3-2	地域と連携して子どもたちの安全確保を図ります。

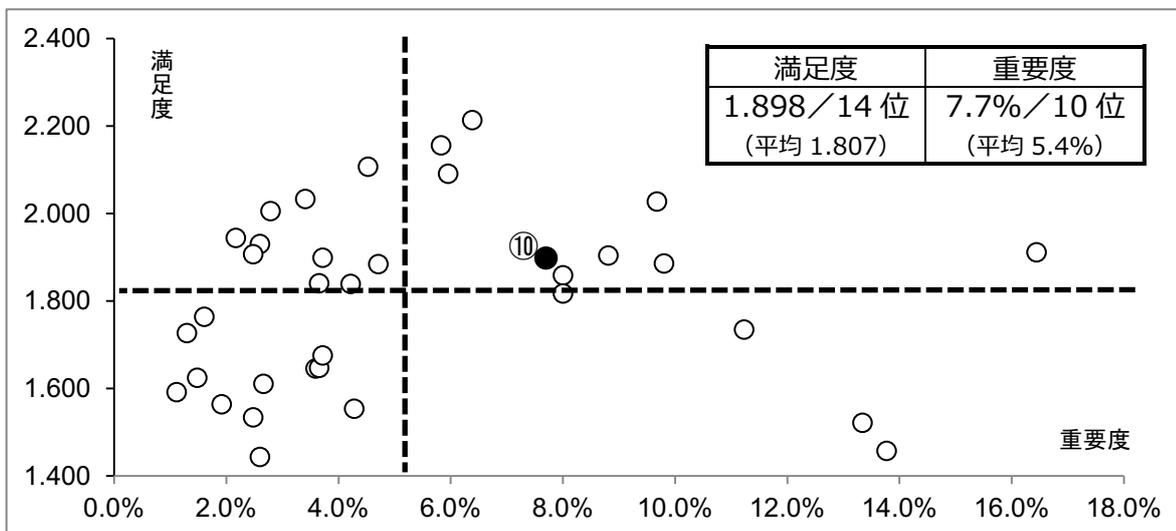
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 52.0%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 16.4%となっている。

○満足度は中位、重要度は上位に位置している。

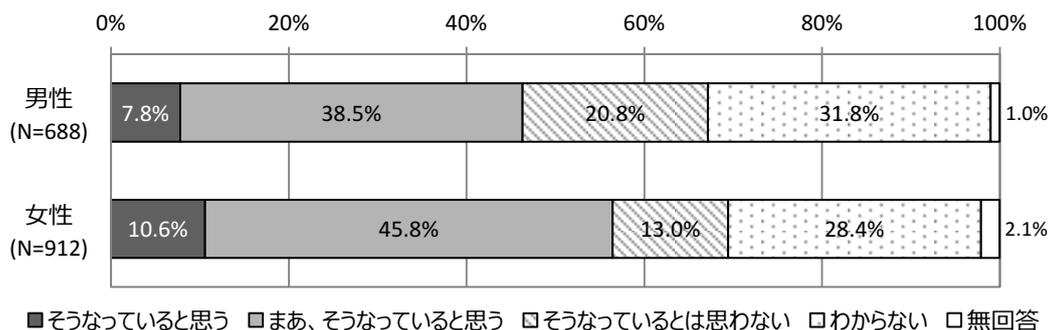
○前回との比較では、肯定的意見の比率が上がっており、特に潮見小学校区 (+10.0 ポイント) で顕著である。



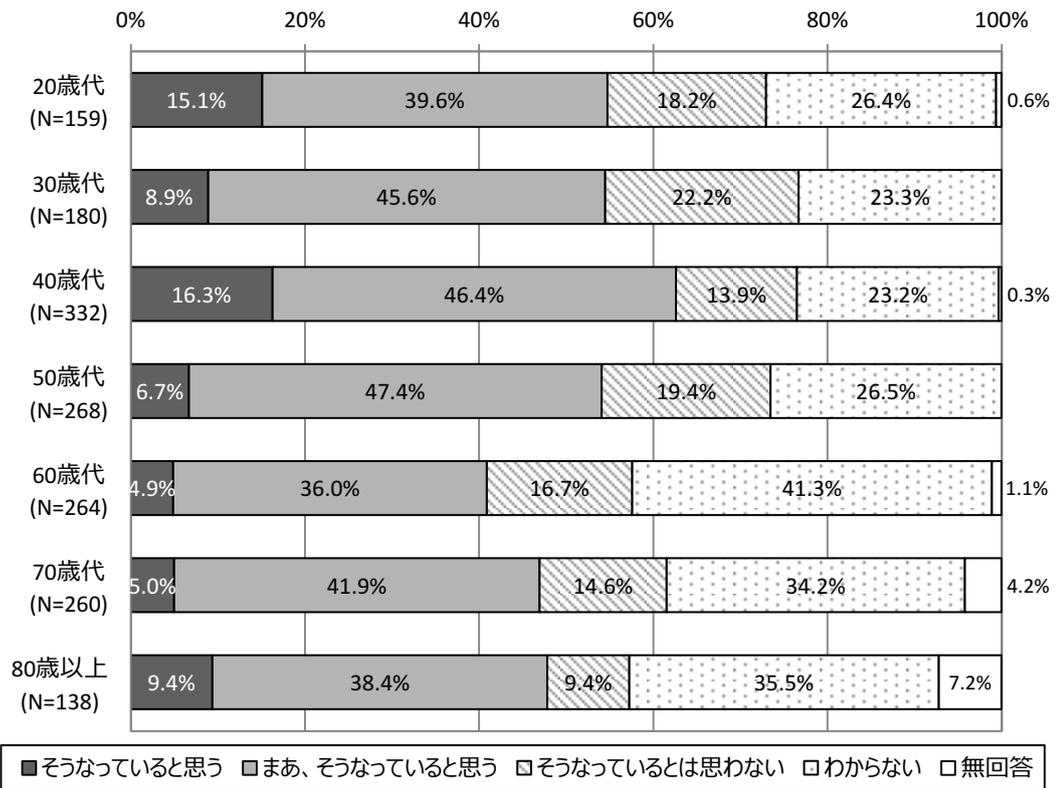
【満足度と重要度からみた施策の評価】



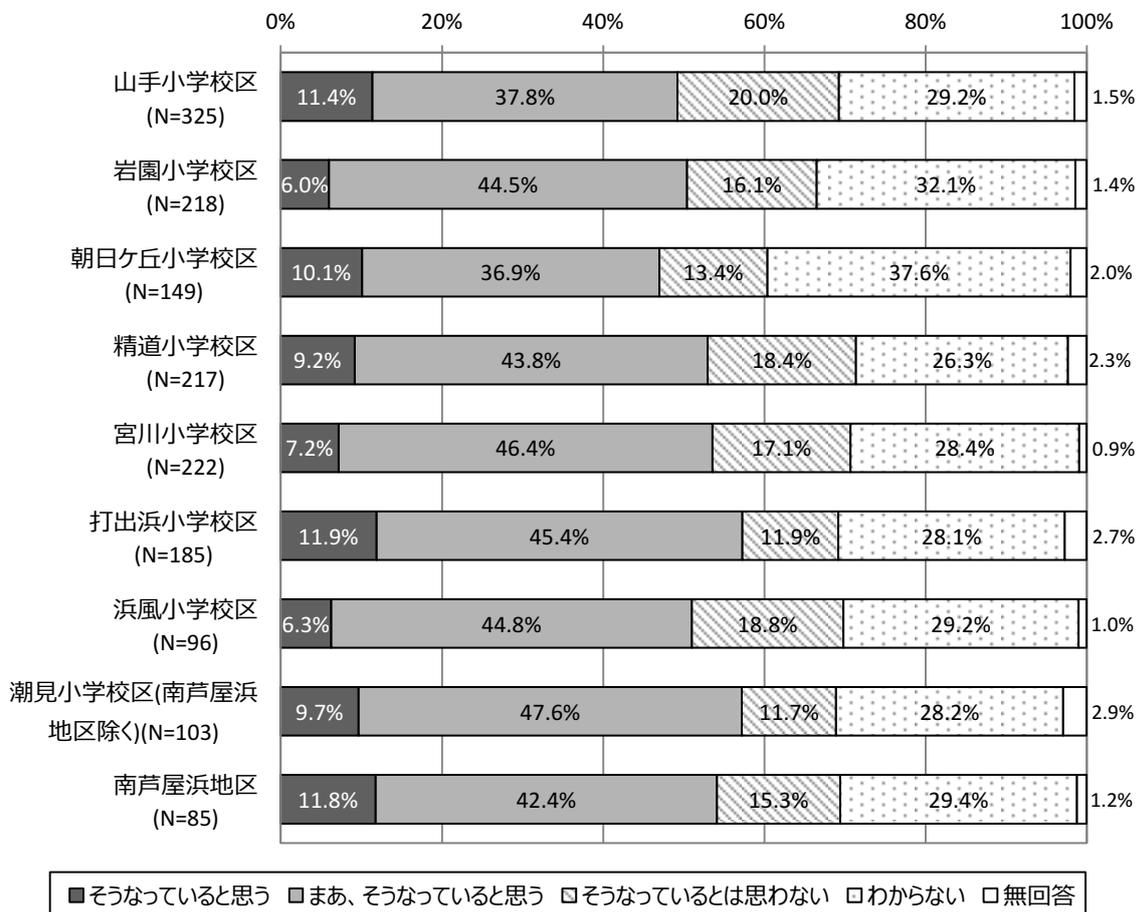
○女性で肯定的な回答、男性で否定的な回答が多くなっている。



○40歳代を中心に若い層で肯定的な回答が多い一方、60～70歳代では「そうなっていると思う」の比率が低い。また、60歳代で「わからない」の比率が高い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

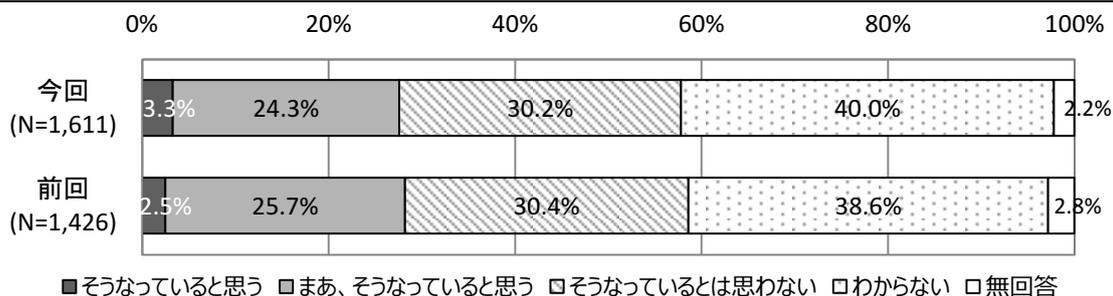


⑪ 世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている

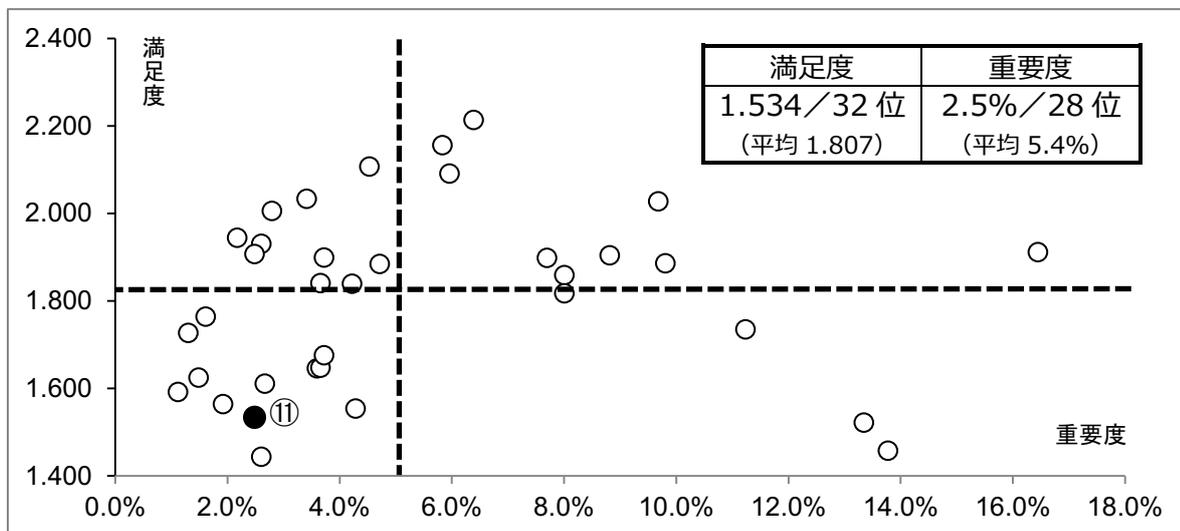
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	5-1-1	地域で子育てについて交流，相談しやすい環境を整えます。
	5-1-2	妊娠・出産期から子育て中の家庭における切れ目のない支援を実施します。
	5-1-3	ひとり親家庭や要保護家庭の自立や支援に努めます。

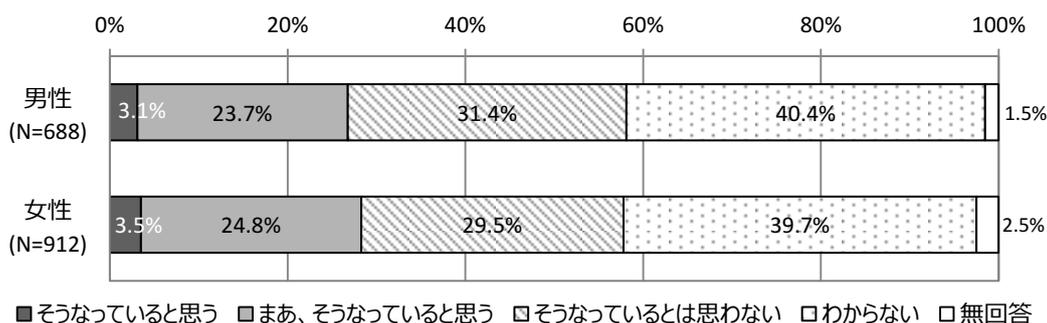
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 27.6%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 30.2%となっている。「わからない」が 40.0%を占めている。
 ○満足度，重要度とも低位に位置している。
 ○前回との比較では，全体で大きな変化はみられないが，20 歳代で肯定的意見の比率が 11.7 ポイント上がっている。一方，浜風小学校区では肯定的意見の比率が 10.6 ポイント下がっている。



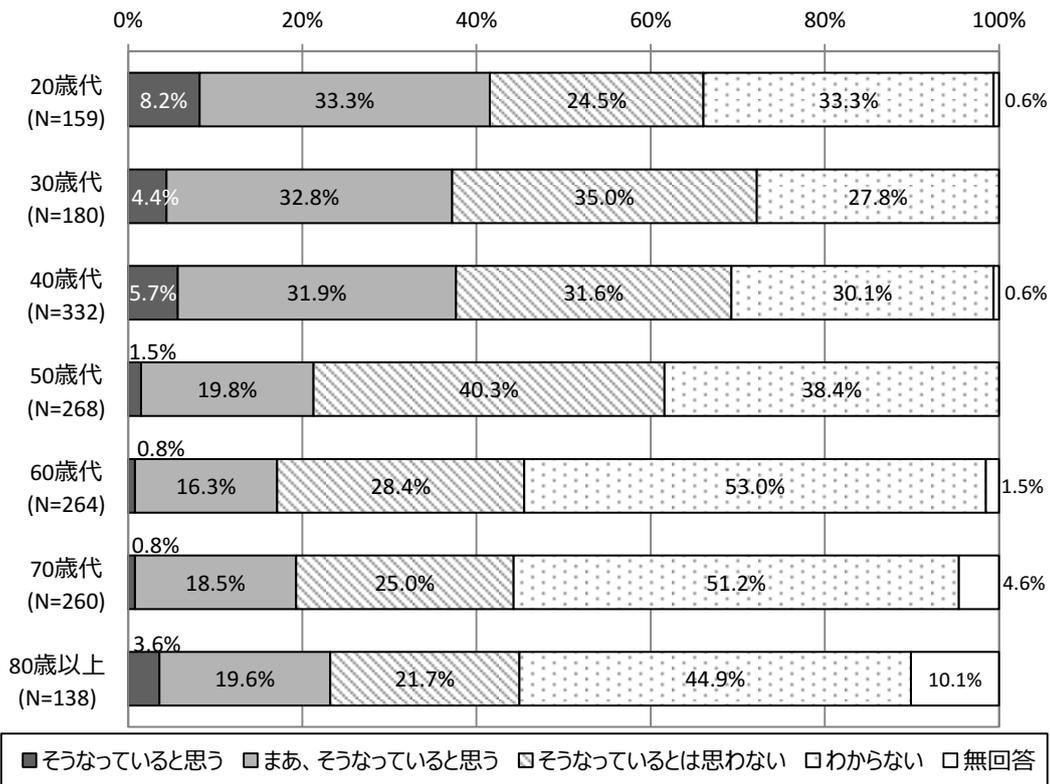
【満足度と重要度からみた施策の評価】



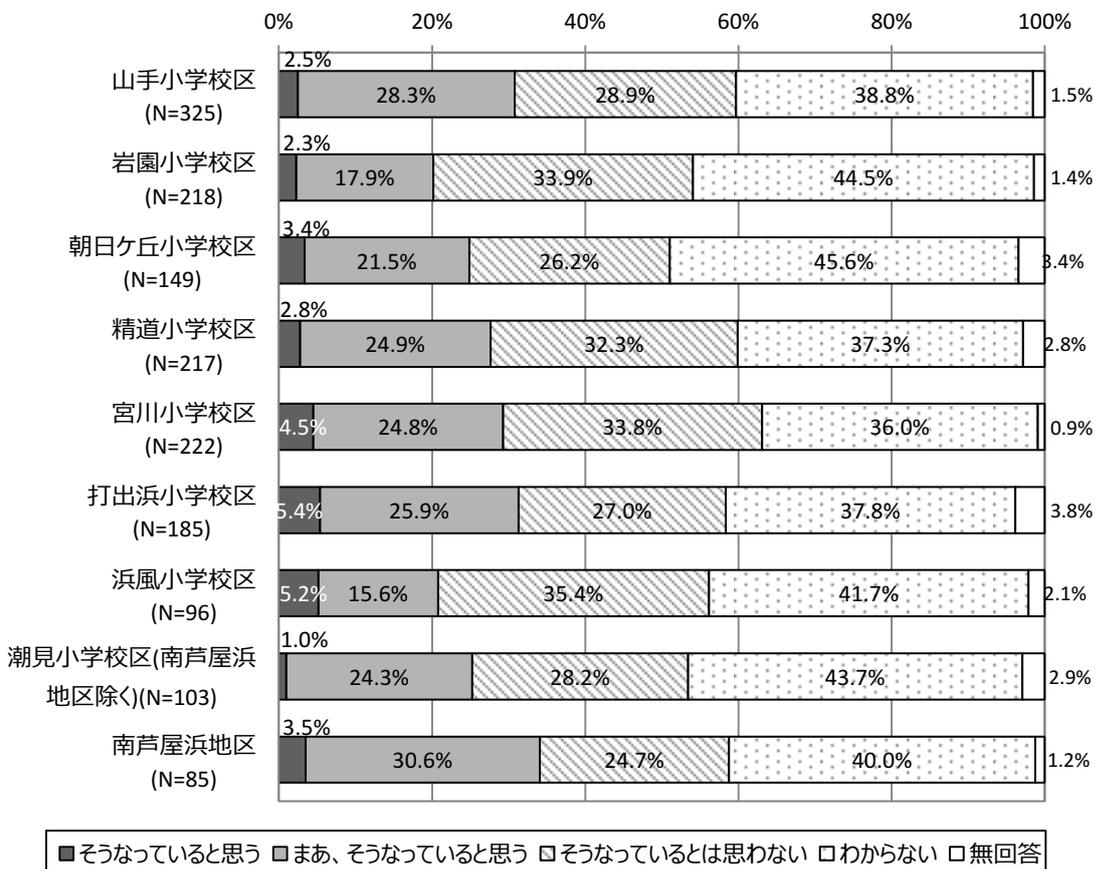
○性別では，統計的に有意な差はない。



○20～40歳代と50歳代以上で回答傾向に大きく差があり、若い世代ほど肯定的な回答が多い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



⑫ 子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている

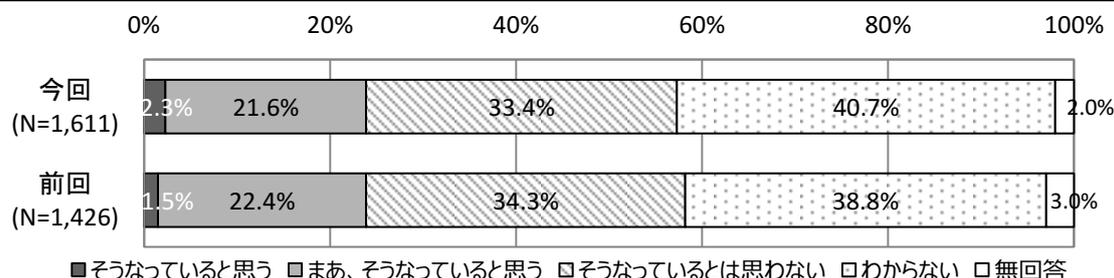
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	5-2-1	必要とするときに適切で良質な保育サービスを提供します。
	5-2-2	子育てと仕事を両立しやすい社会環境づくりに努めます。

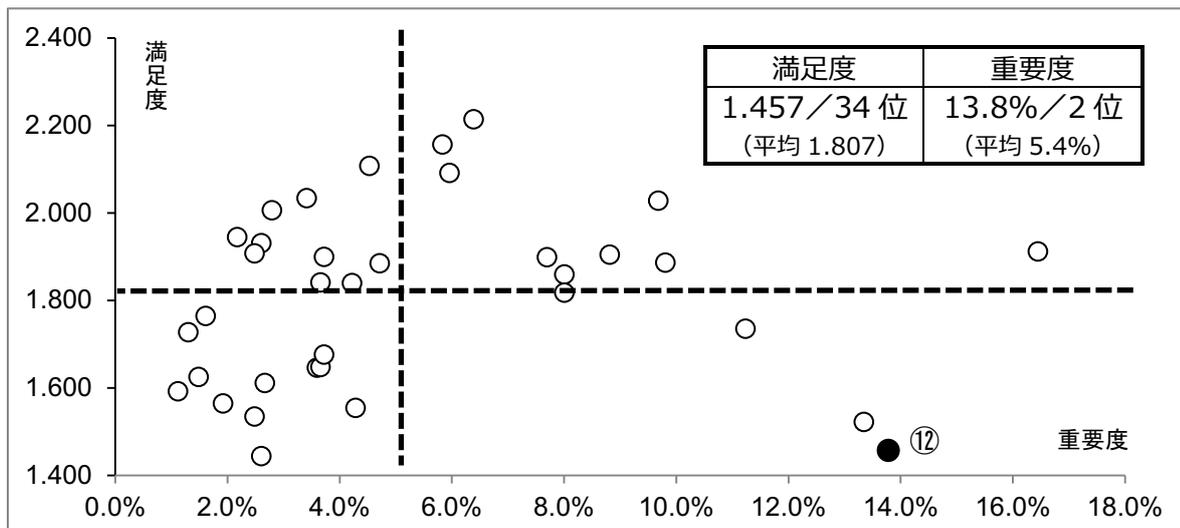
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 23.9%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 33.4%となっている。「わからない」が 40.7%を占めている。

○満足度が低位にある一方、重要度は 2 位に位置し、緊急度が高い分野と考えられる。

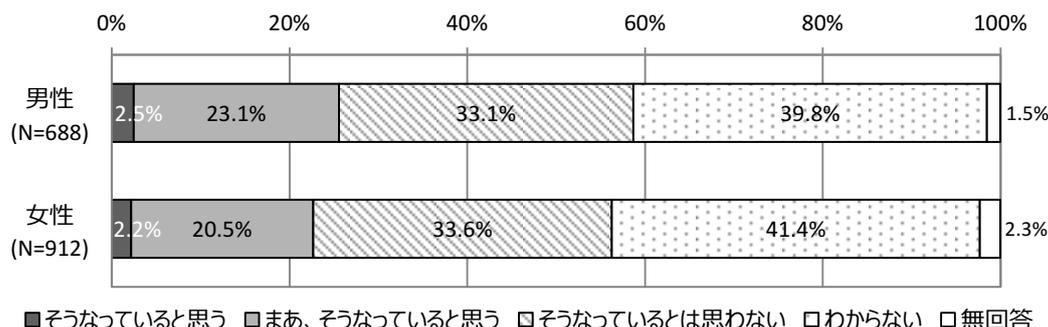
○前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、肯定的な意見の比率が 20 歳代 (+13.9 ポイント) 及び南芦屋浜地区 (+10.2 ポイント) で上がっている。また、朝日ヶ丘小学校区では否定的意見の比率が 13.0 ポイント下がっている。



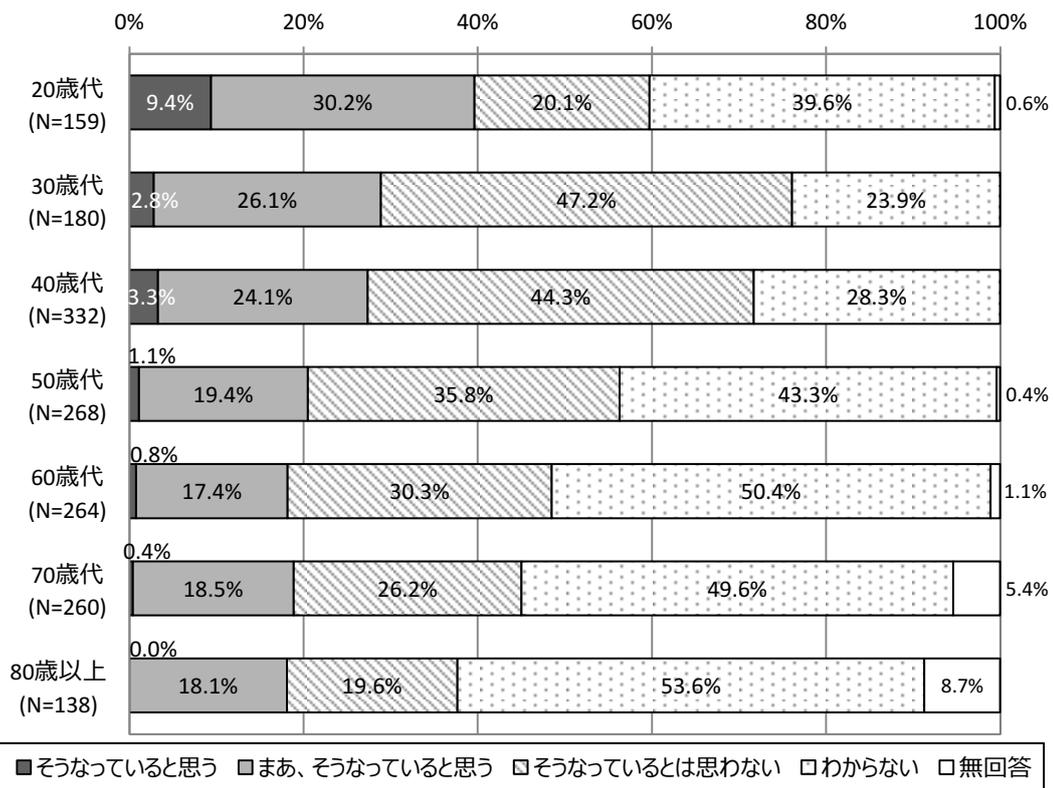
【満足度と重要度からみた施策の評価】



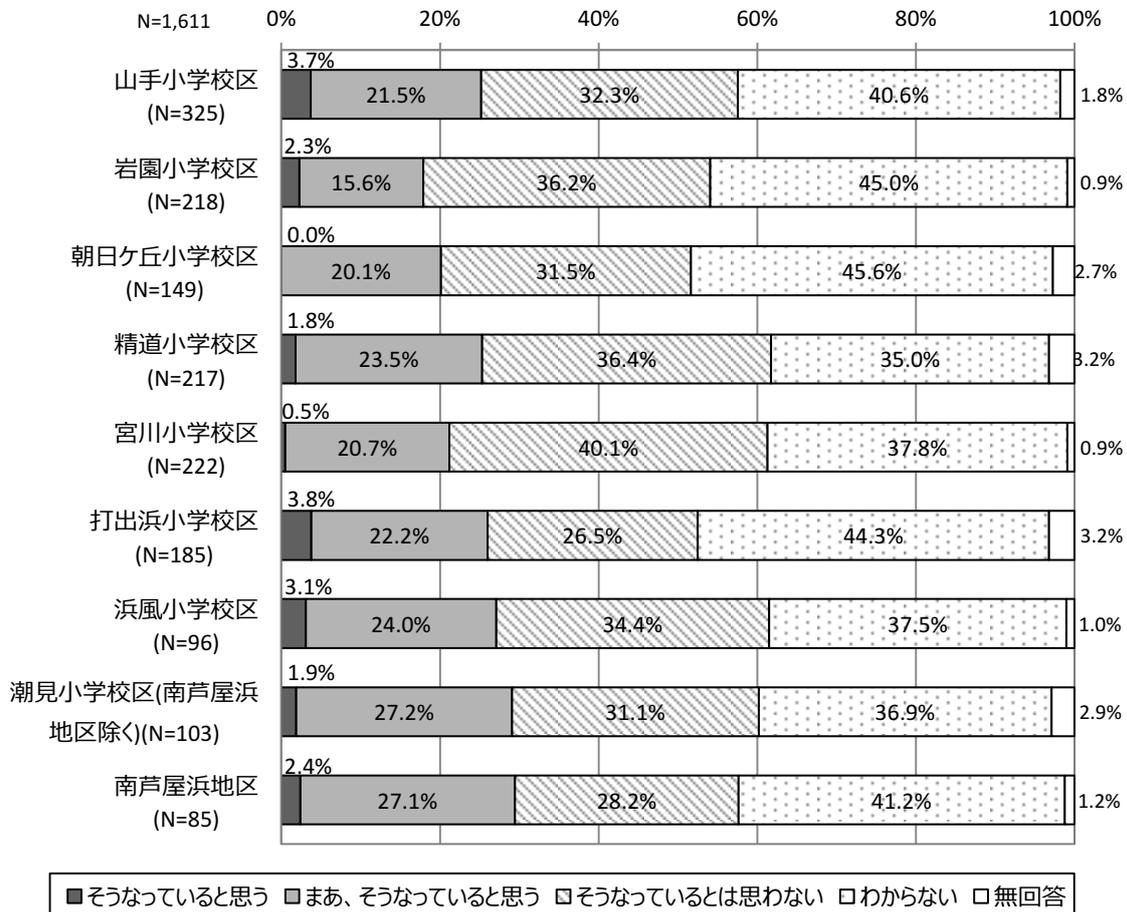
○性別では、統計的に有意な差はない。



○子育て層の中心である 30～40 歳代で否定的な回答の比率が高くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

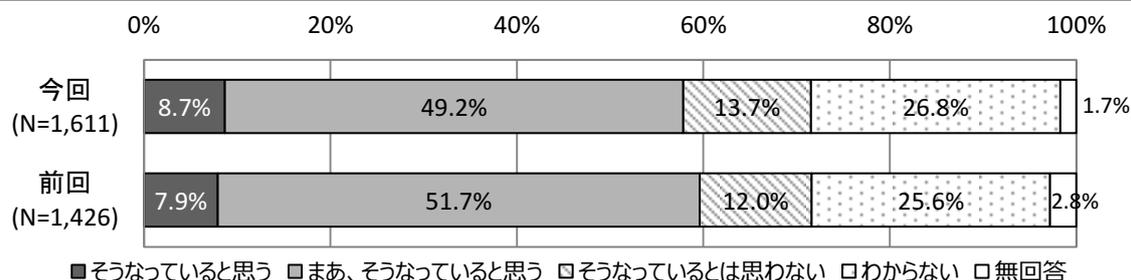


⑬ 市民が健康づくりに取り組んでいる

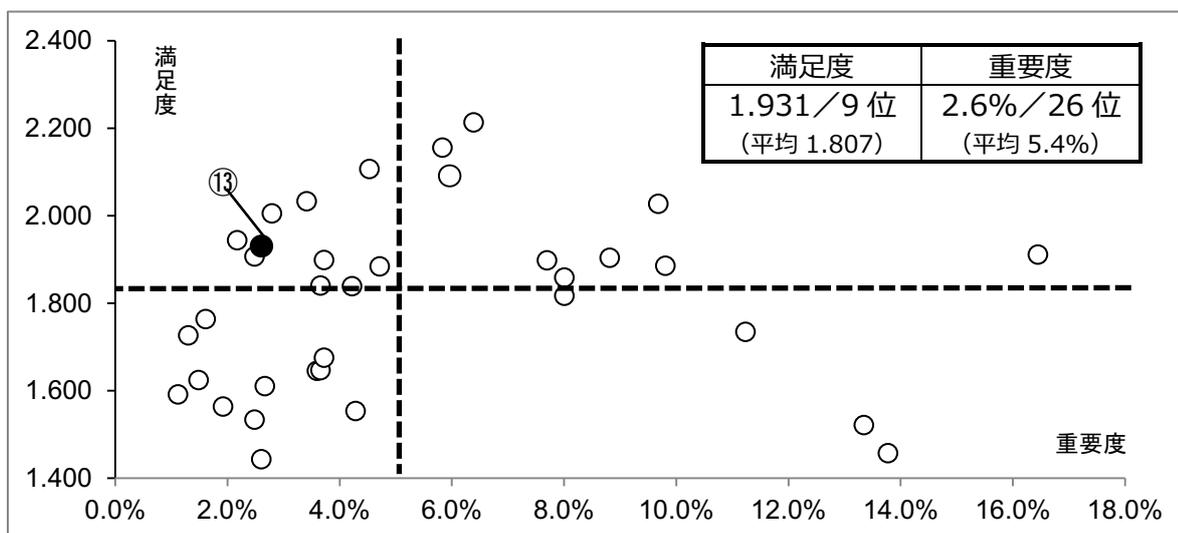
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	6-1-1	定期的な健診の受診や予防接種を促進します。
	6-1-2	ライフステージに応じた正しい食習慣を身につけられるよう啓発します。
	6-1-3	こころの健康について、関係機関と連携し支援します。

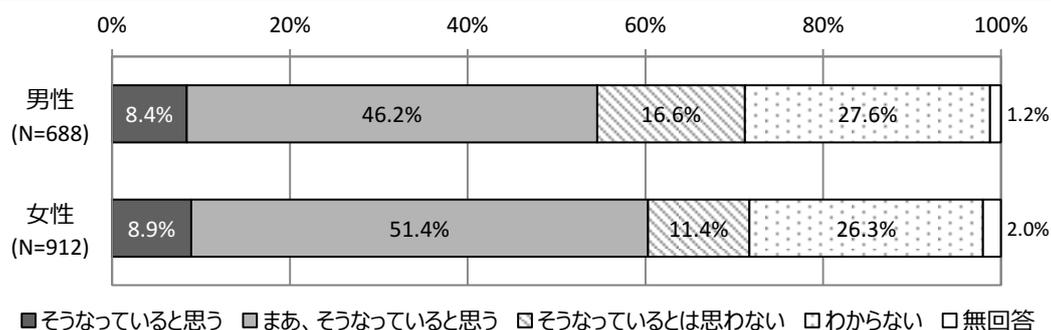
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 57.9%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 13.7%となっている。
 ○満足度は上位、重要度は下位に位置している。
 ○前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、南芦屋浜地区で肯定的意見の比率が 10.9ポイント上がっている。



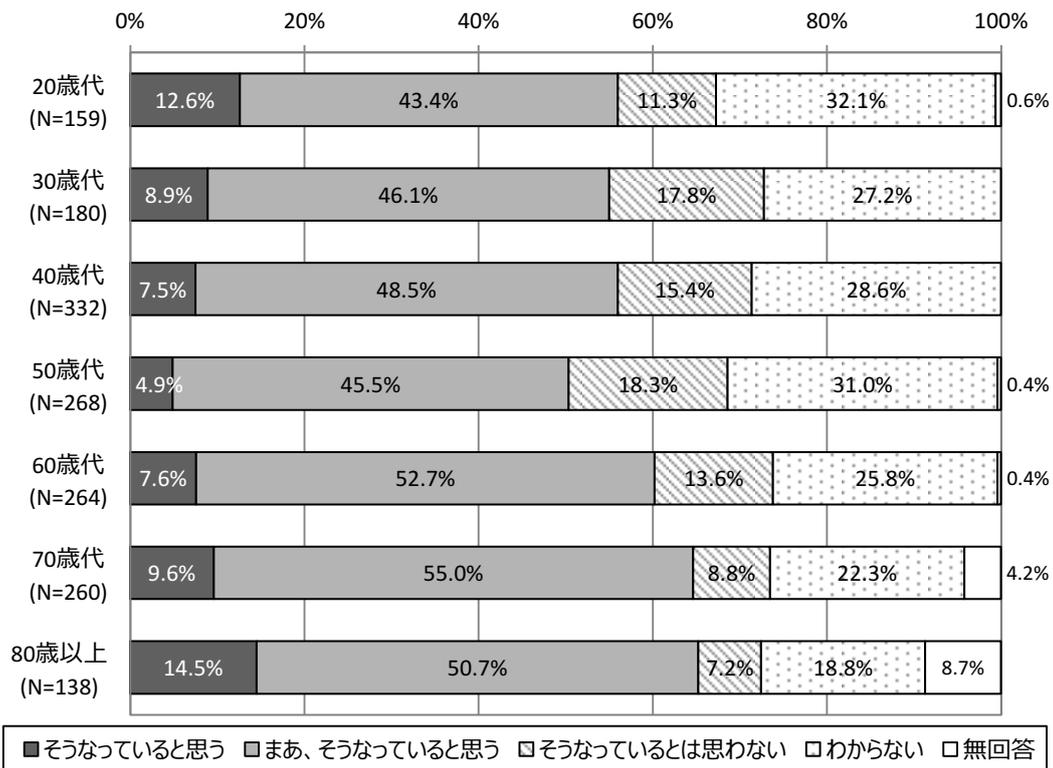
【満足度と重要度からみた施策の評価】



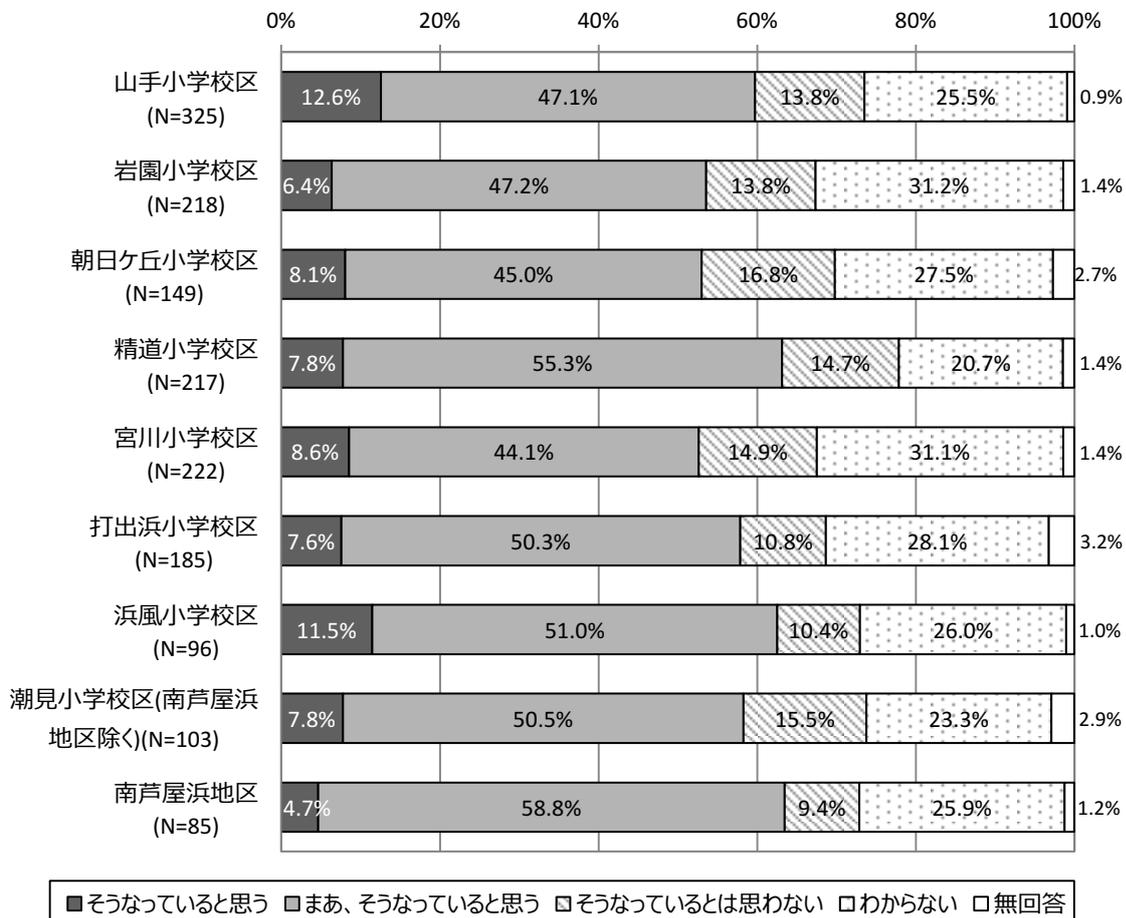
○女性で肯定的意見、男性で否定的意見が多くなっている。



○70歳代以上で肯定的な回答が多くなる一方、50歳代で肯定的な回答の比率が低くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

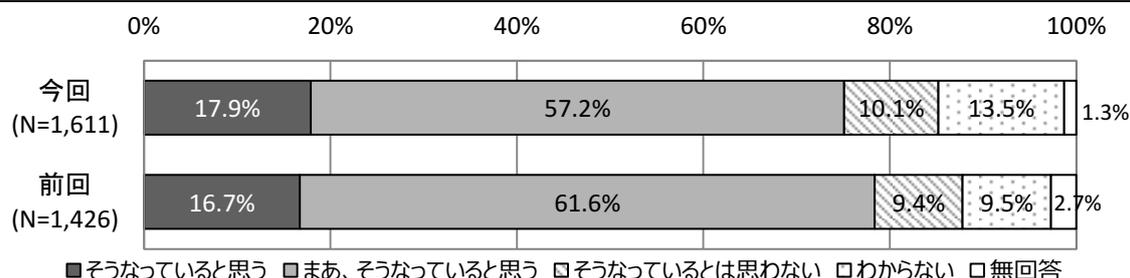


⑭ 市民が適切な診療を受けられる

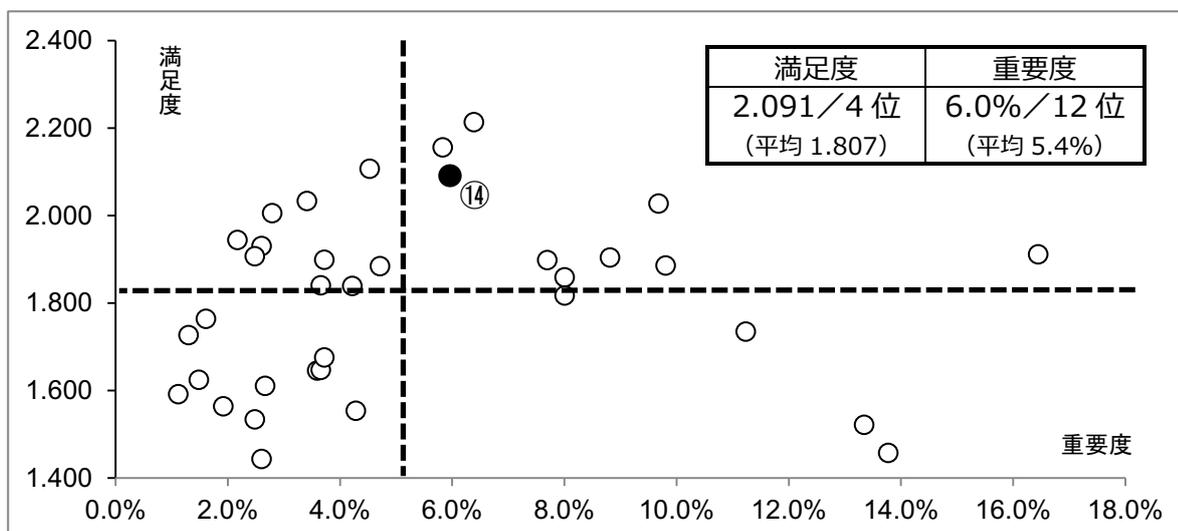
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	6-2-1	市立芦屋病院と地域の医療機関が連携して、安心できる地域医療を提供します。
	6-2-2	救急救命活動の充実を図り、市民が適切な診療を受けられる体制を構築します。
	6-2-2	安定的持続可能な国民健康保険制度の運営に努めます。

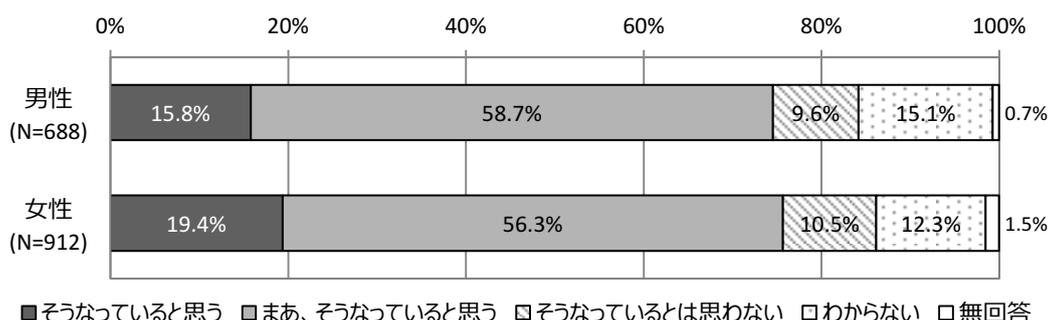
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は75.0%と高く、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は10.1%となっている。
 ○満足度は4位に、重要度は中位に位置している。
 ○前回との比較では肯定的意見の比率が下がっており、特に60歳代(-14.0ポイント)、地区では岩園小学校区(-10.3ポイント)及び朝日ヶ丘小学校区(-13.9ポイント)で顕著である。逆に南芦屋浜地区では比率が10.3ポイント上がっている。



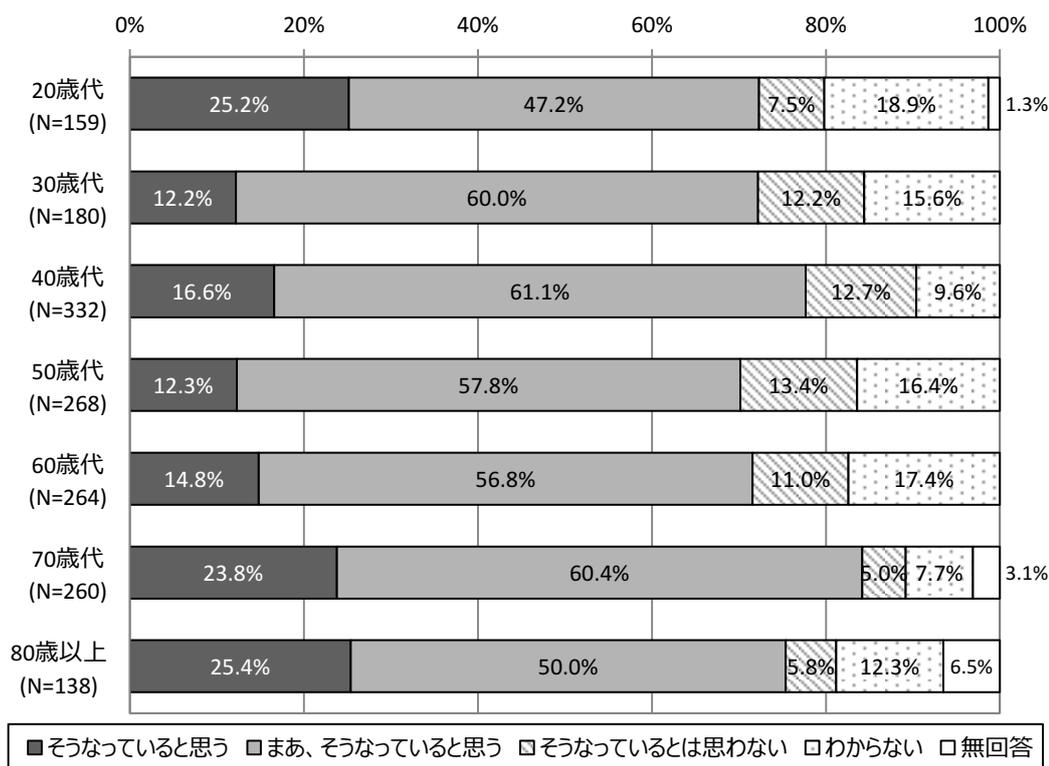
【満足度と重要度からみた施策の評価】



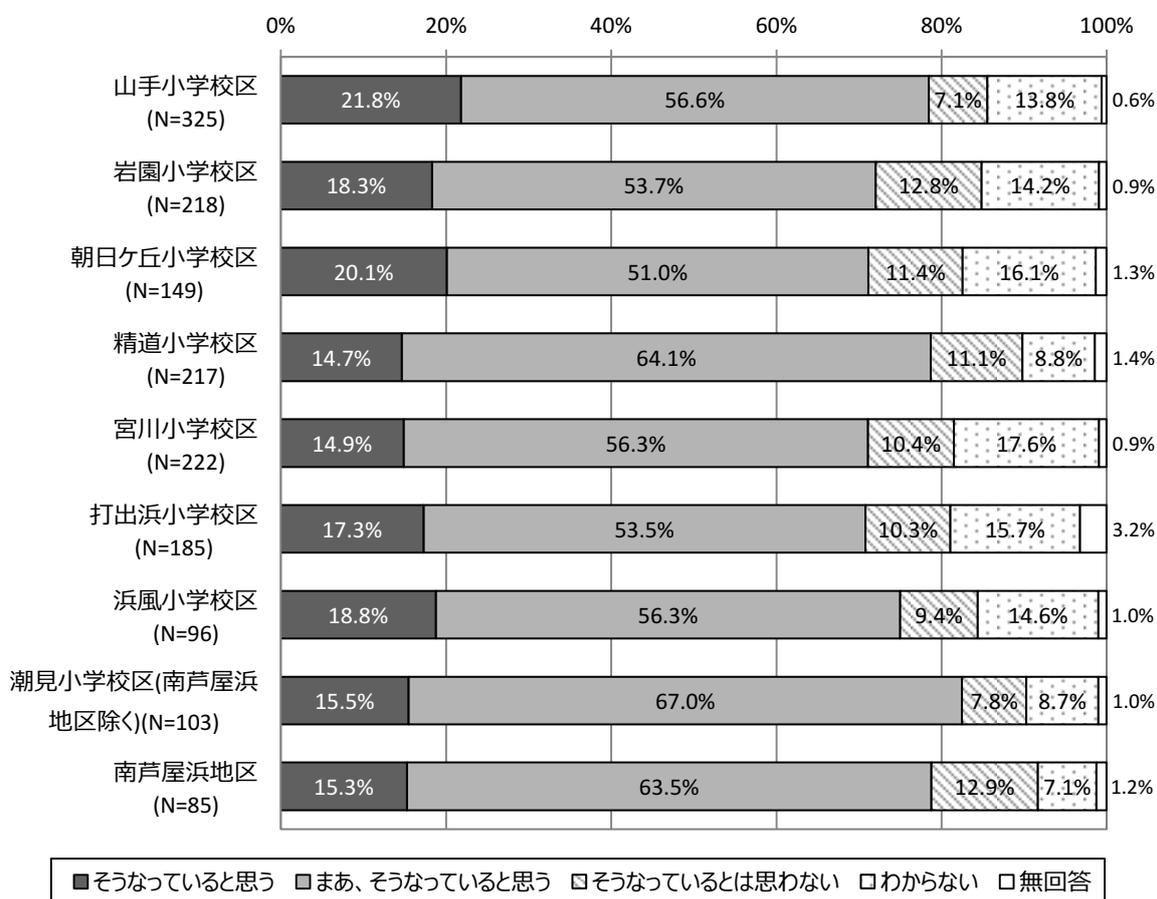
○性別では、統計的に有意な差はない。



○70歳代で肯定的な回答が80%を超えるほか、20歳代や80歳代で「そうなっていると思う」が1/4を超えるなど、各年代とも高く評価している。



○潮見小学校区で肯定的な回答が80%を超えるなど、各地区とも比較的肯定的な評価をしている。

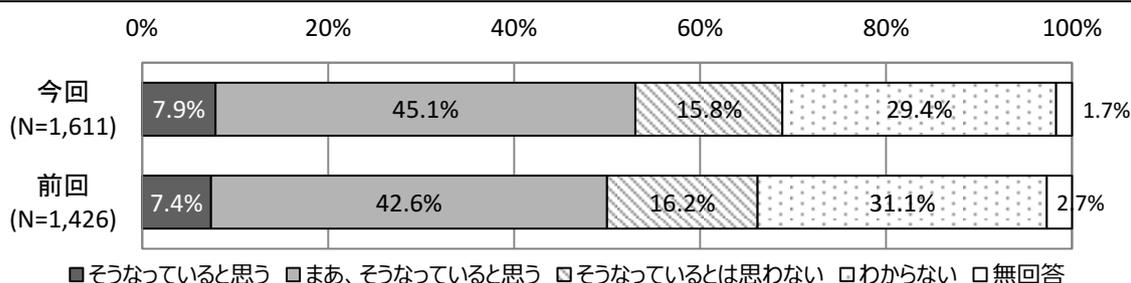


⑮ 地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している

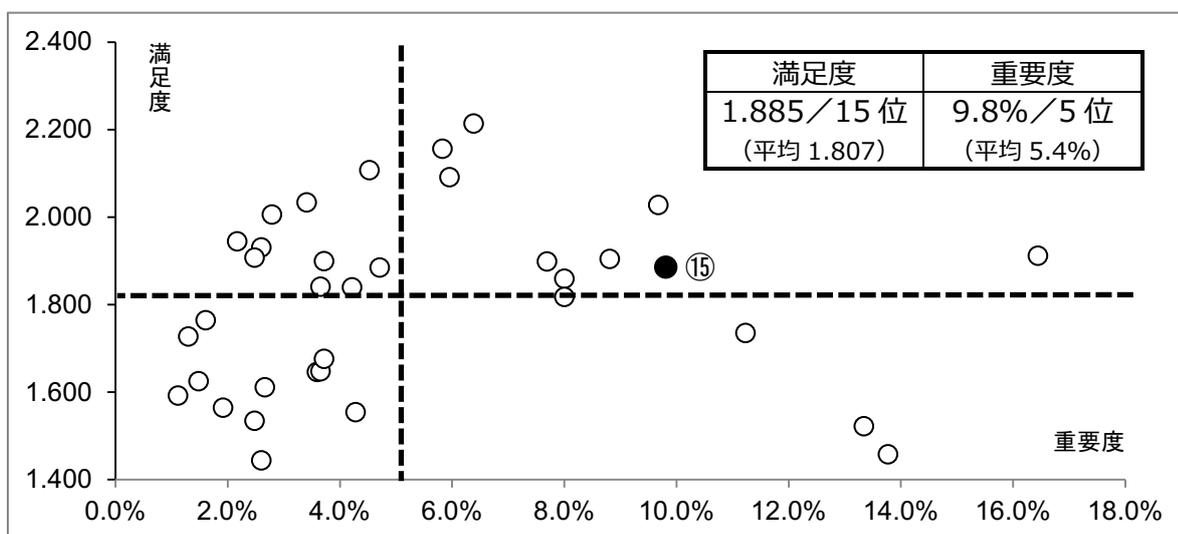
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	7-1-1	地域の住民やボランティア、自治会、民生委員・児童委員、福祉推進委員等と保健・医療・福祉との連携を充実させます。
	7-1-2	保健・医療・福祉に関する情報を分かりやすく提供します。
	7-1-3	様々な制度やサービスを連携させて、生活困窮者の自立を支援するとともに、地域からの孤立を予防します。

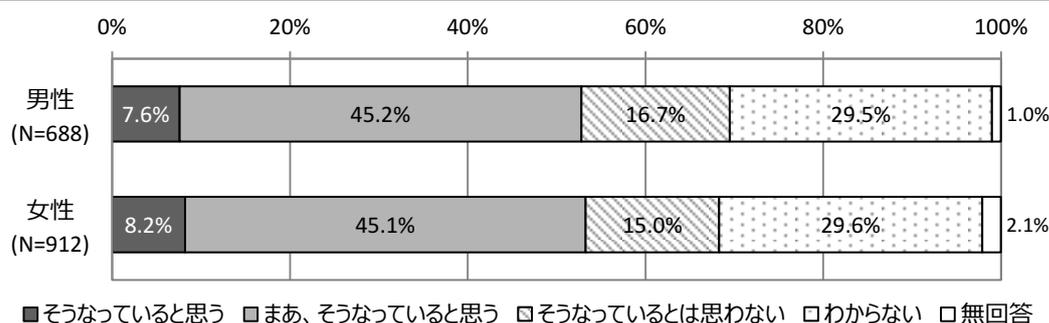
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 53.0%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 15.8%となっている。
 ○満足度は中位、重要度は 5 位に位置している。
 ○前回との比較では、肯定的意見の比率が上がっており、特に潮見小学校区 (+11.8 ポイント) で顕著である。



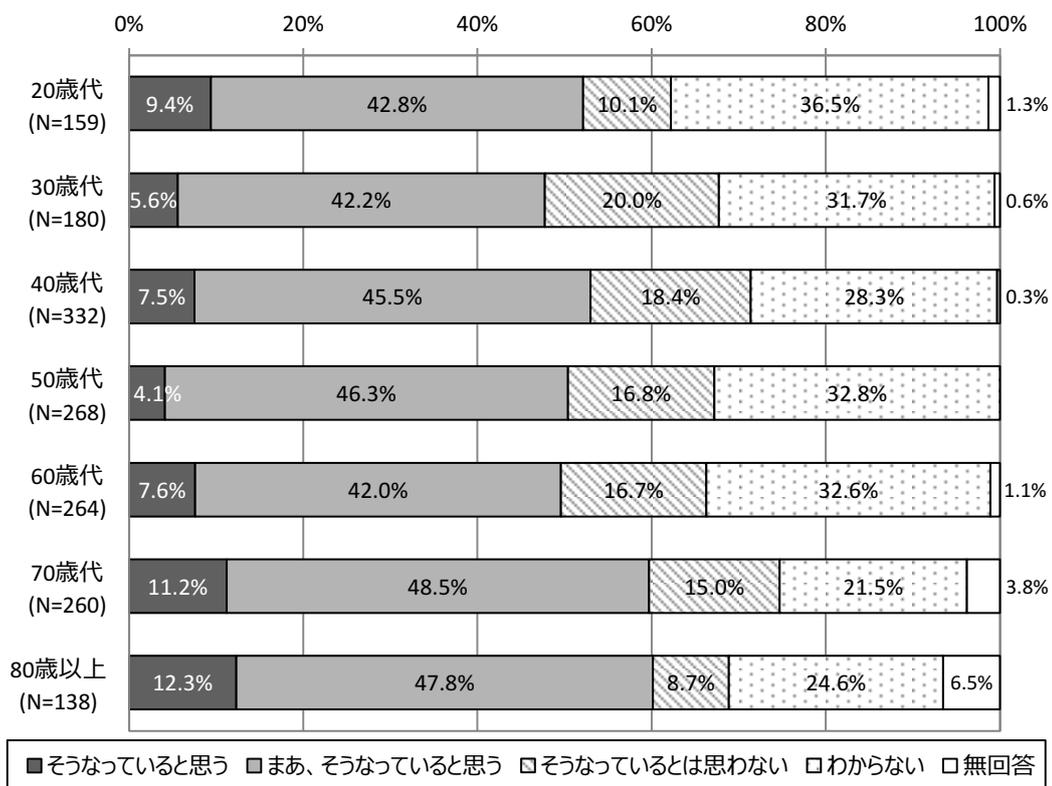
【満足度と重要度からみた施策の評価】



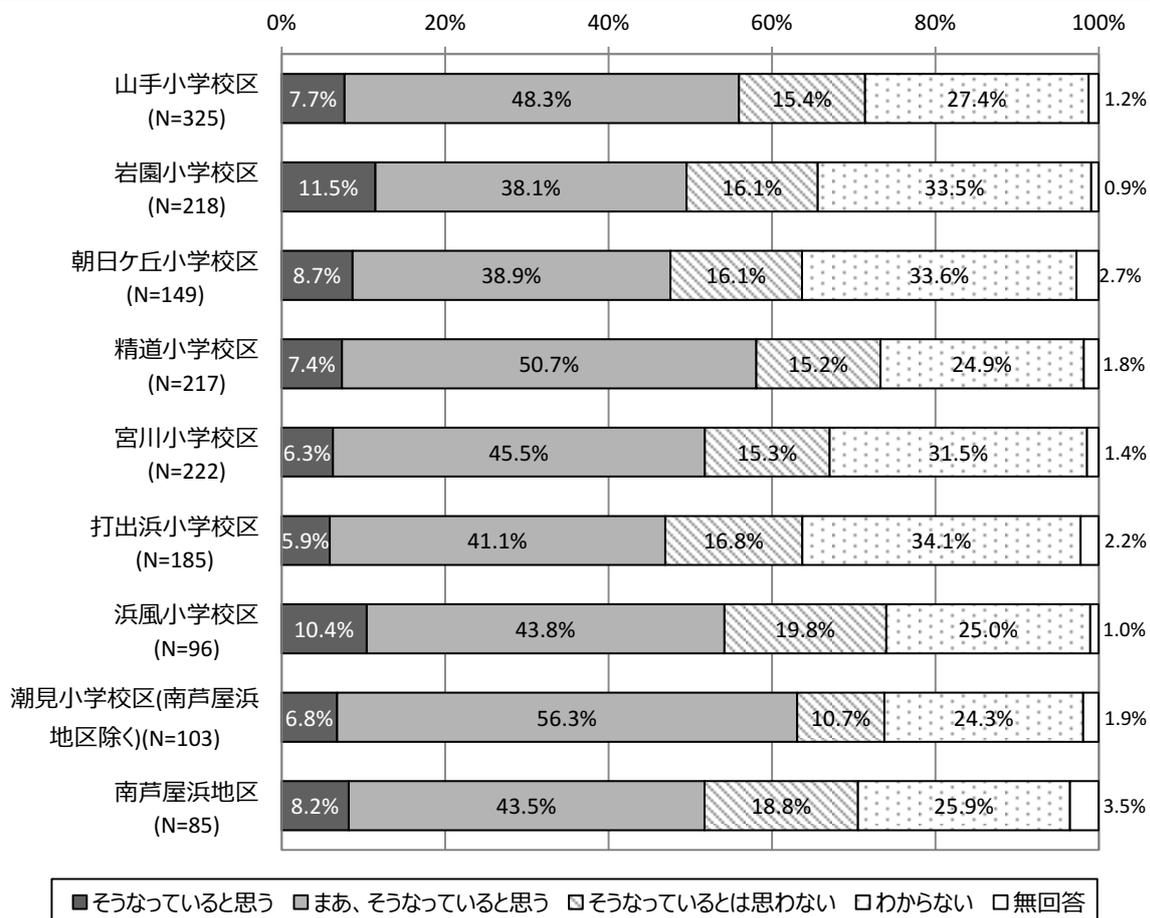
○性別では、統計的に有意な差はない。



○ニーズが高いと思われる年齢の高い層で肯定的な回答が多く、また20歳代及び80歳代以上で否定的な回答の比率が低くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

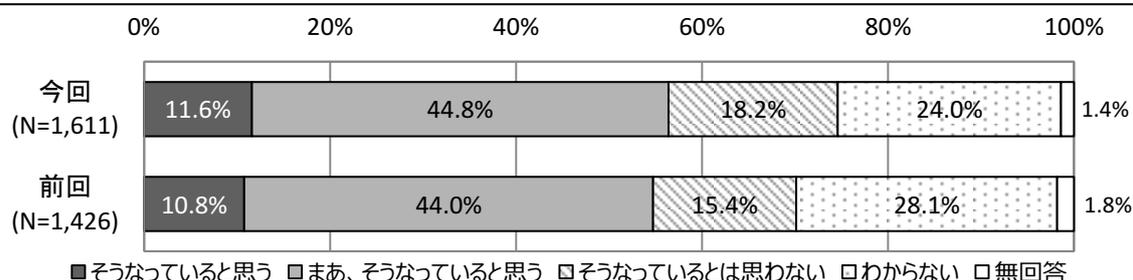


⑯ 高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている

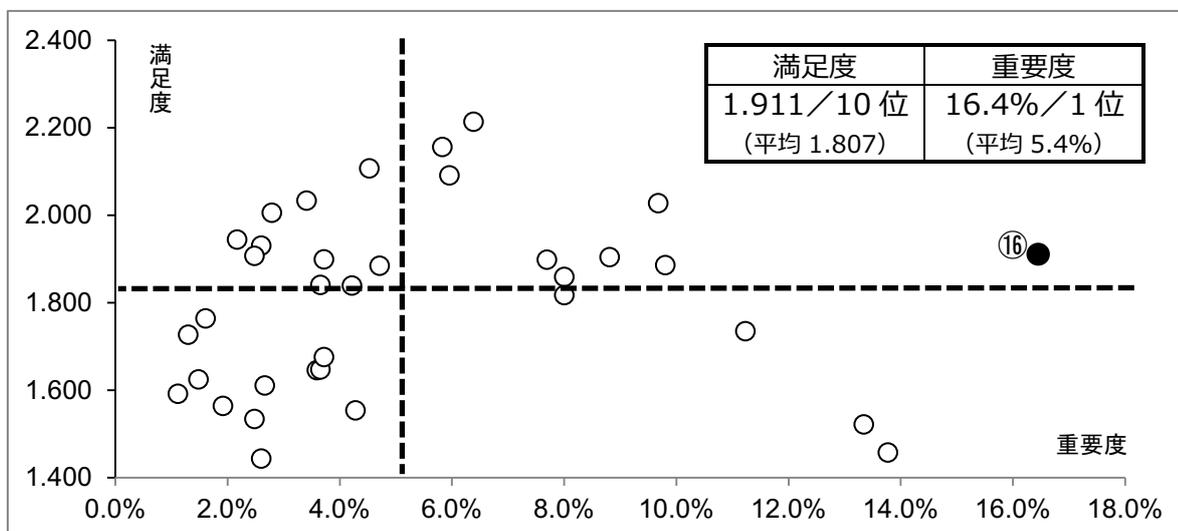
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	7-2-1	高齢者を地域とともに支援できる体制づくりを行います。
	7-2-2	高齢者の参加が推進され、担い手として活躍できる仕組みづくりを行います。
	7-2-3	高齢者の社会参加と就労の機会を拡充し、生きがい活動を推進します。

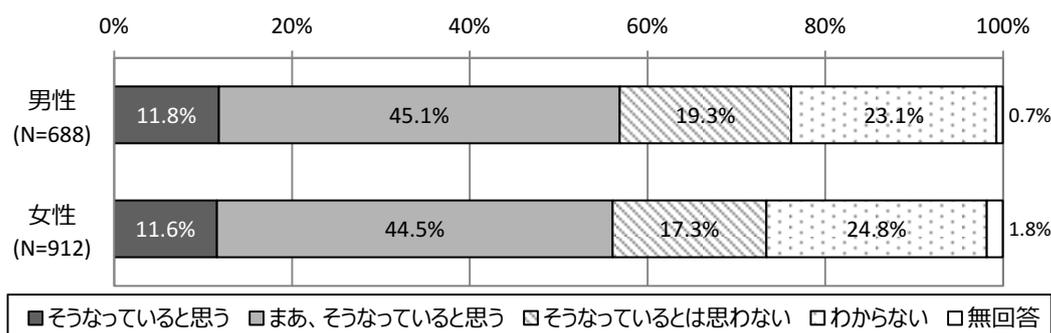
- 「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 56.4%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 18.2%となっている。
- 満足度は上位、重要度は 1 位に位置している。
- 前回との比較では、「わからない」の比率が下がっている。また、肯定的意見の比率が精道小学校区 (+13.3 ポイント)、浜風小学校区 (+12.1 ポイント) 及び南芦屋浜地区 (+13.2 ポイント) で上がっている。



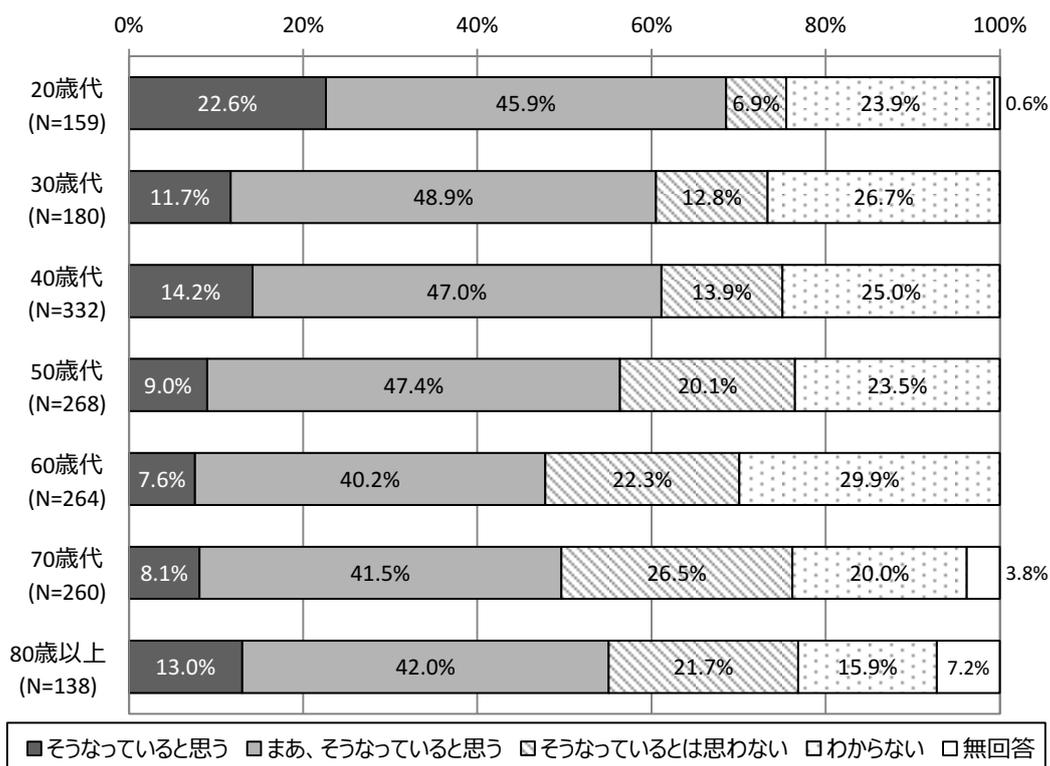
【満足度と重要度からみた施策の評価】



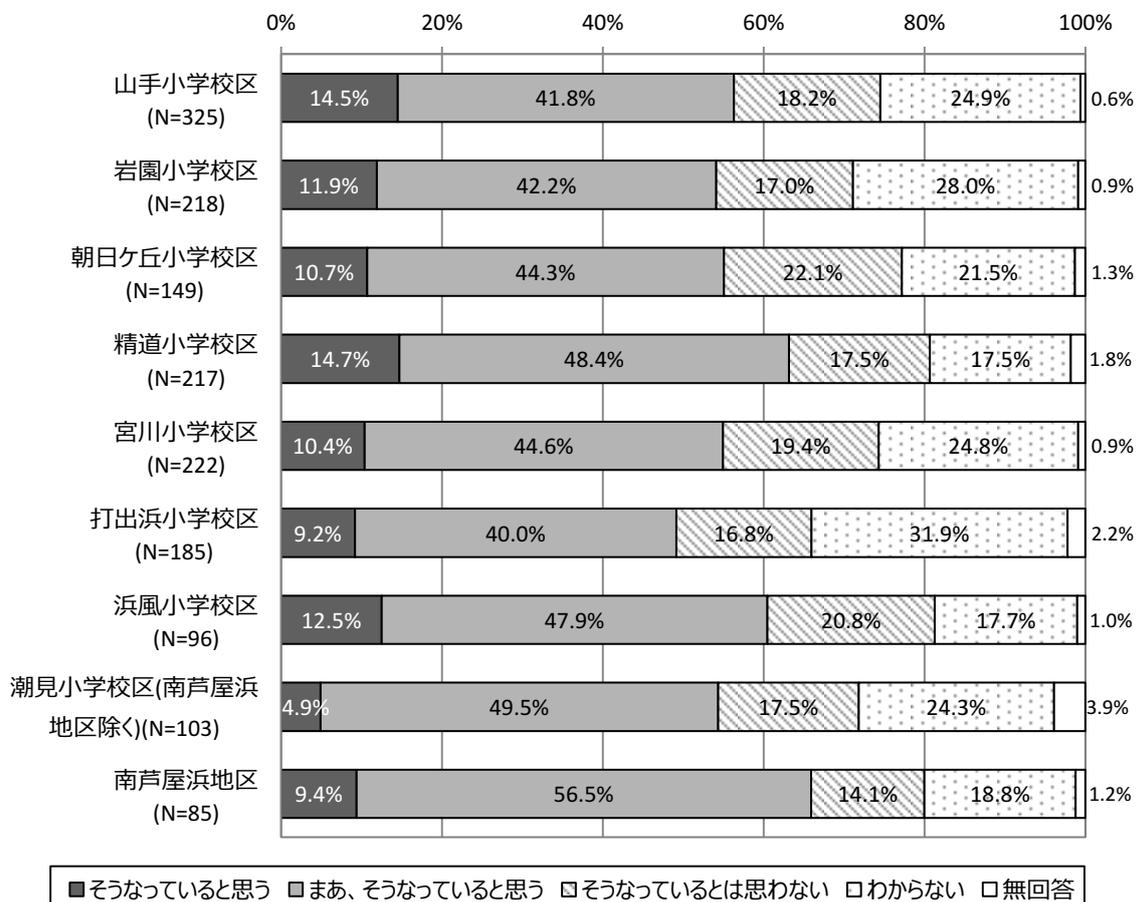
○性別では、統計的に有意な差はない。



○対象となる高齢者層よりも、20歳代をはじめ若い世代で肯定的な回答の比率が高い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



⑰ 障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる

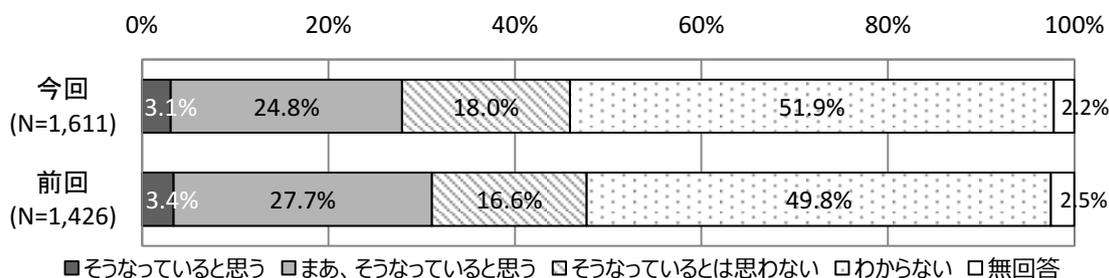
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	7-3-1	障がいへの理解を深めるため、普及、啓発活動を行います。
	7-3-2	相談窓口体制や相談拠点の充実を図ります。
	7-3-3	障がい福祉サービスなどの提供基盤の整備を進めます。
	7-3-4	障がいのある人の就労支援を行います。

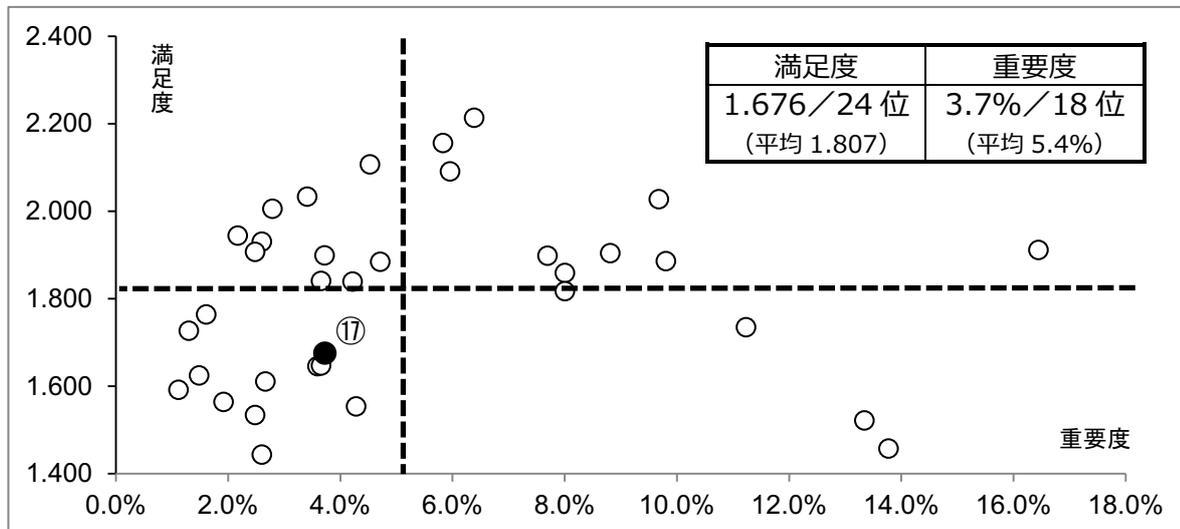
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は27.9%、否定的意見の「そうになっていると思わない」は18.0%となっている。「わからない」が半数を超えている点が特徴的である。

○満足度は低位、重要度は中位に位置している。

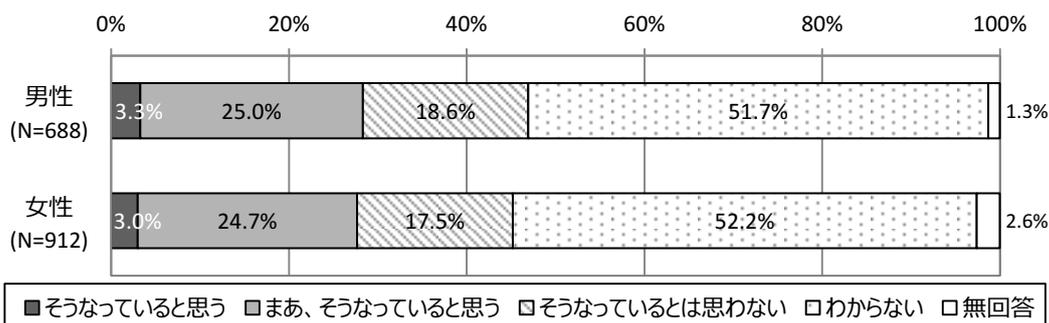
○前回との比較では、肯定的意見の比率が下がっており、特に朝日ヶ丘小学校区(-11.4ポイント)で顕著である。



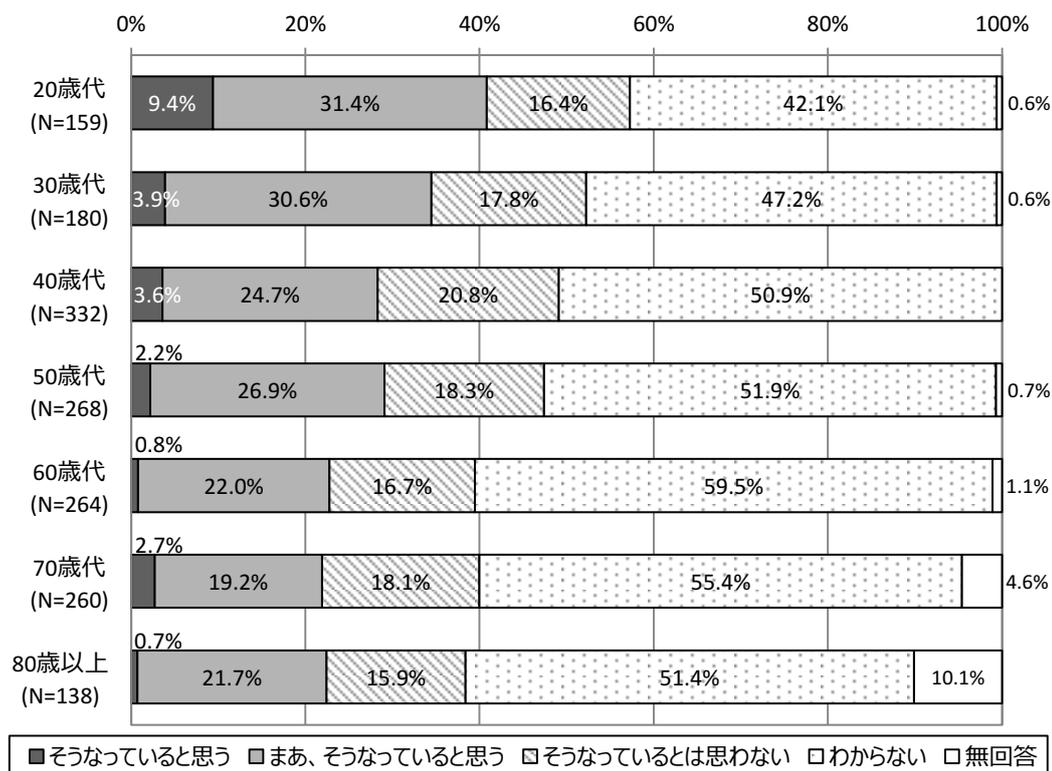
【満足度と重要度からみた施策の評価】



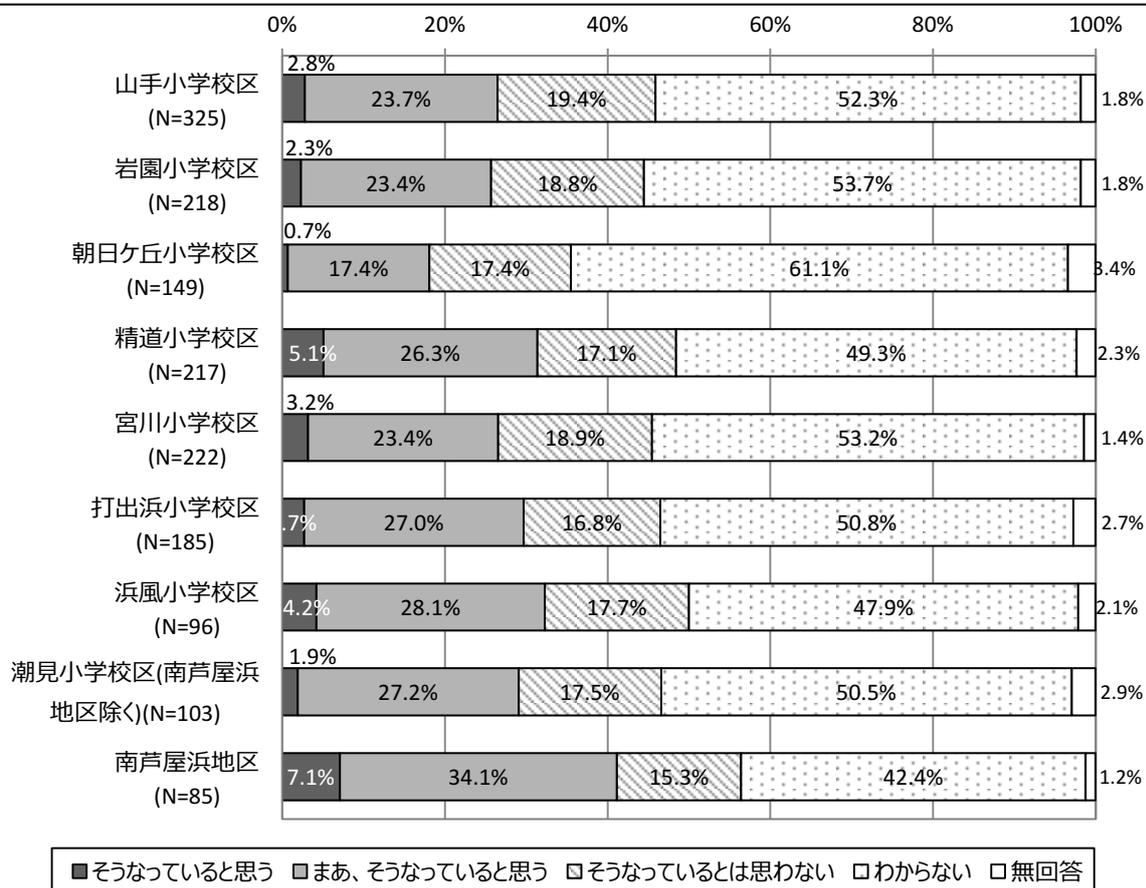
○性別では、統計的に有意な差はない。



○若い世代ほど肯定的な回答が多くなる傾向がある。40歳以上では各年代とも半数以上が「わからない」を選択している。



○朝日ヶ丘小学校区で「わからない」の回答が60%を超えるなど、各地区とも「わからない」の比率が高い。なお、地区別では統計的に有意な差はない。

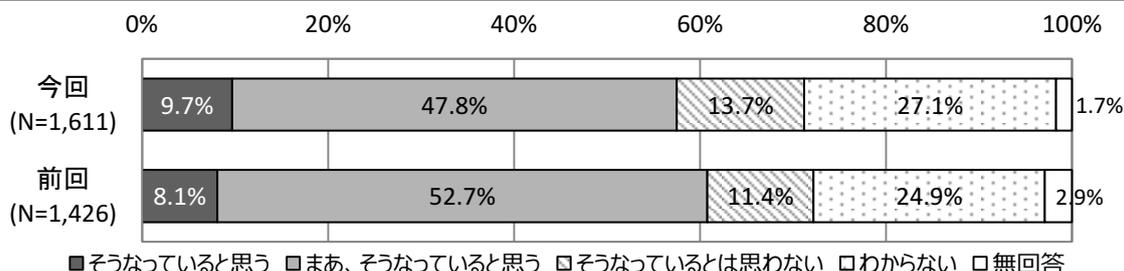


⑱ 市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている

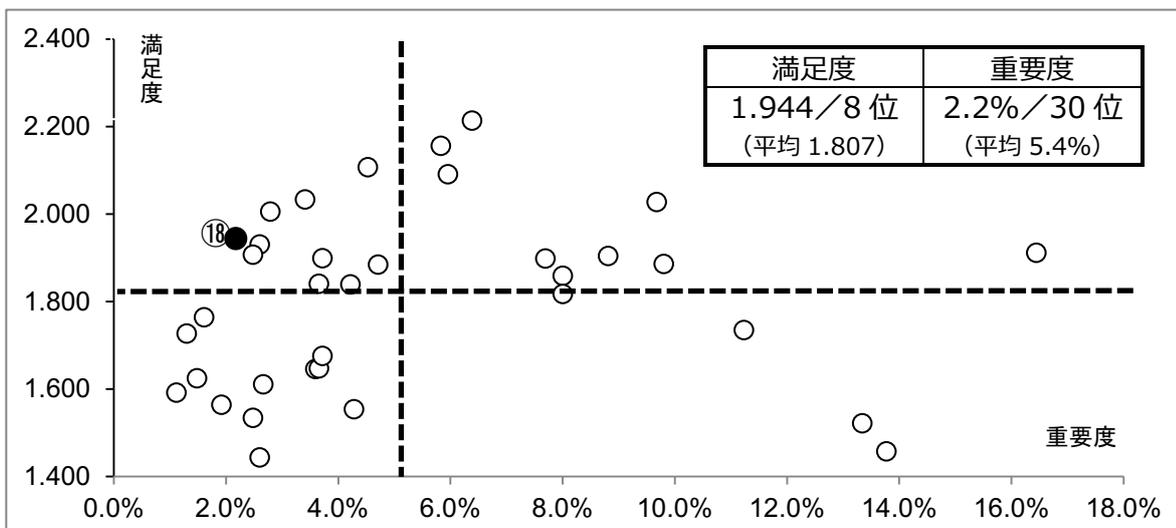
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	8-1-1	犯罪から身を守る方法の周知，啓発に努めます。
	8-1-2	消費生活に関する情報提供，相談，教育の充実を図ります。

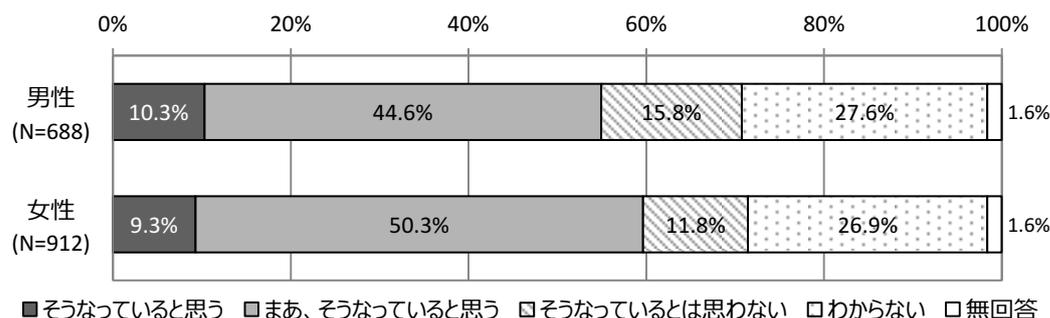
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 57.5%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 13.7%となっている。
 ○満足度は上位，重要度は低位に位置している。
 ○前回との比較では，肯定的意見の比率が下がっており，特に朝日ヶ丘小学校区(-10.7ポイント)，潮見小学校区(-11.0ポイント)で顕著である。



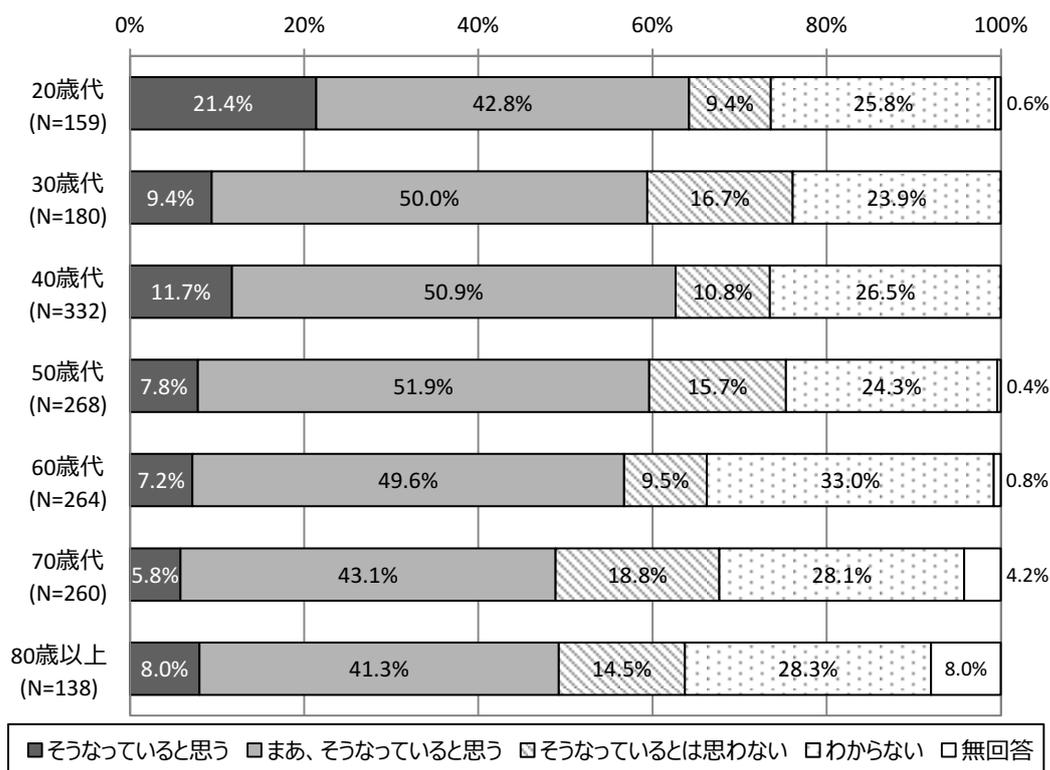
【満足度と重要度からみた施策の評価】



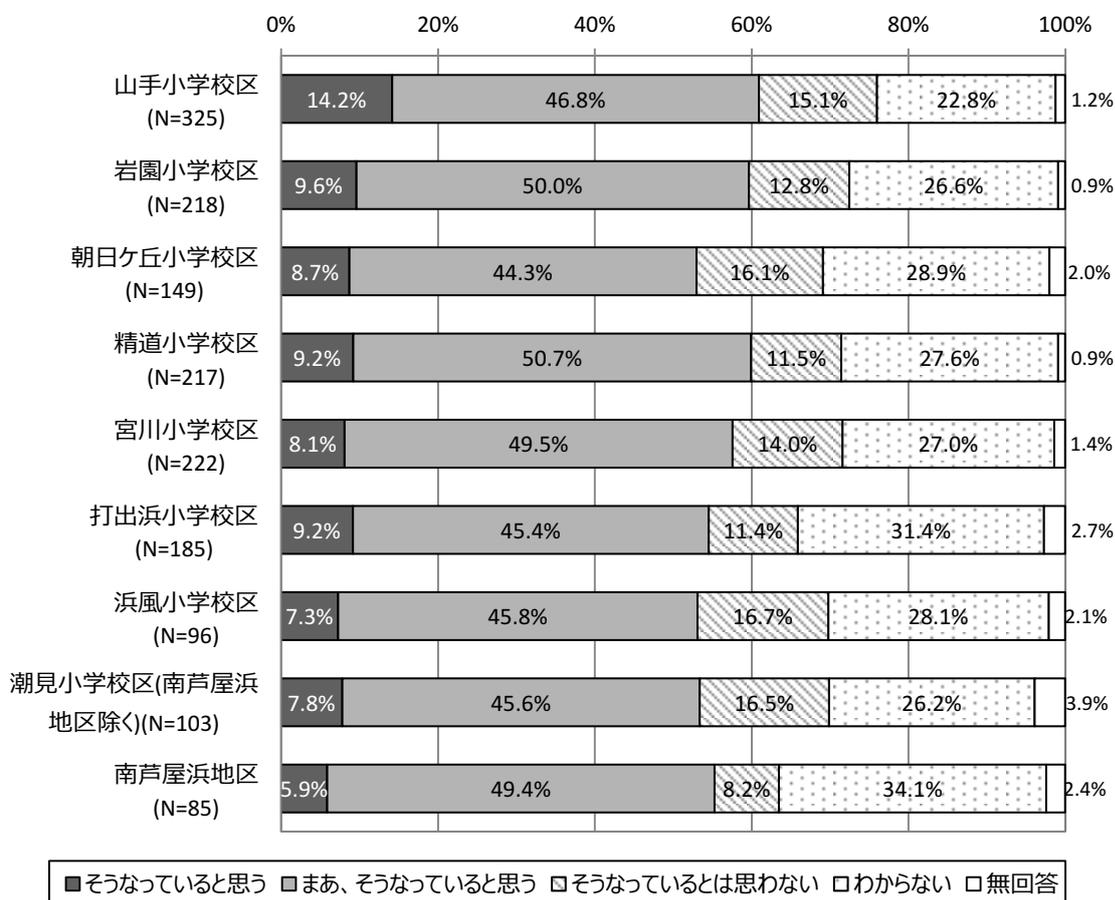
○女性で肯定的意見がやや多く，男性で否定的意見がやや多くなっているが，性別で統計的に有意な差はない。



○20歳代で「そうになっていると思う」の比率が高い一方、70歳代や80歳以上で肯定的な回答の比率が低くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

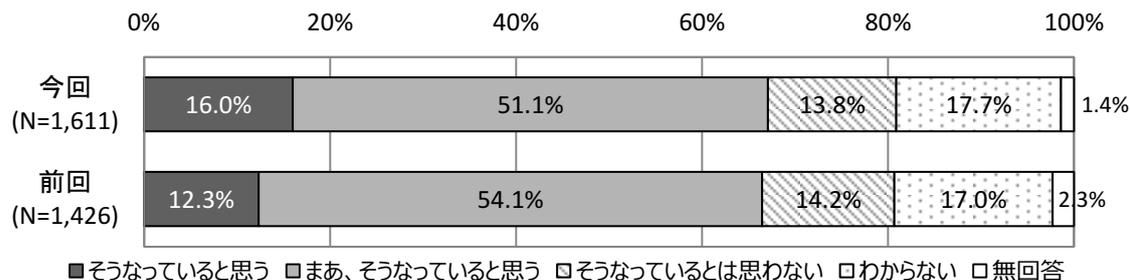


⑱ 犯罪が起きにくいまちになっている

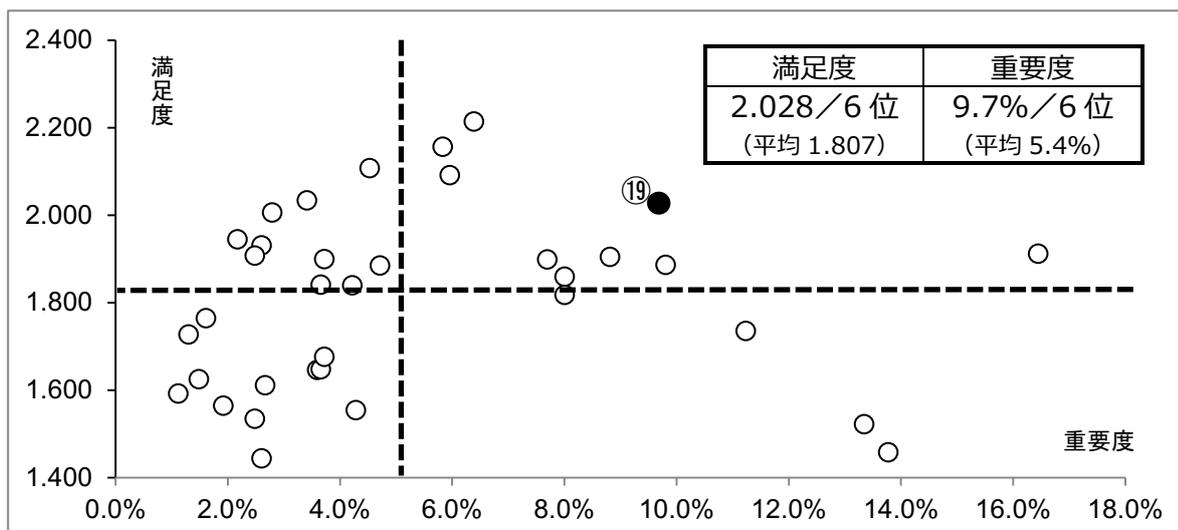
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	8-2-1	見守り活動や情報提供の充実により、犯罪が起きにくい環境を整えます。
------	-------	-----------------------------------

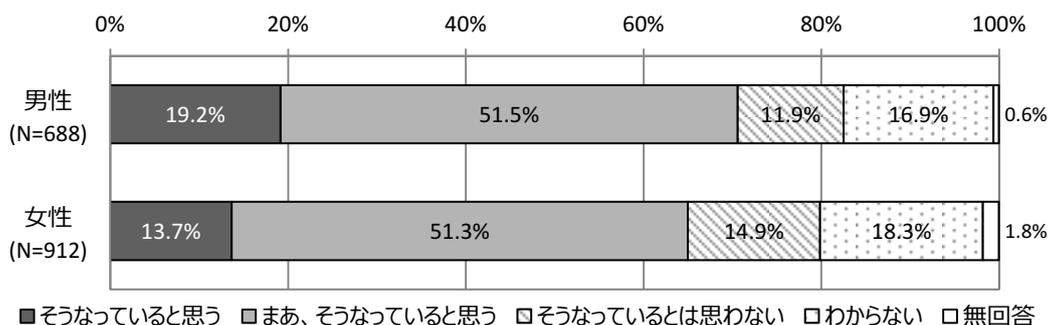
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 67.2%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 13.8%となっている。
 ○満足度・重要度とも 6 位に位置している。
 ○前回との比較では、「そうなっている」の比率が高くなっている。



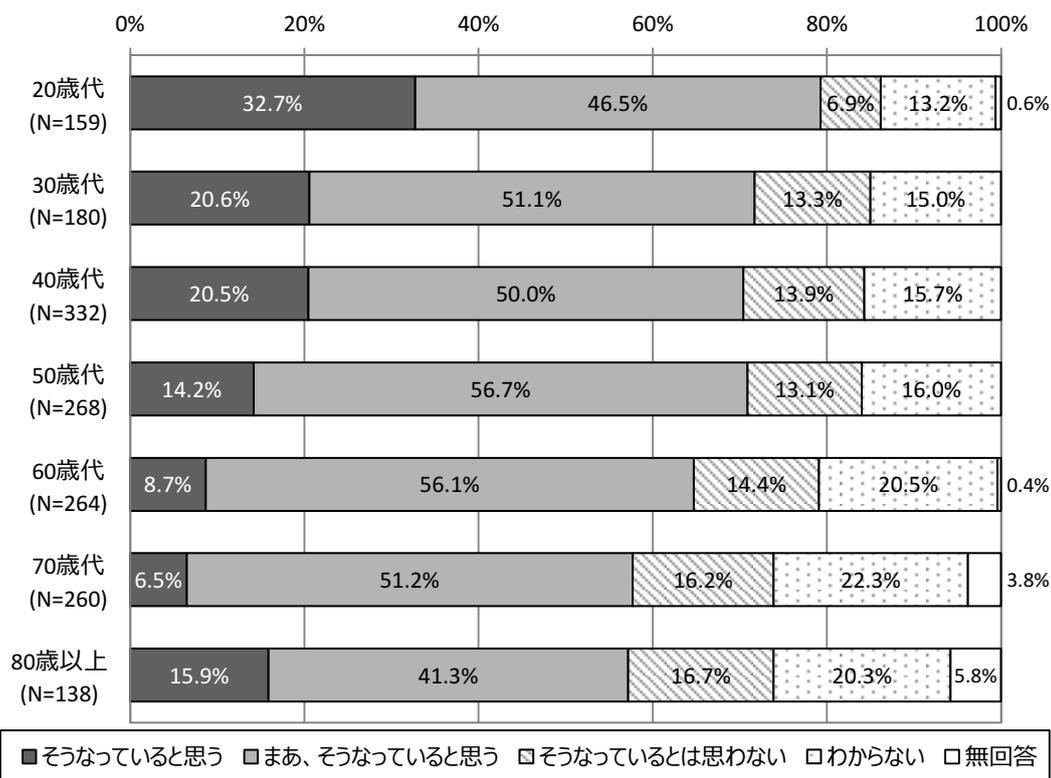
【満足度と重要度からみた施策の評価】



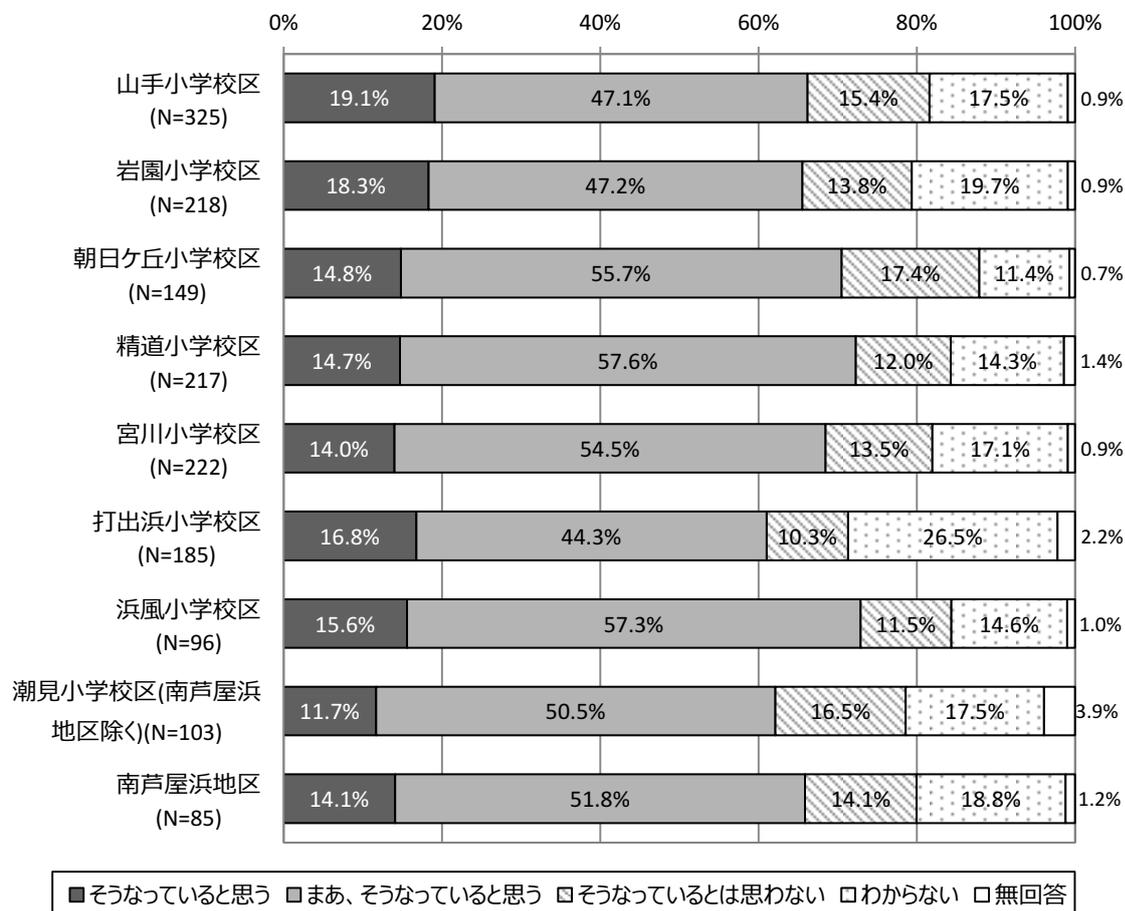
○男性で肯定的な回答が多くなっている。



○20歳代をはじめ、若い世代ほど肯定的な回答の比率が高くなっている。これに対し年齢の高い層ほど「わからない」の比率が高くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

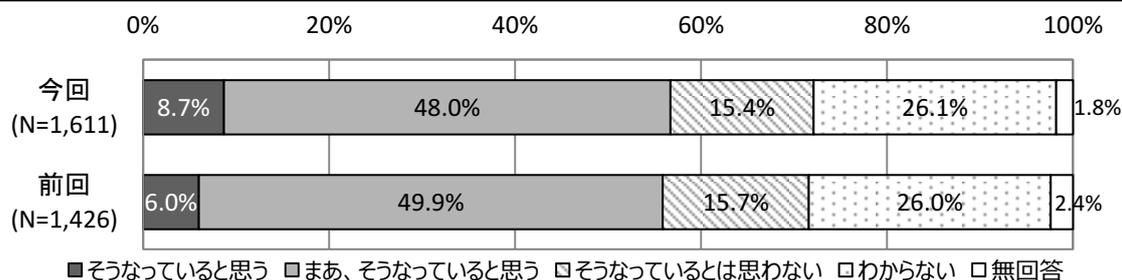


⑳ 家庭や地域、行政の防災力が向上している

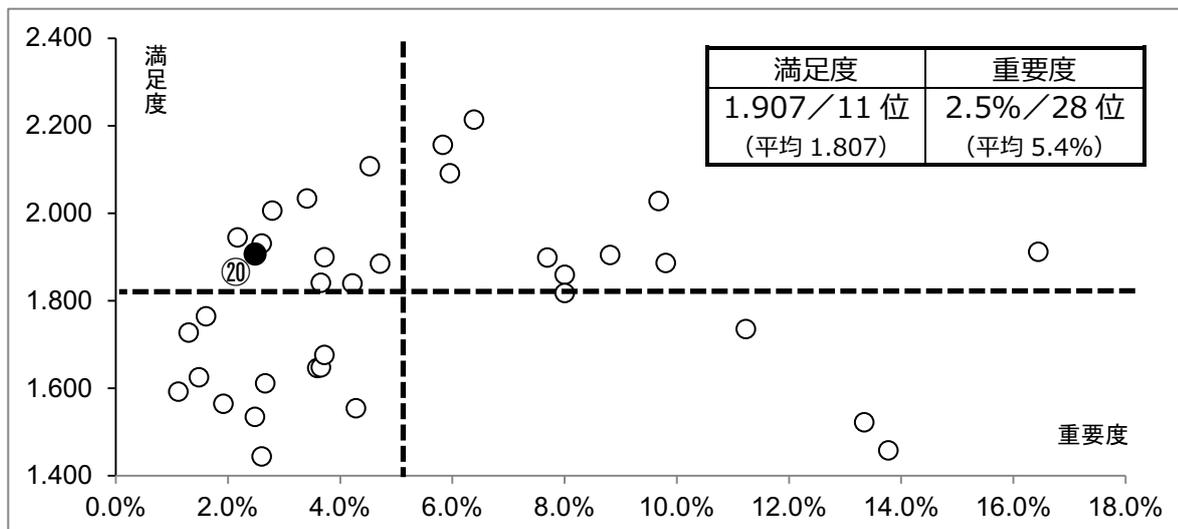
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	9-1-1	災害時に地域の人たちが主体となって防災活動が行える基盤作りを進めます。
	9-1-2	火災や交通事故などの日常的な災害に迅速に対応できる体制を充実させます。
	9-1-3	想定される様々な大規模災害に対応できる防災・減災体制を充実させます。

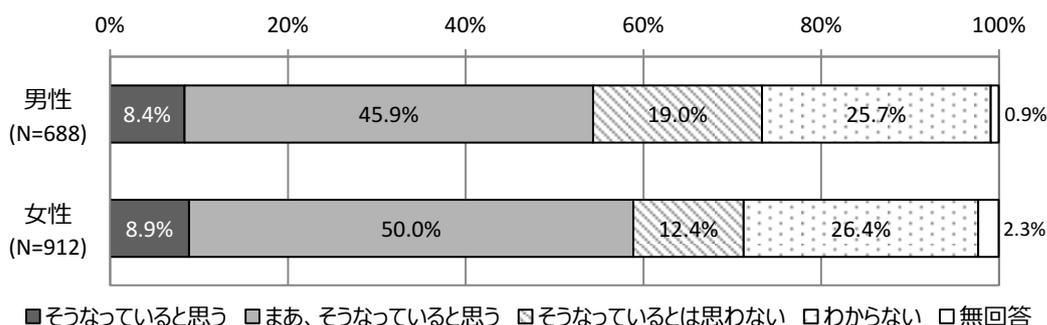
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 56.7%、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は 15.4%となっている。
 ○満足度は上位、重要度は低位に位置している。
 ○前回との比較で大きな変化はみられない。



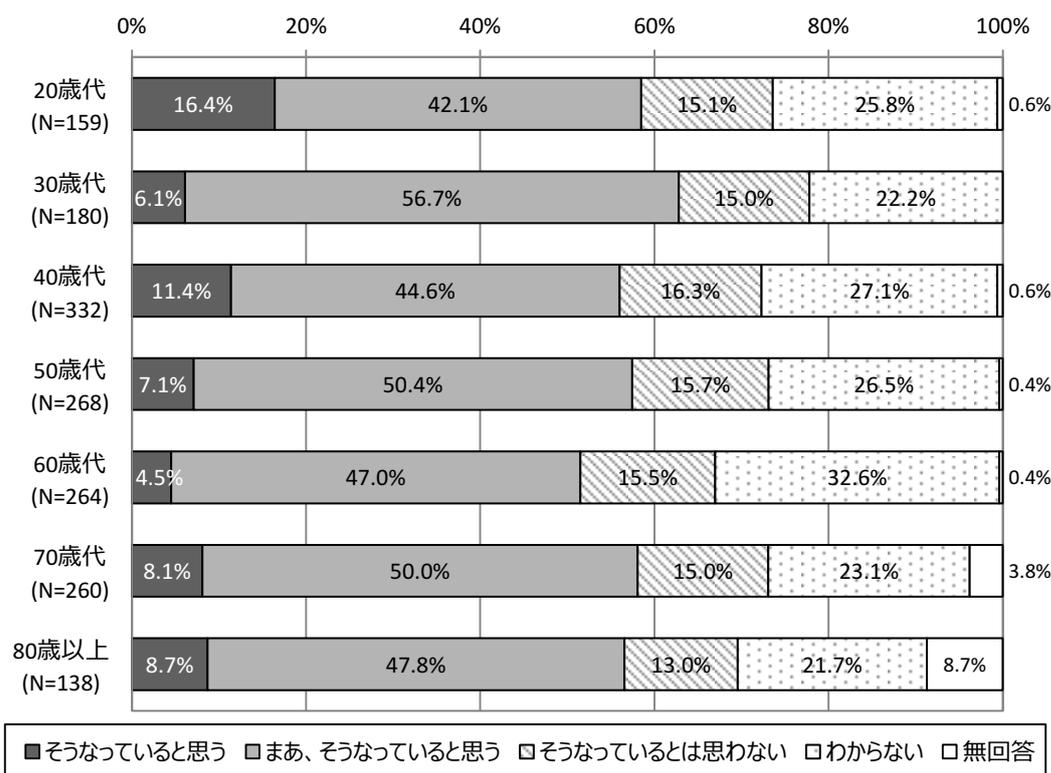
【満足度と重要度からみた施策の評価】



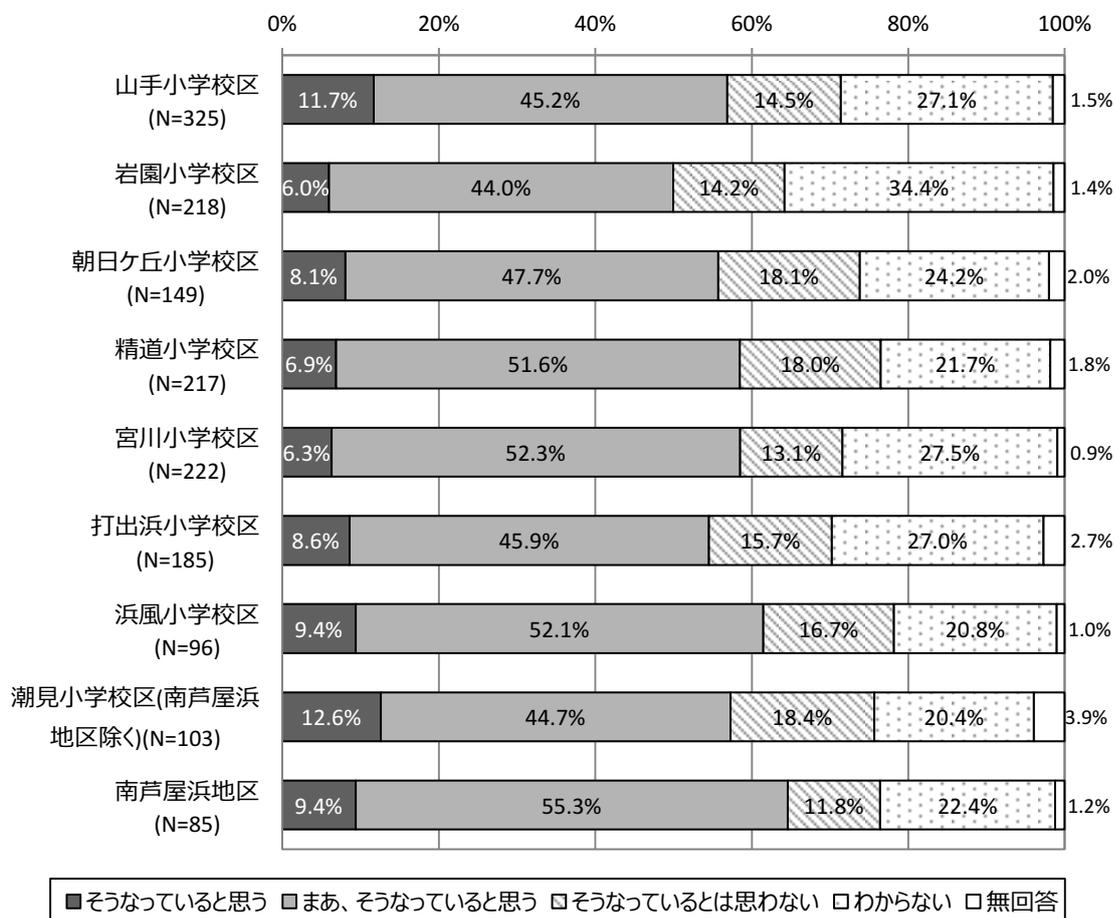
○男性で否定的な回答の比率が高くなっている。



○20歳代で「そうなっていると思う」の比率が高く、30、50、60歳代ではこの比率が低い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

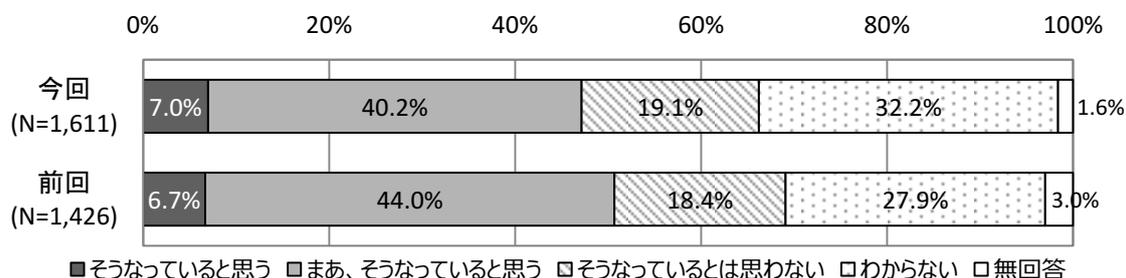


② 災害に強い安全なまちづくりが進んでいる

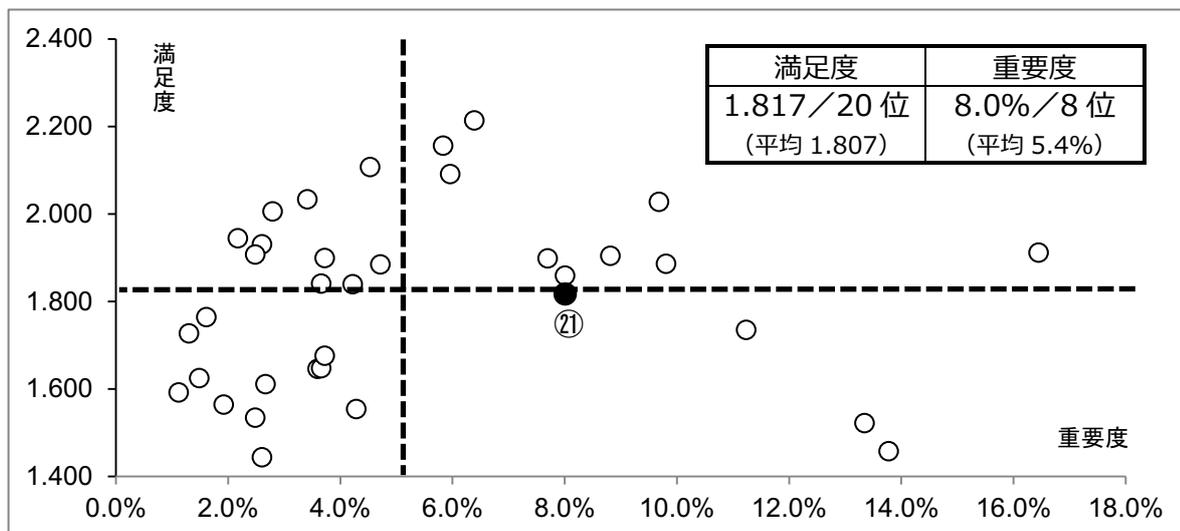
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	9-2-1	民間建築物の防災・減災機能の向上を促進します。
	9-2-2	公共建築物の防災・減災機能の向上を図り、災害に強いまちづくりを進めます。
	9-2-3	ライフラインなどの防災・減災機能の向上を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

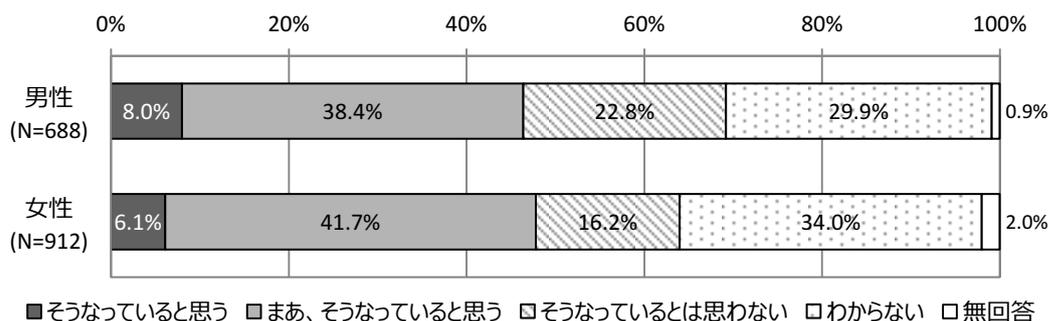
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は47.1%、否定的意見の「そうになっているとは思わない」は19.1%となっている。
 ○満足度は中位、重要度は上位に位置している。
 ○前回との比較では、肯定的意見の比率が下がっており、特に岩園小学校区（-12.3ポイント）で顕著である。



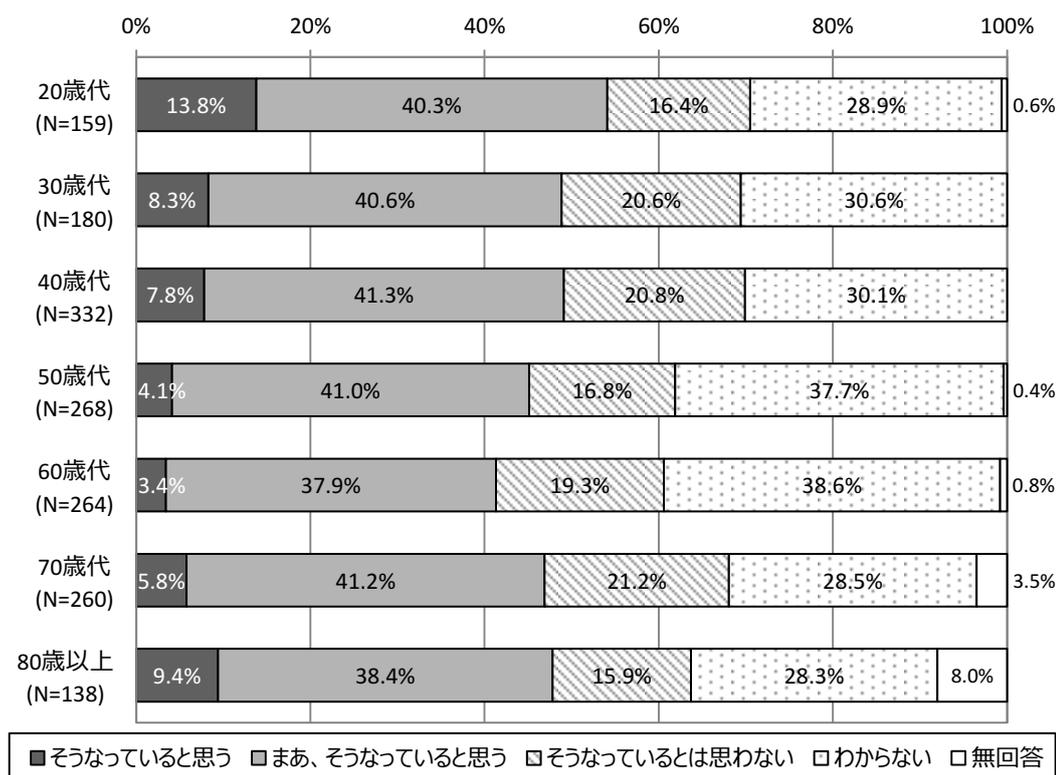
【満足度と重要度からみた施策の評価】



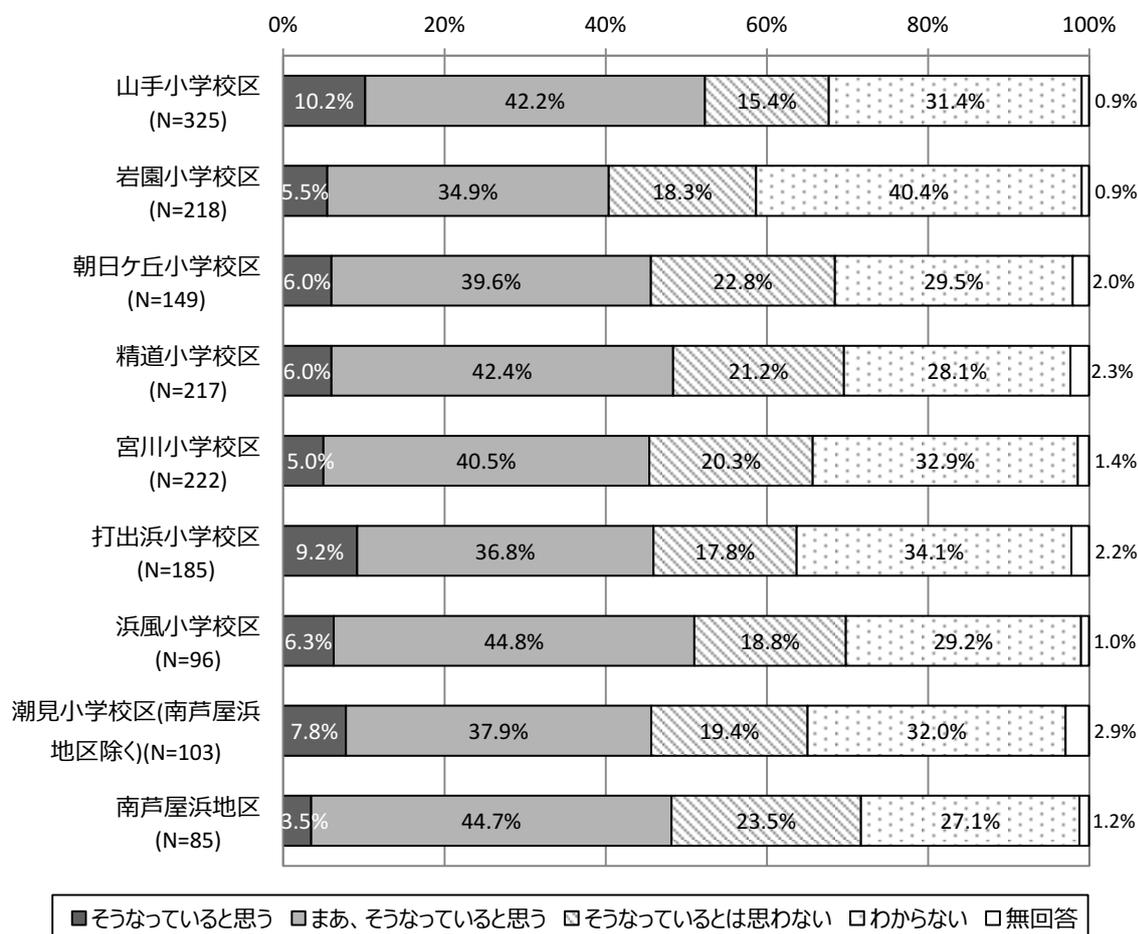
○男性で否定的な回答の比率が高くなっている。



○「そうなっていると思う」の比率は20歳代で高く、50～60歳代で低い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

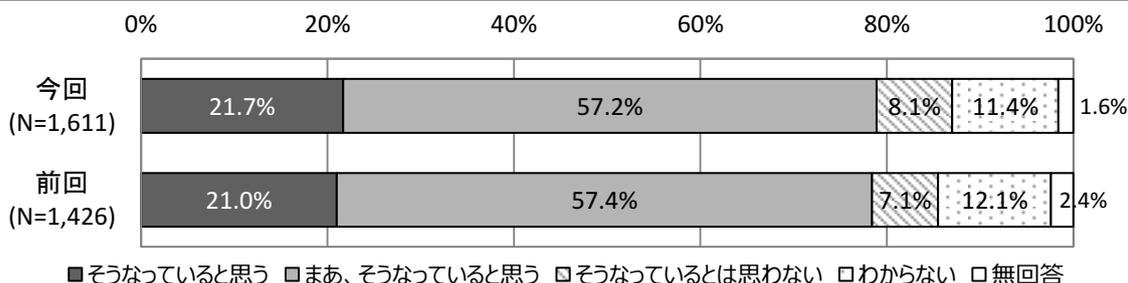


② 自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している

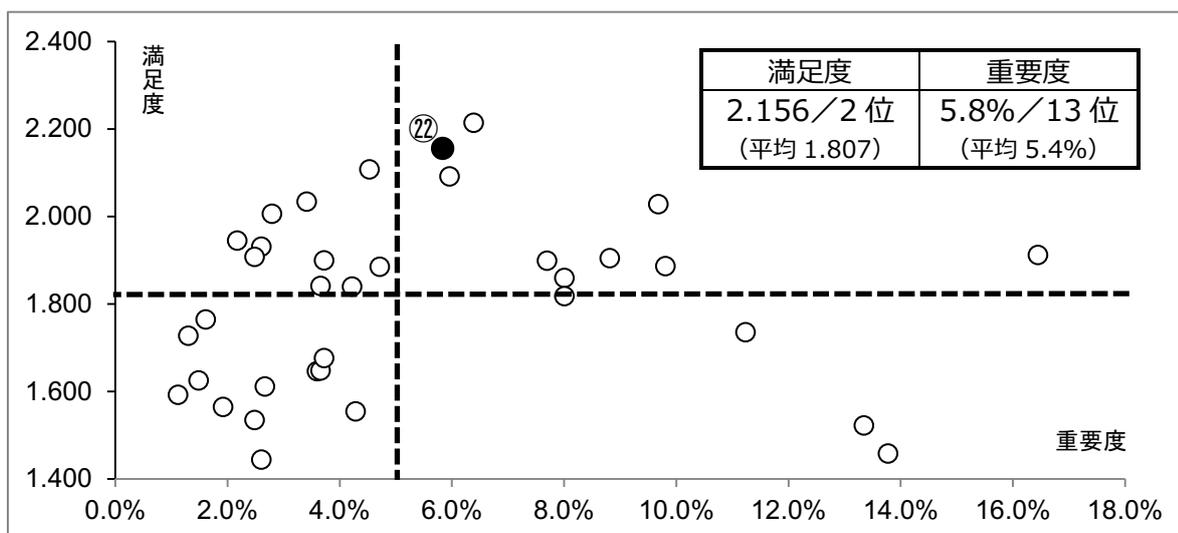
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	10-1-1	まちなかを花と緑で彩り、市民とともに緑を守り育てます。
	10-1-2	芦屋の自然環境の保全へ向けた取組を推進します。

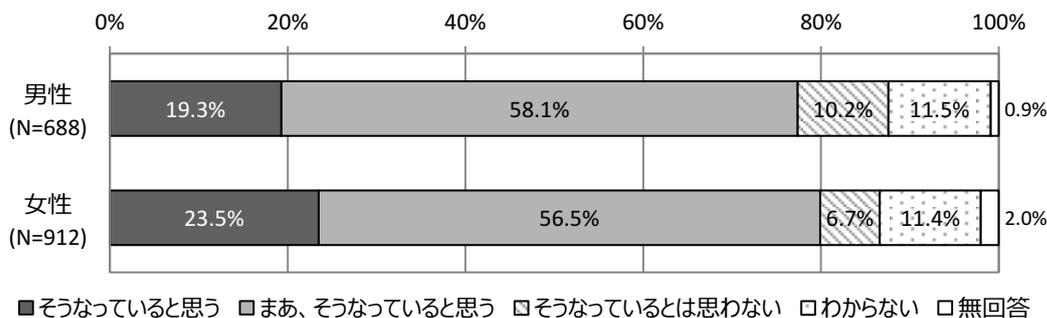
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は78.8と高く、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は8.1%にとどまっている。
 ○満足度は2位、重要度は中位に位置している。
 ○前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、南芦屋浜地区では、肯定的意見の比率が11.7ポイント上がっている。



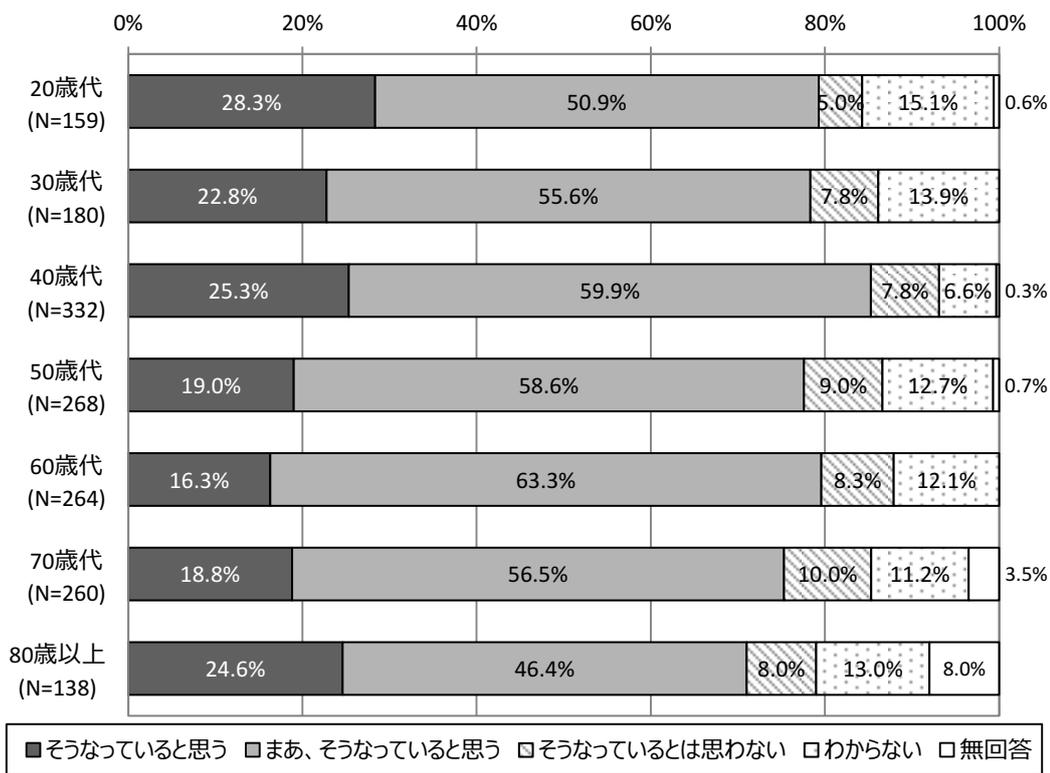
【満足度と重要度からみた施策の評価】



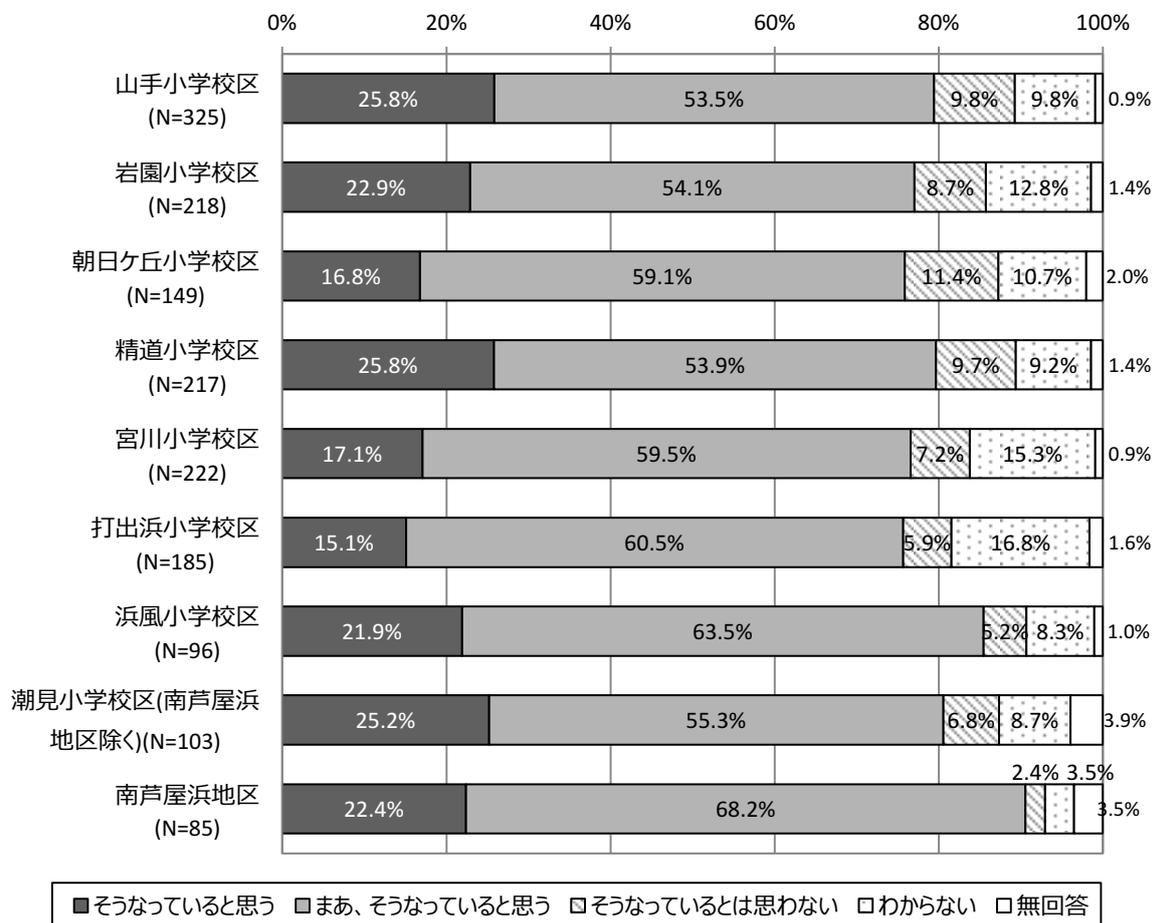
○性別では、女性で肯定的な回答の比率が高くなっている。



○「そうなっていると思う」の比率が20歳代で高く、60歳代で低い。



○南芦屋浜地区で肯定的な回答の比率が高く、90%を超えている。

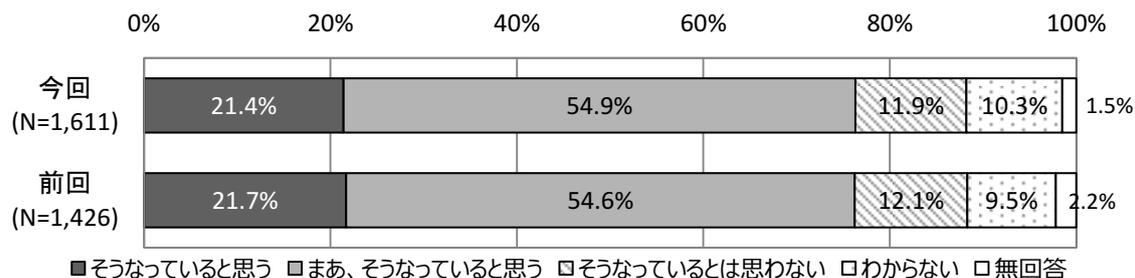


⑳ 建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している

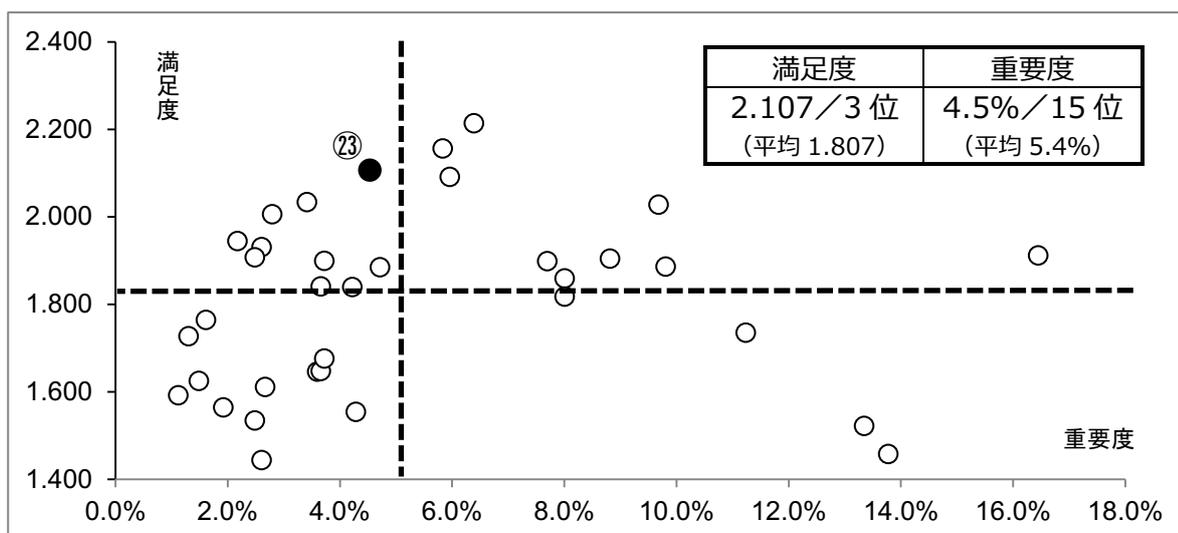
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	10-2-1	芦屋らしい美しい景観をまもる・つくる・そだてるため、景観誘導施策を更に進めます。
------	--------	--

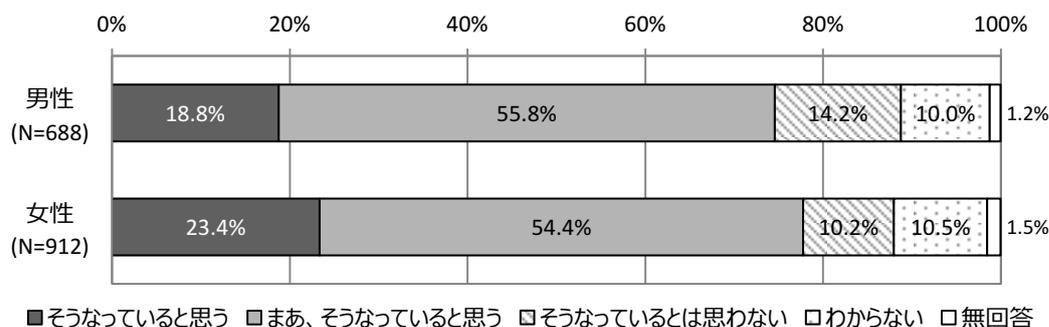
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 76.3%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 11.9%となっている。
 ○満足度は 3 位、重要度は中位に位置している。
 ○前回との比較では、大きな変化はみられない。



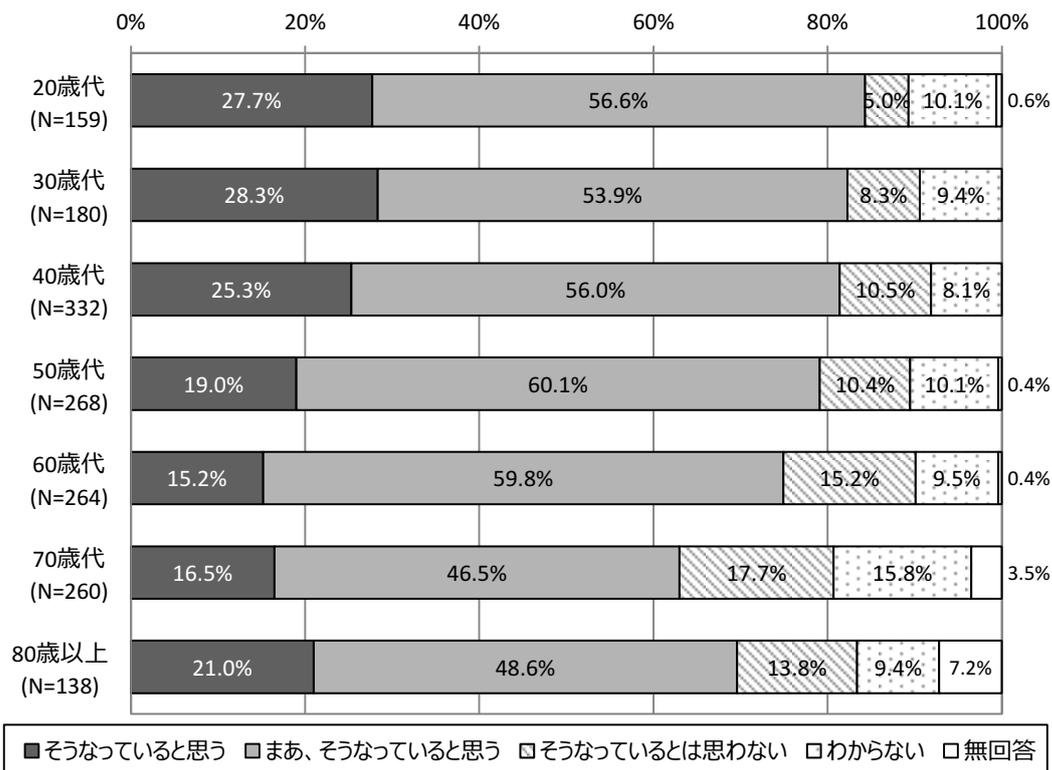
【満足度と重要度からみた施策の評価】



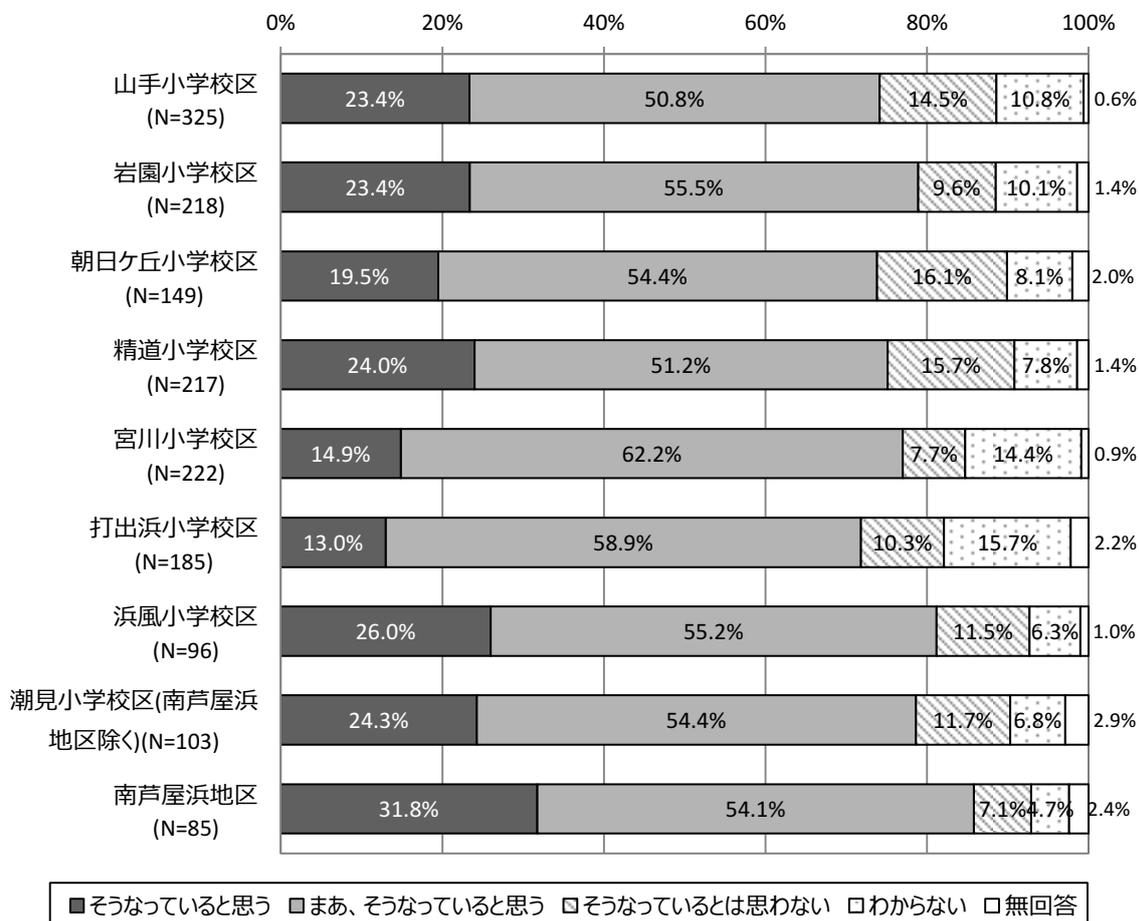
○女性で肯定的な回答が、男性で否定的な回答の比率が高くなっている。



○「そうになっていると思う」の比率が20～30歳代で高く、50～70歳代では低くなっている。



○各地区とも肯定的回答の比率が70%を超え、特に南芦屋浜地区の「そうになっていると思う」の比率が高い。

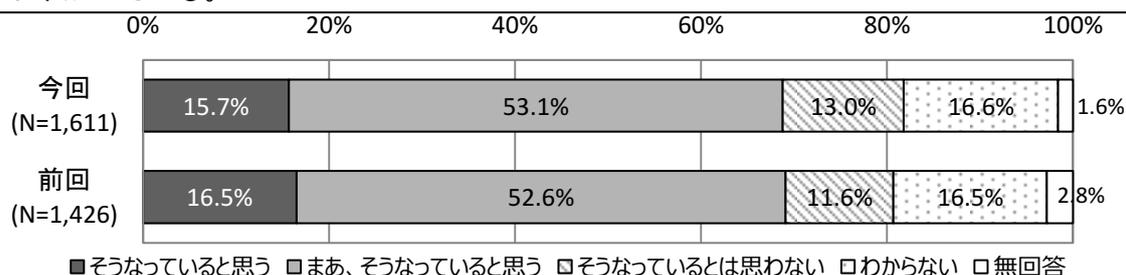


⑭ 環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる

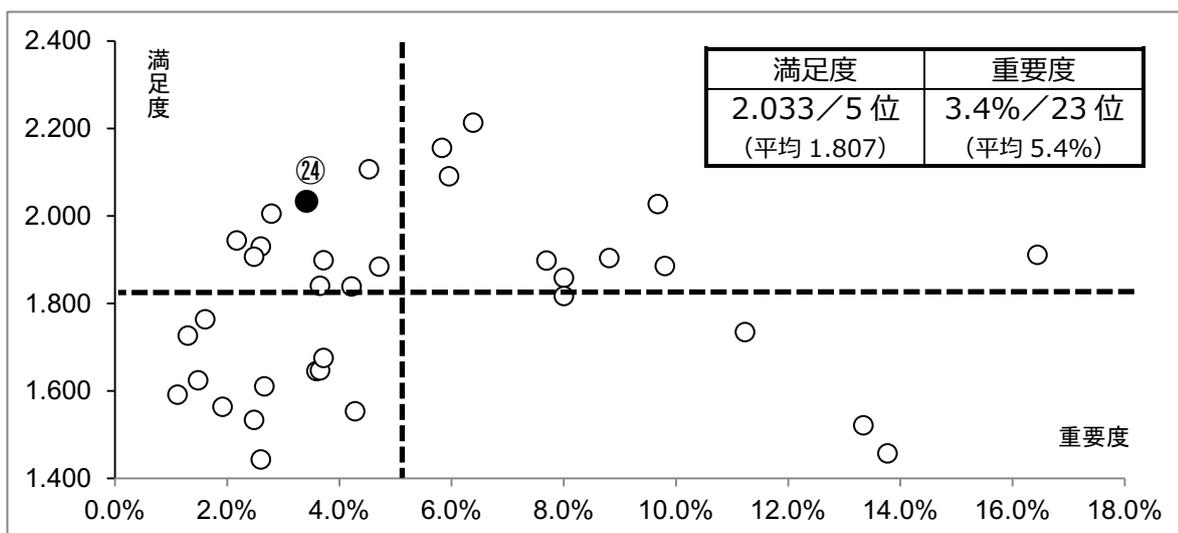
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	11-1-1	市民，事業者による環境負荷の低減へ向けた取組を促進します。
	11-1-2	行政の事業に係る環境負荷を低減します。

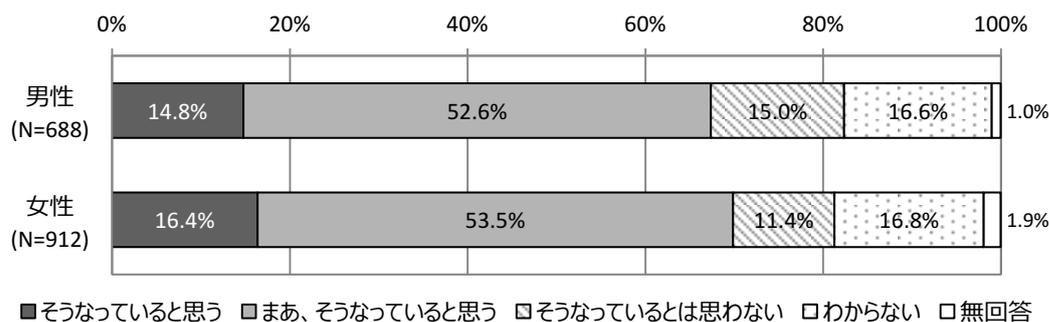
- 「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 68.8%、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は 13.0%となっている。
- 満足度は 5 位，重要度は中位に位置している。
- 前回との比較では，全体で大きな変化はみられないが，70 歳代で肯定的意見の比率が 10.3 ポイント下がっている。



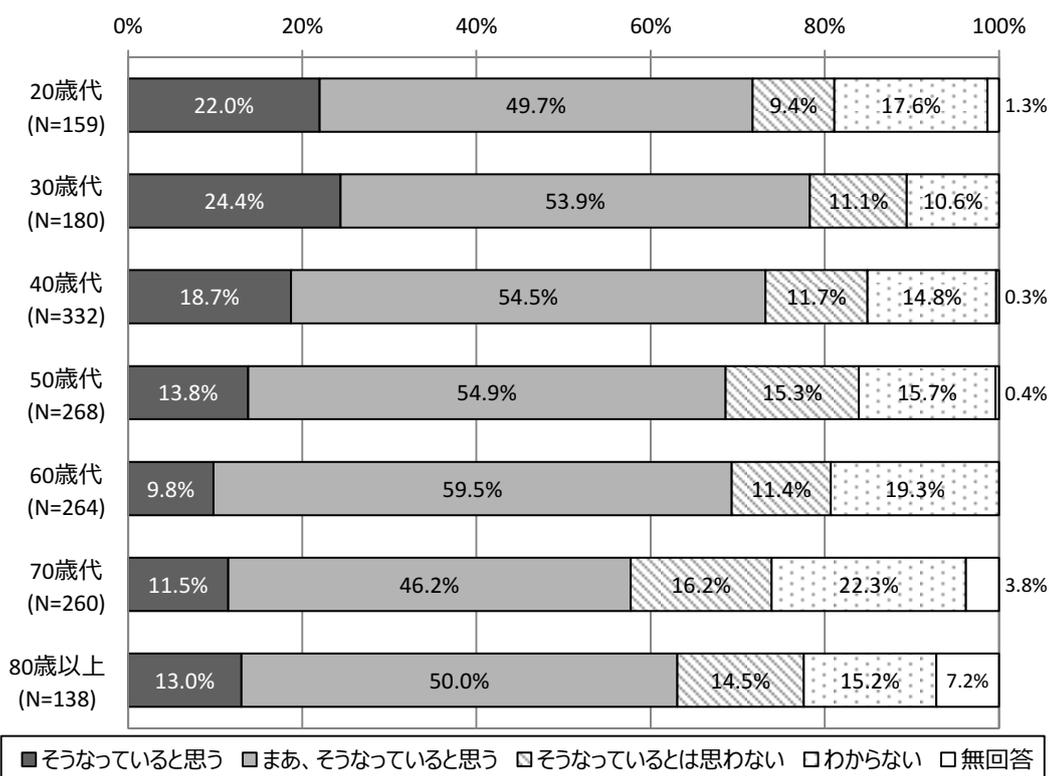
【満足度と重要度からみた施策の評価】



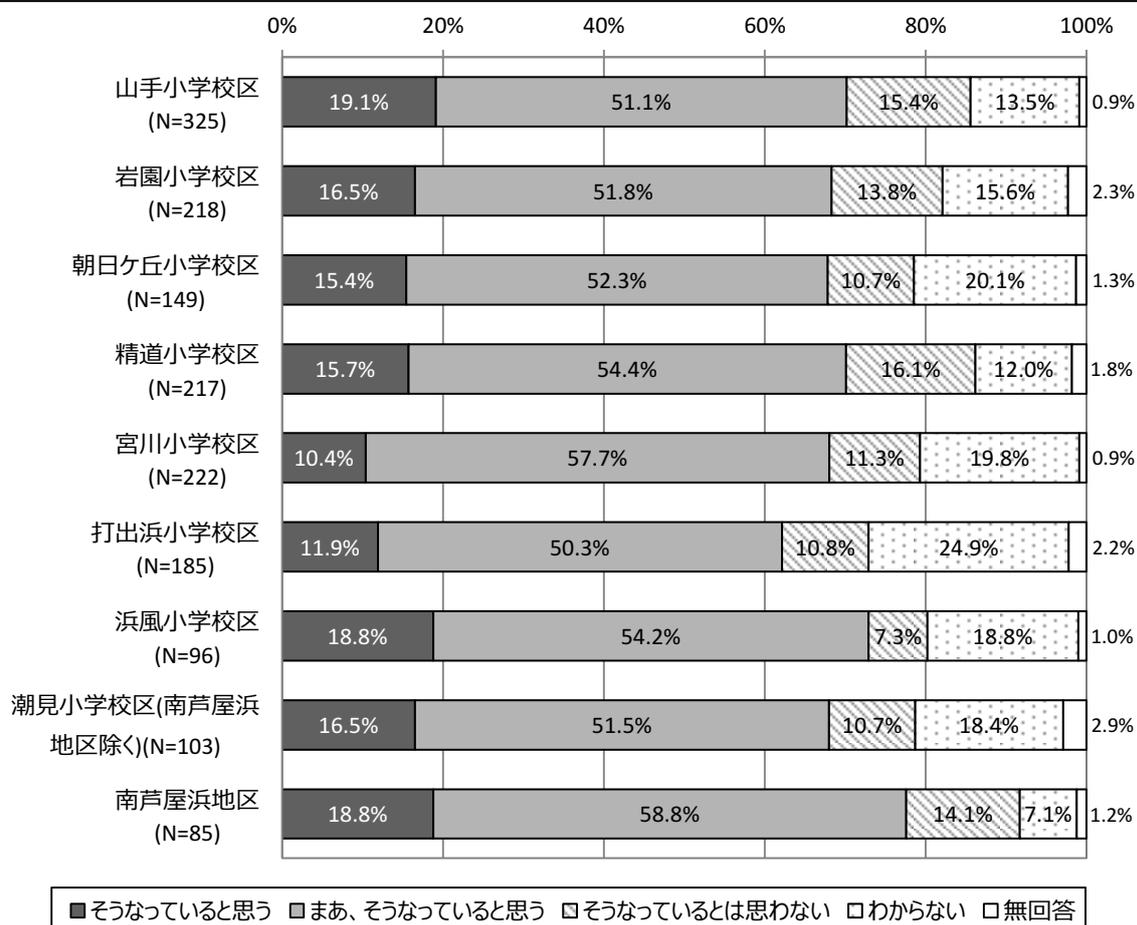
○性別では，統計的に有意な差はない。



○若い世代ほど肯定的な回答が多く、年齢が高くなるほど比率が低下する傾向にある。



○各地区とも肯定的な回答が60%を超えている。
○宮川小学校区で「そうになっていると思う」の比率が低い。

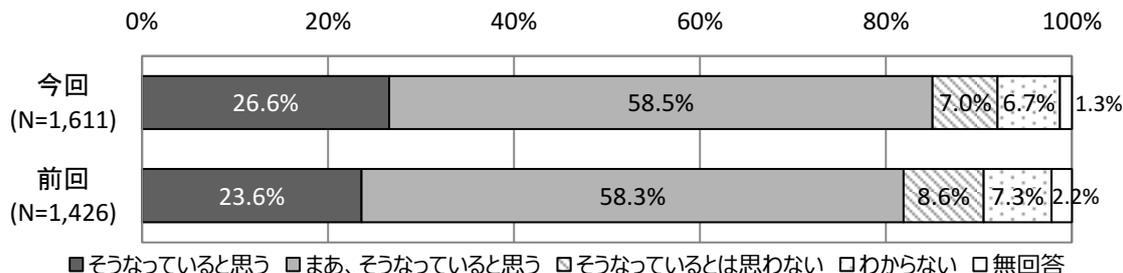


②⑤ 清潔なまちづくりが進んでいる

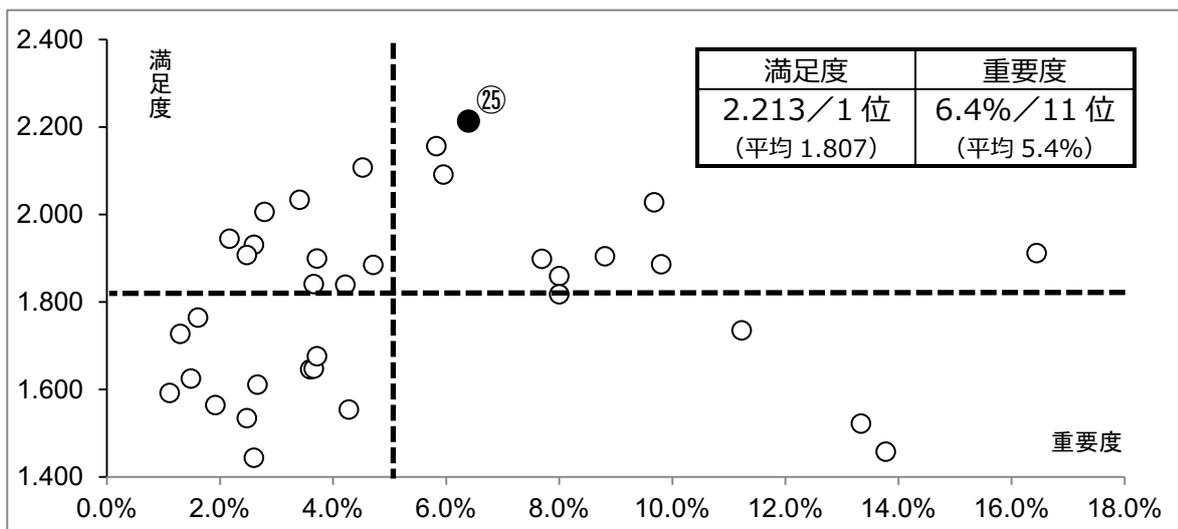
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	11-2-1	市民と行政が一体となった清潔で安全・快適なまちづくりへの取組を推進します。
------	--------	---------------------------------------

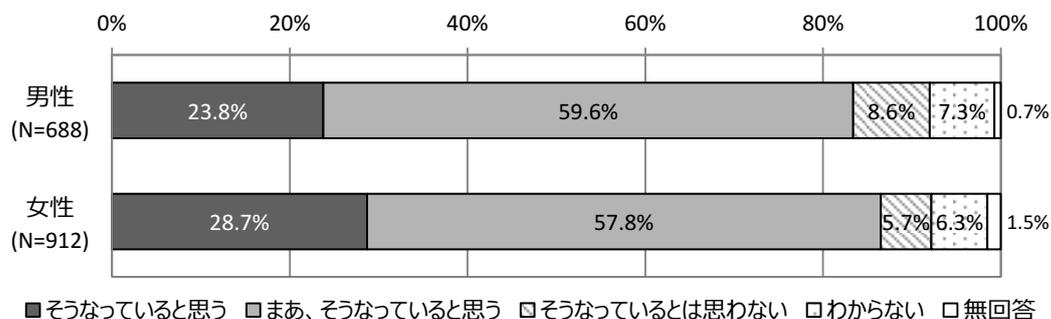
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 85.0%、否定的意見の「そうになっていると思わない」は 7.0%となっている。
 ○満足度は 1 位、重要度も上位に位置している。
 ○前回との比較では、肯定的意見の比率が高くなっている。



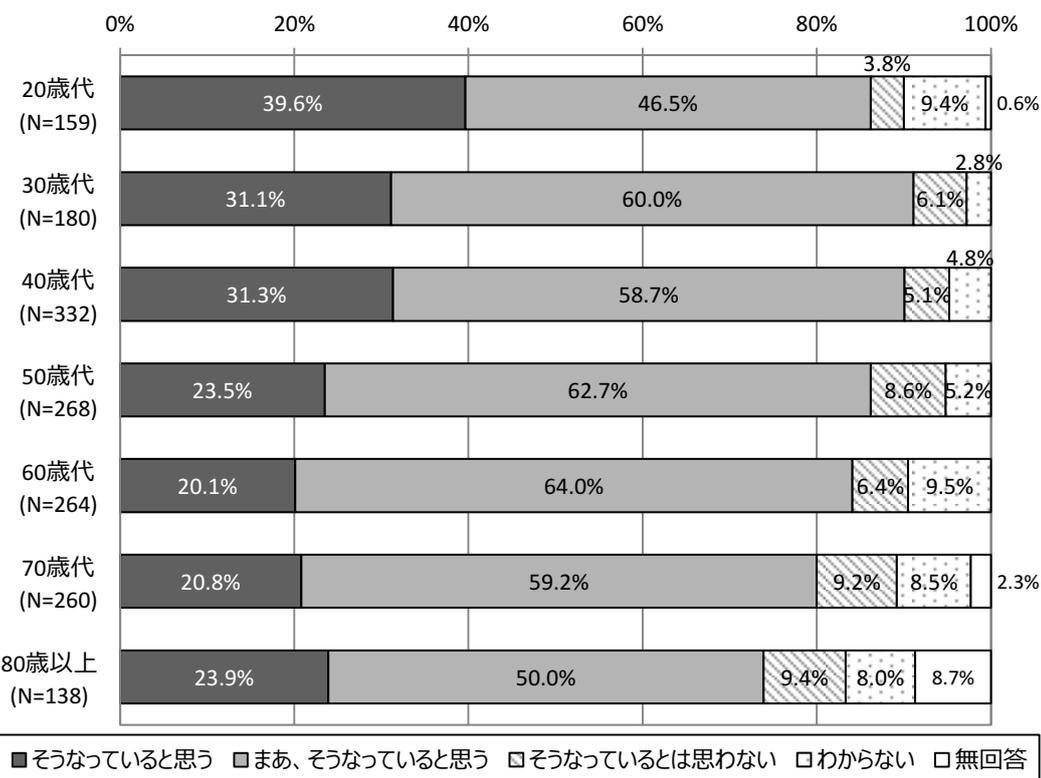
【満足度と重要度からみた施策の評価】



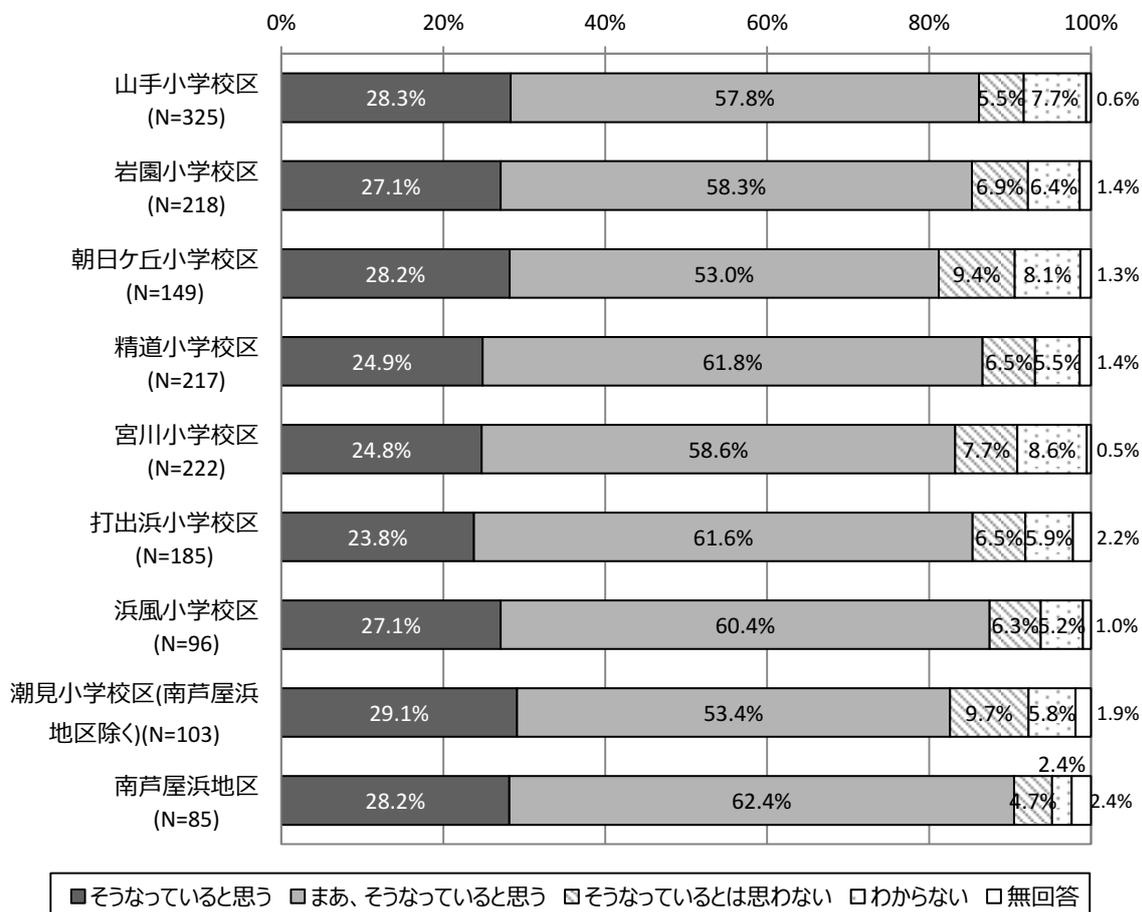
○性別では、女性で肯定的な回答の比率が高くなっている。



○20歳代で「そうになっていると思う」の比率が高いなど、若い世代ほど肯定的な回答の比率が高く、年齢が高くなるほど低下する傾向にある。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

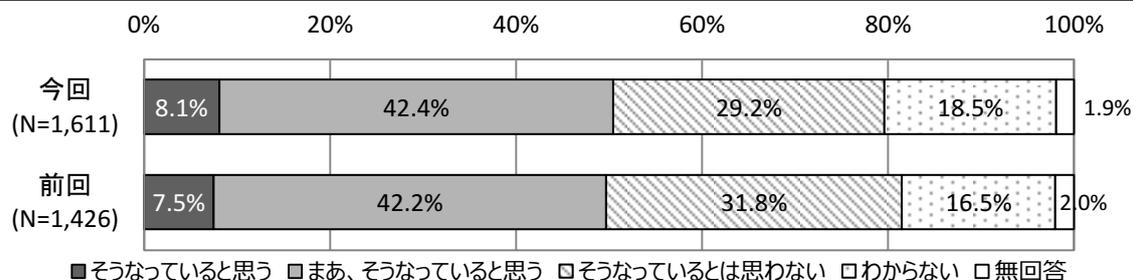


②⑥ 交通ルールやマナーに関する意識が高まっている

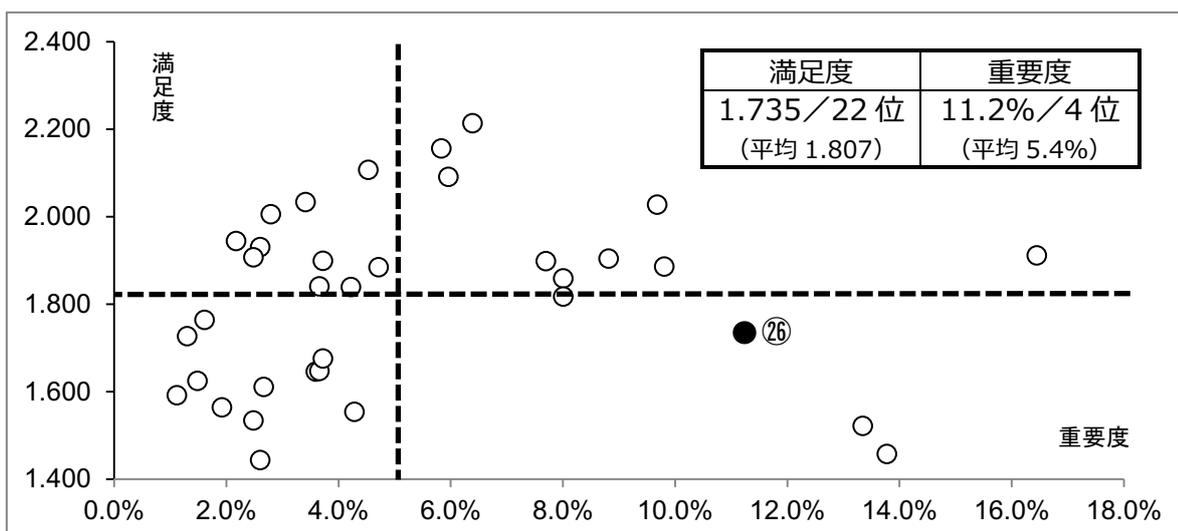
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	12-1-1	交通に関するルールとマナーの周知，啓発に努めます。
------	--------	---------------------------

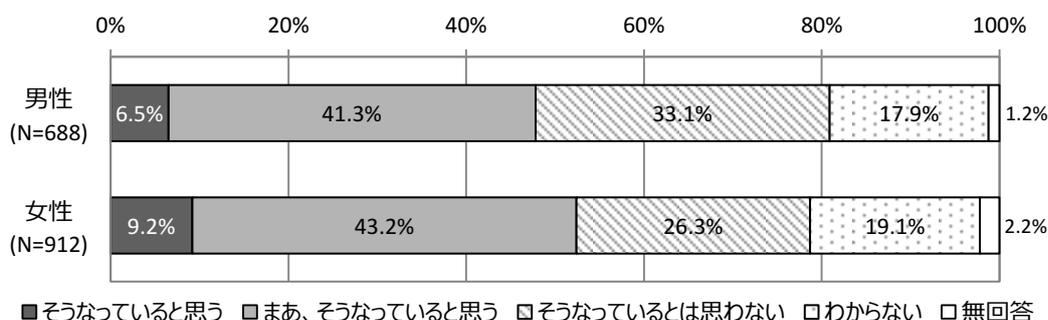
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 50.5%、
否定的意見の「そうなっていると思わない」は 29.2%となっている。
○満足度は中位，重要度は 4 位に位置している。
○前回との比較では，大きな変化はみられない。



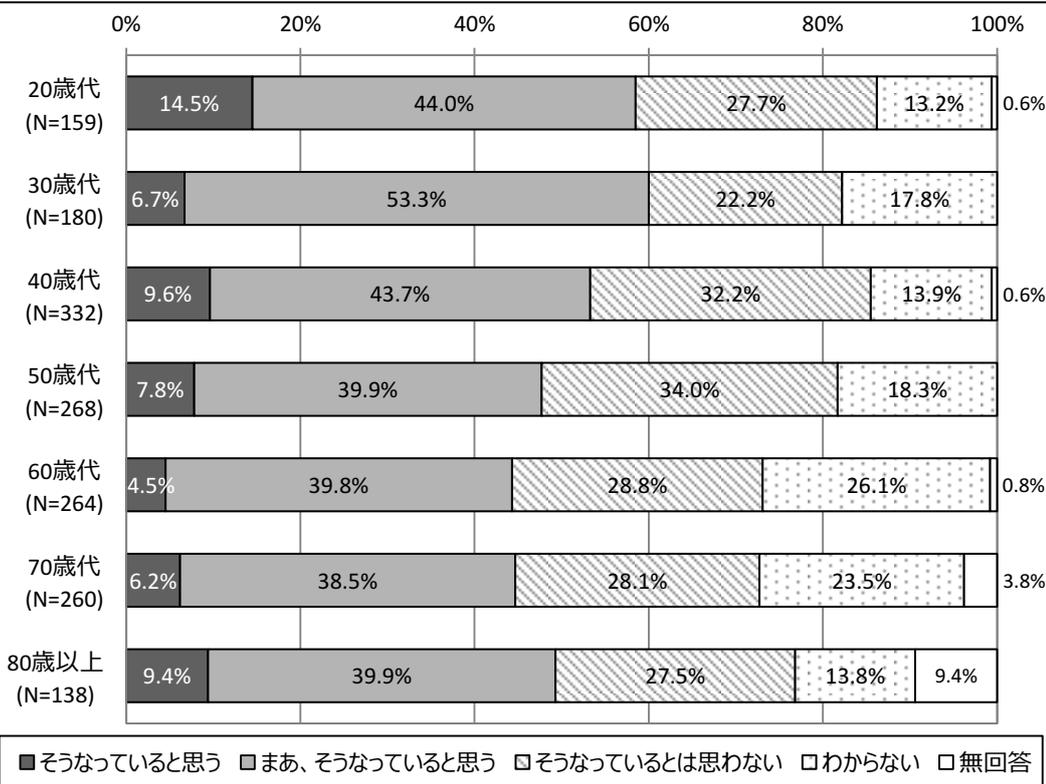
【満足度と重要度からみた施策の評価】



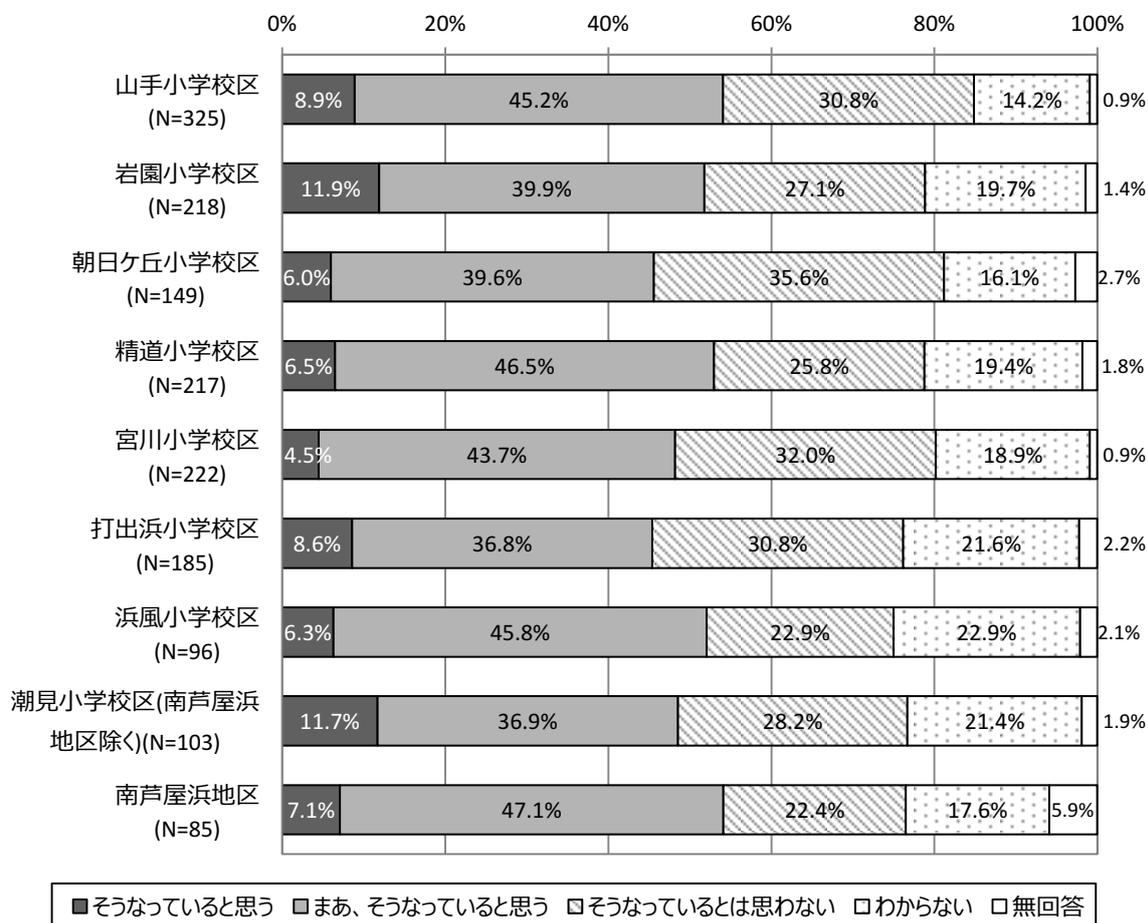
○女性で肯定的な回答が，男性で否定的な回答の比率が高くなっている。



○20歳代で「そうなっていると思う」の比率が高く、全体として若い世代ほど肯定的な回答の比率が高い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

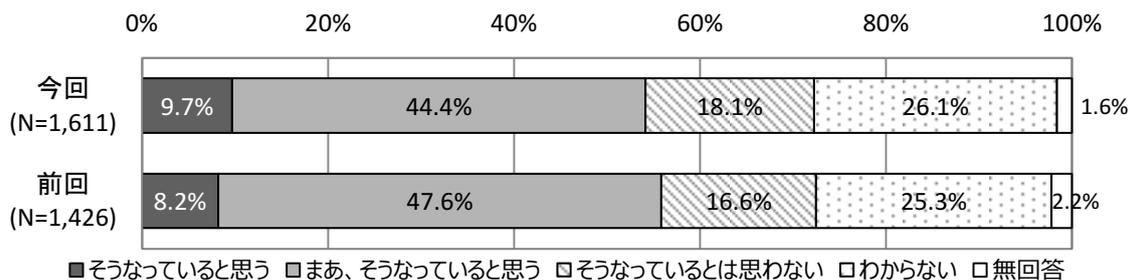


②⑦ 公共施設などのバリアフリー化が進んでいる

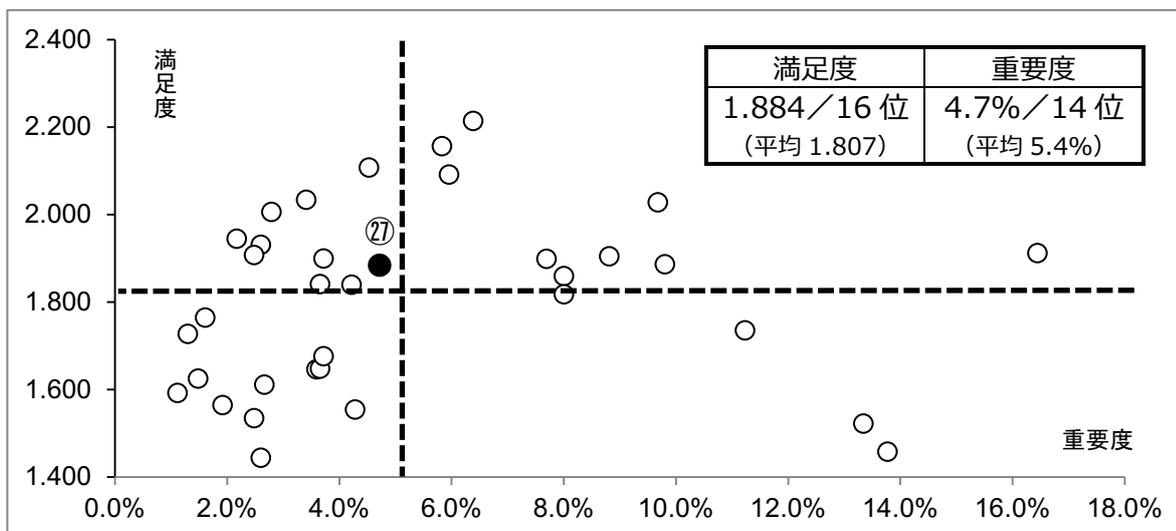
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	12-2-1	道路や公園などの公共空間や様々な人が利用する建物のバリアフリー化を進めます。
------	--------	--

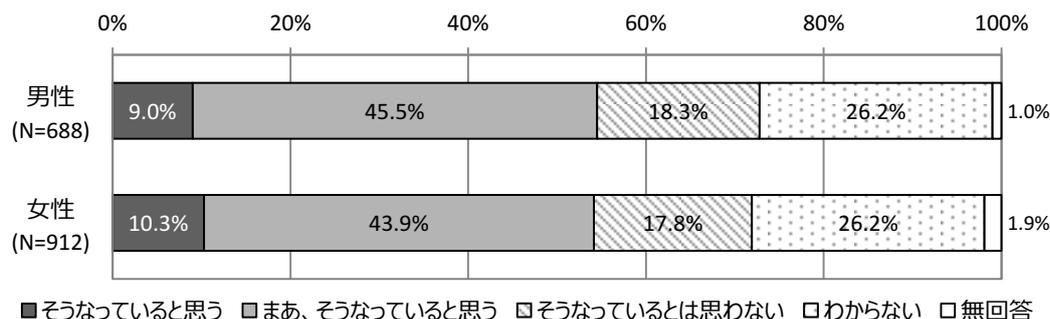
- 「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 54.2%、否定的意見の「そうになっていると思わない」は 18.1%となっている。
- 満足度、重要度ともに中位に位置している。
- 前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、朝日ヶ丘小学校区では肯定的意見の比率が 12.6 ポイント下がっている。



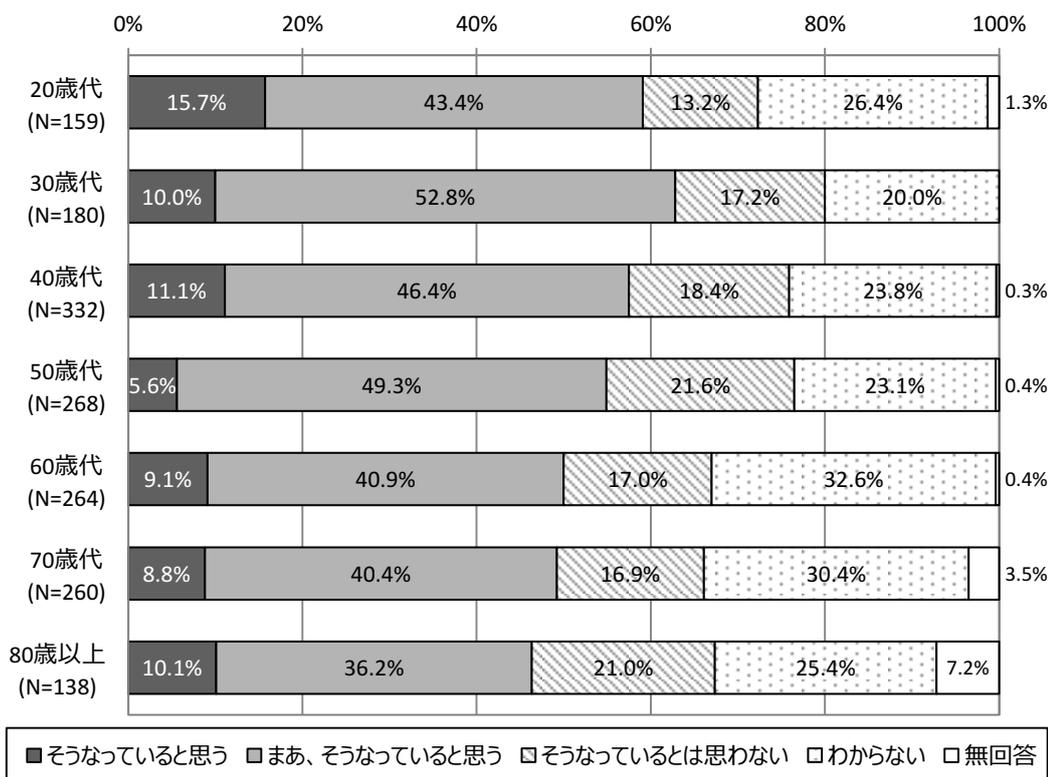
【満足度と重要度からみた施策の評価】



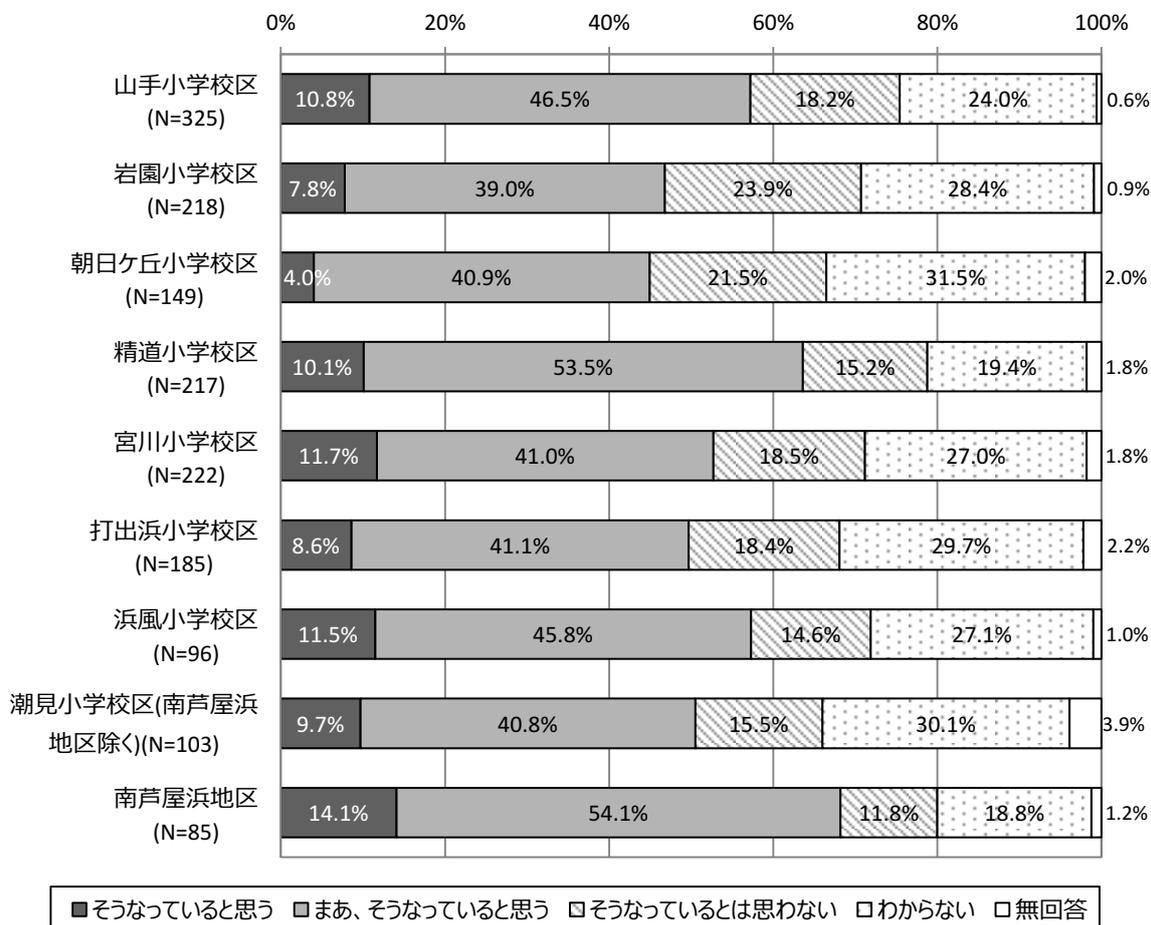
○性別では、統計的に有意な差はない。



○肯定的な回答の比率は若い世代で高い傾向にあり、特に「そうなっていると思う」の比率は20歳代で高い。



○朝日ヶ丘小学校区で肯定的な回答の比率が低く、岩園小学校区では否定的な回答の比率が高い。

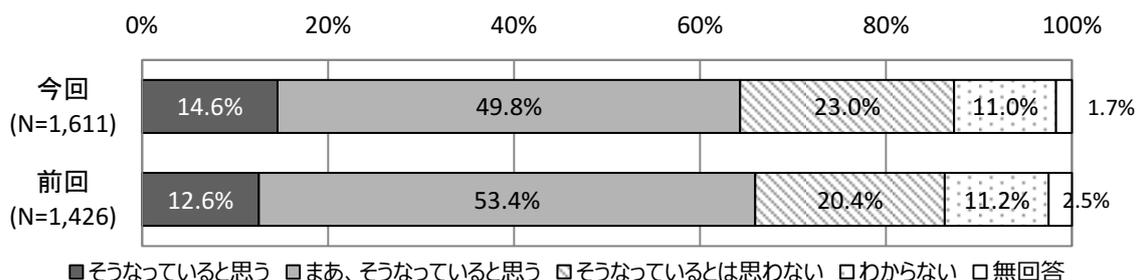


㊸ 市内を安全かつ快適に移動できる

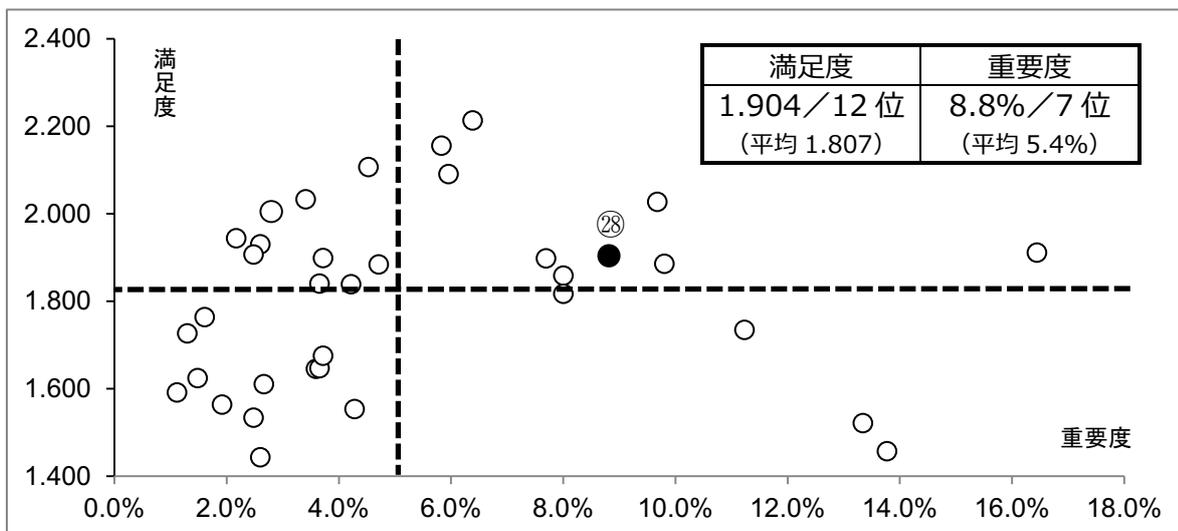
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	12-3-1	道路や交通安全施設の整備，維持管理を適切に行います。
	12-3-2	J R 芦屋駅周辺の交通結節機能を高める取組を進めます。

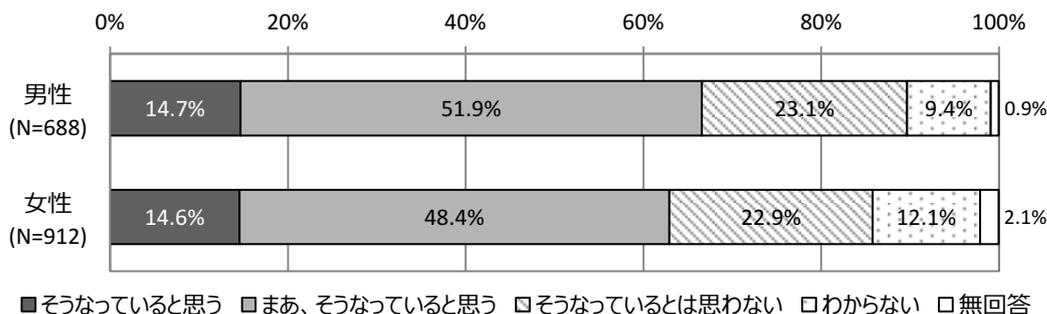
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 64.4%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 23.0%となっている。
 ○満足度は中位，重要度は上位に位置している。
 ○前回との比較では，大きな変化はみられない。



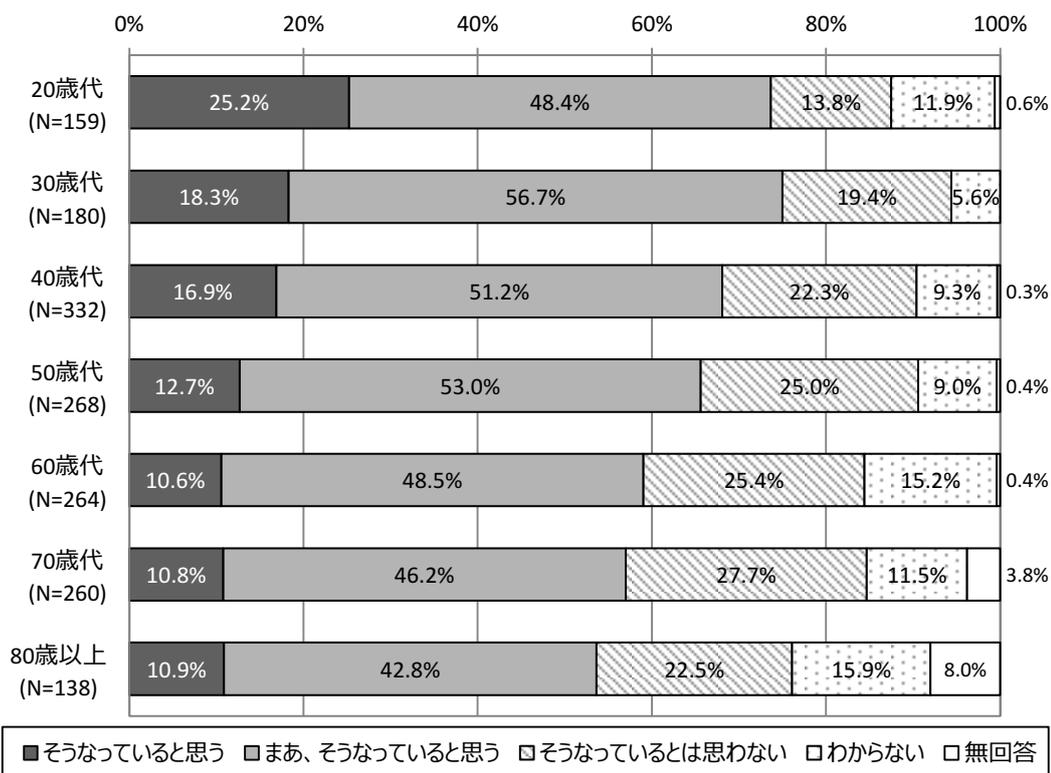
【満足度と重要度からみた施策の評価】



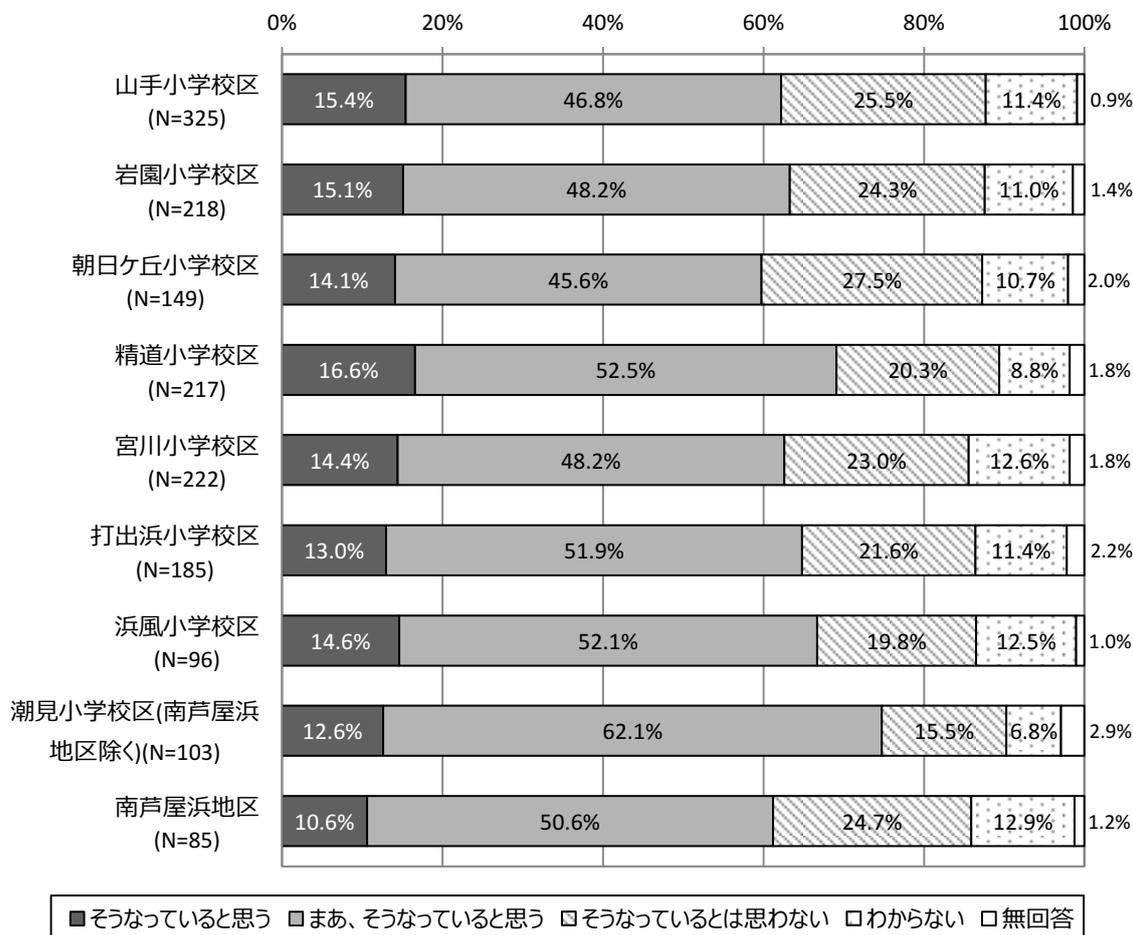
○性別では，統計的に有意な差はない。



○20歳代で「そうになっていると思う」の比率が25%を超えるなど、若い世代ほど肯定的回答が多くなっている。一方、年代が高いほど「わからない」の比率が高くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

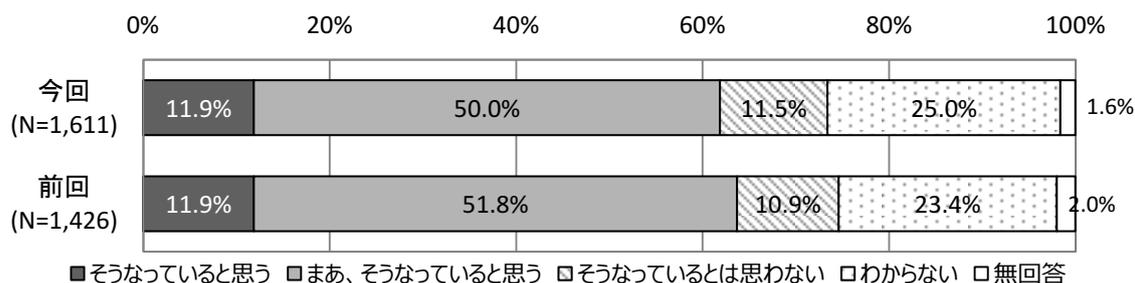


⑳ 良質なすまいづくりが進んでいる

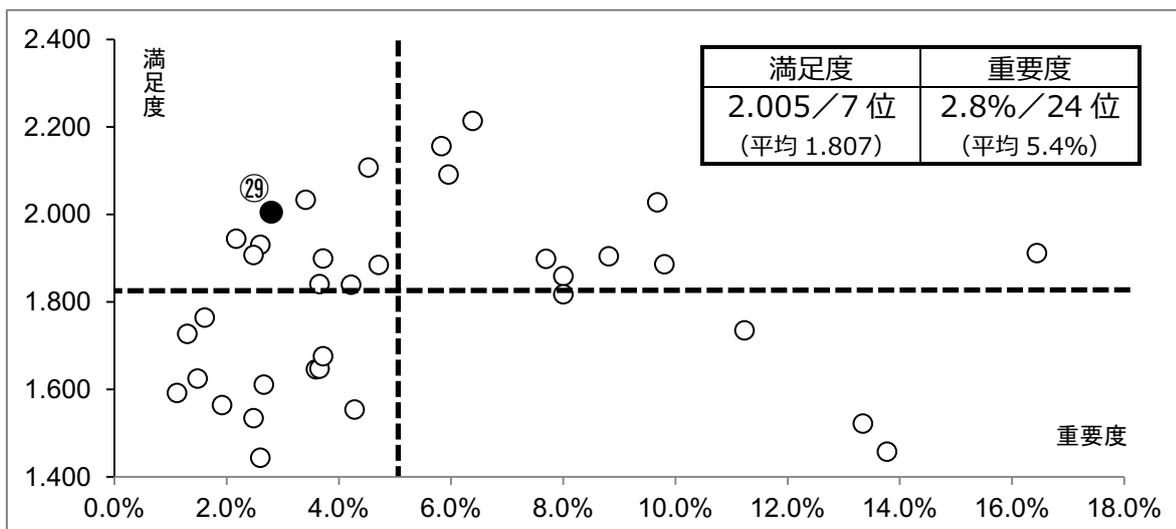
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	13-1-1	質の高い魅力あるすまいづくりを促進します。
	13-1-2	良質な住宅ストック形成への対策を進めます。
	13-1-3	市営住宅の大規模集約事業を円滑に実施します。

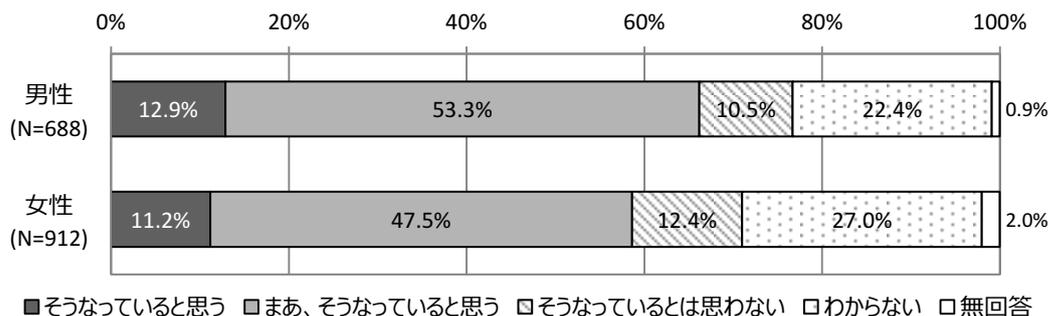
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 61.9%、否定的意見の「そうなっていないと思わない」は 11.5%となっている。
 ○満足度は 7 位、重要度は中位に位置している。
 ○前回との比較では、大きな変化はみられない。



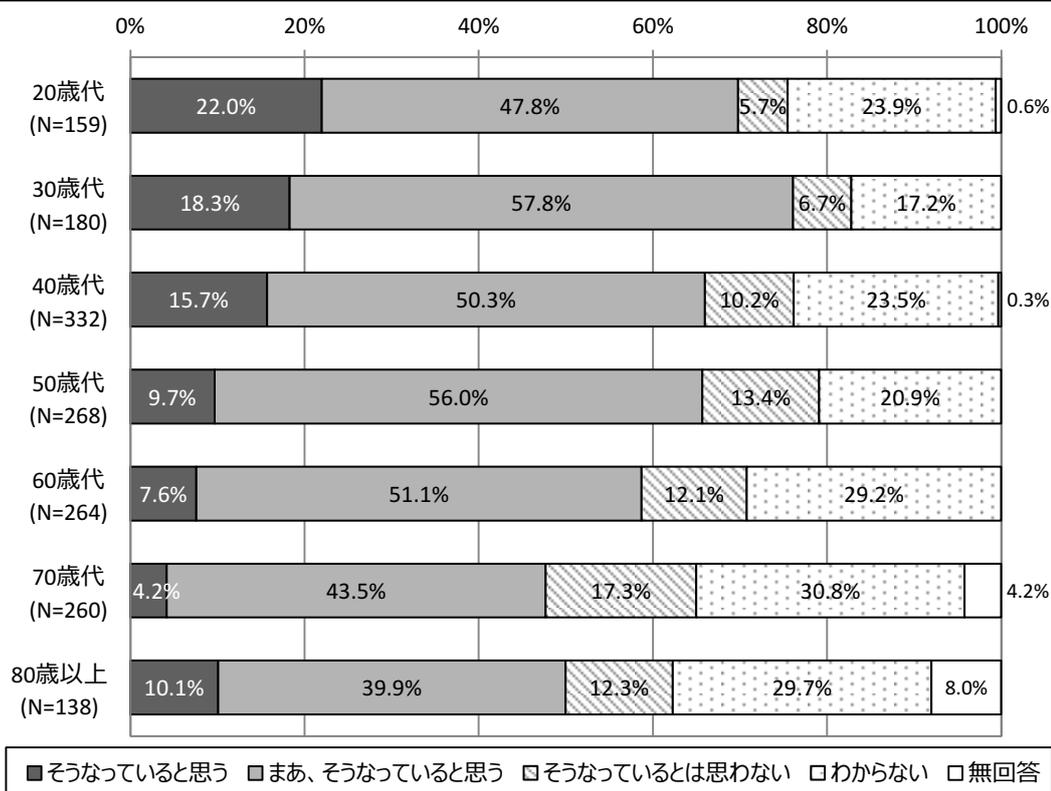
【満足度と重要度からみた施策の評価】



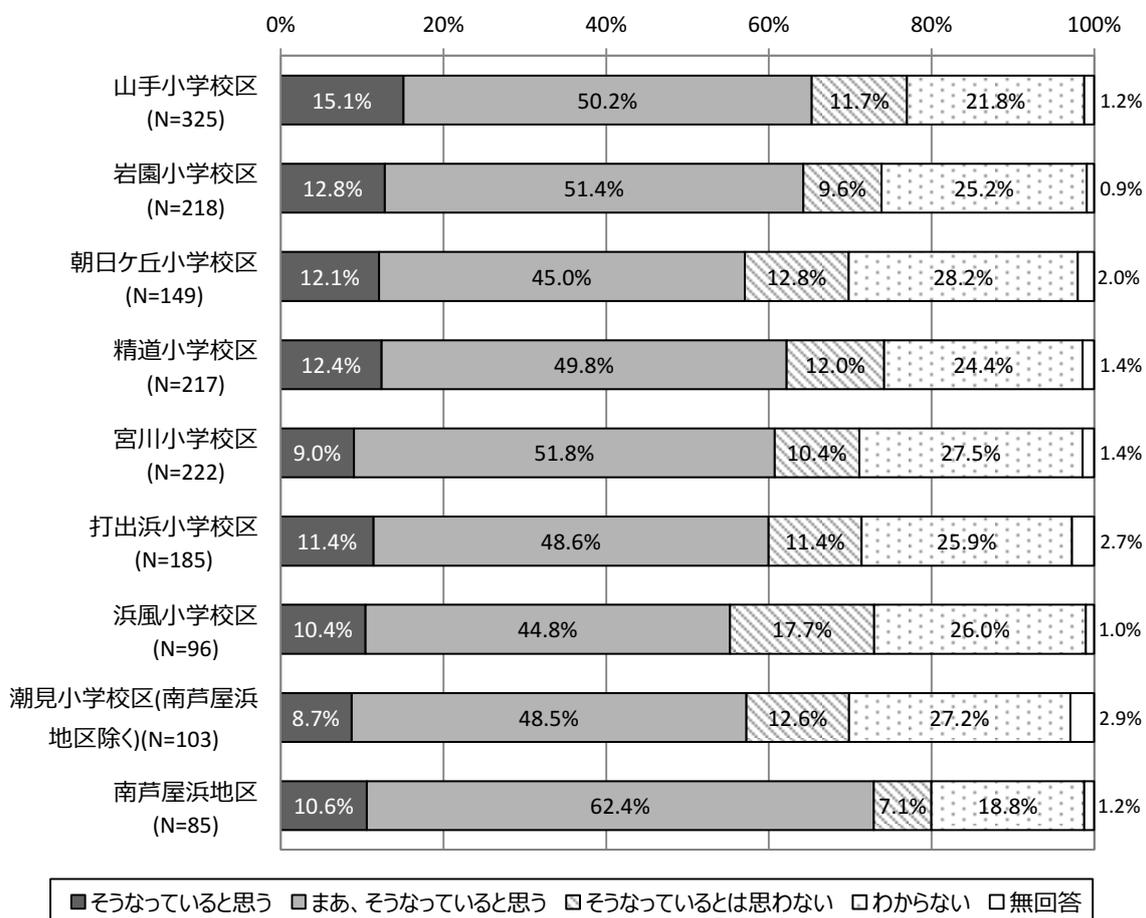
○男性で肯定的な回答の比率が高くなっている。女性では「わからない」の比率が高い。



○「そうなっていると思う」の比率は20歳代で高く、肯定的な回答の比率も若い世代で高い傾向にある。年齢が高いほど「わからない」の比率が高い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

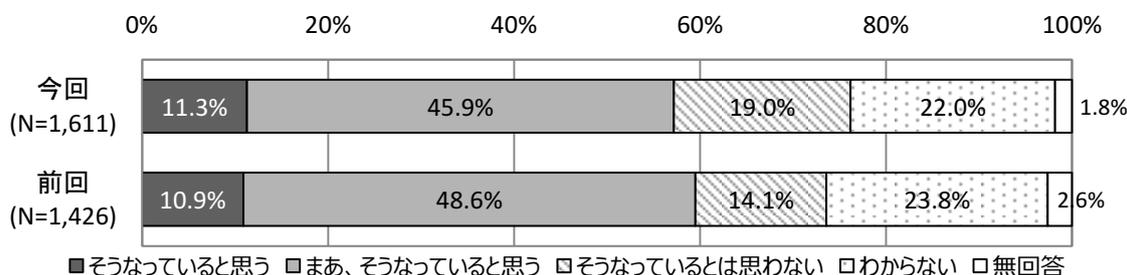


③ 住宅都市としての機能が充実している

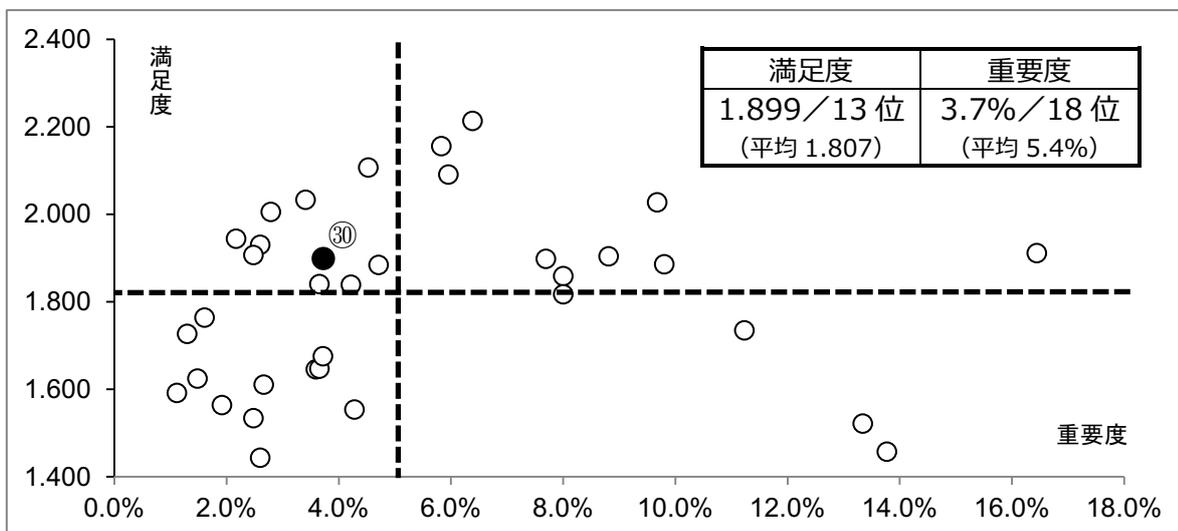
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	13-2-1	公共施設等の保全計画に基づき効率的かつ適切な改修や維持管理を行います。
	13-2-2	環境関連施設を適切かつ計画的に整備，運営します。
	13-2-3	住宅都市に必要な都市施設を計画的に整備していくための検討を行います。

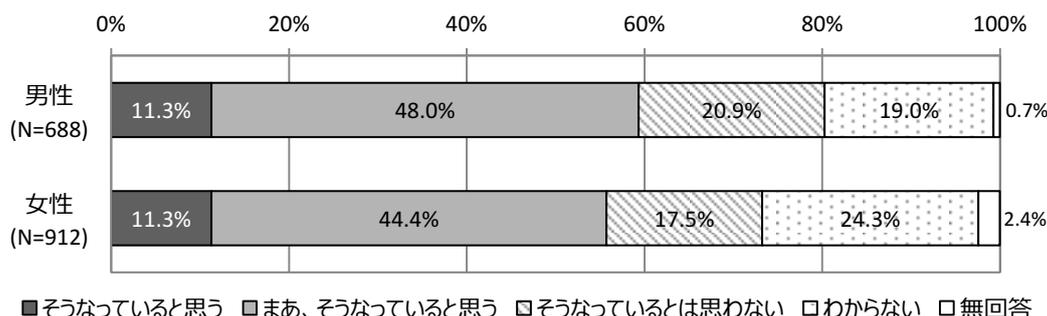
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 57.2%、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は 19.0%となっている。
 ○満足度、重要度とも中位に位置している。
 ○前回との比較では、全体として否定的意見の比率が上がっており、中でも朝日ヶ丘小学校区では肯定的意見の比率も 10.6 ポイント下がっている。一方、潮見小学校区では肯定的意見の比率が 12.2 ポイント上がっている。



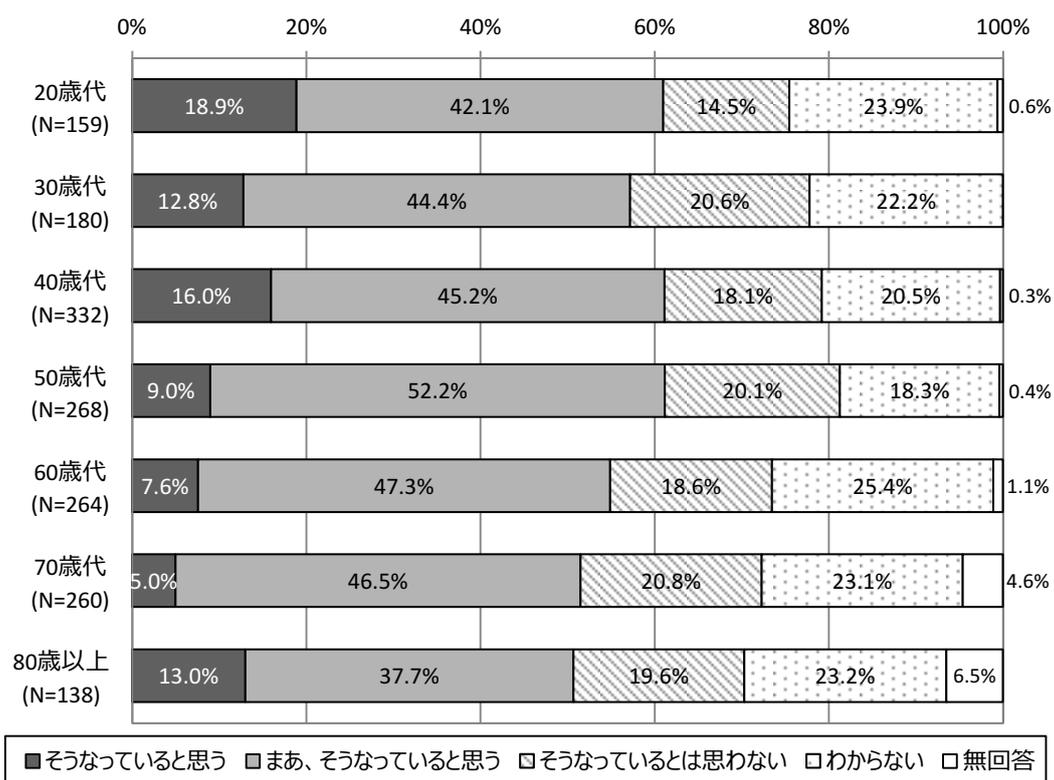
【満足度と重要度からみた施策の評価】



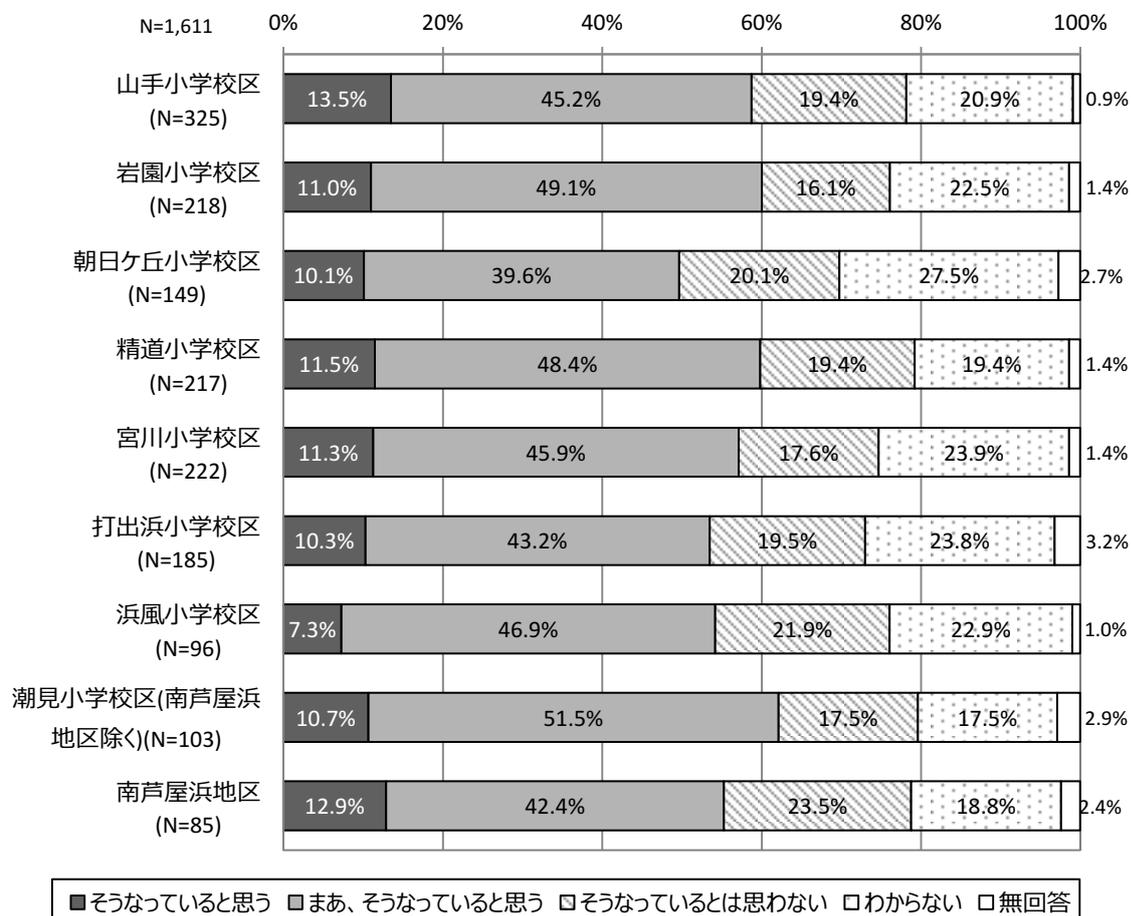
○女性で「わからない」の比率が高くなっている。



○「そうなっていると思う」の比率は20歳代、40歳代で高く、60～70歳代で低くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

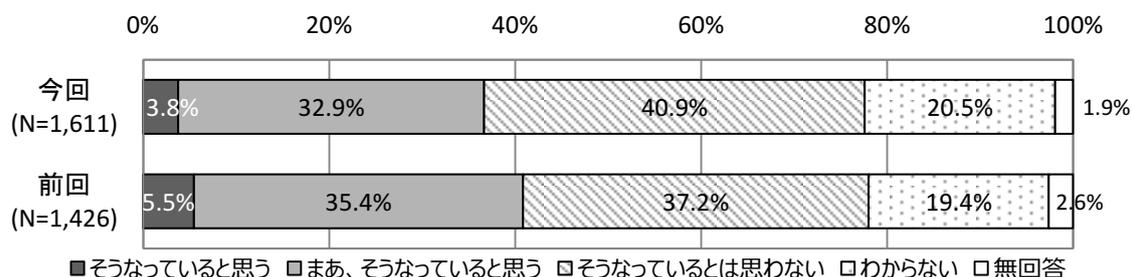


③1 市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している

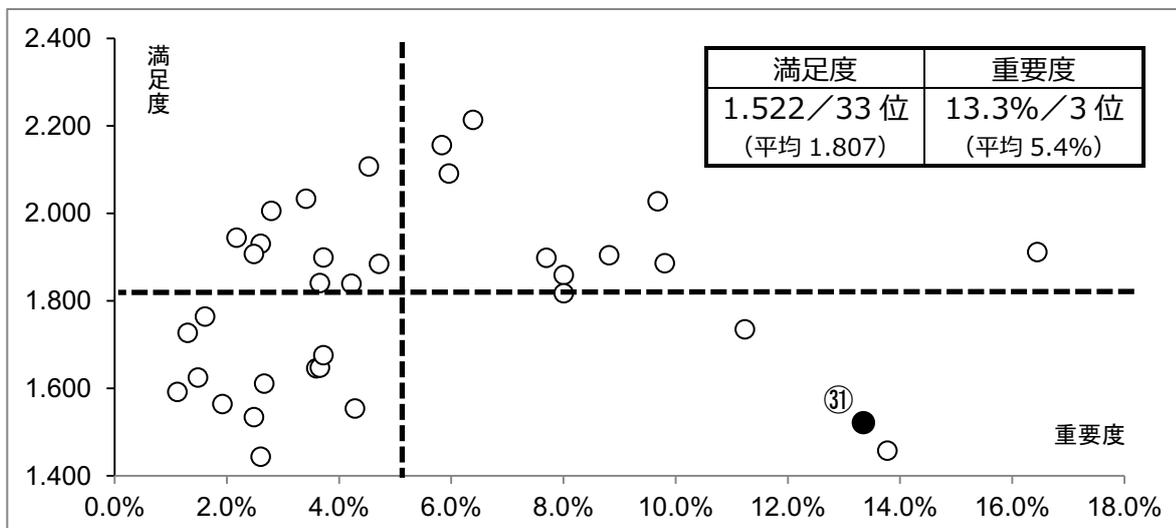
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	13-3-1	生活利便性を向上させるため、市内の商業を活性化します。
	13-3-2	J R芦屋駅両地区まちづくりにおいて、生活利便性を向上させる取組を進めます。

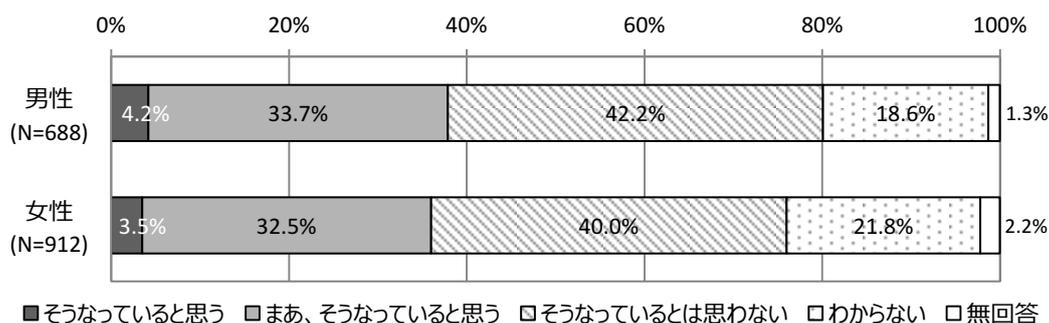
- 「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は36.7%にとどまり、否定的意見の「そうなっていると思わない」が40.9%となっている。
- 満足度は低位に位置するが、重要度は3位で、回答者からの期待が高い。
- 前回との比較では、全体として肯定的意見の比率が下がっており、特に60歳代(-13.1ポイント)、地区別では宮川小学校区(-10.2ポイント)でこの傾向が顕著である。



【満足度と重要度からみた施策の評価】

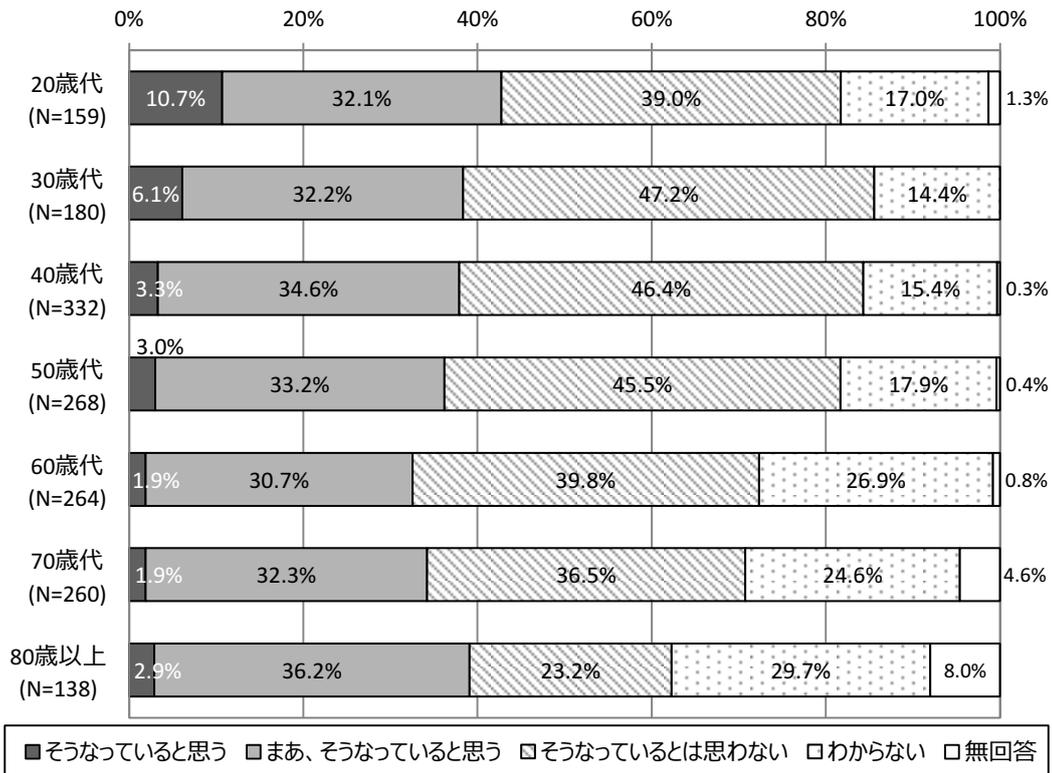


○性別では、統計的に有意な差はない。

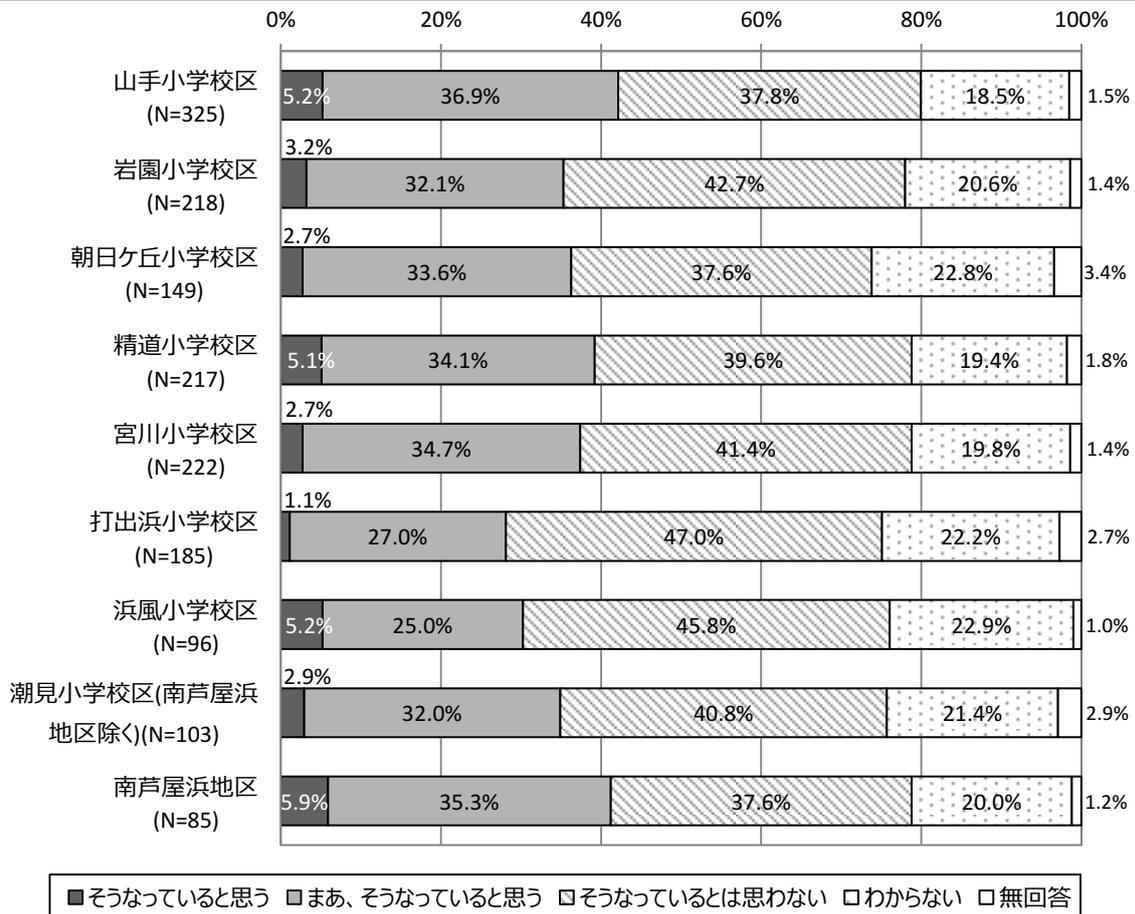


○20歳代で「そうなっていると思う」の比率が高い。

○年齢の高い層、特に60歳代以上で「わからない」の比率が高くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



③ 市民参画による開かれた市政を運営している

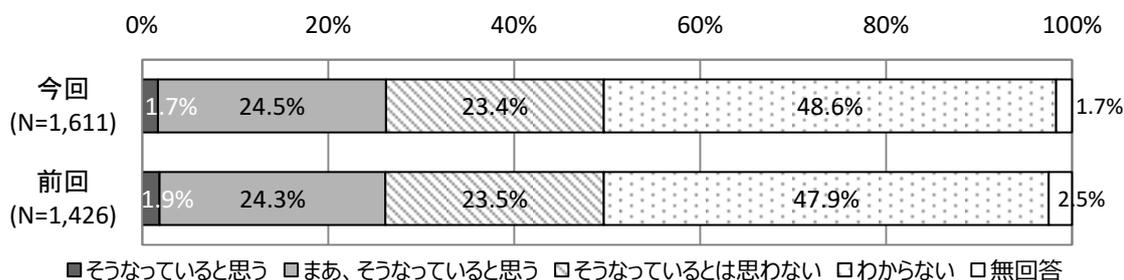
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	14-1-1	市政に関する情報を適切な方法で整理し、公開性を高めます。
	14-1-2	市民参画の機会と協働推進のための仕組みを充実し、拡大に努めます。
	14-1-3	各施策について、市民目線での評価、改善に取り組みます。

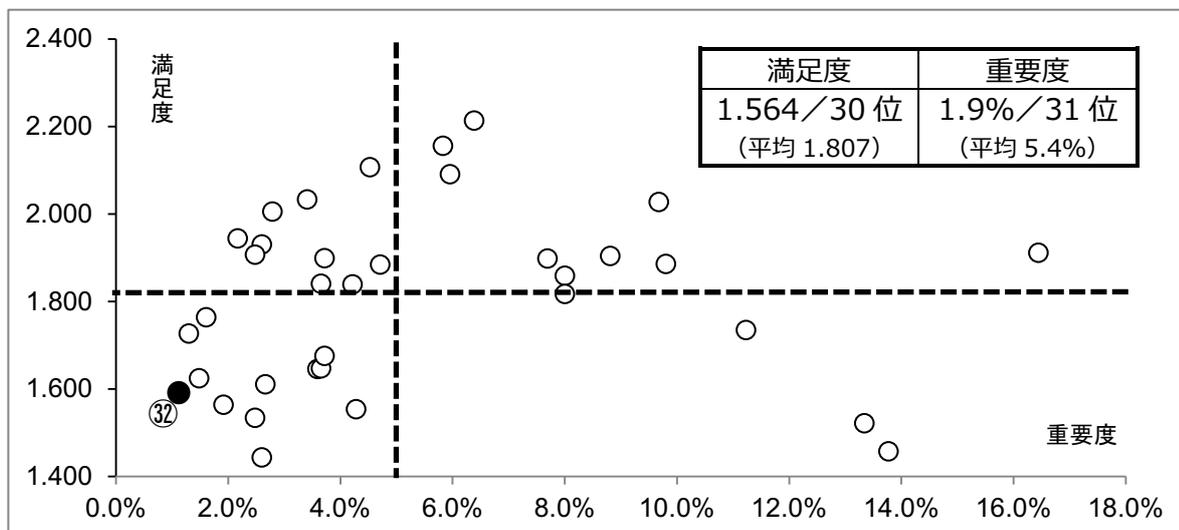
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 26.3%にとどまり、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 23.4%となっている。「わからない」が 48.6%でほぼ半数を占めている。

○満足度、重要度とも低位に位置づけられている。

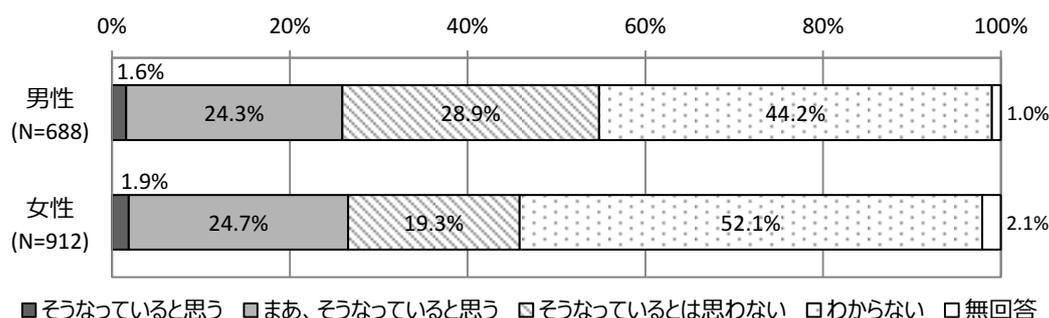
○前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、岩園小学校区で肯定的意見の比率が 11.6ポイント下がり、否定的意見の比率が 13.9ポイント上がっている。



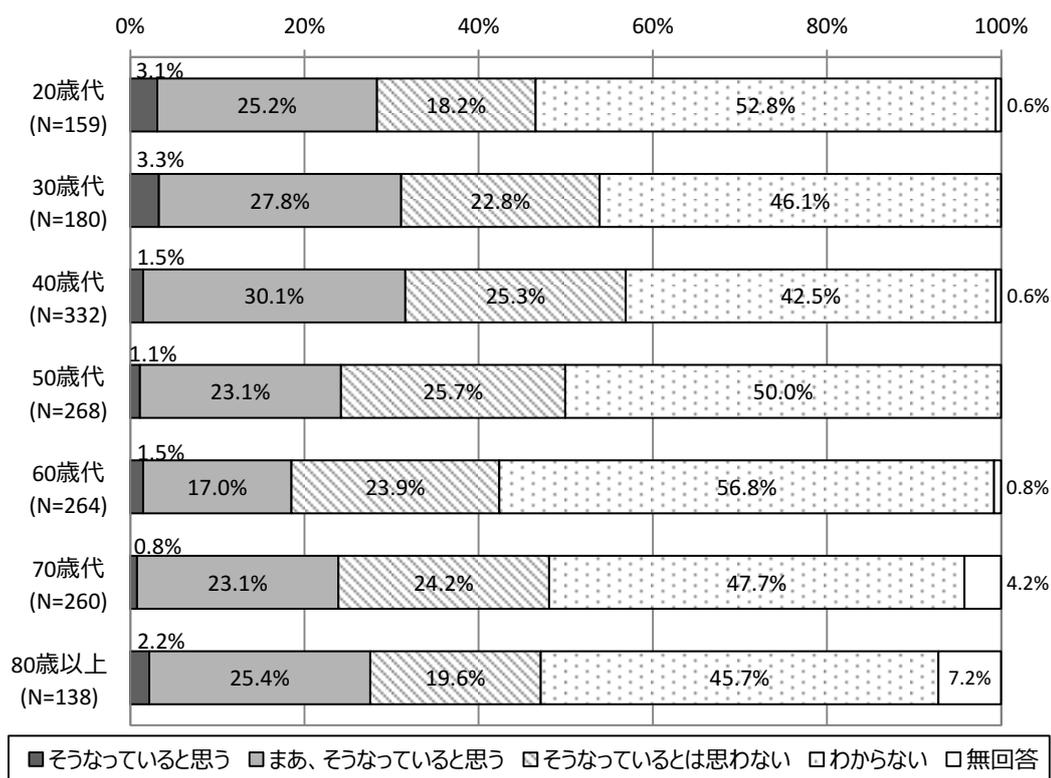
【満足度と重要度からみた施策の評価】



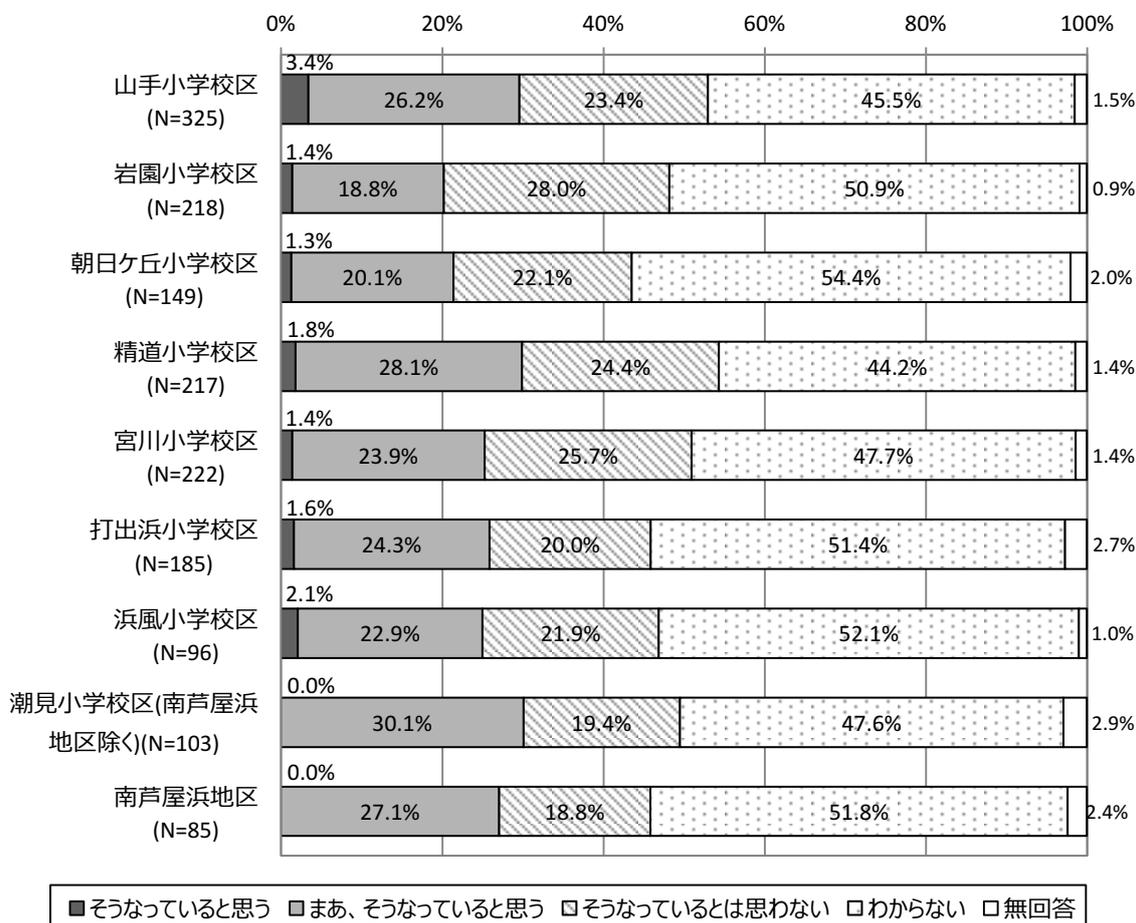
○男性で否定的な回答の比率が高い。女性では「わからない」の比率が高い。



○各年代を通じて「わからない」の比率が高く、年代別で統計的に有意な差はない。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

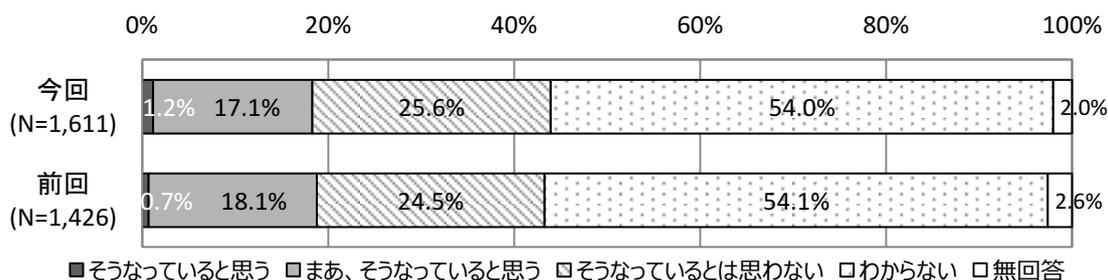


③ 変化に対応できる柔軟な組織運営をしている

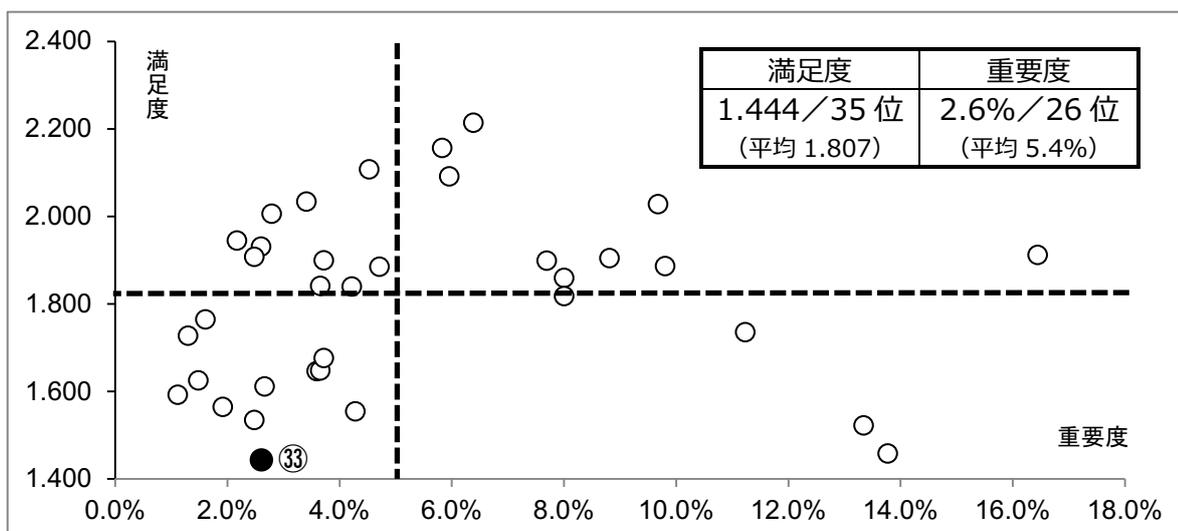
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	14-2-1	自ら考え行動する職員を育成し、行政サービスの質の向上を目指します。
	14-2-2	職員一人一人及び市役所全体の課題対応力と危機管理能力の向上を目指します。

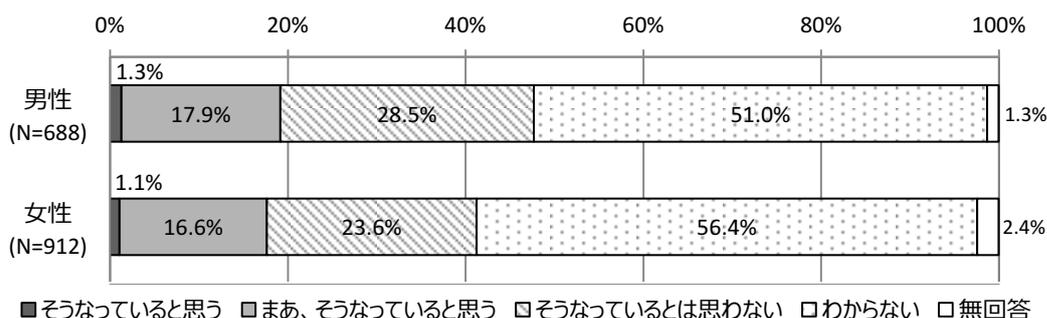
- 「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は18.3%と35分野中最も低位で、「わからない」の比率が54.0%で半数を超えている。
- 満足度は35位、重要度も低位に位置づけられている。
- 前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、岩園小学校区で否定的意見の比率が11.9ポイント上がっている。



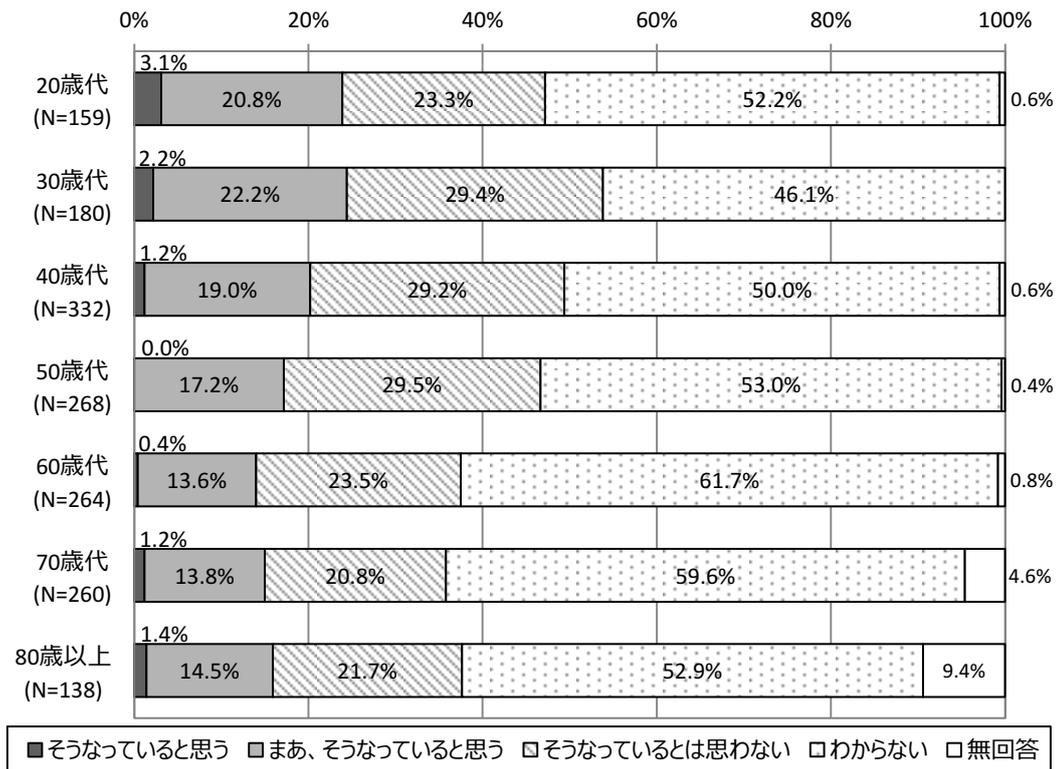
【満足度と重要度からみた施策の評価】



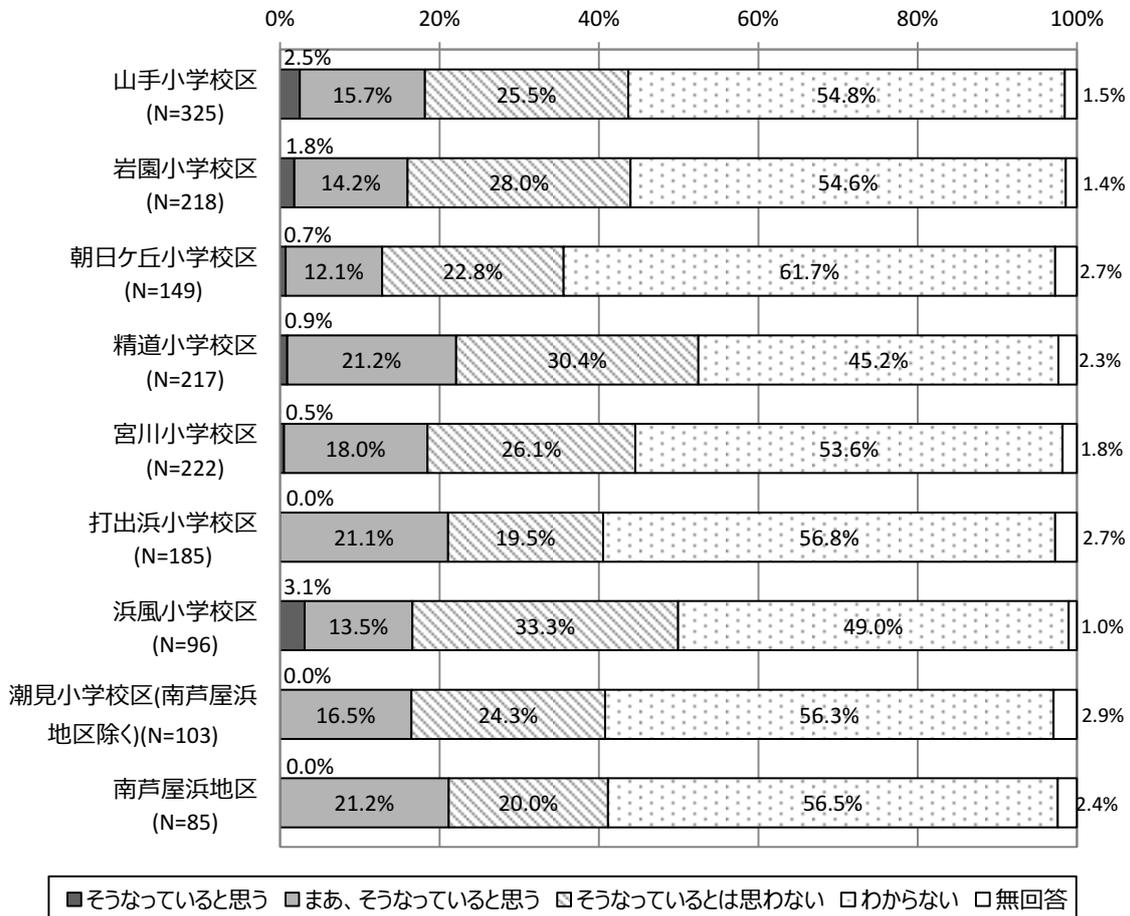
○性別では、統計的に有意な差はなく、男女とも「わからない」が半数を超えている。



○各年代を通じ、特に60～70歳代で「わからない」の比率が高い。



○各地区とも「わからない」の比率が高く、特に朝日ヶ丘小学校区では60%を超えている。

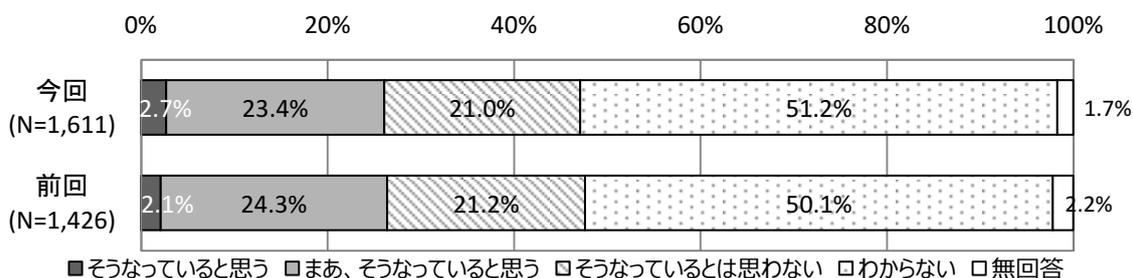


③④ 様々な資源を有効に活用している

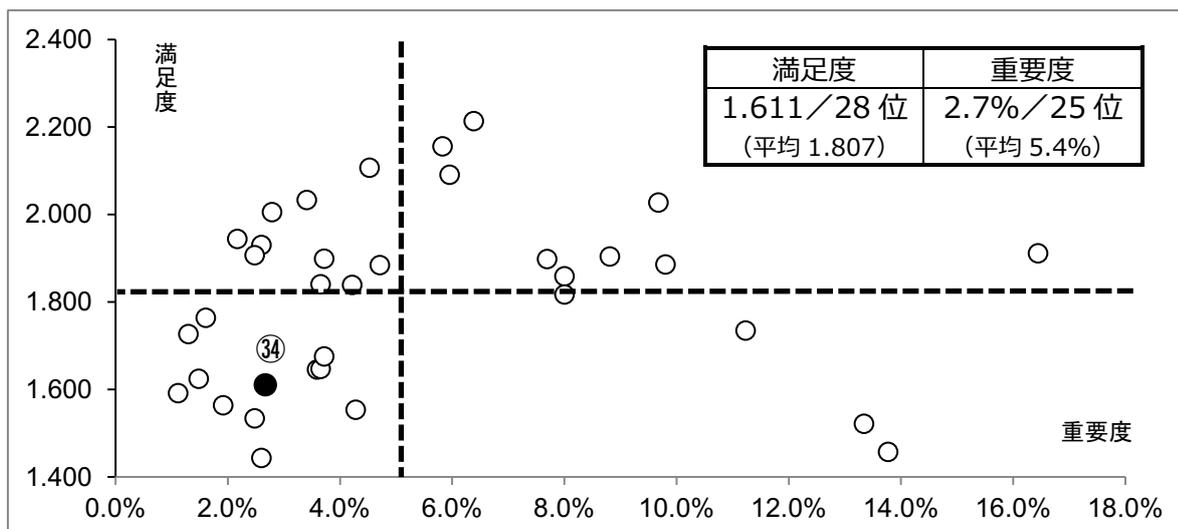
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	15-1-1	芦屋の個性を生かし、住み続けたいまち・住んでみたいまち芦屋を目指します。
	15-1-2	官民を問わず、様々な資源を活用し、効果的かつ効率的なサービス向上に努めます。
	15-1-3	市が保有する資産を一元管理し、適正化と有効活用を図ります。

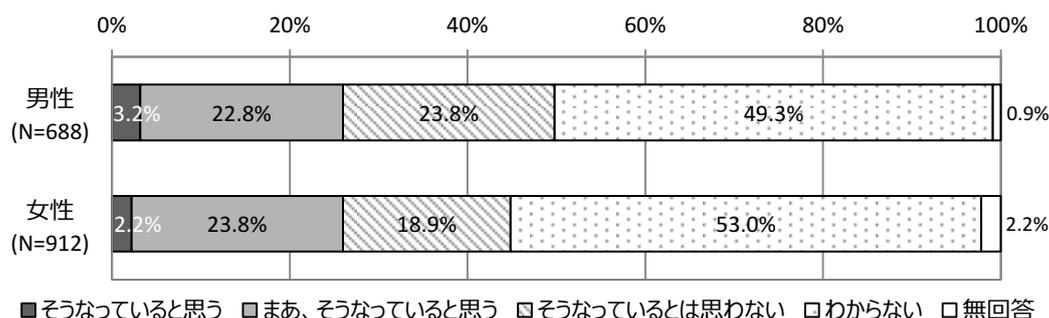
○「そうなっていると思う」「まあ、そうなっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は 26.1%、否定的意見の「そうなっていると思わない」は 21.0%となっている。「わからない」が 51.2%と半数を超えている。
 ○満足度・重要度ともに下位に位置する。
 ○前回との比較では、大きな変化はみられない。



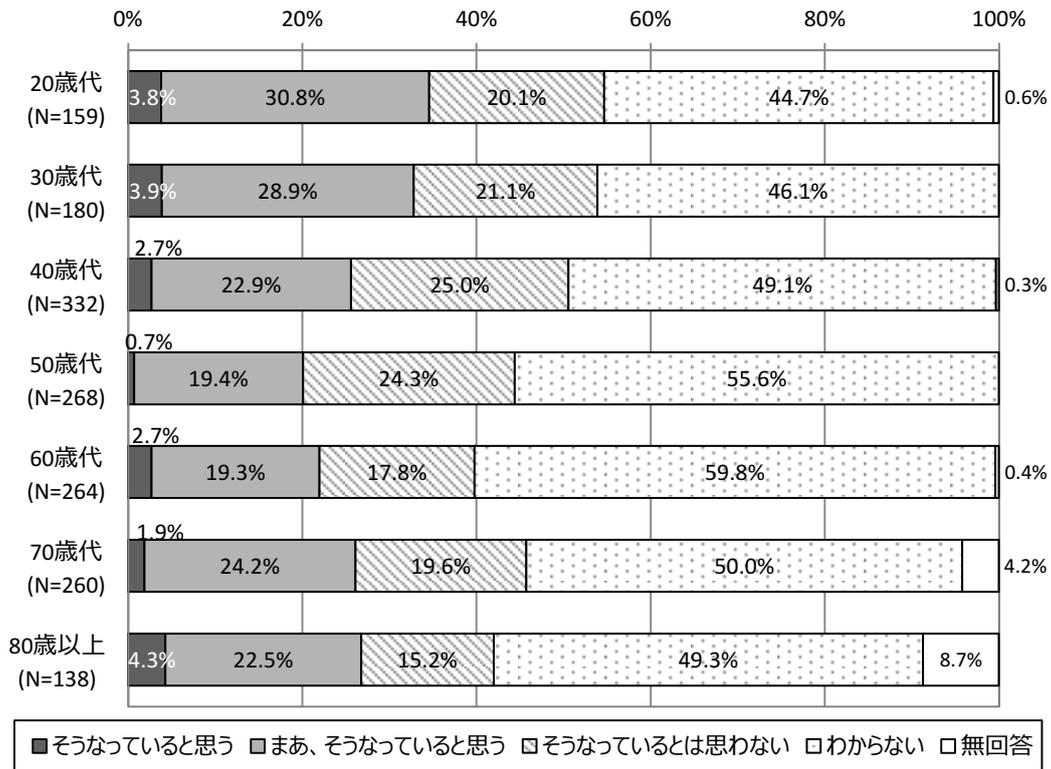
【満足度と重要度からみた施策の評価】



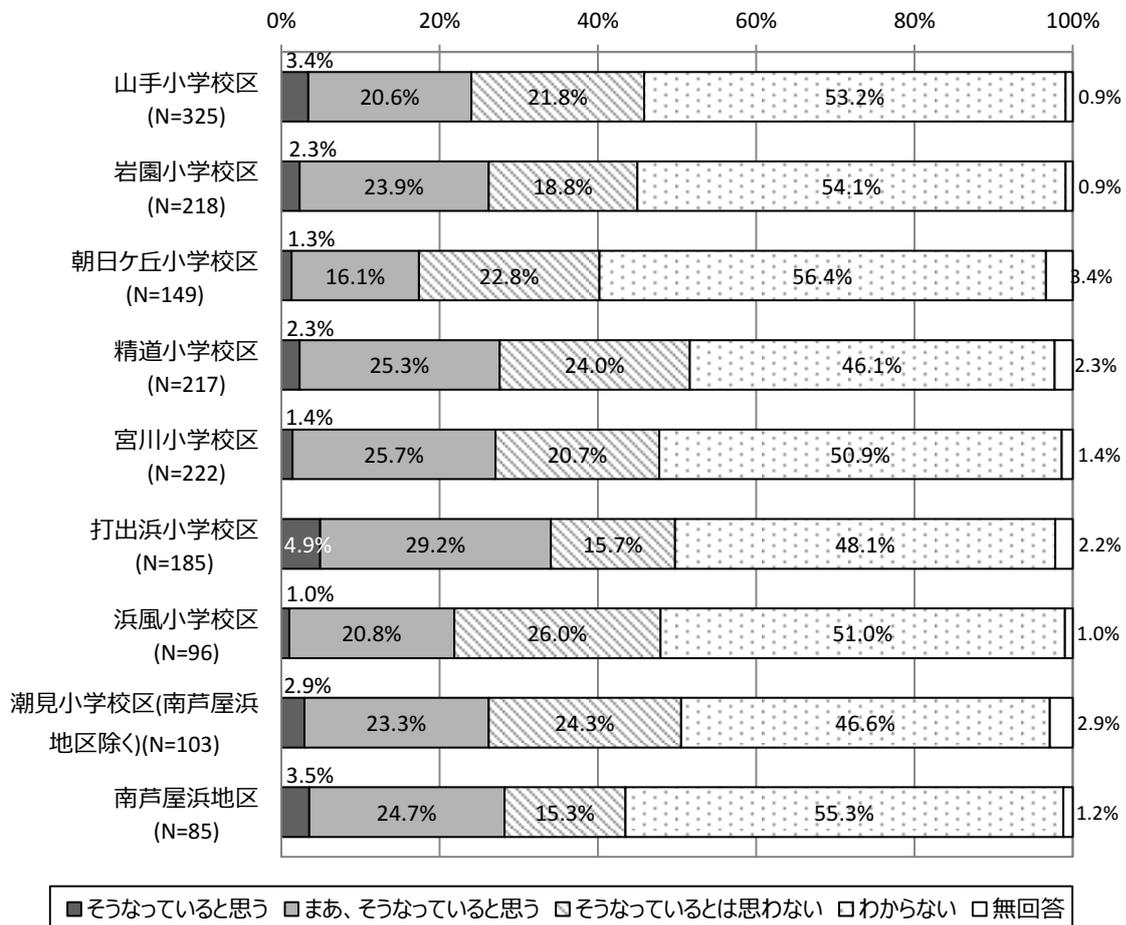
○性別では、統計的に有意な差はない。



○各年代とも、40～60%は「わからない」を選択している。
 ○年代別で、統計的に有意な差はない。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



㊸ 歳入・歳出の構造を改善している

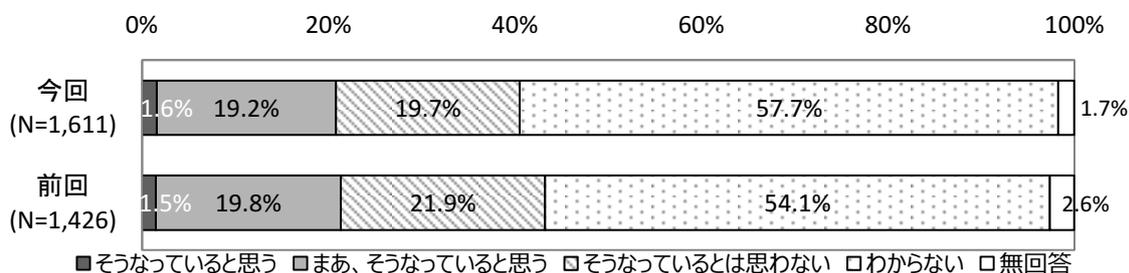
【後期基本計画の重点施策】

重点施策	15-2-1	各施策，事務事業の目的に対する効果を点検し，より効率的かつ効果的な行財政運営を目指します。
	15-2-2	財政を健全化するため，歳入の確保と歳出の適正化に取り組みます。

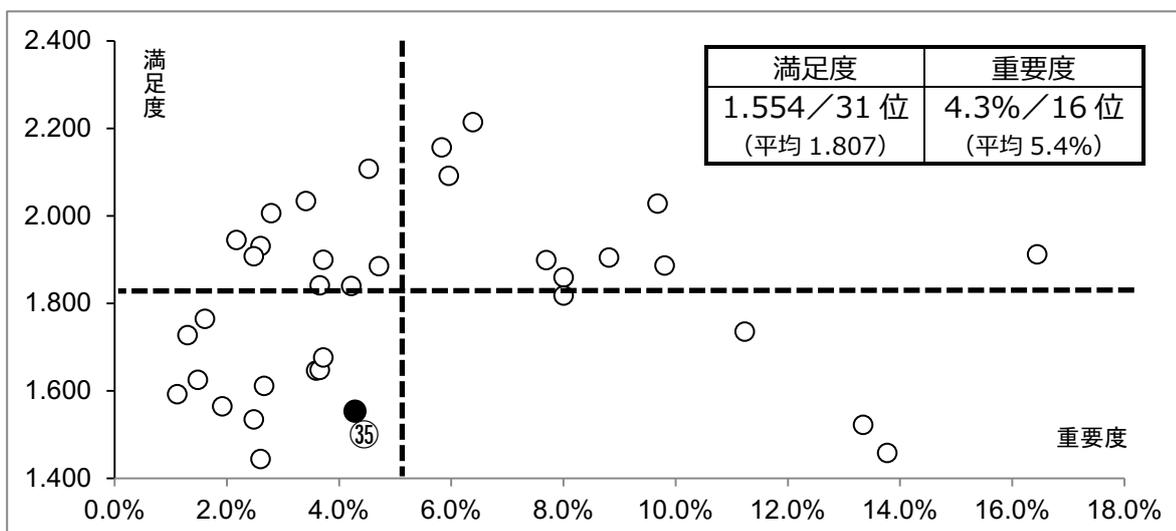
○「そうになっていると思う」「まあ、そうになっていると思う」を合わせた肯定的意見の比率は20.9%であり、否定的意見の「そうになっていないと思わない」は19.7%となっている。「わからない」が57.7%を占める。

○満足度は低位，重要度は中位に位置する。

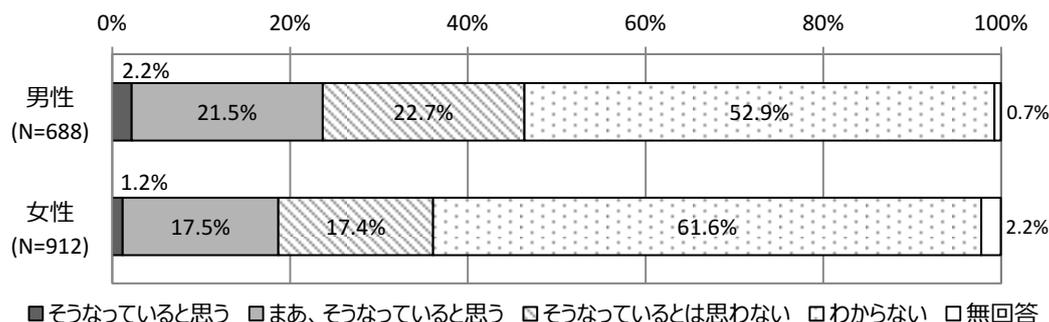
○前回との比較では、「わからない」の比率が高くなっている。また，朝日ヶ丘小学校区では否定的な意見の比率が10.0ポイント下がる一方、「わからない」の比率が14.5ポイント上がっている。



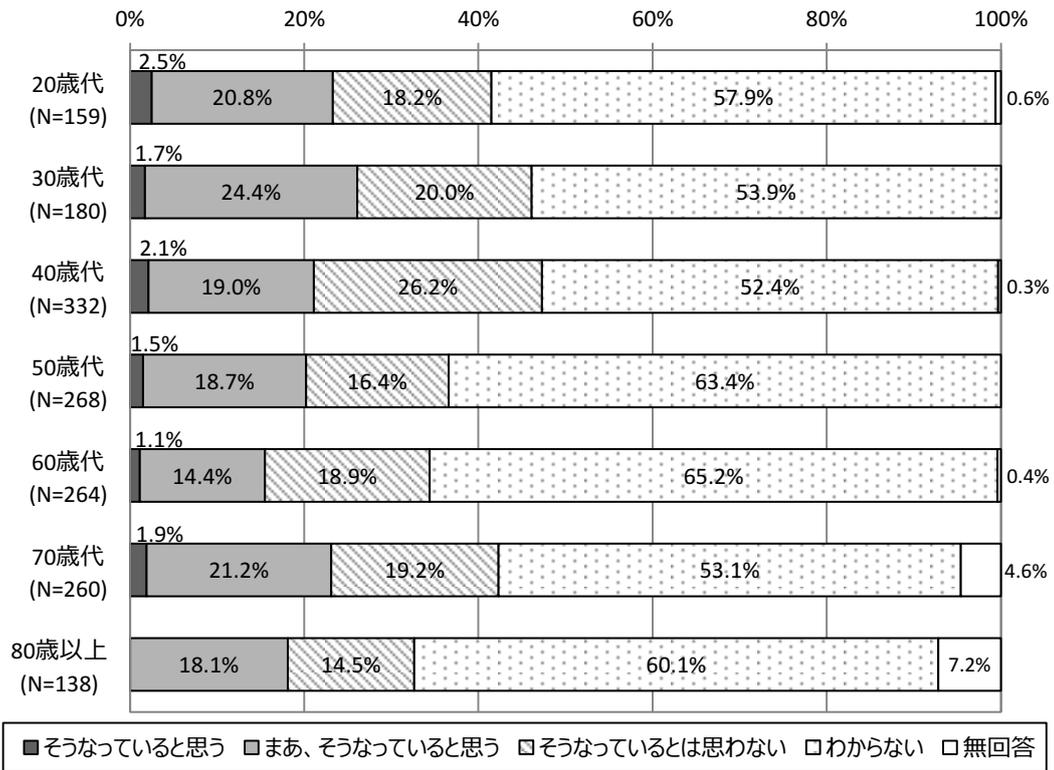
【満足度と重要度からみた施策の評価】



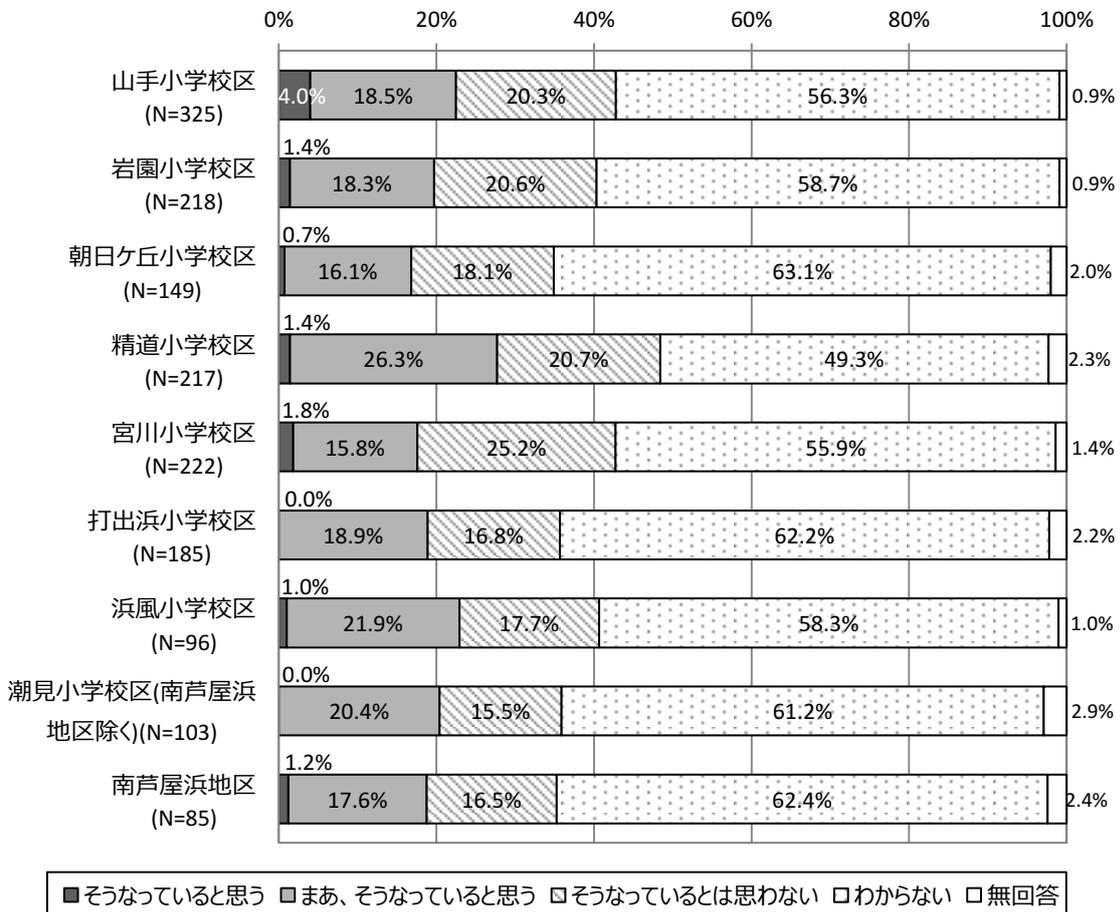
○女性では「わからない」が61.6%に達している。



○各年代とも、半数以上が「わからない」を選択している。
○年代別で、統計的に有意な差はない。



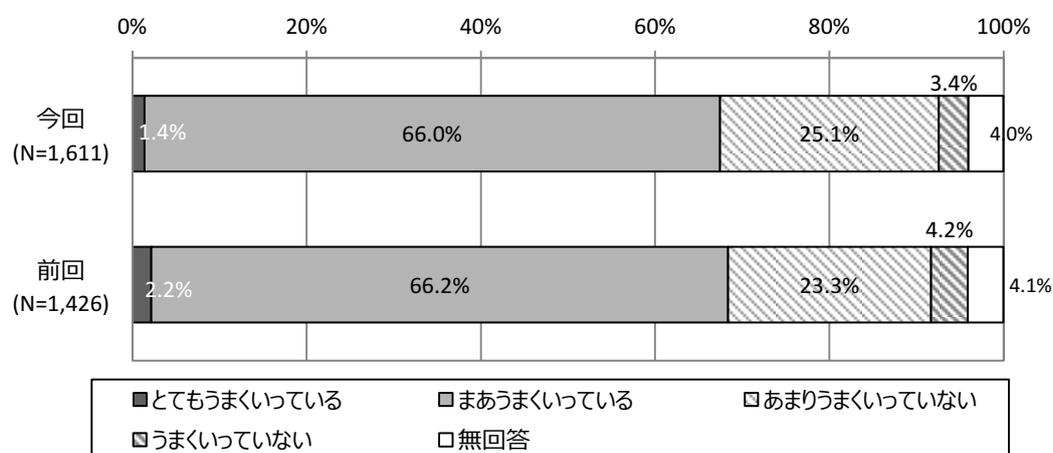
○宮川小学校区で「そうになっているとは思わない」の比率が高くなっている。



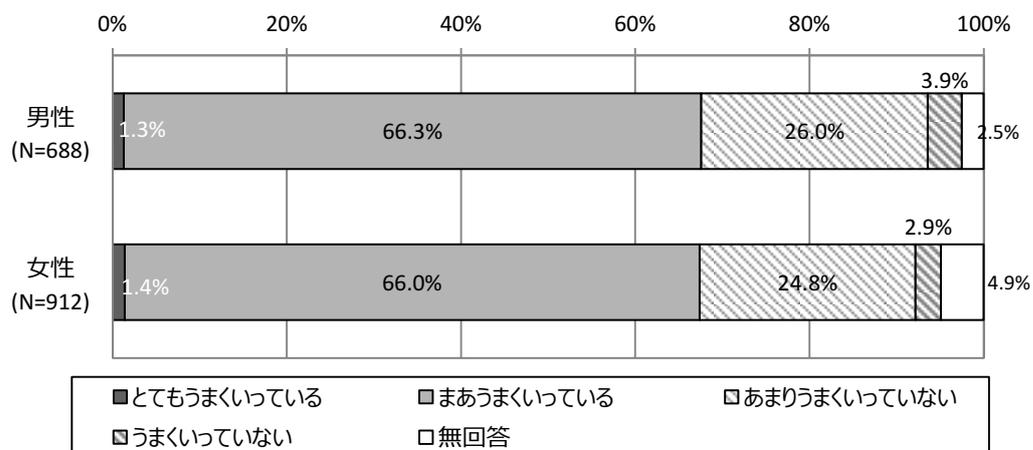
問10 問9にある35項目の施策の目標全体を通して見たときに、芦屋市の市政の現状をどのように感じていますか。【単数回答】

○市政の現状に対する評価は、「とてもうまくいっている」が1.4%、「まあうまくいっている」が66.0%となっており、合わせて67.4%の回答者は市政がうまくいっていると感じている。
 ○前回との比較では、全体で大きな変化はみられないが、70歳代で「とてもうまくいっている」と「まあうまくいっている」を合わせた肯定的な意見の比率が10.7ポイント下がっている。

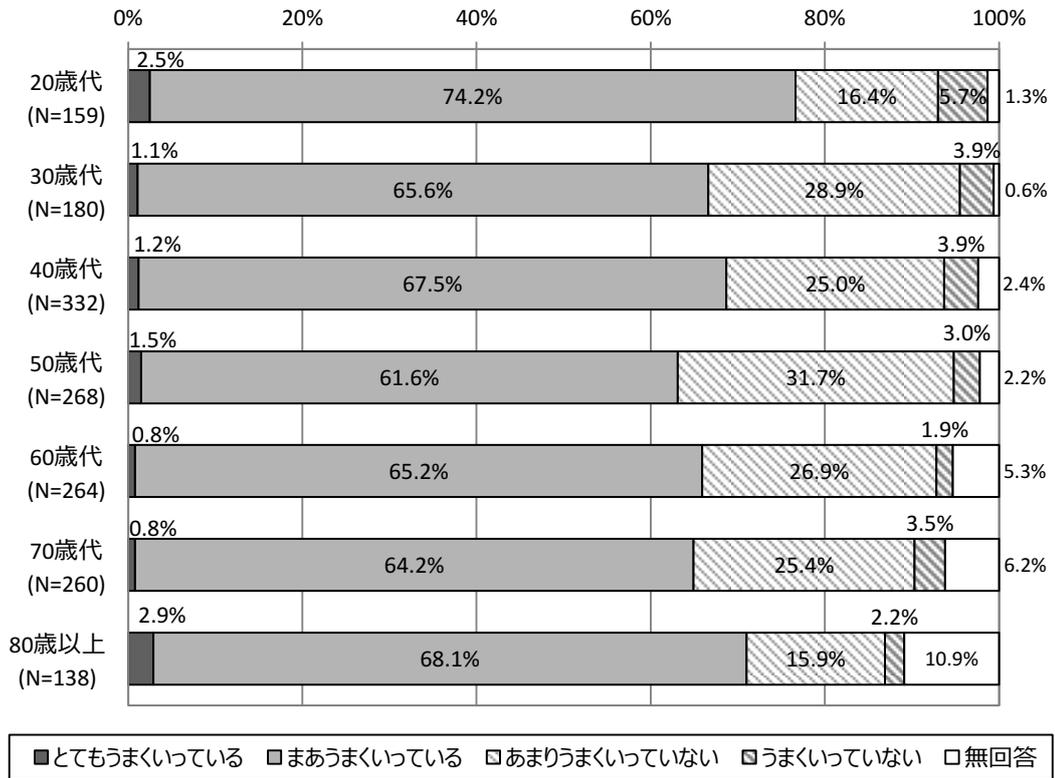
調査数	1,611	100.0%
とてもうまくいっている	22	1.4%
まあうまくいっている	1,064	66.0%
あまりうまくいっていない	405	25.1%
うまくいっていない	55	3.4%
無回答	65	4.0%



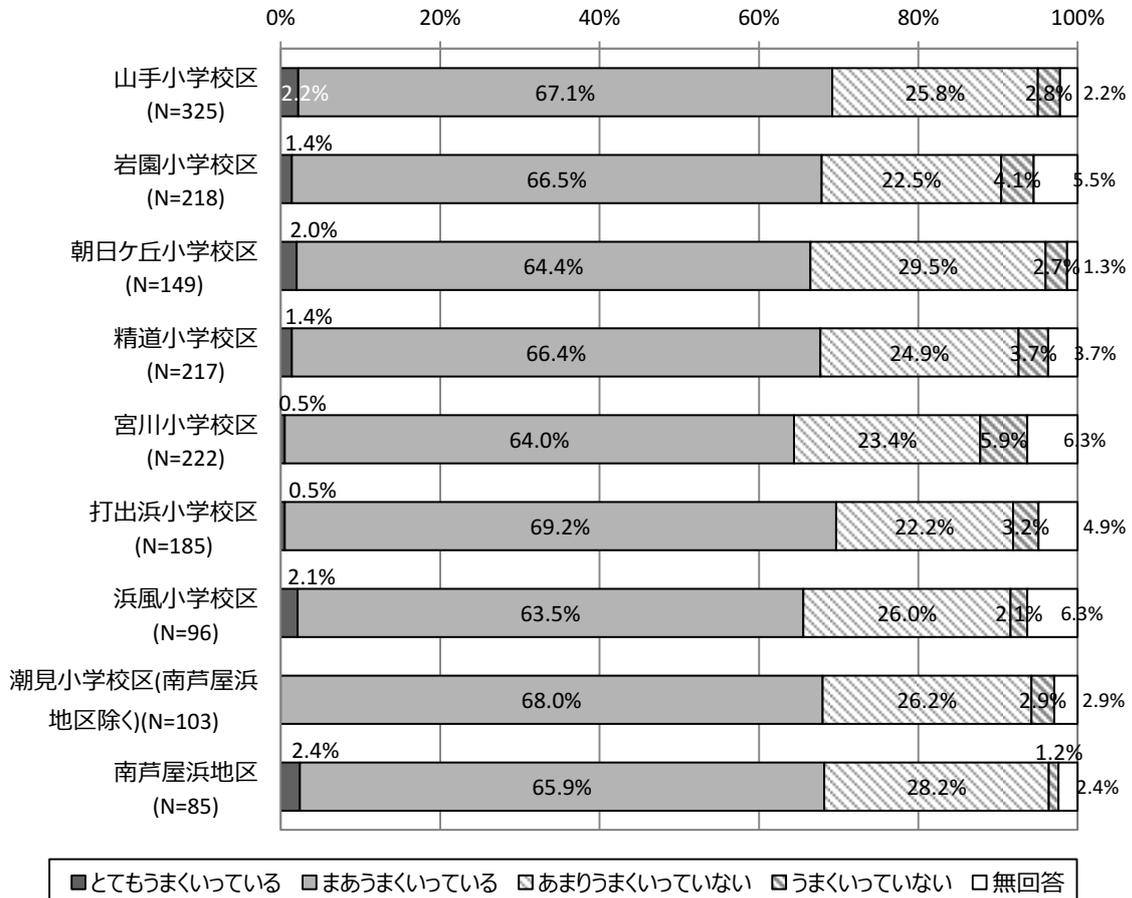
○性別では、統計的に有意な差はない。



○他の年代に比べて20歳代で「とてもうまくいっている」と「まあうまくいっている」を合わせた比率が高くなっているが、年代別では統計的に有意な差はない。

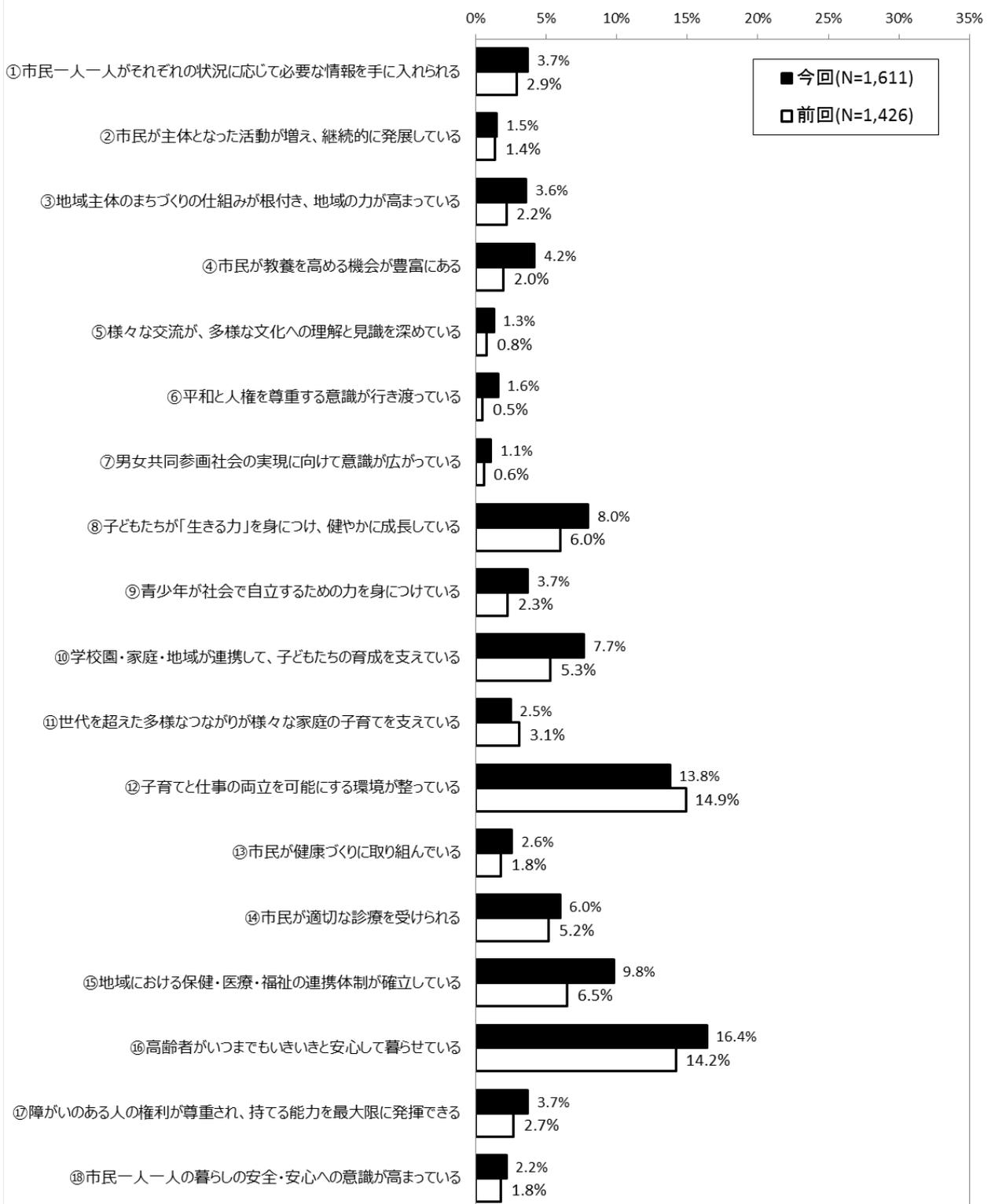


○地区別では、統計的に有意な差はない。



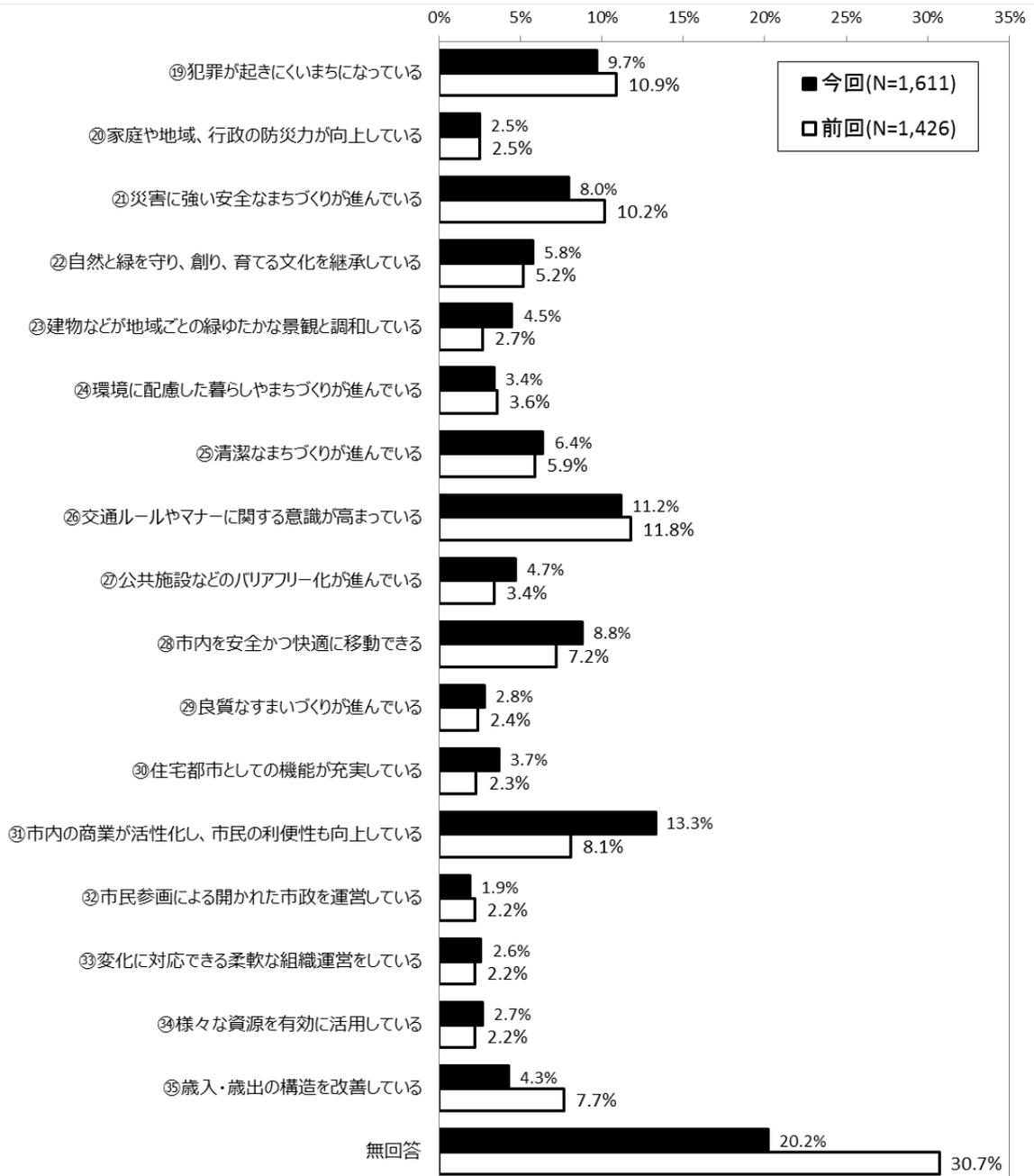
問11 問9にある35項目の施策の目標のうち、芦屋市の魅力創出の視点から今後の3年間で特に力を入れて取り組むべきと思われる番号を選び、理由やご意見をお聞かせください。【回答3つ】

○今後3年間で力を入れて取り組むべき施策としては、「⑩高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている」の比率が16.4%と最も高く、「⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている」が13.8%、「③市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」が13.3%と続いている。



【前回比較】（前回調査では「今後5年間」で重視するものを選択）

- 前回と比較すると、上位5項目のうち「⑩高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている」「⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている」「⑯交通ルールやマナーに関する意識が高まっている」は共通であるが、「⑳市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」「⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が整っている」が新たに浮上している。
- 特に「⑳市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」「⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が整っている」「⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの家庭の子育てを支えている」の比率が上がっている。
- また、地区別において、「㉕清潔なまちづくりが進んでいる」の比率が潮見小学校区で10.2ポイント、「㉘子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している」の比率が南芦屋地区で10.6ポイント上がる一方、浜風小学校区では「㉙災害に強い安全なまちづくりが進んでいる」（-10.5ポイント）、潮見小学校区では「㉚歳入・歳出の構造を改善している」（-10.3ポイント）の比率が下がっている。



【性別・年代別（ポイント）】

○性別集計を全体と比較すると、大きく差のある項目はみられない。

○年代別では、20～30歳代で子育てや子どもの育ちに関する項目において、60歳代以上では「⑩高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている」が全体に比べ高い比率を示している。

	性別		年代別						
	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	4.2%	3.3%	2.5%	6.1%	3.0%	4.9%	3.0%	2.7%	4.3%
②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	2.0%	1.1%	1.9%	2.8%	0.9%	1.1%	1.1%	1.5%	2.2%
③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	4.1%	3.3%	2.5%	2.2%	3.3%	5.2%	3.0%	4.6%	3.6%
④市民が教養を高める機会が豊富にある	3.2%	5.0%	4.4%	3.3%	4.5%	3.4%	6.1%	4.6%	2.2%
⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	1.9%	0.9%	4.4%	1.1%	0.9%	0.7%	—	2.7%	—
⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	1.7%	1.5%	2.5%	1.7%	2.1%	1.1%	1.9%	1.2%	0.7%
⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	1.6%	0.8%	1.3%	2.2%	0.9%	1.5%	1.1%	0.8%	—
⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	9.3%	7.1%	7.5%	13.3%	12.0%	6.0%	6.8%	6.2%	2.2%
⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている	3.9%	3.5%	4.4%	3.9%	4.2%	5.6%	2.7%	2.7%	1.4%
⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	8.1%	7.5%	8.8%	15.6%	9.6%	7.8%	5.3%	4.2%	2.9%
⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	2.3%	2.5%	3.8%	3.9%	1.8%	4.1%	2.3%	1.2%	—
⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	12.6%	14.8%	18.9%	33.9%	18.1%	9.0%	11.0%	5.0%	3.6%
⑬市民が健康づくりに取り組んでいる	3.8%	1.8%	1.3%	3.3%	1.8%	3.4%	1.9%	4.2%	2.2%
⑭市民が適切な診療を受けられる	6.4%	5.7%	5.0%	5.0%	6.9%	6.0%	9.8%	3.8%	2.9%
⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	9.3%	10.3%	6.3%	6.7%	8.7%	10.8%	12.5%	11.9%	10.1%
⑯高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている	18.5%	15.0%	4.4%	6.1%	10.2%	15.3%	26.5%	26.9%	22.5%
⑰障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	4.2%	3.3%	2.5%	3.3%	4.5%	3.7%	4.5%	3.1%	2.9%
⑱市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	3.2%	1.3%	3.8%	1.1%	2.1%	1.9%	1.1%	2.7%	2.9%
⑲犯罪が起きにくいまちになっている	10.3%	9.2%	8.2%	8.9%	11.1%	11.9%	9.8%	7.3%	8.7%
⑳家庭や地域、行政の防災力が向上している	3.2%	1.9%	1.9%	1.7%	2.7%	4.1%	2.3%	1.5%	2.2%
㉑災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	9.3%	7.1%	8.2%	7.2%	6.3%	9.7%	9.5%	9.2%	5.1%
㉒自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	8.0%	4.2%	5.7%	3.9%	5.1%	7.8%	5.7%	6.9%	4.3%
㉓建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	6.0%	3.4%	2.5%	2.8%	5.4%	6.3%	6.1%	3.5%	2.2%
㉔環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる	2.8%	3.9%	1.9%	2.8%	3.6%	4.9%	3.0%	1.9%	6.5%
㉕清潔なまちづくりが進んでいる	8.3%	5.0%	7.5%	4.4%	6.0%	6.7%	7.2%	6.9%	5.8%
㉖交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	13.2%	9.9%	9.4%	8.3%	13.3%	13.1%	11.4%	11.5%	8.7%
㉗公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	3.9%	5.4%	6.9%	4.4%	3.6%	4.9%	6.1%	2.7%	6.5%
㉘市内を安全かつ快適に移動できる	6.5%	10.6%	9.4%	8.9%	9.9%	9.3%	9.1%	7.3%	7.2%
㉙良質なすまいづくりが進んでいる	2.5%	3.1%	2.5%	3.3%	3.6%	2.6%	2.7%	3.1%	0.7%
㉚住宅都市としての機能が充実している	4.1%	3.5%	4.4%	3.3%	3.9%	4.9%	3.4%	2.7%	3.6%
㉛市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	12.5%	14.0%	11.3%	16.1%	17.2%	17.9%	10.2%	9.6%	7.2%
㉜市民参画による開かれた市政を運営している	2.2%	1.8%	1.3%	2.8%	1.5%	2.6%	1.9%	1.2%	2.9%
㉝変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	2.9%	2.4%	1.9%	2.2%	3.6%	3.0%	3.0%	1.5%	2.2%
㉞様々な資源を有効に活用している	2.0%	3.2%	3.1%	2.8%	3.0%	2.2%	1.9%	3.1%	2.9%
㉟歳入・歳出の構造を改善している	5.5%	3.4%	4.4%	4.4%	4.8%	3.7%	4.5%	5.0%	2.2%
無回答	16.4%	22.5%	20.8%	11.7%	13.3%	14.9%	19.3%	30.0%	37.7%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

【地区別（ポイント）】

○浜風小学校区で「⑩高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている」「⑳市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」、潮見小学校区では「㉕清潔なまちづくりが進んでいる」の比率が高い。

	地区別								
	山手小	岩園小	朝日ヶ丘小	精道小	宮川小	打出浜小	浜風小	潮見小	南戸屋浜
①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	2.8%	2.3%	4.7%	4.1%	5.9%	2.2%	4.2%	2.9%	5.9%
②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	1.2%	0.9%	1.3%	2.3%	1.4%	2.7%	1.0%	－	1.2%
③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	3.1%	3.7%	4.7%	3.2%	5.0%	3.2%	5.2%	1.9%	2.4%
④市民が教養を高める機会が豊富にある	6.5%	4.6%	4.0%	5.5%	2.7%	1.6%	3.1%	3.9%	3.5%
⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	0.9%	1.4%	1.3%	1.4%	1.8%	1.1%	1.0%	1.9%	1.2%
⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	2.8%	1.4%	2.7%	0.5%	1.8%	1.1%	1.0%	－	2.4%
⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	1.2%	0.5%	2.7%	1.4%	1.4%	0.5%	－	1.0%	1.2%
⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	8.3%	6.0%	5.4%	8.3%	10.4%	9.7%	5.2%	7.8%	10.6%
⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている	3.4%	1.8%	4.7%	3.2%	4.1%	5.9%	3.1%	1.9%	4.7%
⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	9.2%	6.4%	4.7%	11.1%	8.1%	7.0%	7.3%	5.8%	4.7%
⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	2.8%	1.8%	1.3%	4.1%	2.7%	1.6%	1.0%	4.9%	1.2%
⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	12.0%	15.6%	10.7%	17.1%	14.9%	13.0%	15.6%	9.7%	14.1%
⑬市民が健康づくりに取り組んでいる	2.2%	2.3%	4.0%	3.2%	3.2%	1.1%	3.1%	2.9%	2.4%
⑭市民が適切な診療を受けられる	6.2%	6.4%	8.1%	3.7%	7.7%	3.8%	6.3%	6.8%	5.9%
⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	8.9%	13.3%	8.1%	10.1%	10.8%	9.2%	9.4%	10.7%	5.9%
⑯高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている	18.2%	15.6%	15.4%	14.3%	14.0%	17.8%	21.9%	20.4%	14.1%
⑰障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	3.1%	4.6%	2.0%	3.7%	4.1%	4.9%	8.3%	1.0%	2.4%
⑱市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	1.2%	1.4%	1.3%	1.8%	3.6%	1.6%	5.2%	3.9%	1.2%
⑲犯罪が起きにくいまちになっている	11.4%	9.2%	12.8%	11.5%	8.1%	5.4%	5.2%	10.7%	12.9%
㉑家庭や地域、行政の防災力が向上している	2.8%	3.7%	1.3%	2.3%	1.8%	4.3%	2.1%	1.0%	1.2%
㉒災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	7.7%	8.7%	6.0%	7.8%	8.6%	10.3%	3.1%	9.7%	9.4%
㉓自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	5.8%	8.3%	5.4%	4.6%	3.6%	5.4%	8.3%	7.8%	5.9%
㉔建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	4.3%	6.4%	3.4%	6.9%	2.7%	6.5%	2.1%	1.0%	4.7%
㉕環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる	4.0%	4.6%	4.0%	4.1%	0.9%	2.2%	3.1%	4.9%	3.5%
㉖清潔なまちづくりが進んでいる	4.3%	6.0%	7.4%	6.5%	6.8%	4.9%	5.2%	15.5%	7.1%
㉗交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	13.8%	9.6%	16.1%	6.5%	14.4%	12.4%	7.3%	7.8%	8.2%
㉘公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	5.8%	3.7%	8.7%	2.8%	3.6%	4.9%	6.3%	2.9%	4.7%
㉙市内を安全かつ快適に移動できる	12.0%	5.0%	8.7%	8.3%	8.6%	7.6%	10.4%	6.8%	11.8%
㉚良質なすまいづくりが進んでいる	3.1%	1.4%	2.7%	2.3%	4.1%	2.7%	2.1%	6.8%	－
㉛住宅都市としての機能が充実している	2.8%	3.7%	3.4%	5.1%	5.0%	2.2%	2.1%	4.9%	5.9%
㉜市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	11.7%	15.1%	16.1%	12.9%	10.8%	11.4%	18.8%	15.5%	15.3%
㉝市民参画による開かれた市政を運営している	1.2%	4.1%	0.7%	1.4%	2.3%	1.6%	3.1%	1.9%	1.2%
㉞変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	3.7%	3.2%	1.3%	4.6%	2.7%	0.5%	2.1%	－	2.4%
㉟様々な資源を有効に活用している	1.5%	3.7%	5.4%	2.3%	2.3%	1.1%	3.1%	3.9%	3.5%
㊱歳入・歳出の構造を改善している	4.3%	5.5%	5.4%	3.7%	5.4%	3.2%	2.1%	2.9%	2.4%
無回答	19.7%	19.3%	18.8%	18.0%	18.5%	24.3%	19.8%	21.4%	23.5%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

【性別（順位）】

○男性では、「⑳交通マナー」や「⑲犯罪抑止」が、女性では「㉔市内の安全快適移動」を重視する回答が全体より上位になっている。

【年代別（順位）】

○高い年代で「⑮医療・福祉」が、若い年代では「㉔市内の安全快適移動」が全体より上位になっている。

	市全体	性別	
		男性	女性
1位	⑮高齢者安心	⑮高齢者安心	⑮高齢者安心
2位	⑫子育て・仕事	㉔交通マナー	⑫子育て・仕事
3位	⑳商業活性化	⑳商業活性化	⑳商業活性化
4位	㉔交通マナー	⑫子育て・仕事	㉔安全快適移動
5位	⑮医療・福祉	⑲犯罪抑止	⑮医療・福祉

	年代別						
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1位	⑫子育て・仕事	⑫子育て・仕事	⑫子育て・仕事	⑳商業活性化	⑮高齢者安心	⑮高齢者安心	⑮高齢者安心
2位	⑳商業活性化	⑳商業活性化	⑳商業活性化	⑮高齢者安心	⑮医療・福祉	⑮医療・福祉	⑮医療・福祉
3位	㉔交通マナー	⑩子ども育成	㉔交通マナー	㉔交通マナー	㉔交通マナー	㉔交通マナー	⑲犯罪抑止
4位	㉔安全快適移動	⑧生きる力	⑧生きる力	⑲犯罪抑止	⑫子育て・仕事	⑳商業活性化	㉔交通マナー
5位	⑩子ども育成	⑲犯罪抑止 ㉔安全快適移動	⑲犯罪抑止	⑮医療・福祉	⑳商業活性化	㉔災害に強い	㉔安全快適移動 ⑳商業活性化

【地区別（順位）】

○「⑮高齢者安心」及び「⑳商業活性化」は、全ての地区で上位5位までになっている、また、「⑫子育てと仕事の両立」も潮見小学校区を除く8地区で、上位5位までになっている。

○潮見小学校区で「㉔清潔なまちづくり」が2位、打出浜小学校区で「㉔災害に強いまち」が5位となっており、他地区と比べて特徴的である。

	地区別(1)						
	山手	岩園	朝日ヶ丘	精道	宮川	打出浜	浜風
1位	⑮高齢者安心	⑫子育て・仕事	㉔交通マナー	⑫子育て・仕事	⑫子育て・仕事	⑮高齢者安心	⑮高齢者安心
2位	㉔交通マナー	⑮高齢者安心	⑳商業活性化	⑮高齢者安心	㉔交通マナー	⑫子育て・仕事	⑳商業活性化
3位	⑫子育て・仕事	⑳商業活性化	⑮高齢者安心	⑳商業活性化	⑮高齢者安心	㉔交通マナー	⑫子育て・仕事
4位	㉔安全快適移動	⑮医療・福祉	⑲犯罪抑止	⑲犯罪抑止	⑮医療・福祉	⑳商業活性化	㉔安全快適移動
5位	⑳商業活性化	⑲犯罪抑止	⑫子育て・仕事	⑩子ども育成	⑳商業活性化	㉔災害に強い	⑮医療・福祉

	地区別(2)	
	潮見	南芦屋浜
1位	⑮高齢者安心	⑳商業活性化
2位	㉔清潔なまち	⑫子育て・仕事
3位	⑳商業活性化	⑮高齢者安心
4位	⑮医療・福祉	⑲犯罪抑止
5位	⑲犯罪抑止	㉔安全快適移動

※順位間の罫線がない部分は同順位

今後3年間で特に力を入れて取り組むべきと考える施策の目標を選んだ理由やご意見の主なものとしては、次のようなものがあった。

※項目を選択していても理由・意見の記述がない場合は、件数に含まない。

【総括】

- 選択数とは別に、選んだ施策について理由の記載があった項目をみると、100件を超えるものが5項目あった。
- 「③市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している」が151件と最も多く、市全体での商業の活性化のほか、駅周辺や各地区でバランスのとれた商業配置への期待が示されている。
- 「②交通ルールやマナーに関する意識が高まっている」は147件で、自動車や自転車の交通違反・交通マナー等に関する意見が多く記載されている。
- 「①高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている」は145件で、高齢社会への対応や高齢化に対する漠然とした不安を示す意見が多く示されている。
- 「④子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている」は144件で、特に保育サービスや学童保育など、子どもを預ける環境を求める意見が多く示されている。
- 「⑤市内を安全かつ快適に移動できる」は116件で、公共交通、特にバス交通の強化を求める意見が多く示されている。

【項目ごとの記述】

①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる（32件）

【主な項目】

- ・情報の入手が困難、入手方法が不明（10件）
- ・デジタル化への不安（4件）
- ・高齢化・情報格差への不安（6件）
- ・情報時代への対応（2件）
- ・広報、ホームページについて（6件）
- ・その他（災害対策、税金について等）

【意見例】

- ・広報など細かな情報があるが、情報を積極的に得ようとしないと目に入りにくい。必要な人に情報が届かなければ意味がない。
- ・インターネットの時代だが、まだついていけない人もいるので、そういう人をおいてけぼりにしないでほしい。
- ・市政や医療機関、オススメの店、休日の過ごし方やハイキングコース等が閲覧できるサイトやアプリケーションがあれば便利だと思う。

②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している（16件）

【主な項目】

- ・若者の参加促進（3件）
- ・その他（高齢者活用、災害対策、文化活動等）
- ・コミュニティ、市民団体活動（3件）

【意見例】

- ・行政が市民団体等を下請けに利用しすぎている。
- ・正義感で何かをするのではなく、ひとつになろうとする意識を指導・啓蒙してほしい。
- ・若い人が参加したいと思えるような活動がない。地域の行事に若者が多く参加してほしい。

③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている（32件）

【主な項目】

- ・地域、コミュニティ活動（13件）
- ・災害・防災対策（2件）
- ・駅周辺の活性化（3件）
- ・その他
- ・道路・交通（3件）
- （空き家対策、商業魅力、バリアフリー化等）

【意見例】

- ・受身ではなく、自分たちで住みやすいまちをつくっていくことが大事。
- ・高齢化で自治会活動が困難になっている。若者に魅力のあるアイデアを考えていく必要がある。

④市民が教養を高める機会が豊富にある (38 件)

【主な項目】

- ・市民講座、イベントの充実 (12 件)
- ・美術館・ホール・学習施設について (8 件)
- ・図書館サービス (6 件)
- ・学習機会の不足 (3 件)
- ・学習情報の提供 (3 件)
- ・その他 (学校教育、各年代の学習機会等)

【意見例】

- ・休日や夜間に講座が開催されればビジネスマン・ウーマンにも教養を高める機会が増えて良い。30代、40代が興味を持つもの、必要だと思うものがない。
- ・催しや企画はあるのかもしれないが、いつ、どこで、どのような、という情報があまり伝わってこない。その情報をどのように得たら良いかわからない。
- ・利用予定のない図書館や集会所の会議室・集会施設は学習用として開放してもいいのではないか。

⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている (10 件)

【主な項目】

- ・外国人と交流がない、仕方がわからない (3 件)
- ・集会所の活用 (2 件)
- ・サークル・ボランティア活動の活性化 (2 件)
- ・その他 (ブランドの活用、文化の活用件)

【意見例】

- ・公園や集会所などでのイベントが豊富にあると嬉しい。外国の方や学生さん、お年寄りの方などいろいろな年代の人が子どもにふれあってほしい。
- ・市内に居住する外国人は多そうだが、交流イベントがあまり目につかない。国際化の推進は人口維持に貢献すると思う。公団住宅に外国人が増えているが、交流が全くない。
- ・ブランド力を活かした国際的な交流を。

⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている (15 件)

【主な項目】

- ・平和・人権は大切 (2 件)
- ・学校のいじめ対策、人権学習 (2 件)
- ・継続的な平和活動 (2 件)
- ・その他 (外国人子弟の教育、実態報告等)

【意見例】

- ・「戦争の惨禍」についての知識が平和尊重のもとなので、この分野についての市の取組を引き続きお願いする。
- ・小・中学校等でのいじめや人権について、もっと話し合う機会を設けて欲しい。後からでは遅い。
- ・平和と人権が大切にされる社会は人類社会の目標だと思う。ただ、問題意識はあっても、情報を含めて届いてこない。

⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている (11 件)

【主な項目】

- ・待機児童、保育サービス (4 件)
- ・女性の社会進出支援 (2 件)
- ・女性活躍の情報提供 (3 件)
- ・その他 (ビジネス促進、子育て世代支援等)

【意見例】

- ・以前、女性の市長さんが活躍された経歴があるので女性の活躍には期待したい。活躍している女性をクローズアップしてとりあげてほしい。
- ・共働きで複数の子どもを育てようとしているが、待機児童問題が不安。パートナーもフルタイムでの復帰を望んでいるので、何とか優先的にならないか。
- ・もともと女性も多く働くまちと思うが、保育園の問題、病児保育の問題が片付いていない。

⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している (67 件)

【主な項目】

- ・子どもの未来のために必要 (21 件)
- ・多世代、関係者の連携 (4 件)
- ・教育・教員の質の向上 (9 件)
- ・独自教育 (3 件)
- ・遊び場・スポーツ機会 (8 件)
- ・通学路、エリアによる違い (2 件)
- ・子育て世帯の支援 (6 件)
- ・その他 (不登校、発達障害、幼稚園教育等)

【意見例】

- ・0歳児を遊ばせるところがなく他のお子さんとの交流ができない。むくむくは0歳児が少なく、カングルークラブは第二子が行けないので第二子でも遊べるところが欲しい。また、ママヨガや歌の会などの習い事など、ママの交流できる場を作ってほしい。
- ・義務教育以外での教育系の支出補助が欲しい。すべてを無償化する必要はないが、ハイレベルの教育（勉強、スポーツ等）には対象を絞ってでも対応して欲しい。
- ・小さい頃（小学生）からスポーツをする環境がない。男の子は各校区に野球やサッカーなどのチームがあるが、女の子にはスポーツをする機会がない。

⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている（20件）

【主な項目】

- ・青少年活動（7件）
- ・子どもの自立に向けた情報提供（2件）
- ・子どもの未来のために必要（4件）
- ・その他（不登校、いじめサポート等）

【意見例】

- ・いじめ等により、学校に行くことをやめてしまった人たちが社会に復帰できずにいる。不登校から家に引きこもっている青少年等に対するサポートを強化して欲しい。
- ・基本的な国語力、読む・書く・話す・聞くや計算力、算数ができない人が年々、増えている。変化のスピードが速くなった今の時代にうまく対応できるような教育の機会を与えてほしい。
- ・青少年が芦屋市に愛着を持てるように、働く場所や社会参加の機会を提供していく必要がある

⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている（69件）

【主な項目】

- ・保育・幼稚園教育（14件）
- ・子どもの見守り（4件）
- ・地域との連携、多世代交流（14件）
- ・通学路、エリアによる違い（2件）
- ・子育て環境（11件）
- ・学校間連携（幼小中高校）（2件）
- ・学校教育（小中学校、公教育）（8件）
- ・子どものマナー（2件）
- ・子どもの遊び場、公園（7件）
- ・その他（家庭教育、コミュニティスクール等）

【意見例】

- ・下校時の子どもの見守りが特定の人（高齢者がほとんど）しか出てこないの、夏・冬や長時間の見守りに負担が大きい。
- ・子育て世代にとっては、芦屋はあまり魅力がない。幼稚園、小学校がどんどん合併、閉校となり、先行き不安な母親たちが多いのではないか。また、遊び場が少ない。
- ・地域や学校や園が連携して何かしようとする、子ども会の強制問題などが起こる。役員や係、班長を順番やクジにして他人に強制しないシステムや町内会、子ども会の改善など、子どもの育成を支援する施策が必要。

⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている（23件）

【主な項目】

- ・高齢者など多世代との交流（11件）
- ・子育て世帯の支援（2件）
- ・地域との連携（3件）
- ・その他（貧困対策、子育て世帯同士の交流等）

【意見例】

- ・お年寄りとの接点が少ないため、保育園建設反対などの問題が起こっていると思う。赤ちゃん先生など交流の場が増えればと思う。
- ・待機児童対策や保育士の負担減をリタイヤした方や手の空く方、ボランティアでできれば理想。保育園内での交流等を増やして欲しい。
- ・高齢者の方々の得意なことを子どもたちに教えるなど、地域の幼稚園と高齢者の方々との交流を深める機会を年間3~4回つくり、相互の思いやり向上を図る。

⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている（144件）

【主な項目】

- ・保育・学童など子どもを預ける環境（86件）
- ・少子化・人口減少対策（3件）
- ・子育て支援策，サポート体制（32件）
- ・学校給食（3件）
- ・幼稚園教育（11件）
- ・その他（周辺都市との比較，小学校以後の子育て支援）
- ・女性の働く場，子育てにやさしい就業（7件）

【意見例】

- ・保育園入所の基準で仕事復帰する人が優遇され，他地域からの転入者に不利。平等な基準を考え直すべき。
- ・民間に委託するなど，学童保育の充実に力を入れて頂きたい。また，長期休暇や夏休みなどのプログラム，運営時間の拡大，給食の導入を。
- ・待機児童の問題は以前から課題として言われているのにも関わらず，対策が取られていない。待機児童の解消に向けて，本気を出して欲しい。また，定員の拡大など病児保育・時間外保育の利用しやすさの向上を。

⑬市民が健康づくりに取り組んでいる（27件）

【主な項目】

- ・公園など運動の場の充実（7件）
- ・イベント，プログラム（3件）
- ・スポーツ施設整備，民間施設の活用（6件）
- ・高齢者の健康づくり指導（2件）
- ・健診の充実，医療機関と健診の連携（4件）
- ・その他（行政施策との連動等）
- ・自主的取組（4件）

【意見例】

- ・球技などを禁止している公園が多く遊び場所が少ない。健康推進のため，スポーツのできる公園をもっと増やしてほしい。今ある公園も球技を認める場所を増やすなど，市民がスポーツに取り組みやすくしてほしい。
- ・特定検診や高齢者検診，健康管理指導の充実と，市民が楽しみながら健康づくりに参加できるプログラムなど健康診断の結果への病院とスポーツ施設の連携に期待する。先々では医療費の軽減に繋がる。
- ・福祉センターのシルバー向けの健康維持のための水泳や体操はいつもいっぱい，利用したい人が沢山いるのにキャパが小さい。安価なスポーツジム利用施策やスポーツ施設の拡大を。

⑭市民が適切な診療を受けられる（65件）

【主な項目】

- ・芦屋病院，医療サービス（29件）
- ・高齢者医療（6件）
- ・保健サービス・健診（8件）
- ・医療に関する情報提供（3件）
- ・医療費負担への支援（7件）
- ・その他（在宅医療，病院・診療所の連携，救急体制等）
- ・休日・夜間医療（7件）

【意見例】

- ・市立芦屋病院の現場の方々は良くやっておられると思うが，規模は十分とは思えず，常勤医師の拡大，診療科目の充実，休日・夜間・救急対応など，総合力の強化が望ましいと考える。
- ・芦屋病院がバス利用でも市内をグルグル廻るか，乗り換えで大変不便。人間ドックを芦屋病院以外（市外でも）で受けられるようにしてほしい。
- ・休日診療所に小児科がなく隣の西宮市まで行かねばならない。子どもが休日・夜間に受けられる医療を市内で完結できるようにしてほしい。

⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している（77件）

【主な項目】

- ・病院・医療サービスの充実（22件）
- ・関連情報の発信，共有（4件）
- ・高齢社会への対応（18件）
- ・在宅サービス強化（4件）
- ・連携強化（医療機関同士，医療と民生等）（8件）
- ・介護・医療費負担の軽減（3件）
- ・救急体制強化（5件）
- ・その他（医療施設への交通手段，わからない等）
- ・保健サービス・健診・健康づくり（5件）

【意見例】

- ・球技などを禁止している公園が多く、遊び場所が少ない。健康推進のためスポーツのできる公園を。
- ・かかりつけクリニックはよいが、紹介先となる総合病院は能力不足。頼りは西宮市、神戸市の医療施設が現状。セントマリア病院の移転により、市の中心部に大きな病院がなくなるのは不便。
- ・今後高齢者の1人暮らしが増えていくと思われるので、高齢者の自立を支える仕組み、在宅介護の負担を減らす福祉・介護施設の整備、往診のある医療等が必要。
- ・保健所や民生委員がもっと積極的にひとり暮らし高齢者の健康維持や生活・日常の把握に努めて欲しい。また、医療相談をする場所がもっとほしい。

⑯高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている（145件）

【主な項目】

- ・高齢社会への対応、漠然とした不安（59件）
- ・高齢者向けの情報発信・提供（5件）
- ・移動手段・交通の整備、バリアフリー（21件）
- ・一人暮らし対策（3件）
- ・施設整備（老人ホーム、特養等）（20件）
- ・医療・認知症対策（3件）
- ・交流・集いの場、多世代交流（11件）
- ・高齢者向けイベント、催し物（2件）
- ・福祉・介護サービス（8件）
- ・その他（買い物の場の確保及び商業地への移動、働く場の確保等）
- ・近所づきあい、コミュニティ（7件）

【意見例】

- ・ひとり暮らしの高齢者は色々な不安を持って暮らしている。孤独死を少しでも少なくするための定期的な家庭訪問、市民一人ひとりが意識して見守り、施設に入所しなくてもいいような環境・繋がりができれば安心して暮らせる。
- ・高齢者の施設が少ない。特別養護施設、（介護付有料）老人ホーム等の整備と、そうした施設の紹介・情報提供（職員数、入居可能人数、費用等）に力を入れて欲しい。また、毎日プラプラと人が交わる場、気楽に集えてお茶を飲みゆったりできる場、気軽に参加し生きがいを見つけられる行事等が欲しい。
- ・日常の買い物に手軽に使える交通手段やバスの停留所を増やしてほしい。民間のバスだけでなく、公共交通の利便性が向上すれば、もっと高齢者が活動しやすくなると思う。

⑰障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる（36件）

【主な項目】

- ・移動手段の確保、バリアフリー化（7件）
- ・福祉サービス・サポート体制（3件）
- ・就業機会の確保、企業の理解（7件）
- ・支援施設の整備（2件）
- ・行政による施策・支援（4件）
- ・その他（困っている人の姿が見えない等）

【意見例】

- ・障害者が仕事に就きやすいようになってほしい。また、体の不自由な人達が働きやすい環境を整えて欲しい。対策をしているのであれば、情報をしっかりと広めてもらいたい。
- ・道路の不備（例えば道路の段差やむき出しの側溝）、バスの乗降、ショッピングの場などでバリアフリー化が不十分。
- ・入ってくる情報が少なく、自分の持っているスキルなどを活かして活動できる場所、利用できる福祉サービスがわからない。適当なサービスを受けられる施設が市内にはないというケースも多く、市内で支援施設の整備や相談窓口の充実を。

⑱市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている（17件）

【主な項目】

- ・自治会・コミュニティ活動、思いやり（4件）
- ・移動手段・バリアフリー化（2件）
- ・防犯（3件）
- ・その他（ごみ屋敷、食の安全、防災放送等）
- ・誰もが安心なまち（全体）（2件）

【意見例】

- ・以前、上階がゴミ屋敷であることが分かり、木造マンションのため火事が不安だと市に相談に行ったら、「何もできない」と帰らされた。
- ・各町自治会で住民の連携を推し進めることが大事だが、それができていない町には市として目を向けてほしい。
- ・防災放送が聞こえない。

⑱犯罪が起きにくいまちになっている (87 件)

【主な項目】

- ・防犯環境（防犯カメラ・街灯設置）（32 件）
- ・安心して暮らせるまち（全体）（22 件）
- ・被害報告（空き巣、ひったくり、痴漢等）（13 件）
- ・情報発信・啓発活動（5 件）
- ・パトロール・取締り強化（地域、警察）（5 件）
- ・暴走族、夜間のたむろ（5 件）
- ・自営組織、近所付き合い（2 件）
- ・その他（子どもがいるから、都市ブランド等）

【意見例】

- ・空き巣やひったくり、痴漢のような犯罪をしばしば耳にする。静かな住宅街、高級、お金持ちが多いというイメージのマイナス面であり、パトロールを増やして欲しい。
- ・芦屋全体をみると、人通りが少なく、街灯も少なく夜が暗いのが気になる。住宅街の街灯をもっと明るくしたり、防犯カメラを設置して欲しい。
- ・犯罪率は低いまちだと思うが、全く犯罪が起こらない訳ではない。これから先も女性、子ども、老人が安心して暮らしていけるように不審者見回り・パトロール、騒音・暴走取り締まり、信号・横断歩道・街灯の設置や市政、警察、教育者らが協力する安全で安心なまちづくりに尽力して欲しい。

⑳家庭や地域、行政の防災力が向上している (21 件)

【主な項目】

- ・市民の防災意識啓発、情報提供（10 件）
- ・避難所・避難体制の強化（3 件）
- ・津波対策（2 件）
- ・震災対策（2 件）
- ・その他（河川水害、火災、要支援者対策、外部知識の活用による総合対策等）

【意見例】

- ・学校等を避難所とするなら、非常時のトイレや備品等の警備を確実にして欲しい。
- ・地域の防災推進者が高齢化し、活動が低迷している。指導する市も、職員数や科学的思考が不足しており、市民が自主的に機能させる地域防災の仕組みや外部人材の活用、総合計画が必要。
- ・阪神淡路大震災で大きな被害を受けた地区にもかかわらず、災害・震災に対する意識はかなり低く、家庭における防災力の向上は進んでいないと思う。防災ガイドブックが作成されているが、災害時の行動ルートや避難場所についてあまり詳しく知らないのので、行政からもっと知識や宣伝が必要。

㉑災害に強い安全なまちづくりが進んでいる (61 件)

【主な項目】

- ・防災（震災・水害）対策（34 件）
- ・個人の災害対策、意識啓発（6 件）
- ・河川整備・豪雨対策（5 件）
- ・安全安心なまち（全体）（3 件）
- ・都市基盤（老朽対策、緊急道路等）（3 件）
- ・無電柱・電線地中化（3 件）
- ・情報提供、緊急時の呼び掛け（2 件）
- ・避難場所の確保・強化（2 件）
- ・その他（市内全体への目配り等）

【意見例】

- ・警報や避難訓練の街頭スピーカー（防災無線）の音声が小さすぎて、家にいても外に出ても全く聞こえない。
- ・東南海地震に備え、津波対策をもっと充実して欲しい。特に津波が発生したときに避難できる建物が少ないので、避難場所をつくって欲しい。指定されている避難所が阪神大震災時には満杯状態だったとも聞くので、今の人の数でどうなるのか、他の避難場所の確保も含めて気になる。
- ・年々自然災害が増えているが、大雨や津波対策が目に見えない。適切に対応できる情報提供と災害時の備えの充実度が上がればいいと思う。

㉒自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している (50 件)

【主な項目】

- ・自然保護・保全（芦屋川等）（14 件）
- ・豊かな緑はまちのシンボル・ブランド（9 件）
- ・緑化推進・街路樹の整備（9 件）
- ・景観保全・創出（4 件）
- ・開発抑制（3 件）
- ・公園整備（2 件）
- ・環境美化・清掃、ポイ捨て抑制（2 件）
- ・その他（害獣対策、生活環境向上等）

【意見例】

- ・芦屋市の魅力のひとつであり、大事にしてもらいたい。中でも芦屋川は芦屋のシンボルとしてもっと素晴らしい河川公園にすべき。上流の桜の木は寿命が近付いているのに植え替えされていない。
- ・無電柱化や樹木の老朽のためにさくら参道の桜を伐採した件、稲荷山線のイチョウが切られて景観が寂しくなった件などは、住民への通知が徹底されてなかったことがあり、今後は改善に期待する。できるなら景観が変わらないようにしてほしい。
- ・子ども達に自然の大切さと厳しさを教え、親もそれを再認識することがとても大切。子どもも大人も自然とふれあえる、その手助けとなる市政を望む。

㉓建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している (53 件)

【主な項目】

- ・開発・建物建築指導 (16 件)
- ・電柱・電線の地中化 (6 件)
- ・景観保全・創出、看板規制 (14 件)
- ・公園・緑地整備 (3 件)
- ・緑化推進・街路樹の整備 (8 件)
- ・その他 (害獣対策, 安全第一等)
- ・都市ブランドとしてのブランド化 (6 件)

【意見例】

- ・建物がつぶれた後に建つ物件が、自分勝手に周りとの溶け込みがなく、いかにも自分のことしか考えていない。行政として指導して欲しい。建ぺい率や容積率だけでなく、建築物のデザインや色彩なども緑に調和した美しい景観となるように規制すべきだと思う。
- ・庭のない新築物件が増えており、緑の豊かさが損なわれているように感じる。樹木や花が減ると景観が汚く見える。新築一戸建てには庭に緑(樹木)を植樹させる(そのための助成を行う)、小さな住宅には塀に花や蔓で飾るアドバイスするといったことも必要だろう。
- ・景観を損ねていると思える建物がまだまだ多い。大規模な開発では、景観に対するガイドラインで画一的にならない配慮をしつつ、もっとコントロールしても良い。JR芦屋駅南口周辺をきれいに統一されたまちに。建物よりも緑化に期待する。

㉔環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる (37 件)

【主な項目】

- ・環境配慮のまちづくり (全体) (6 件)
- ・廃棄物運搬用パイプライン維持 (2 件)
- ・都市景観・沿道景観 (4 件)
- ・ごみ分別の強化 (2 件)
- ・建築物・開発指導 (3 件)
- ・その他 (道路整備, 過度な景観重視で芦屋らしさの希薄化等)
- ・電線地中化 (3 件)

【意見例】

- ・朝日ヶ丘町、東山町の歩道は犬のフンだらけである。市の方達はご存じか。どうにかして欲しい。
- ・他の市はゴミの分別がもっと進んでいるので、芦屋もリサイクルやもっと細かい分別など進めたらいいと思う。
- ・地球規模のものも含めた環境課題について、市としての取組が見当たらない。

㉕清潔なまちづくりが進んでいる (74 件)

【主な項目】

- ・美化・ポイ捨て抑制 (14 件)
- ・パイプライン維持 (4 件)
- ・ペット糞害 (13 件)
- ・路上喫煙対策 (3 件)
- ・ゴミ出しルールの徹底、回収の強化 (8 件)
- ・駅周辺の美化 (2 件)
- ・カラス対策 (家庭ごみ出し被害) (6 件)
- ・その他 (空き家・空き地対策, 個人の美化活動の促進等)
- ・景観維持・向上 (4 件)

【意見例】

- ・ごみ出しのルールやマナーの問題からカラス被害が生じている。カラスよけネットでは不十分で、サークル付のネットやBOX型に統一する、ゴミ回収日を増やすといった対策が必要。
- ・犬の糞の後始末が出来ていない人が多くて困っている。また最近、ビニールや空き缶などポイ捨てされたゴミが目につく。
- ・芦屋市に限らず喫煙スペースが少なすぎ、路上喫煙が増えて困る。路上喫煙禁止の範囲も増やして欲しい。

②⑥交通ルールやマナーに関する意識が高まっている（147件）

【主な項目】

- ・自動車の交通違反・マナー（52件）
- ・歩行者の交通違反・マナー（6件）
- ・自転車の交通違反・マナー，走行環境（30件）
- ・ペットの糞害（4件）
- ・違法・路上駐車（27件）
- ・ごみのポイ捨て（2件）
- ・全体的な交通マナー，教育（9件）
- ・鉄道駅の利便性向上（駅口設置等）（2件）
- ・路上喫煙，喫煙マナー（8件）
- ・その他（高齢者の免許返上促進，歩道の整備等）
- ・自動車やバイクの暴走・騒音（6件）

【意見例】

- ・スマホのながら運転，赤信号・一旦停止・一方通行無視，商業地や駅周辺の路上駐車など自動車の運転マナーが悪い。マナーではなく，交通ルールも守られていない。また，高齢者の車の運転には，びっくりさせられる事がたびたびある。80歳位で，免許の強制返納はできないか。
- ・傘さし運転やスマホのながら運転，無灯火運転など自転車のマナーが非常に悪く，危険な走行をしているのが目につく。マナー向上のための啓発運動や取り締まりの強化を。
- ・残念ながら芦屋市民の民度はイメージほど高くないと思う。私自身もそう感じる事が多々あり市民全体の交通ルールに関するマナーの悪さが目立つ。規制や取締りを増やすのではなく，幼少期からの継続的な教育での対応が必要だと思う。

②⑦公共施設などのバリアフリー化が進んでいる（44件）

【主な項目】

- ・JR芦屋駅のバリアフリー化（17件）
- ・阪急芦屋川駅のバリアフリー化（2件）
- ・まち全体のバリアフリー化（10件）
- ・商業施設など民間施設のバリアフリー化（2件）
- ・歩道の整備（4件）
- ・その他（阪神芦屋駅のバリアフリー化，高齢化への対応等）
- ・鉄道駅周辺のバリアフリー化（3件）

【意見例】

- ・JR芦屋駅のバリアフリー化の早期対策を強く望む。北口はエスカレーターがなく大変。早朝通勤時間にエレベーターも動いていない。また，JR芦屋駅周辺は古く，建物もバリアフリーになっていないので，時代のニーズに合わせて変化して欲しい。
- ・市民センターに自動車で来場する障がい者・高齢者の乗降・待機場所がなく，入口に横断歩道が設置されているため危険である。市民センターの東西道路を一方通行化し入り口付近の一車線分を乗降・待機場所としてはどうか。
- ・車椅子や高齢者でも歩きやすいよう，道路のデコボコの解消，歩道の拡幅・整備が必要。また，公共施設のバリアフリー化は進んでいるが，飲食店や買い物店などは階段が多く，車椅子で行けない。

②⑧市内を安全かつ快適に移動できる（116件）

【主な項目】

- ・バス交通強化（ルート，本数）（43件）
- ・公共交通ネットワーク（6件）
- ・歩道の整備，バリアフリー化（16件）
- ・渋滞・混雑の緩和，解消（4件）
- ・道路整備，道路ネットワーク，南北交通（16件）
- ・まちのバリアフリー化（3件）
- ・鉄道駅及び周辺道路整備（8件）
- ・自動車のルール・マナー（2件）
- ・交通安全施設（カーブミラー，信号機等）（7件）
- ・その他（電線の地中化，交通警備強化等）
- ・自転車交通（専用レーン等）（7件）

【意見例】

- ・市内外移動のバス路線とバス本数が少なく，病院や商業施設への運行本数の増便を。また，山手のバスが少なく，最終便も早いとため，衰退している気がする。便利なJRや阪神方面に若い人が移るのも分かる。
- ・バスと鉄道の連携が悪く，待ち時間の発生など移動の効率も悪い。また最終時間も早く安全面においても改善を期待する。
- ・電車は3本（JR，阪急，阪神）あり便利だが，バスはルートがよく理解できず活用できていない。車がなくても便利に移動できるという切り口で，バス会社を超えたマップや活用表などがあれば快適に移動できるという印象も高まるのでは。

②⑨良質なすまいづくりが進んでいる (31 件)

【主な項目】

- ・マンション化への危惧等 (6 件)
- ・まちのブランド・イメージの維持 (4 件)
- ・住宅価格、建築指導 (3 件)
- ・空き家・空室対策 (2 件)
- ・パイプラインの維持 (2 件)
- ・その他(住宅バリアフリー化, 市営住宅整備等)

【意見例】

- ・高級マンション, 高層マンションはもう必要ない。マンションも築年数が古い建物が多い。
- ・住宅地域と商業地域が分かれているため, 日常の買い物が不便。市内に大きな専門店が少なく, 神戸・西宮へのショッピングが多くなる。
- ・高齢化により, 空き家, 空室の数も増え, 景観, 安全がおびやかされると思う。良質な住まいと並行して空き家対策, アドバイスがあると助かると思う。

③⑩住宅都市としての機能が充実している (37 件)

【主な項目】

- ・商業・金融等のサービス機能配置 (5 件)
- ・パイプラインの継続 (4 件)
- ・住宅価格や物価が高価 (4 件)
- ・JR芦屋駅南口の開発 (3 件)
- ・住環境の維持 (3 件)
- ・市内移動・公共交通の充実 (2 件)
- ・公営住宅の充実(入居緩和等) (2 件)
- ・その他(空き家・空室対策, スポーツ施設等)

【意見例】

- ・空き家対策が深刻。広くて大きな土地が分割され, マンションが建ち, 芦屋らしい景観がそこなわれている。
- ・南芦屋浜から小学生が登校している姿を見るとかわいそうになるくらい遠いし, 郵便局はぜったい必要。みんなが車移動している訳ではないので, 南側への利便性ももう少し考えて欲しい。
- ・南の方は店が少なく, 車がないと買い物なども辛くなる。若者がショッピングを気軽にできる複合施設もあればいいと思う。

③⑪市内の商業が活性化し, 市民の利便性も向上している (151 件)

【主な項目】

- ・全体の活性化(個店, 大型スーパー誘致) (52 件)
- ・バランスのとれた商業配置 (22 件)
- ・JR芦屋駅周辺の活性化 (20 件)
- ・鉄道駅周辺の活性化 (12 件)
- ・主な買い物は市外を利用 (12 件)
- ・実用品を扱う商店 (7 件)
- ・物価が高い (4 件)
- ・娯楽・サービス施設・機能の設置 (2 件)
- ・起業環境の強化 (2 件)
- ・その他(看板規制, 高齢者の利便等)

【意見例】

- ・JR芦屋駅の再開発でもっと商業が活性化してほしい。
- ・芦屋市内には大きなスーパーがあまりないので, 神戸市内のスーパーで買い物をしている。結局他市でお金を落とすことになっていることは問題ではないか。娯楽施設や買いやすい価格の量販店など気軽な商業施設がないので, 若い世代にも魅力がない。
- ・娯楽施設や買いやすい価格の量販店など気軽な商業施設がないので, 結局市外に行かなくてはいけない。若い世代には魅力がない町
- ・住むだけではなく商業, 中小企業が起業しなければ, 住民だけでは市政を支えられない。
- ・既存の商業施設で小さな商店が次々と閉まってしまう, 空きが目立つ。寂しいだけでなく, 免許を返上したらどうなるのか。高齢者が市内で用事を済ませられるようにして欲しい。

③⑫市民参画による開かれた市政を運営している (20 件)

【主な項目】

- ・市・市議会の情報の提供 (5 件)
- ・市民に開かれた市政 (4 件)
- ・その他(市民に協力を得る姿勢・仕組み, 議論・集いの場, 仕事が多忙等)

【意見例】

- ・「市民参画」というレベルではなく、市民全体に開かれた市政になるように願います。現状は、行政（市）と議会が政策を決定した後、市民はパブリックコメントで意見を伝える機会を付与されているのが実態ではないか。
- ・共助社会を目指すのなら、市民に協力を得るような姿勢と話し合い・集いの場も必要。
- ・毎月の市民便りを見ても具体的な市政のあり方が市民にオープンとは思えない。もう少し情報が欲しい。

③③変化に対応できる柔軟な組織運営をしている（21件）

【主な項目】

- ・内部のことがわからない（3件）
- ・市・市議会の情報の提供（2件）
- ・大胆な施策、先進的な施策（2件）
- ・職員のサービス・対応（2件）
- ・その他（IT・AIの活用、集会所等の柔軟な利活用等）

【意見例】

- ・トップや権限を持った人が、ITやAIなどテクノロジー活用に柔軟であることを望む。
- ・周辺地域と合わせるような施策ではなく、周辺地域から一目おかれるような、新しい先進性の施策をして魅力ある街にして欲しい。
- ・民間企業は変化対応力を向上させるため、WG（ワーキンググループ）活動を積極的に取り入れている。年代、性別、国籍などが違う市民参加型のWG活動を取り入れてみては。

③④様々な資源を有効に活用している（30件）

【主な項目】

- ・分別強化など（資源）廃棄物の活用（15件）
- ・市の資源が不明（7件）
- ・シティセールス（2件）
- ・民間活力による公的施設の運営（2件）
- ・その他（ふるさと納税の活用、無駄の解消、税金の抑制等）

【意見例】

- ・芦屋市総合公園内の施設や芦屋市民センターなど公共施設の民営化（指定管理者制度の導入）や民間への貸し出しを考えてはどうか。
- ・様々な資源とあるが、どんな資源があるのか。
- ・芦屋の資源が何かが分からないので、もっとアピールしてほしい。プロモーションビデオもインパクトがなかった。

③⑤歳入・歳出の構造を改善している（39件）

【主な項目】

- ・市職員給与・定数（11件）
- ・財政の安定化（6件）
- ・経費の削減（5件）
- ・市議会（4件）
- ・歳入の確保、産業誘致（2件）
- ・その他（投資対効果の評価、税負担の軽減等）

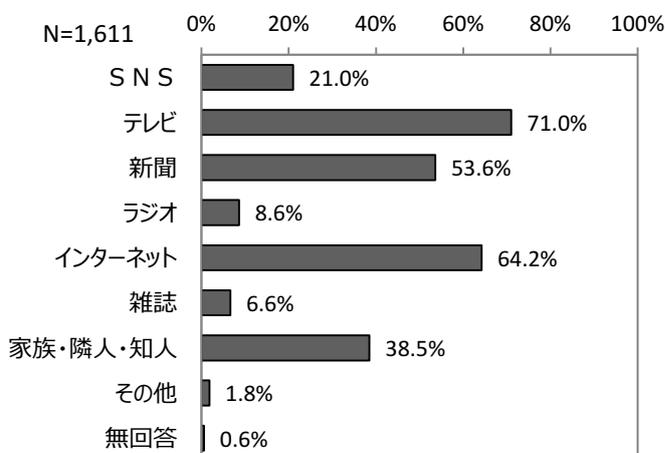
【意見例】

- ・常に正しい歳入、歳出をチェックしていただきたい。
- ・今後益々高齢化が進み、福祉のための歳出増加が見込まれるにもかかわらず、歳入を増やすための努力がなされていると感じられない。企業誘致は難しいかもしれないが、市の南側の土地に大型商業施設等を誘致することで利便性の向上、若い世代等の人口流入を図り、長期的に税収を増やすことができるのではないか。
- ・赤字なのに市役所職員の給料が高給なのはおかしい。仕事ぶりと釣り合っているのか自問すべき。

問 12 あなたは普段、情報を得るときに、主にどこから情報を得ますか。【回答 3つ】

○普段、情報を得る方法としては、「テレビ」の比率が71.0%と最も高く、「インターネット」64.2%、「新聞」53.6%、「家族・隣人・知人」38.5%と続いている。

調査数	1,611	100.0%
SNS (Facebook、Twitter等)	338	21.0%
テレビ	1,144	71.0%
新聞	864	53.6%
ラジオ	139	8.6%
インターネット	1,034	64.2%
雑誌	107	6.6%
家族・隣人・知人	621	38.5%
その他	29	1.8%
無回答	10	0.6%



【性別】

○男性で「インターネット」、女性で「家族・隣人・知人」の比率が高い。

【年代別】

○20～50歳代では「インターネット」、60歳代以上では「テレビ」が第1位となっている。

○SNSの比率は20歳代で61.0%と突出し、30歳代でも全体に比べて高い。

○60歳代以上では「新聞」の比率も高く、また70歳代で「ラジオ」、80歳以上では「家族・隣人・知人」の比率も全体に比べて高い。

【地区別】

○浜風小学校区及び南芦屋浜地区では、全体に比べて「SNS」の比率が低い。

○浜風小学校区及び潮見小学校区では、全体に比べて「ラジオ」の比率が高い。

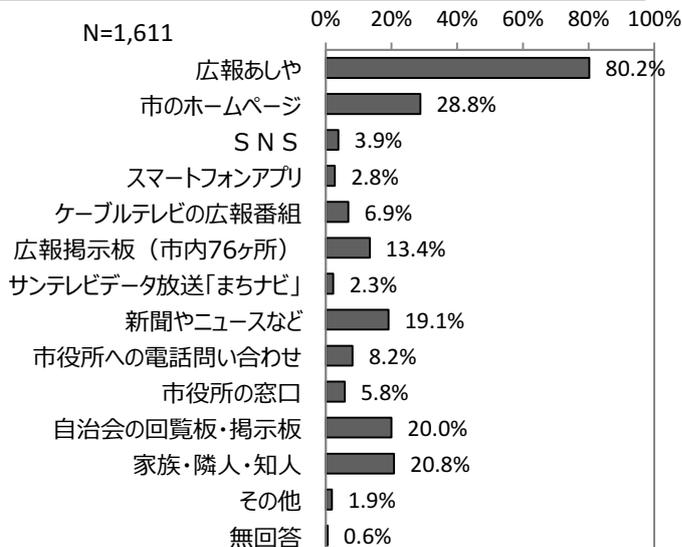
	SNS	テレビ	新聞	ラジオ	インターネット	雑誌	家族・隣人・知人	その他	無回答
市全体(N=1611)	21.0%	71.0%	53.6%	8.6%	64.2%	6.6%	38.5%	1.8%	0.6%
男性(N=688)	21.8%	69.3%	57.3%	9.3%	69.6%	7.0%	30.1%	1.2%	0.1%
女性(N=912)	20.6%	72.5%	50.9%	8.2%	60.5%	6.5%	44.8%	2.2%	0.9%
20歳代(N=159)	61.0%	54.1%	21.4%	1.3%	79.2%	5.7%	34.0%	-	1.3%
30歳代(N=180)	38.9%	61.1%	22.2%	5.6%	88.3%	6.7%	42.8%	0.6%	-
40歳代(N=332)	23.8%	59.3%	40.1%	6.6%	81.9%	7.2%	40.1%	0.6%	-
50歳代(N=268)	21.6%	68.7%	57.1%	6.0%	78.4%	6.3%	29.9%	1.9%	-
60歳代(N=264)	7.6%	83.7%	70.8%	9.5%	57.2%	6.4%	37.1%	1.9%	0.4%
70歳代(N=260)	4.2%	83.8%	78.5%	17.7%	35.0%	6.9%	40.4%	3.1%	1.9%
80歳以上(N=138)	2.2%	88.4%	77.5%	13.0%	16.7%	7.2%	50.0%	5.1%	0.7%
山手小学校区(N=325)	19.7%	69.5%	56.0%	6.5%	70.8%	7.7%	37.2%	1.5%	0.3%
岩園小学校区(N=218)	17.9%	70.6%	56.0%	10.1%	63.3%	9.2%	33.9%	0.5%	0.9%
朝日ヶ丘小学校区(N=149)	26.8%	65.8%	47.7%	6.0%	61.7%	6.7%	45.0%	0.7%	-
精道小学校区(N=217)	26.3%	69.6%	53.0%	6.9%	68.7%	4.1%	37.8%	1.8%	0.9%
宮川小学校区(N=222)	25.2%	71.6%	51.4%	5.9%	63.1%	4.1%	40.1%	3.2%	0.9%
打出浜小学校区(N=185)	20.5%	78.9%	50.8%	10.8%	59.5%	8.1%	40.0%	1.1%	1.1%
浜風小学校区(N=96)	12.5%	76.0%	51.0%	16.7%	57.3%	9.4%	38.5%	2.1%	-
潮見小学校区(N=103)	20.4%	68.0%	59.2%	13.6%	60.2%	4.9%	35.9%	3.9%	-
南芦屋浜地区(N=85)	11.8%	70.6%	60.0%	9.4%	62.4%	4.7%	43.5%	3.5%	-

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

問 13 あなたは普段、芦屋市の行政情報を得るときに、主にどこから情報を得ますか。【回答 3 つ】

○行政情報の入手方法としては、「広報あしや」が 80.2%と最も高く、「市のホームページ」28.8%、「家族・隣人・知人」20.8%、「自治体の回覧板・掲示板」20.0%と続いている。

調査数	1,611	100.0%
広報あしや	1,292	80.2%
市のホームページ	464	28.8%
SNS	63	3.9%
スマートフォンアプリ	45	2.8%
ケーブルテレビの広報番組	111	6.9%
広報掲示板（市内76ヶ所）	216	13.4%
サンテレビデータ放送「まちナビ」	37	2.3%
新聞やニュースなど	308	19.1%
市役所への電話問い合わせ	132	8.2%
市役所の窓口	93	5.8%
自治会の回覧板・掲示板	323	20.0%
家族・隣人・知人	335	20.8%
その他	30	1.9%
無回答	10	0.6%



【性別】

○女性で「広報あしや」の比率が高くなっている。

【年代別】

○全ての年代で「広報あしや」の比率が最も高いが、20歳代では「家族・隣人・知人」「SNS」の比率が、30～50歳代では「市のホームページ」、60歳代以上では「広報掲示板」「自治会の回覧板・掲示板」「新聞やニュースなど」の比率が全体と比べ高くなっている。

【前回比較】

○「広報あしや」の比率が高くなり、「ケーブルテレビの広報番組」の比率が低下している。（「SNS」「スマートフォンアプリ」は前回の項目にはない）

	広報あしや	市のホームページ	SNS	スマートフォンアプリ	ケーブルテレビの広報番組	広報掲示板（市内76ヶ所）	サンテレビデータ放送「まちナビ」
市全体(N=1611)	80.2%	28.8%	3.9%	2.8%	6.9%	13.4%	2.3%
前回調査(N=1426)	75.9%	26.9%	-	-	10.4%	11.1%	1.8%
男性(N=688)	76.6%	29.9%	4.5%	2.9%	7.8%	12.8%	2.3%
女性(N=912)	83.2%	28.1%	3.5%	2.7%	6.3%	13.9%	2.3%
20歳代(N=159)	42.1%	29.6%	16.4%	3.1%	4.4%	6.9%	1.3%
30歳代(N=180)	78.9%	44.4%	7.2%	5.0%	3.3%	13.3%	1.1%
40歳代(N=332)	79.5%	42.2%	2.7%	2.7%	5.1%	9.3%	1.2%
50歳代(N=268)	84.0%	36.6%	3.0%	3.4%	7.8%	9.0%	1.9%
60歳代(N=264)	89.8%	22.3%	1.9%	1.9%	8.7%	14.0%	3.8%
70歳代(N=260)	87.7%	9.6%	0.8%	2.7%	10.4%	25.4%	2.7%
80歳以上(N=138)	89.9%	9.4%	-	0.7%	7.2%	15.9%	5.1%

	新聞やニュースなど	市役所への電話問い合わせ	市役所の窓口	自治会の回覧板・掲示板	家族・隣人・知人	その他	無回答
市全体(N=1611)	19.1%	8.2%	5.8%	20.0%	20.8%	1.9%	0.6%
前回調査(N=1426)	18.8%	6.3%	4.4%	20.8%	18.0%	2.8%	2.1%
男性(N=688)	19.6%	7.4%	6.3%	19.3%	19.9%	1.7%	0.4%
女性(N=912)	18.9%	8.7%	5.5%	20.7%	21.4%	1.8%	0.5%
20歳代(N=159)	13.8%	2.5%	7.5%	5.7%	36.5%	3.8%	1.3%
30歳代(N=180)	9.4%	3.3%	5.6%	12.2%	20.6%	0.6%	0.6%
40歳代(N=332)	14.2%	6.6%	3.9%	12.3%	18.7%	1.5%	-
50歳代(N=268)	13.8%	10.1%	4.9%	21.3%	16.0%	1.1%	-
60歳代(N=264)	24.6%	9.5%	7.2%	25.0%	17.4%	2.7%	-
70歳代(N=260)	29.2%	12.7%	5.4%	30.4%	21.2%	1.9%	1.2%
80歳以上(N=138)	31.2%	9.4%	8.7%	34.8%	22.5%	0.7%	1.4%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

- 潮見小学校区で「自治会の回覧板・掲示板」の比率が高い。
 ○岩園小学校区では「市役所への電話問い合わせ」、浜風小学校区では「家族・隣人・知人」、潮見小学校区で「ケーブルテレビの広報番組」、南芦屋浜地区で「広報あしや」「市のホームページ」の比率が全体と比べて高くなっている。

	広報あしや	市のホームページ	SNS	スマートフォンアプリ	ケーブルテレビの広報番組	広報掲示板(市内76ヶ所)	サンテレビデータ放送「まちナビ」
山手小学校区(N=325)	80.3%	33.2%	2.8%	0.9%	7.4%	11.7%	1.2%
岩園小学校区(N=218)	79.4%	26.1%	3.2%	5.0%	6.0%	10.6%	1.8%
朝日ヶ丘小学校区(N=149)	80.5%	22.1%	4.7%	4.0%	7.4%	16.1%	2.0%
精道小学校区(N=217)	79.3%	30.9%	4.1%	2.3%	7.4%	16.1%	1.8%
宮川小学校区(N=222)	76.6%	31.1%	5.9%	1.8%	5.4%	16.7%	2.7%
打出浜小学校区(N=185)	82.2%	26.5%	5.9%	3.8%	7.0%	15.1%	4.3%
浜風小学校区(N=96)	84.4%	24.0%	2.1%	-	8.3%	10.4%	1.0%
潮見小学校区(N=103)	78.6%	25.2%	2.9%	3.9%	12.6%	11.7%	2.9%
南芦屋浜地区(N=85)	88.2%	35.3%	2.4%	3.5%	1.2%	9.4%	3.5%

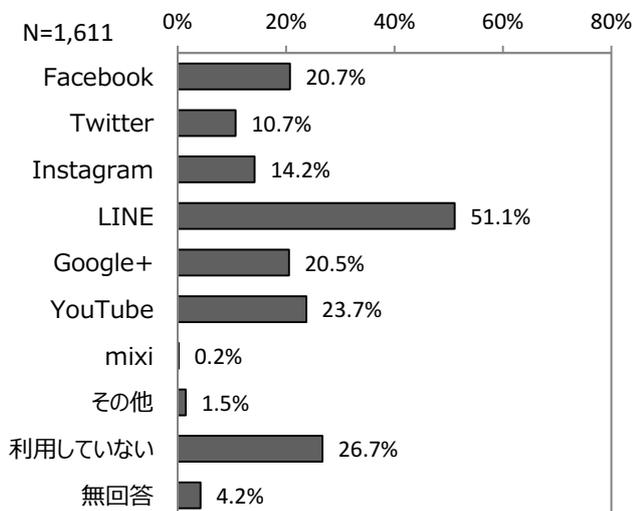
	新聞やニュースなど	市役所への電話問い合わせ	市役所の窓口	自治会の回覧板・掲示板	家族・隣人・知人	その他	無回答
山手小学校区(N=325)	19.1%	8.6%	6.2%	16.3%	22.2%	2.5%	0.3%
岩園小学校区(N=218)	16.1%	13.3%	5.0%	17.4%	20.2%	2.3%	0.5%
朝日ヶ丘小学校区(N=149)	20.1%	8.1%	4.0%	12.8%	17.4%	2.7%	-
精道小学校区(N=217)	14.3%	6.9%	6.0%	20.3%	19.4%	1.4%	1.4%
宮川小学校区(N=222)	22.1%	6.3%	6.8%	23.9%	21.6%	1.4%	1.4%
打出浜小学校区(N=185)	19.5%	8.1%	5.9%	16.8%	21.6%	2.2%	-
浜風小学校区(N=96)	22.9%	9.4%	8.3%	24.0%	26.0%	-	1.0%
潮見小学校区(N=103)	23.3%	5.8%	3.9%	41.7%	13.6%	1.0%	-
南芦屋浜地区(N=85)	20.0%	4.7%	5.9%	22.4%	24.7%	2.4%	-

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

問 14 あなたがよく利用する SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）は何ですか。
【回答 3 つ】

○より利用する SNS としては「LINE」が 51.1%と半数を超え、以下「YouTube」23.7%、「Facebook」20.7%、「Google+」20.5%と続いている。

調査数	1,611	100.0%
Facebook	333	20.7%
Twitter	173	10.7%
Instagram	229	14.2%
LINE	823	51.1%
Google+	331	20.5%
YouTube	382	23.7%
mixi	3	0.2%
その他	24	1.5%
利用していない	430	26.7%
無回答	67	4.2%



【性別】

○女性で「Instagram」、「LINE」、男性で「YouTube」の比率が全市に比べて高い。

【年代別】

○20～50 歳代では「LINE」の比率が高い。

○「LINE」のほか、20 歳代では「Twitter」「Instagram」「YouTube」、30 歳代では「Facebook」「Instagram」「YouTube」、50 歳代では「Facebook」「Google+」の比率が高い。

○60 歳代以上では「利用していない」の比率が高い。

【地区別】

○地区別では、大きな違いはみられない。

	Facebook	Twitter	Instagram	LINE	Google+	YouTube	mixi	その他	利用して いない	無回答
市全体(N=1611)	20.7%	10.7%	14.2%	51.1%	20.5%	23.7%	0.2%	1.5%	26.7%	4.2%
男性(N=688)	21.9%	12.6%	10.6%	47.2%	19.5%	28.5%	0.1%	1.6%	28.3%	2.6%
女性(N=912)	19.7%	9.4%	17.1%	54.4%	21.4%	20.4%	0.2%	1.4%	25.2%	5.0%
20歳代(N=159)	20.8%	47.2%	36.5%	83.0%	14.5%	35.8%	-	1.3%	1.9%	0.6%
30歳代(N=180)	37.2%	13.3%	28.3%	75.6%	18.9%	31.7%	-	-	6.7%	-
40歳代(N=332)	27.7%	10.2%	17.5%	68.4%	22.3%	27.7%	-	1.8%	11.4%	0.3%
50歳代(N=268)	30.6%	7.8%	18.3%	59.7%	27.2%	27.6%	-	1.1%	16.0%	1.5%
60歳代(N=264)	11.0%	2.7%	3.4%	38.6%	26.1%	25.0%	-	1.1%	37.1%	3.8%
70歳代(N=260)	10.0%	3.1%	0.8%	18.8%	18.1%	10.8%	0.8%	1.5%	56.9%	8.8%
80歳以上(N=138)	2.2%	2.9%	1.4%	11.6%	7.2%	5.8%	0.7%	4.3%	60.1%	18.1%
山手小学校区(N=325)	23.1%	11.4%	13.8%	49.5%	24.0%	25.5%	-	1.8%	24.3%	2.8%
岩園小学校区(N=218)	22.0%	7.8%	14.7%	50.5%	21.1%	19.7%	0.5%	1.8%	25.2%	6.0%
朝日ヶ丘小学校区(N=149)	20.1%	12.8%	12.1%	51.7%	24.2%	22.8%	-	1.3%	28.2%	2.0%
精道小学校区(N=217)	25.8%	11.1%	16.6%	55.3%	19.8%	25.8%	-	0.5%	25.3%	3.2%
宮川小学校区(N=222)	18.5%	12.2%	18.5%	57.2%	15.8%	26.6%	0.5%	0.9%	22.5%	4.5%
打出浜小学校区(N=185)	15.7%	9.7%	15.7%	49.2%	18.4%	24.3%	0.5%	1.6%	31.9%	2.7%
浜風小学校区(N=96)	15.6%	11.5%	5.2%	43.8%	18.8%	15.6%	-	1.0%	31.3%	9.4%
潮見小学校区(N=103)	16.5%	14.6%	10.7%	45.6%	23.3%	25.2%	-	1.9%	30.1%	2.9%
南芦屋浜地区(N=85)	22.4%	4.7%	11.8%	50.6%	20.0%	21.2%	-	2.4%	34.1%	4.7%

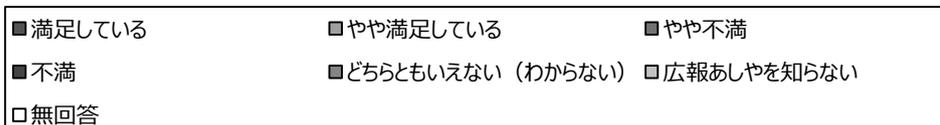
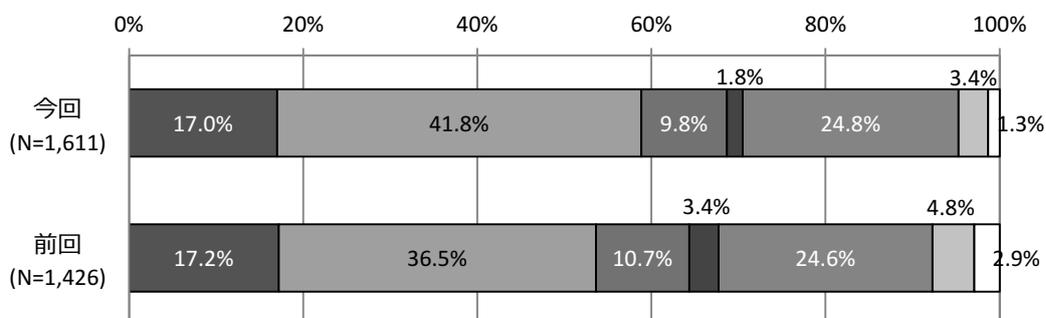
※網かけ部分は全体平均より 5 ポイント以上、比率が大きい項目

問 15 あなたは、「広報あしや」に満足していますか。【単数回答】

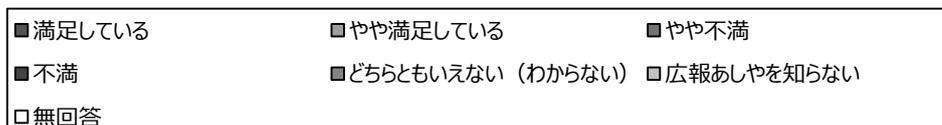
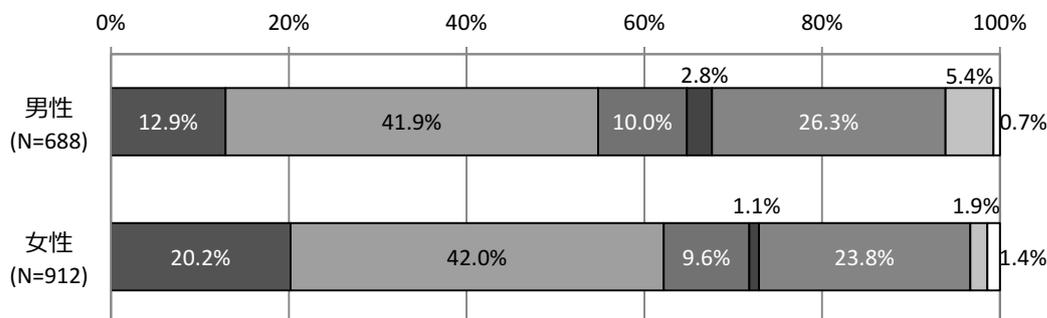
○「広報あしや」については、「満足している」17.0%、「やや満足している」41.8%で、これらを合わせた満足度は58.8%となっている。

○前回との比較では、全体で「不満」の比率が下がり、「やや満足している」の比率が上がっている。また、30歳代で「満足している」、「やや満足している」を合わせた満足度の比率が13.6ポイント上がっている。

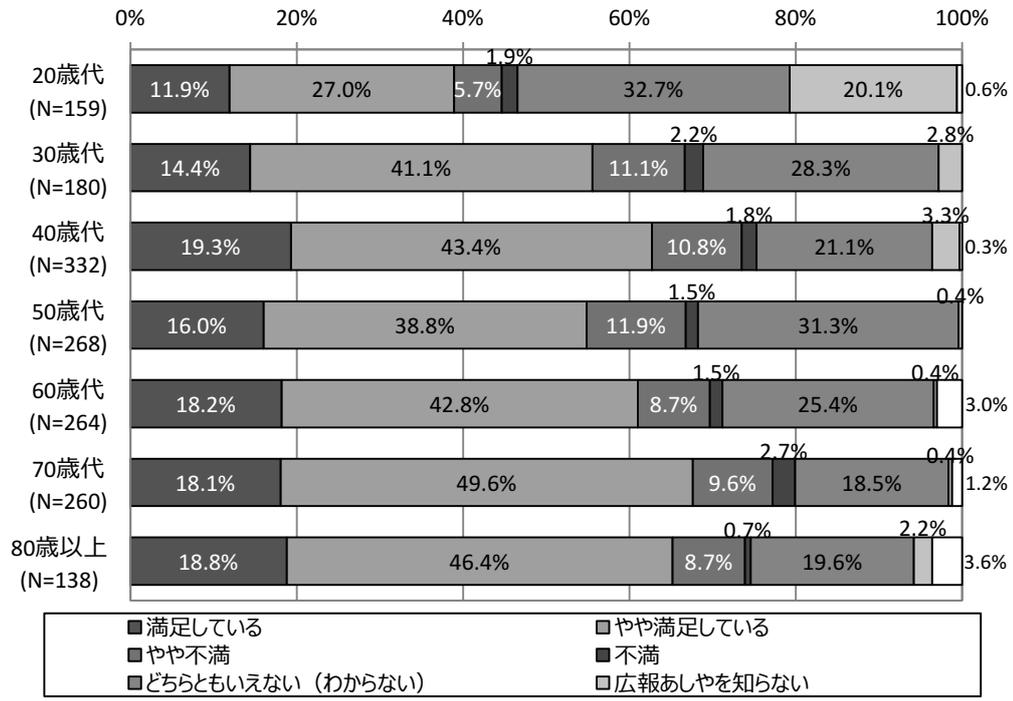
調査数	1,611	100.0%
満足している	274	17.0%
やや満足している	674	41.8%
やや不満	158	9.8%
不満	29	1.8%
どちらともいえない（わからない）	400	24.8%
広報あしやを知らない	55	3.4%
無回答	21	1.3%



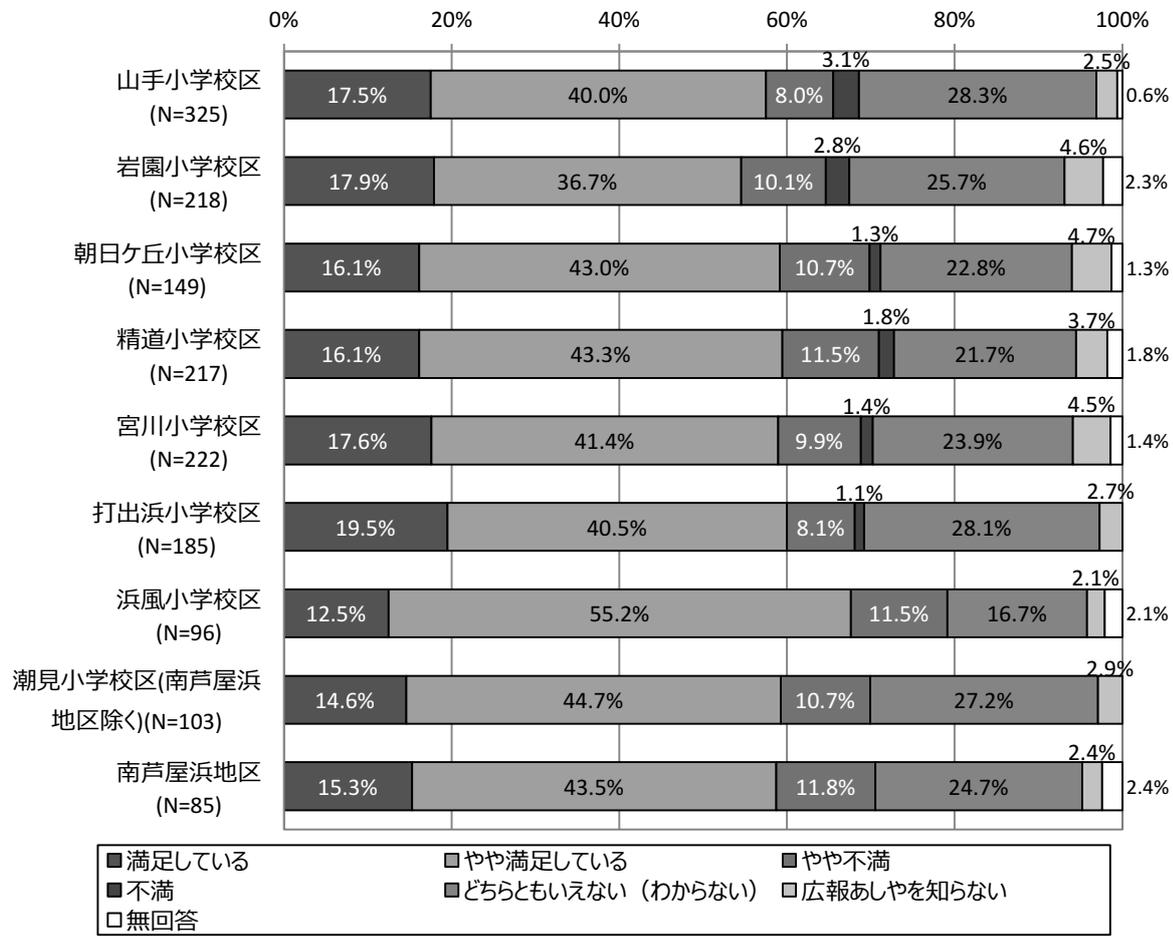
○性別では、女性で「満足している」の比率が高い。



○年代別では、年齢が高い層ほど満足度が高くなる傾向にある。また、20歳代において、「広報あしやを知らない」の比率が20.1%と高くなっている。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



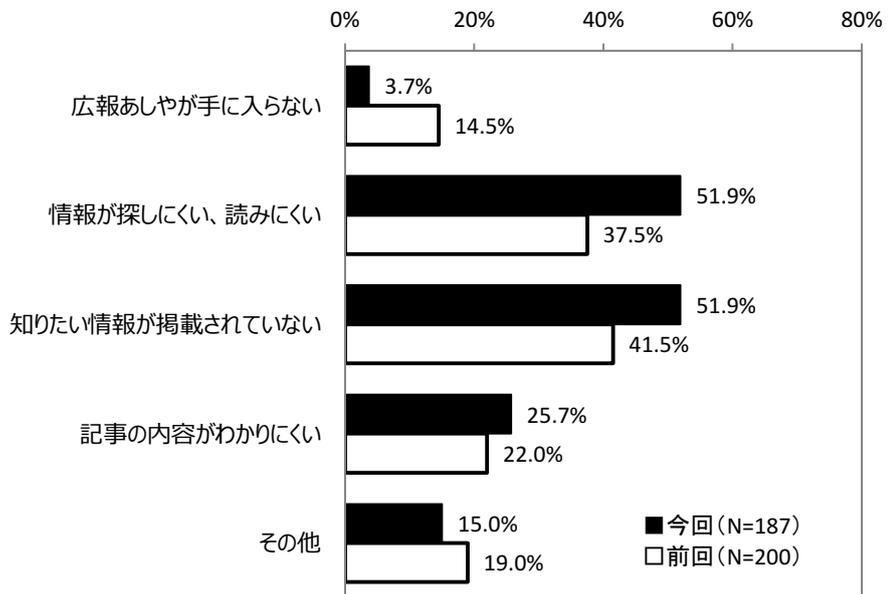
【問 15 で、「3. やや不満」、「4. 不満」と答えた方】

問 16 「広報あしや」について不満の理由は何ですか。【複数回答】

- 「広報あしや」について不満な理由としては、「情報が探しにくい、読みにくい」と「知りたい情報が掲載されていない」が 51.9%で高い比率となっている。次いで、「記事の内容がわかりにくい」25.7%が続いている。
 - その他の意見では「いつも同じような記事でパターン化している」「イベントや文化的催しの情報がほしい」などの記載がみられる。
- 【前回比較】
- 「広報あしやが手に入らない」の比率が低下し、「情報が探しにくい、読みにくい」「知りたい情報が掲載されていない」という質に対する比率が高まっている。また、「記事の内容がわかりにくい」の比率も 70 歳代 (+32.0 ポイント)、80 歳以上 (+13.5 ポイント) で上がっている。

調査数	187	100.0%
広報あしやが手に入らない	7	3.7%
情報が探しにくい、読みにくい	97	51.9%
知りたい情報が掲載されていない	97	51.9%
記事の内容がわかりにくい	48	25.7%
その他	28	15.0%

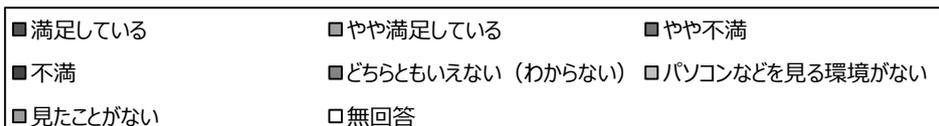
※問 15 において、「やや不満」「不満」と回答した 187 件を母数としている。



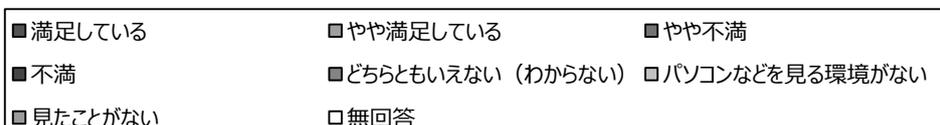
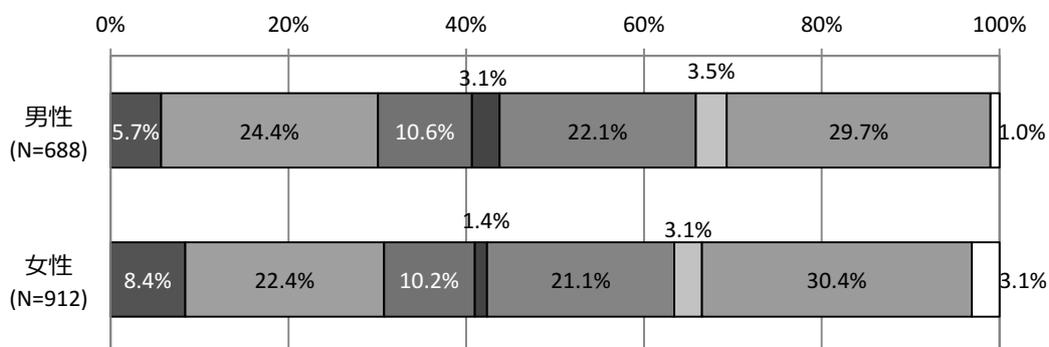
問 17 あなたは、「市のホームページ」に満足していますか。【単数回答】

- 「市のホームページ」については、「満足している」7.3%、「やや満足している」23.2%で、これらを合わせた満足度は30.5%となっている。
- 「見たことがない」が29.9%、「パソコンなどを見る環境がない」が3.3%で3割を超える市民が市のホームページを見ていない。
- 前回との比較で大きな違いはみられない。

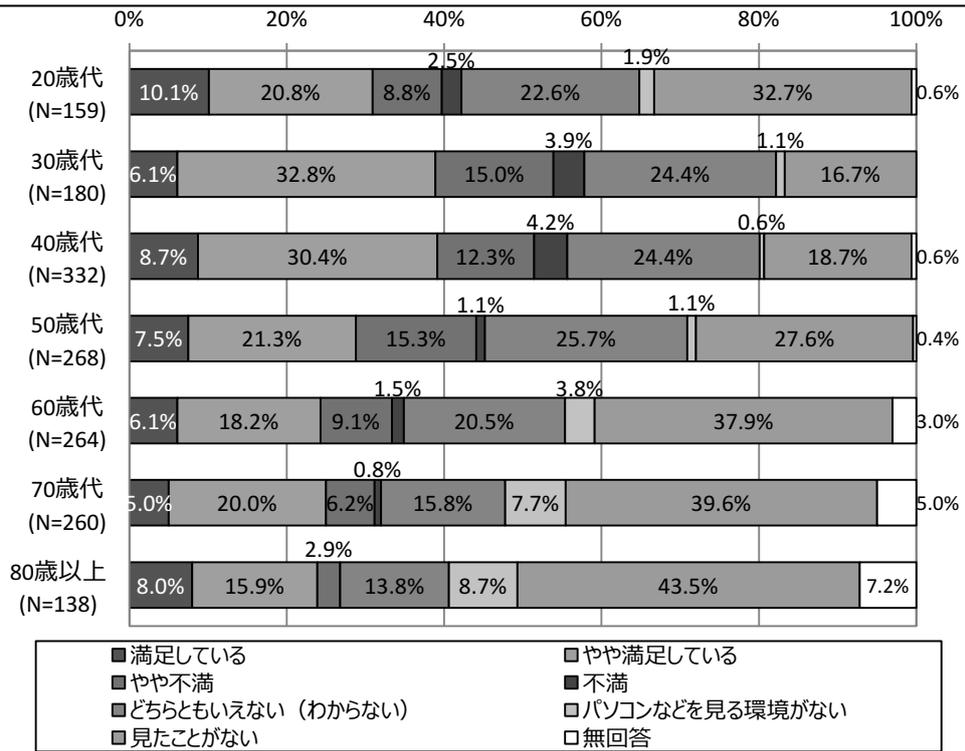
調査数	1,611	100.0%
満足している	117	7.3%
やや満足している	374	23.2%
やや不満	168	10.4%
不満	34	2.1%
どちらともいえない（わからない）	346	21.5%
パソコンなどを見る環境がない	53	3.3%
見たことがない	481	29.9%
無回答	38	2.4%



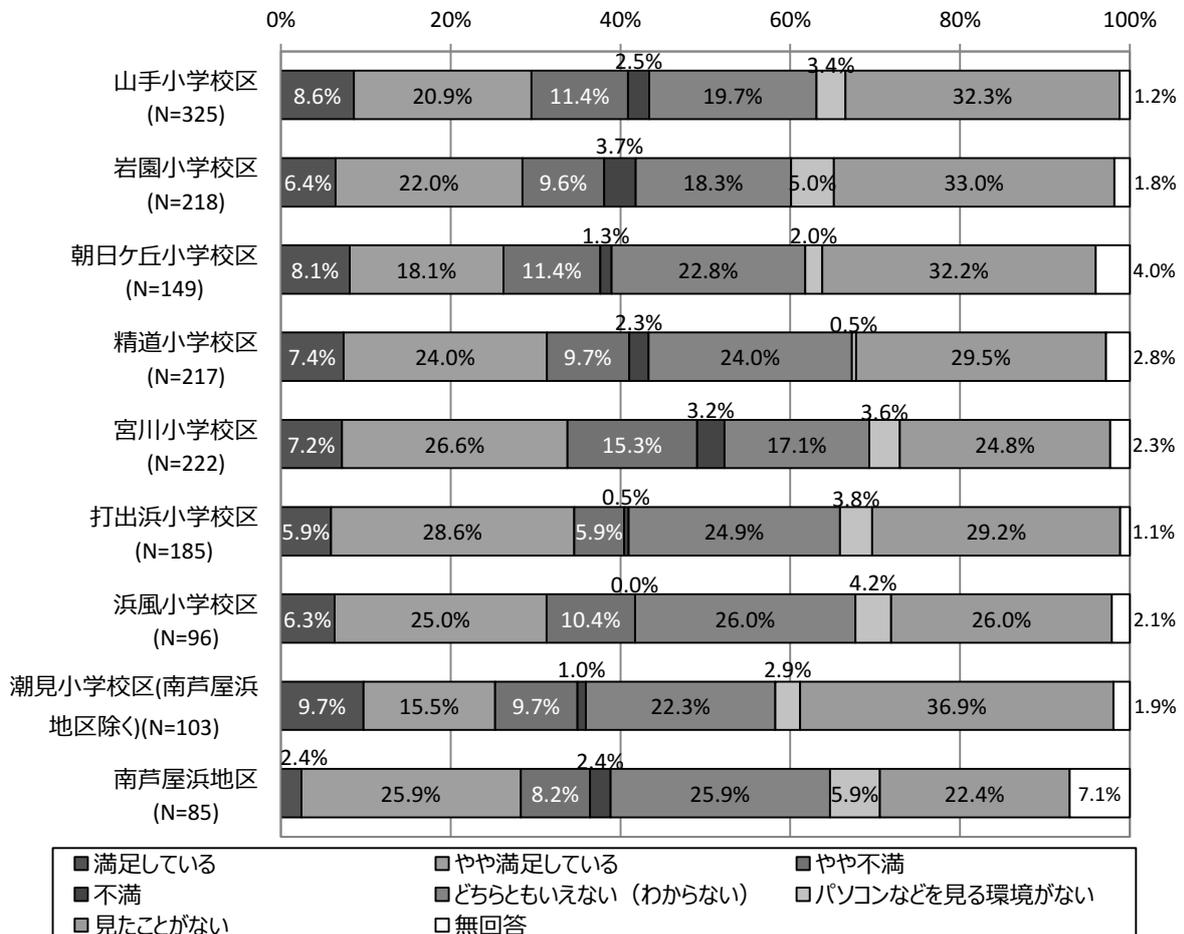
○性別では、統計的に有意な差はない。



○年代別では、30～40歳代で満足度が全体に比べ高い。年齢が高い層ほど「見たことがない」「パソコンなどを見る環境がない」の比率が高くなる傾向にある。



○地区別では、統計的に有意な差はない。



【問 17 で、「3. やや不満」、「4. 不満」と答えた方】

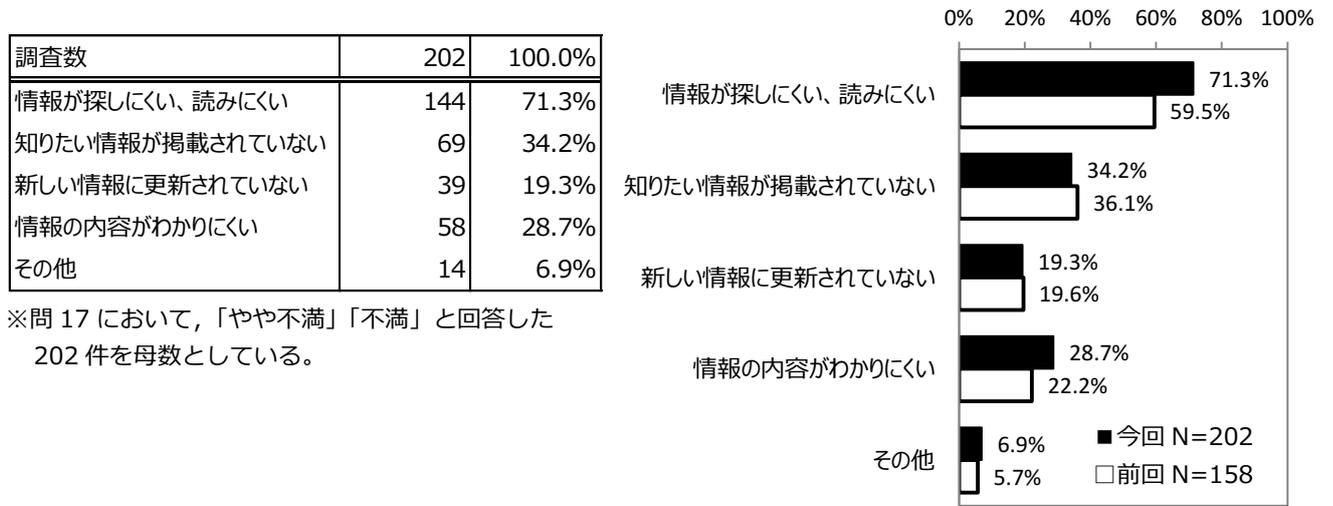
問 18 不満の理由は何ですか。【複数回答】

○「市のホームページ」について不満な理由としては、「情報が探しにくい、読みにくい」が 71.3% と最も高く、次いで、「知りたい情報が掲載されていない」34.2%、「情報の内容がわかりにくい」28.7%と続いている。

○その他の意見では「興味・関心が持てない」「情報量（細部）が少ない」などの記載がみられる。

【前回比較】

○「情報が探しにくい、読みにくい」「情報の内容がわかりにくい」の比率が上がっている。



【性別】

○男性で「情報が探しにくい、読みにくい」の比率が高い。

【年代別・地区別】

○年代別・地区別では、標本数が小さいこともあり、有意な差があるとはいえない。

	情報が探しにくい、読みにくい	知りたい情報が掲載されていない	新しい情報に更新されていない	情報の内容がわかりにくい	その他
男性	78.7%	35.1%	18.1%	31.9%	9.6%
女性	66.0%	34.0%	19.8%	25.5%	4.7%
20歳代	55.6%	27.8%	11.1%	22.2%	5.6%
30歳代	79.4%	23.5%	23.5%	17.6%	2.9%
40歳代	76.4%	29.1%	20.0%	40.0%	9.1%
50歳代	72.7%	31.8%	18.2%	22.7%	11.4%
60歳代	60.7%	42.9%	21.4%	32.1%	-
70歳代	72.2%	61.1%	16.7%	27.8%	11.1%
80歳以上	75.0%	75.0%	-	50.0%	-
山手小学校区	71.1%	26.7%	22.2%	15.6%	11.1%
岩園小学校区	58.6%	34.5%	27.6%	44.8%	3.4%
朝日ヶ丘小学校区	63.2%	31.6%	10.5%	26.3%	10.5%
精道小学校区	80.8%	57.7%	15.4%	34.6%	7.7%
宮川小学校区	70.7%	36.6%	9.8%	26.8%	4.9%
打出浜小学校区	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%
浜風小学校区	90.0%	30.0%	40.0%	40.0%	-
潮見小学校区	90.9%	27.3%	9.1%	18.2%	-
南芦屋浜地区	88.9%	33.3%	44.4%	33.3%	-

※網かけ部分は全体平均より 5 ポイント以上、比率が大きい項目

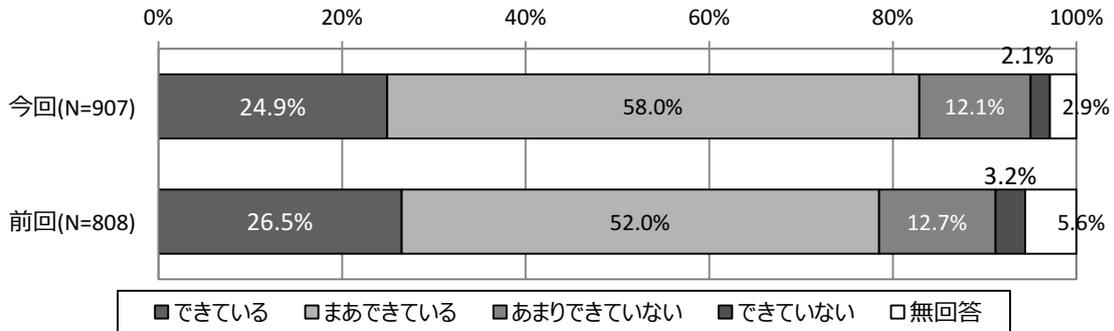
【仕事をお持ちの方】

問 19 あなたは、仕事と自分の生活の両立ができていますか。【単数回答】

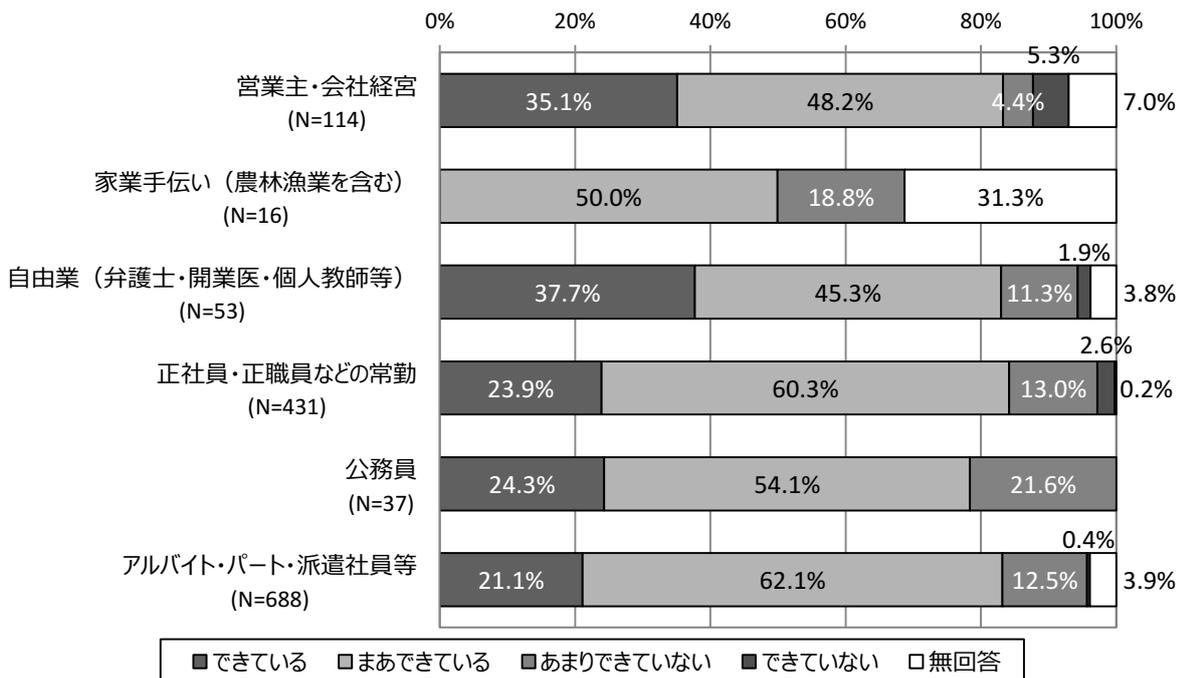
○仕事と自分の生活の両立の状況では、「まあできている」が58.0%と最も高く、「できている」の24.9%と合わせて、82.9%が両立していると回答している。
 ○前回との比較では、大きな変化はみられない。

調査数	907	100.0%
できている	226	24.9%
まあできている	526	58.0%
あまりできていない	110	12.1%
できていない	19	2.1%
無回答	26	2.9%

※◆5（職業設問）において、「営業主・会社経営」「家業手伝い」「自由業」「正社員・正職員などの常勤」「公務員」「アルバイト・パート・派遣社員等」と回答した907件を母数としている。



○職業別では、家業手伝いで他の職業に比べて両立できているとの回答の比率が低くなっている。
 ○営業主・会社経営と自由業で、他の職業に比べ「できている」の比率が高くなっている。

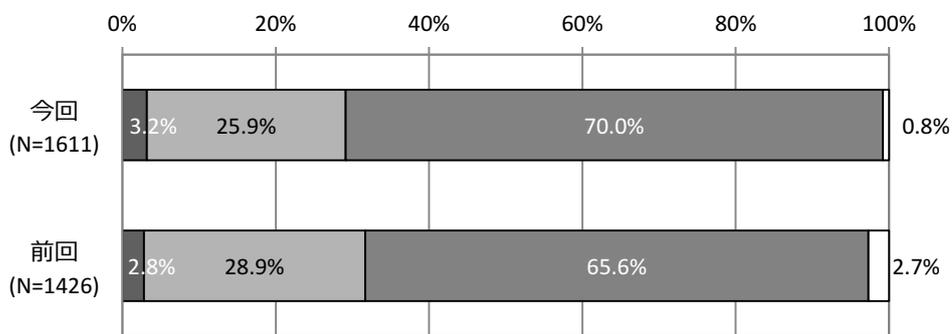


問 20 あなたは、芦屋市に DV（ドメスティック・バイオレンス）の専門相談（DV 相談室）があることをご存知ですか。【単数回答】

○DV 専門相談の認知状況は、「具体的に知っている」3.2%、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」25.9%で、これらを合わせても認知率は 29.2%にとどまる。

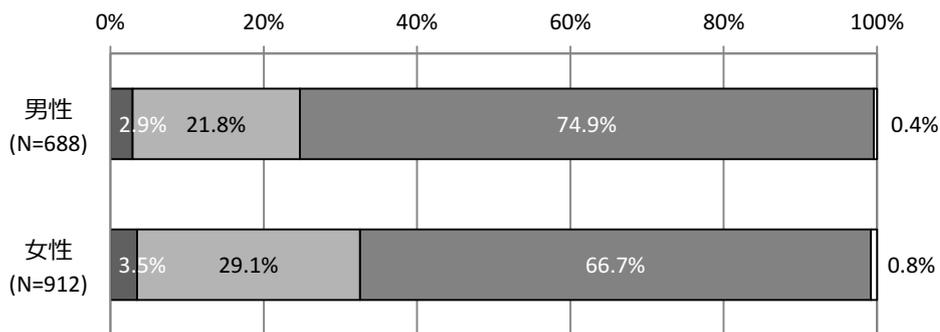
○前回との比較では、「知らない」の比率が上がっており、特に 70 歳代 (+10.3 ポイント)、80 歳以上 (+20.3 ポイント) で顕著である。

調査数	1,611	100.0%
具体的に知っている	52	3.2%
聞いたことはあるが詳しくは知らない	418	25.9%
知らない	1,128	70.0%
無回答	13	0.8%



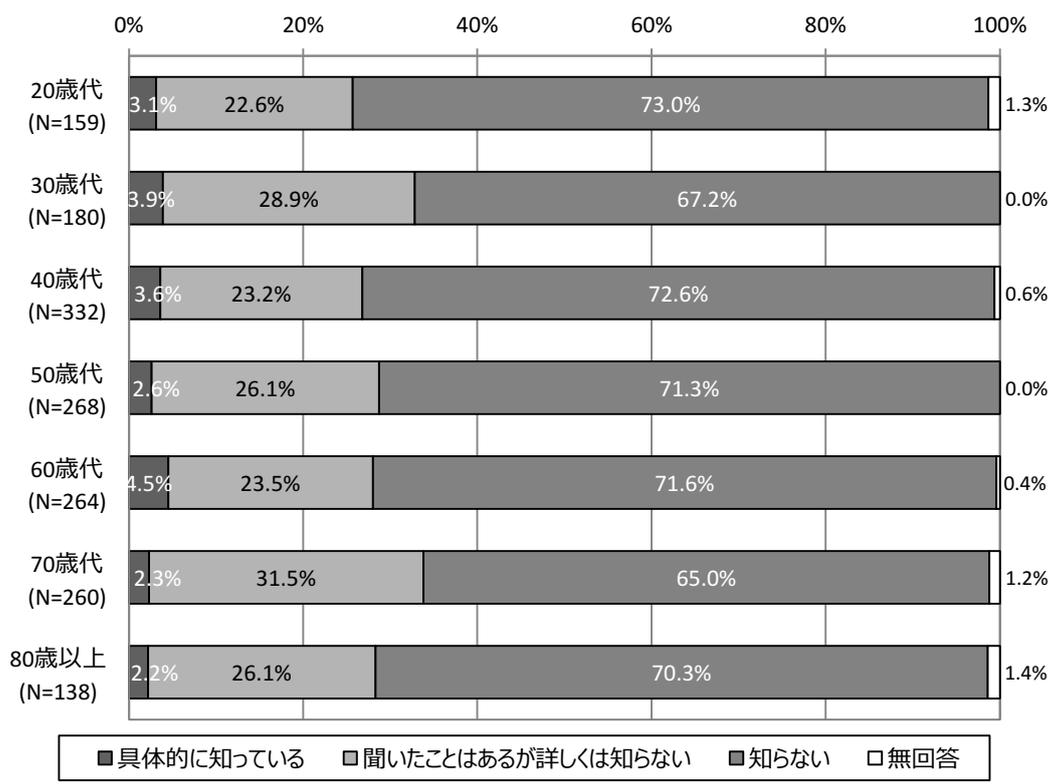
■ 具体的に知っている □ 聞いたことはあるが詳しくは知らない ■ 知らない □ 無回答

○男性では「知らない」の比率が、女性では「聞いたことはあるが詳しくは知らない」の比率が全体に比べて高くなっている。

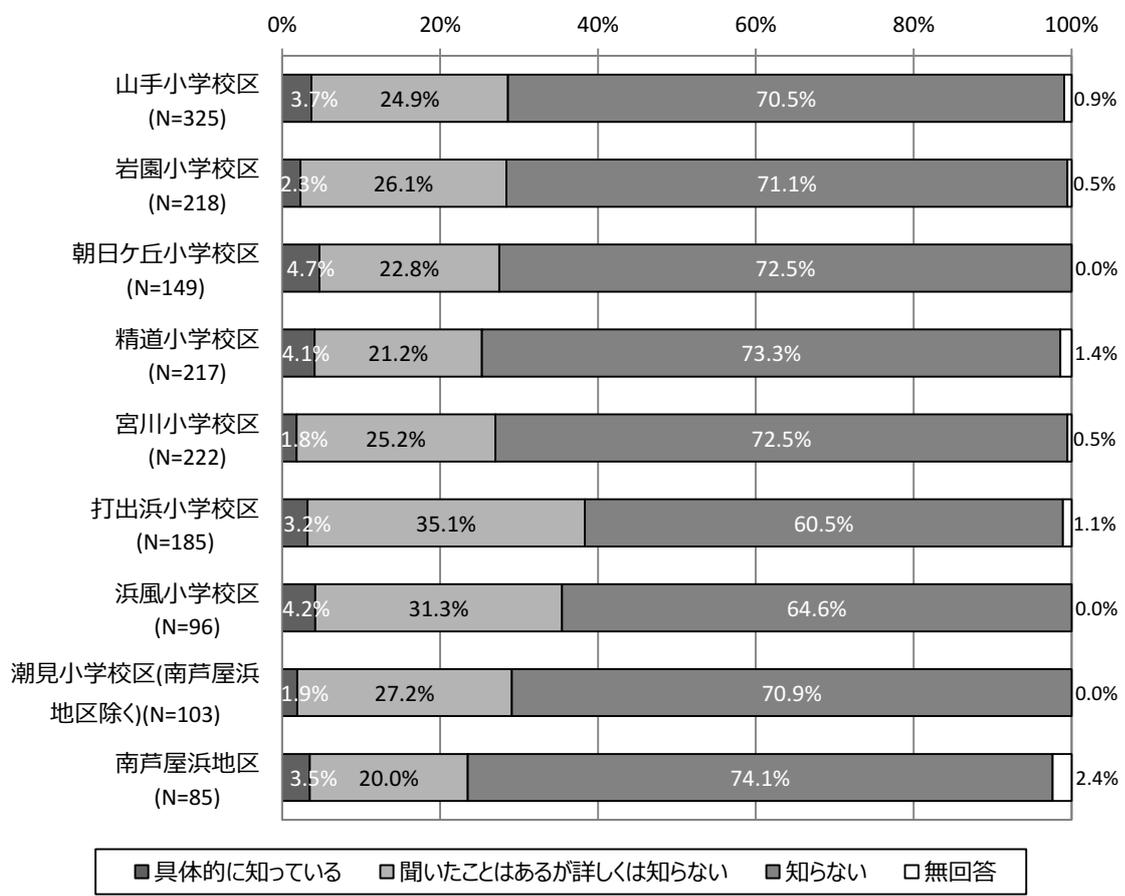


■ 具体的に知っている □ 聞いたことはあるが詳しくは知らない ■ 知らない □ 無回答

○年代別では、統計的に有意な差はない。



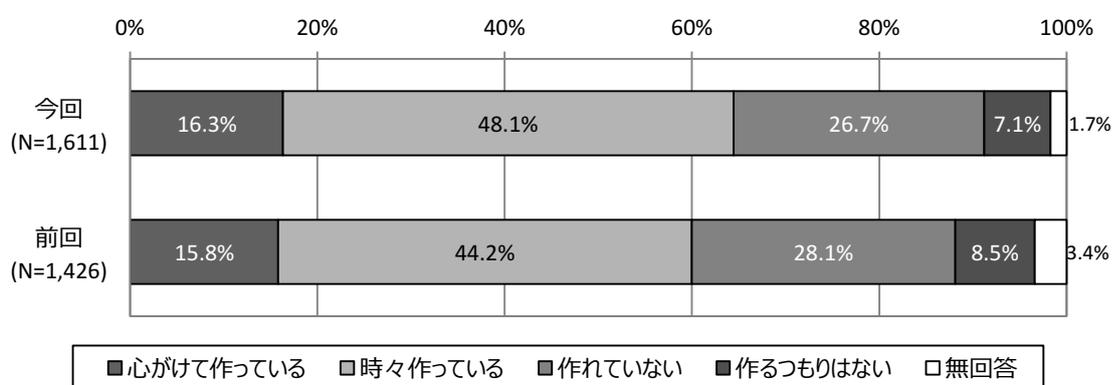
○地区別では、統計的に有意な差はない。



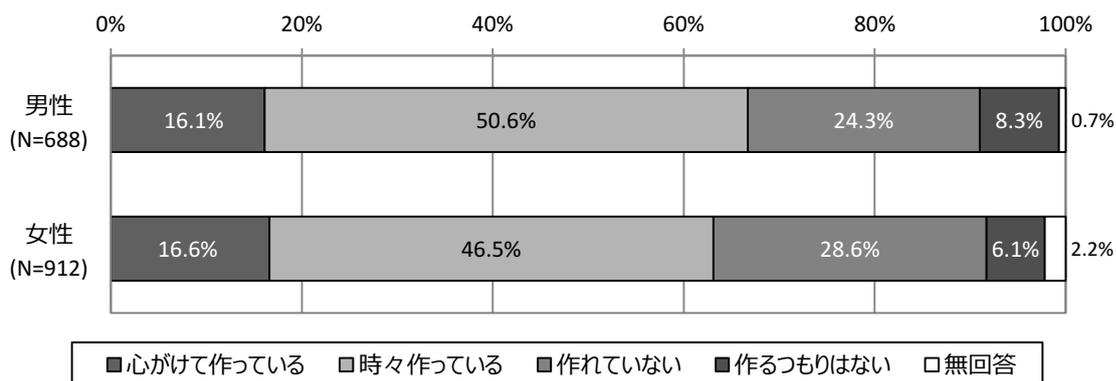
問 21 あなたは、山や川、海などで自然や生き物と親しむ機会を作っていますか。【単数回答】

○自然や生き物と親しむ機会については、「時々作っている」の比率が48.1%と最も高く、「心がけて作っている」の16.3%を合わせて64.4%が、こうした機会を作っていると回答している。
 ○前回との比較では、全体で大きな違いはみられない。80歳以上では「心がけて作っている」、「時々作っている」を合わせた比率が20.2ポイント上がっている。

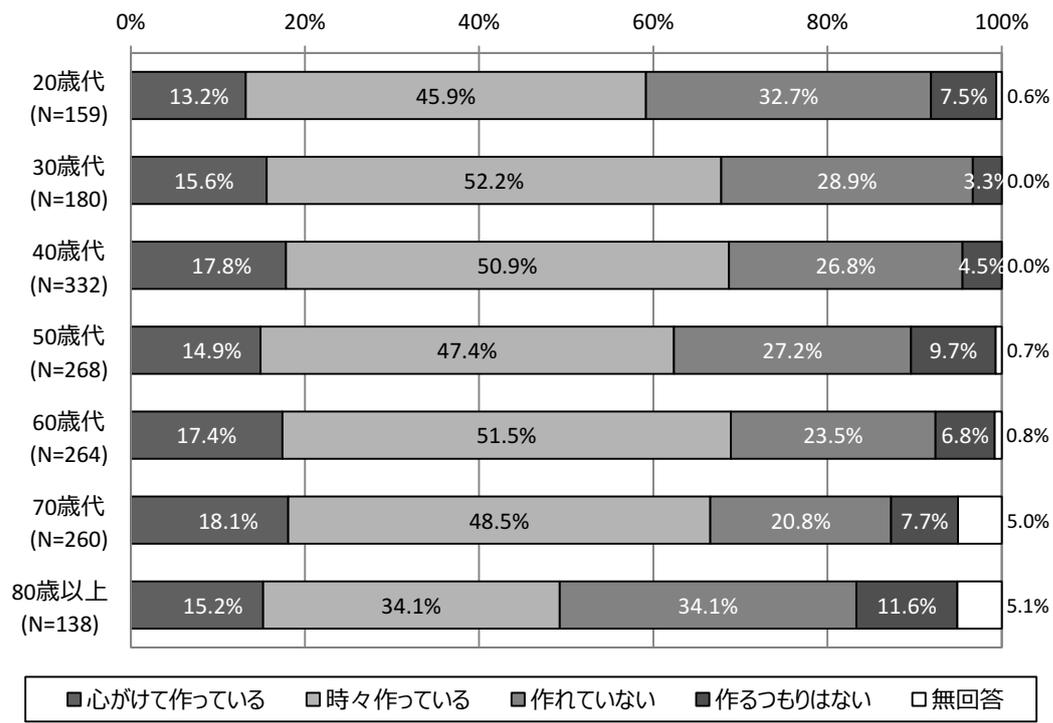
調査数	1,611	100.0%
心がけて作っている	263	16.3%
時々作っている	775	48.1%
作れていない	430	26.7%
作るつもりはない	115	7.1%
無回答	28	1.7%



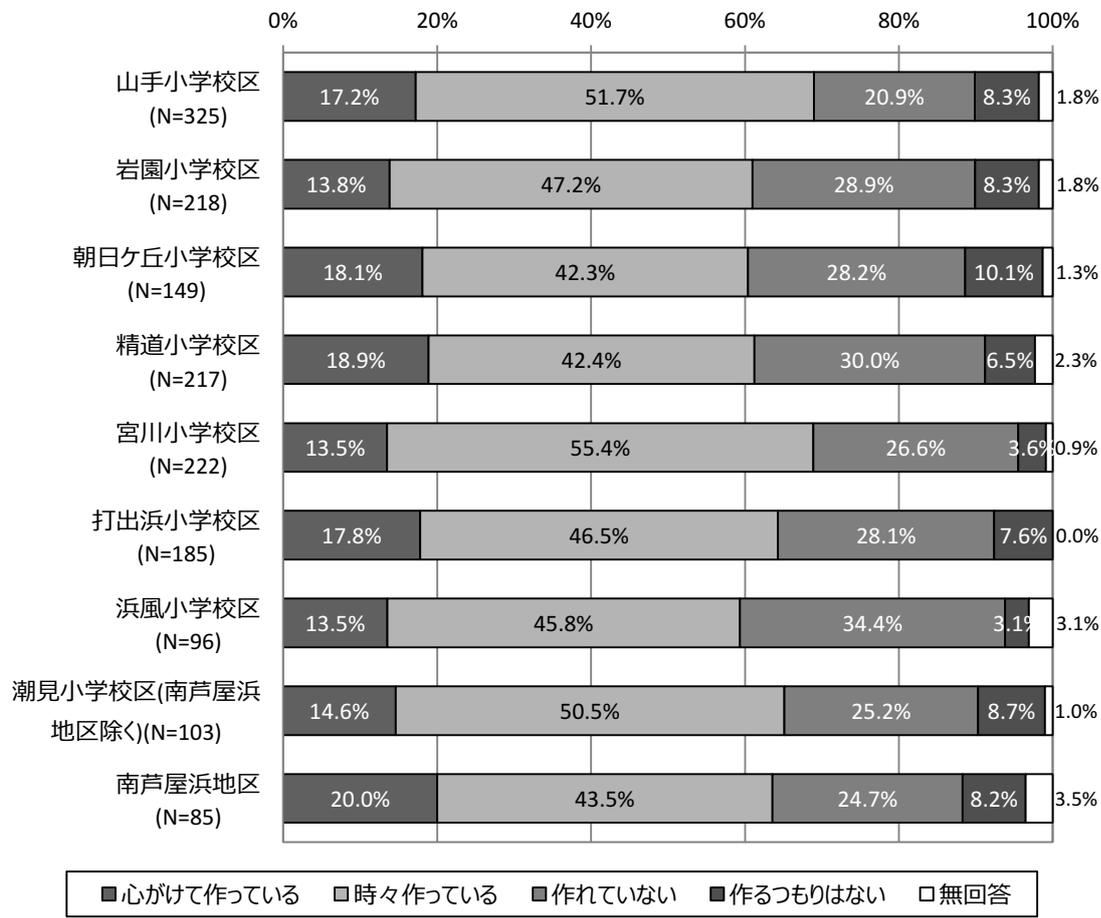
○性別では、統計的に有意な差はない。



○年代別では、80歳以上で自然や生き物と親しむ機会を作れていないという比率が高くなっている。



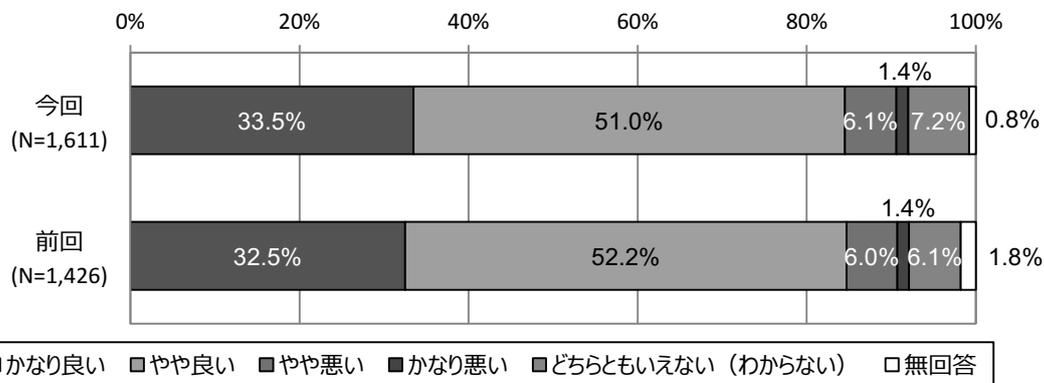
○地区別では、統計的に有意な差はない。



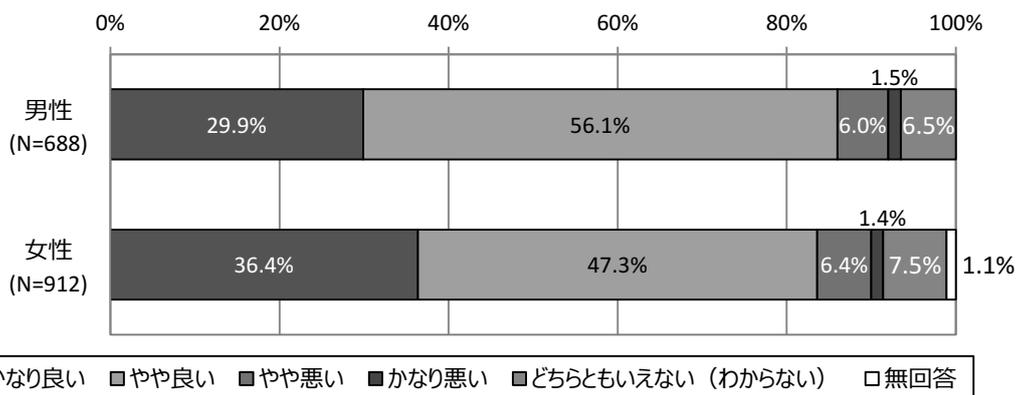
問 22 あなたがお住まいの地域におけるまちなみ等の景観の美しさについて、どのように感じていますか。【単数回答】

○居住地におけるまちなみ等の景観の美しさへの評価は、「やや良い」の比率が51.0%で最も高く、「かなり良い」の33.5%を合わせて、84.4%が良いと評価している。
○前回との比較では、大きな変化はみられない。

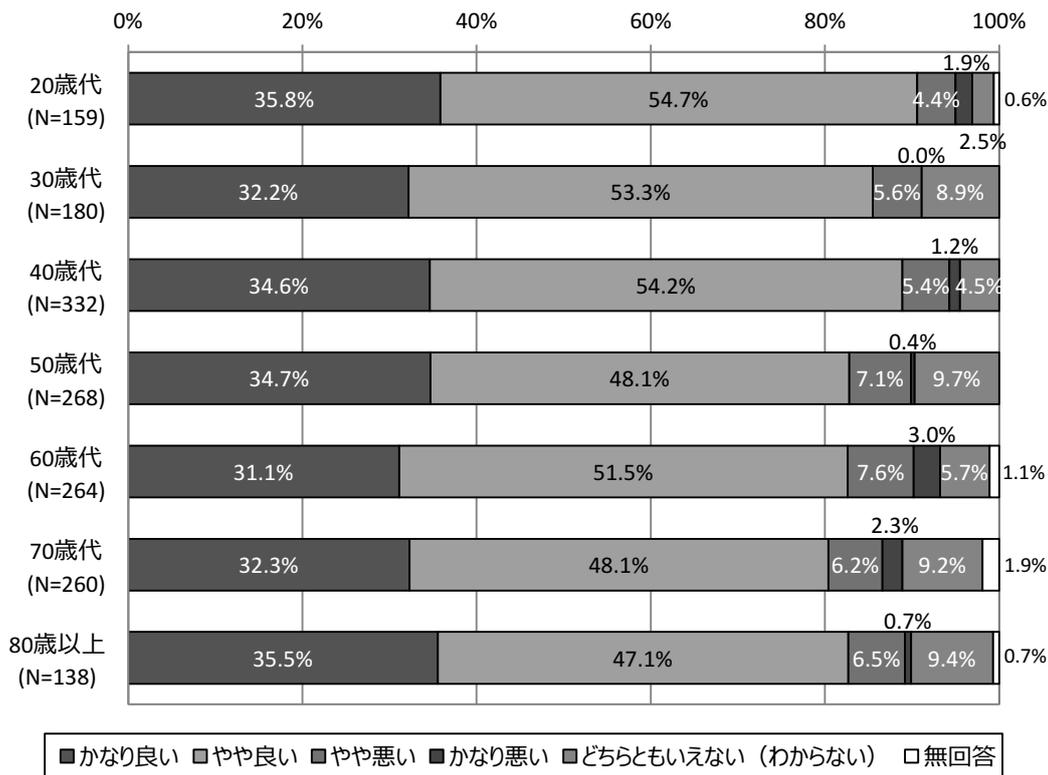
調査数	1,611	100.0%
かなり良い	539	33.5%
やや良い	821	51.0%
やや悪い	99	6.1%
かなり悪い	23	1.4%
どちらともいえない (わからない)	116	7.2%
無回答	13	0.8%



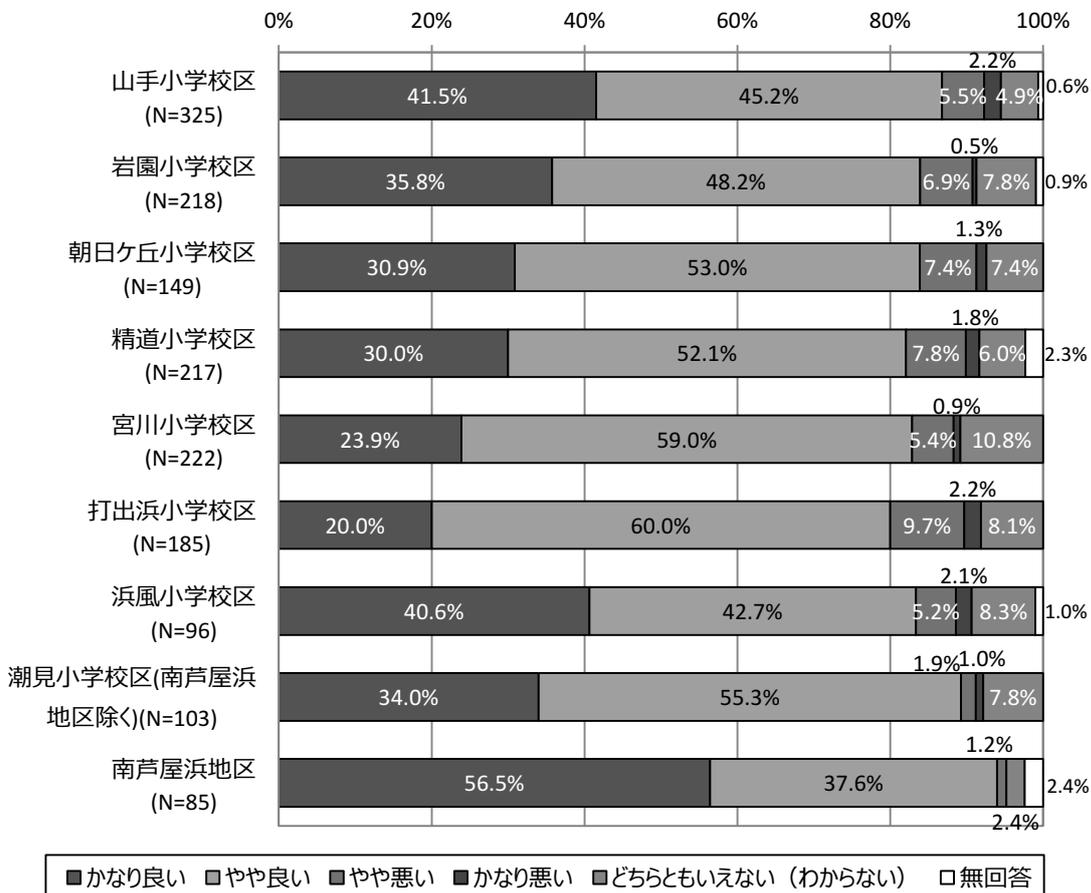
○女性では「かなり良い」の比率が、男性では「やや良い」の比率が高い。「かなり良い」と「やや良い」を合わせた良いという評価全体では大きな差はない。



○年代別では、統計的に有意な差はない。



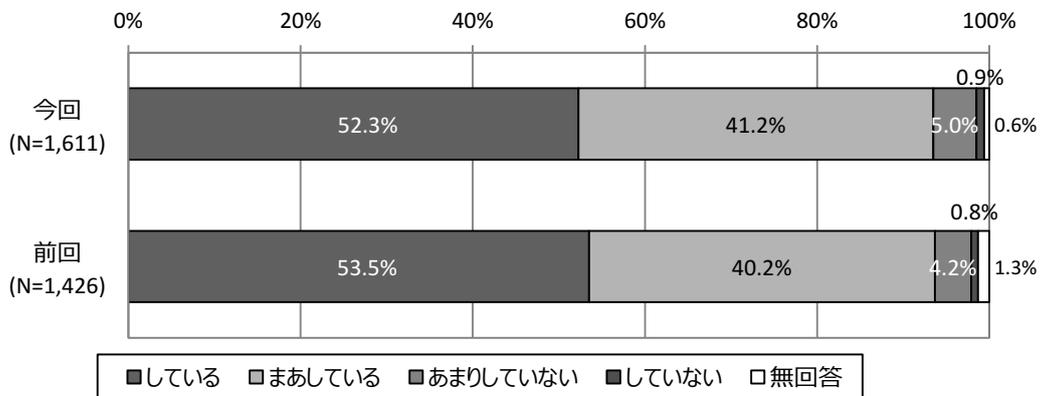
○地区別では、各地区とも「かなり良い」と「やや良い」の合計が80%を超えている。
○南芦屋浜地区で「かなり良い」の比率が高い。



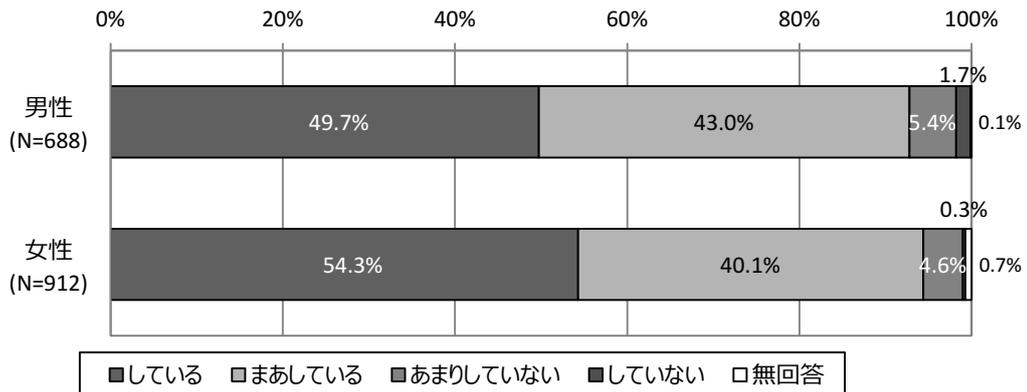
問 23 あなたは、日ごろの暮らしの中で省エネやエコバック、ごみの分別など、環境に配慮した生活をしていますか。【単数回答】

○日ごろの環境に配慮した生活の実践状況では、「している」が52.3%で最も高く、「まあしている」の41.2%を合わせて、93.5%が実践していると回答している。
 ○前回との比較では、大きな変化はみられない。

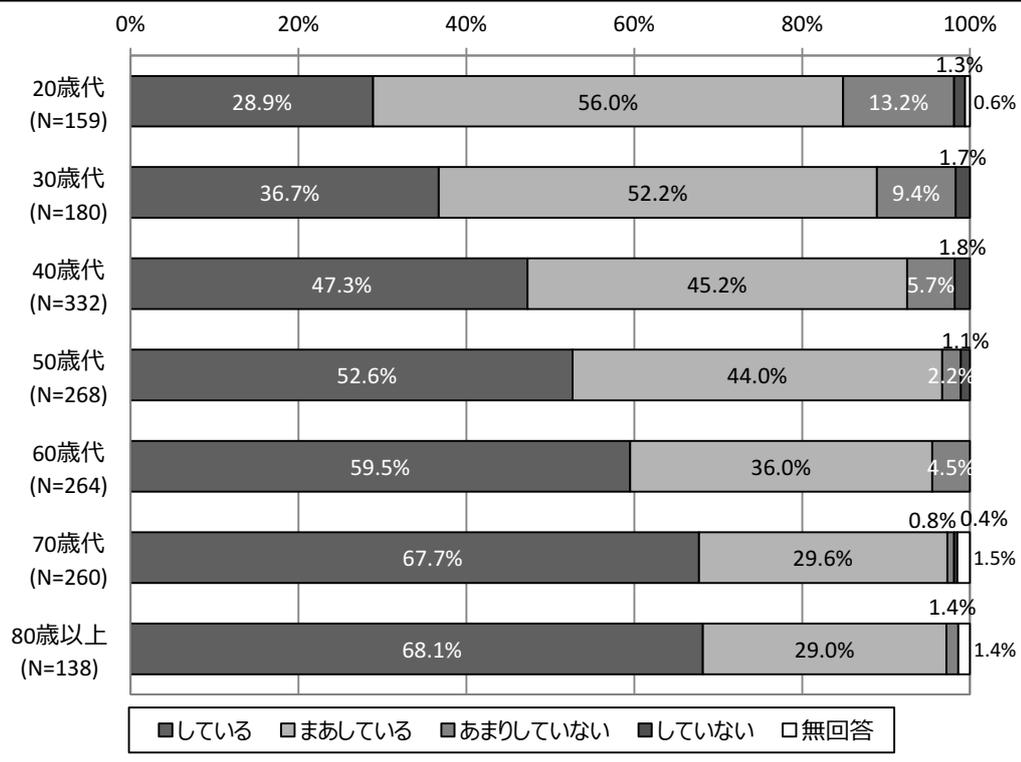
調査数	1,611	100.0%
している	842	52.3%
まあしている	664	41.2%
あまりしていない	80	5.0%
していない	15	0.9%
無回答	10	0.6%



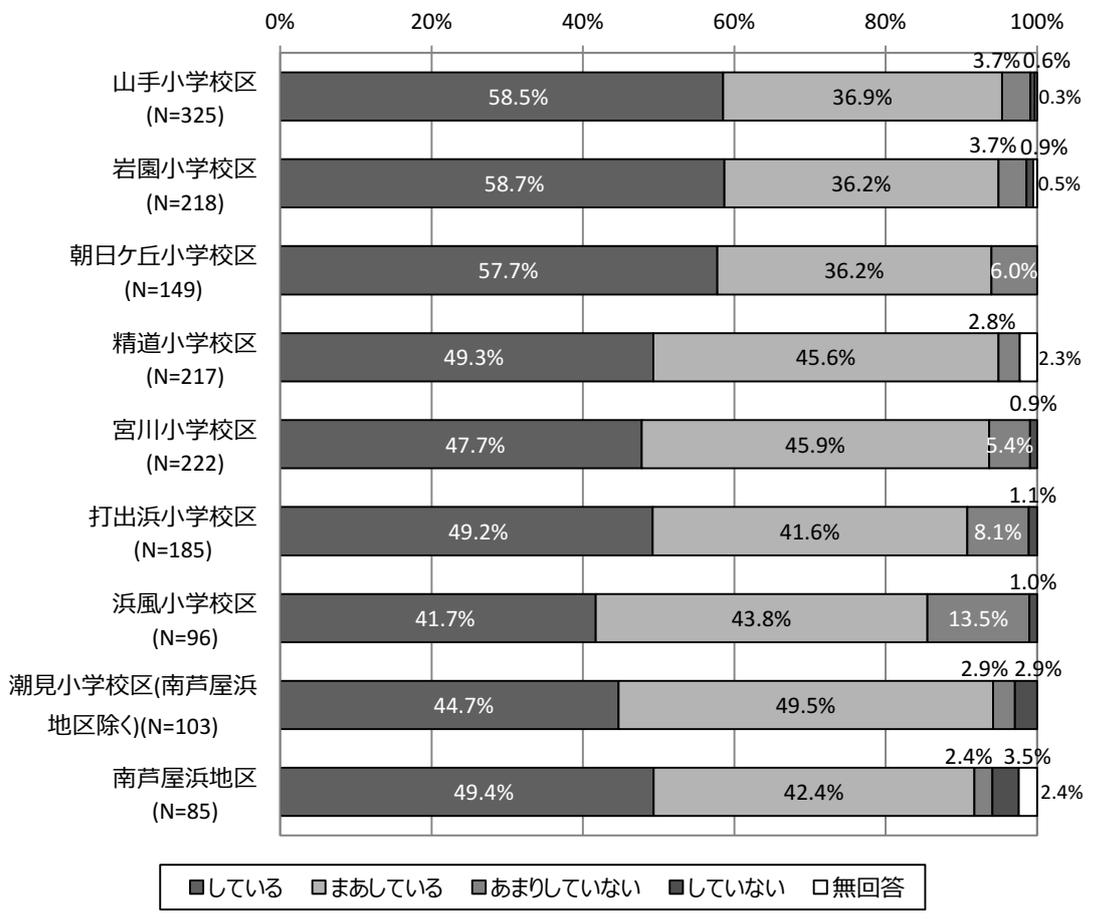
○女性で「している」の比率が高くなっている。



○年代別では、各年代とも実践しているとの回答が8割を超えるが、年齢が高い層ほど「まあしている」よりも「している」の比率が高い。



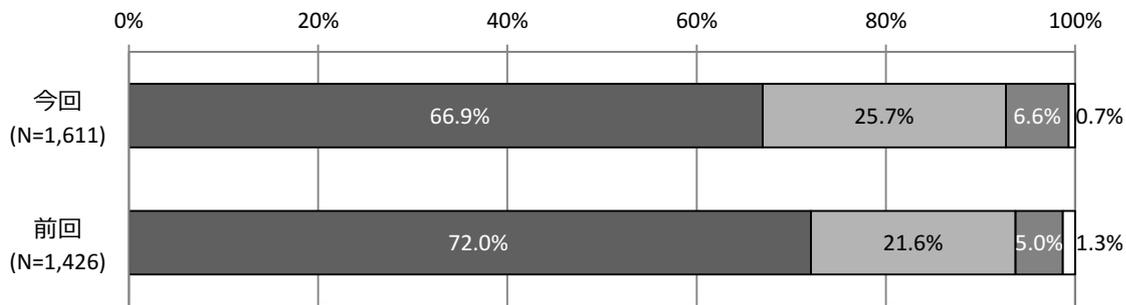
○実践している比率は、各地区とも80%を超えている。
○浜風小学校区で「している」の比率が他の地区に比べて低くなっている。



問 24 あなたは、芦屋市の「(通称) 市民マナー条例」(歩行喫煙の禁止, 犬の放し飼いや糞の放置, 指定区域内でのバーベキューなどの禁止)をご存知ですか。【単数回答】

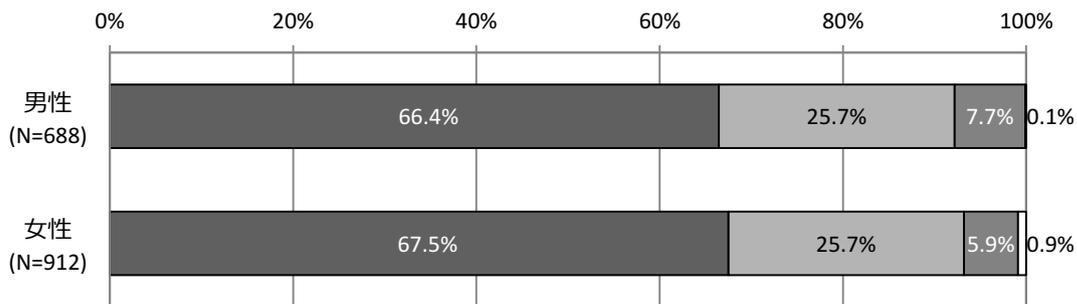
- 「(通称) 市民マナー条例」は、「聞いたことがあるし内容も知っていた」が 66.9%と最も高く、「聞いたことはあるが内容は知らない」の 25.7%を合わせて、92.6%が認知している。
- 前回との比較では、「聞いたことがあるし内容も知っていた」の比率が下がり、「聞いたことはあるが内容は知らない」の比率が上がっている。

調査数	1,611	100.0%
聞いたことがあるし内容も知っていた	1,078	66.9%
聞いたことはあるが内容は知らない	414	25.7%
聞いたことはない	107	6.6%
無回答	12	0.7%



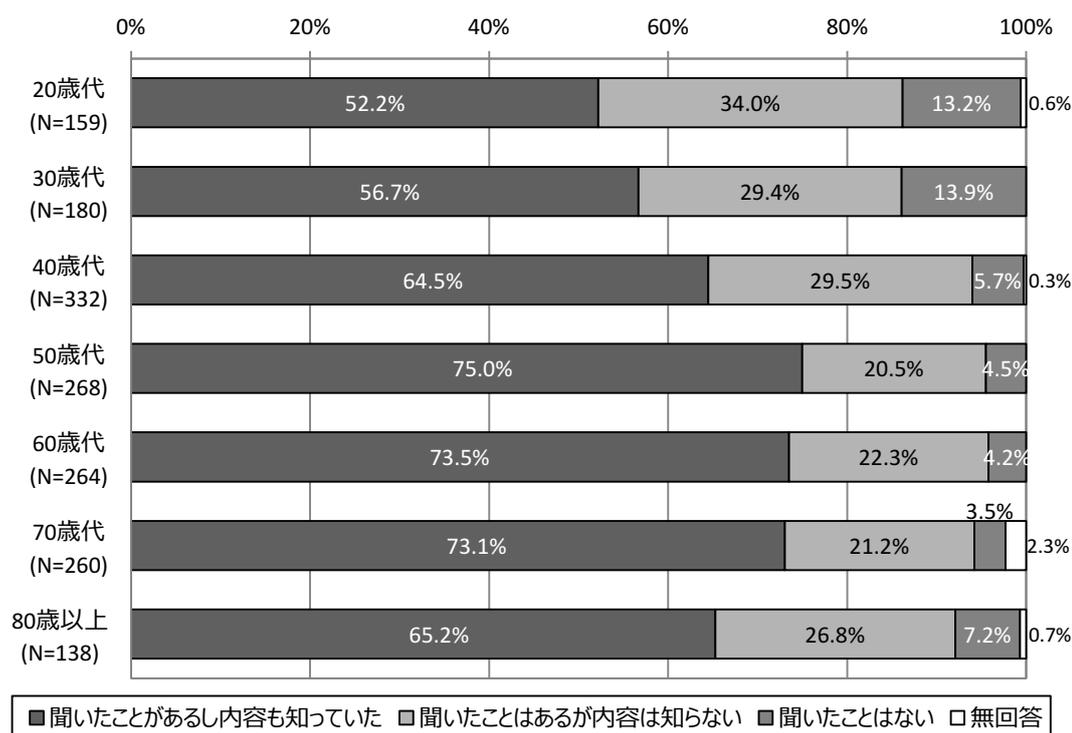
■聞いたことがあるし内容も知っていた □聞いたことはあるが内容は知らない ■聞いたことはない □無回答

○性別では、統計的に有意な差はない。

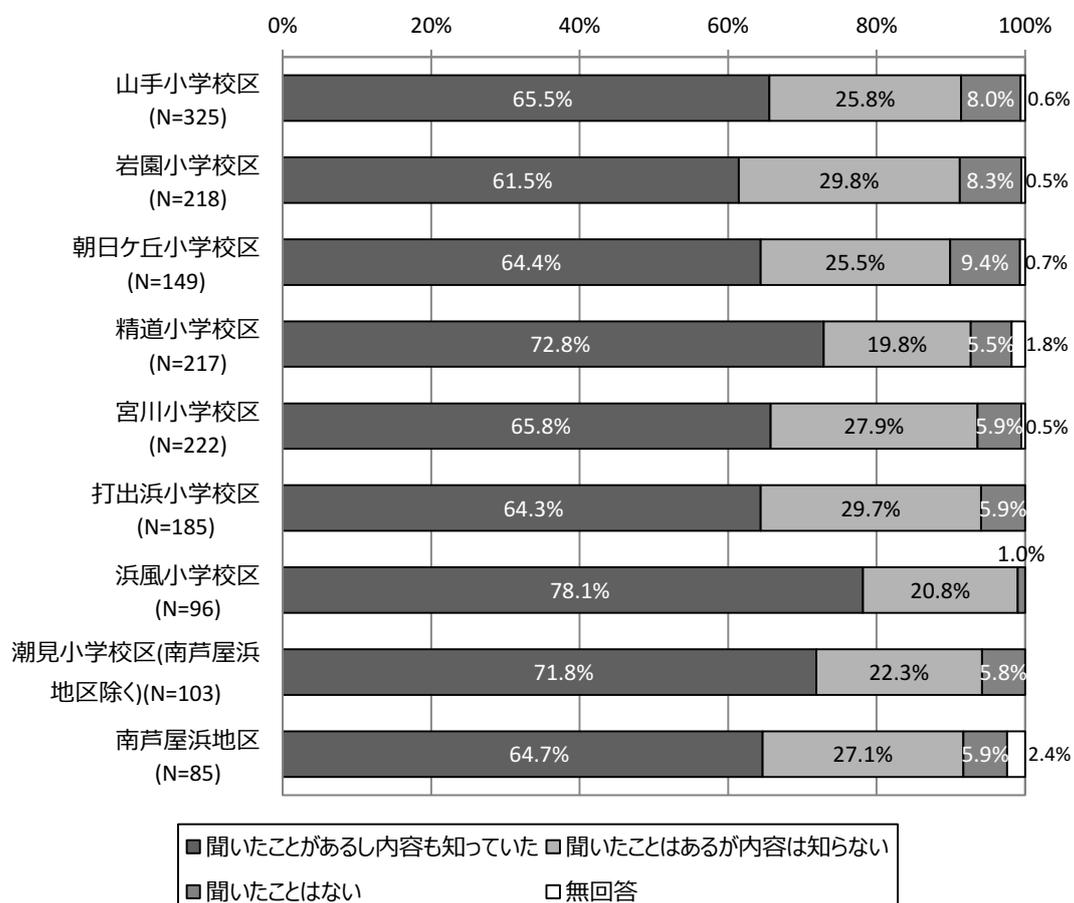


■聞いたことがあるし内容も知っていた □聞いたことはあるが内容は知らない ■聞いたことはない □無回答

○年代別では、20歳代では「聞いたことがあるし内容も知っていた」の比率が低い。
 ○20～30歳代で「聞いたことはない」の比率が高い。



○「聞いたことがあるし内容も知っていた」と「聞いたことはあるが内容は知らない」を合わせた認知度は、各地区とも80%を超え、浜風小学校区で特に高くなっている。
 ○地区別で、統計的に有意な差はない。



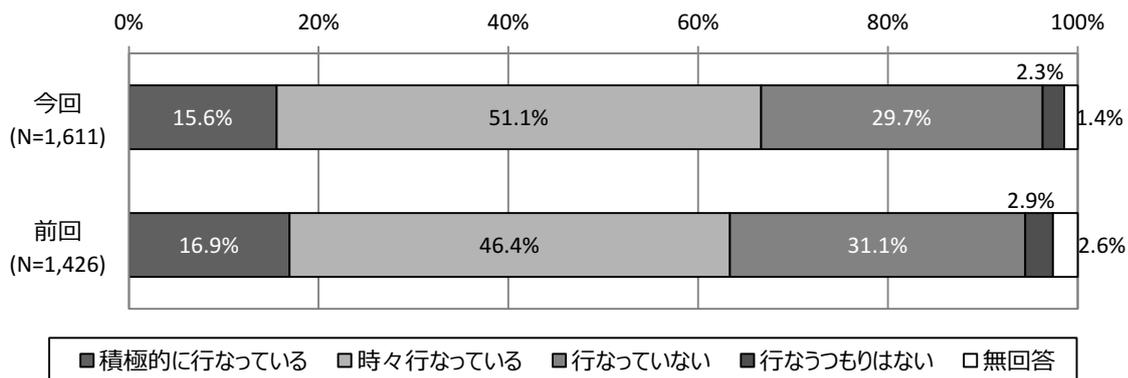
問 25 あなたは、地域の清掃など普段から清潔なまちを守るような行動を行なっていますか。

【単数回答】

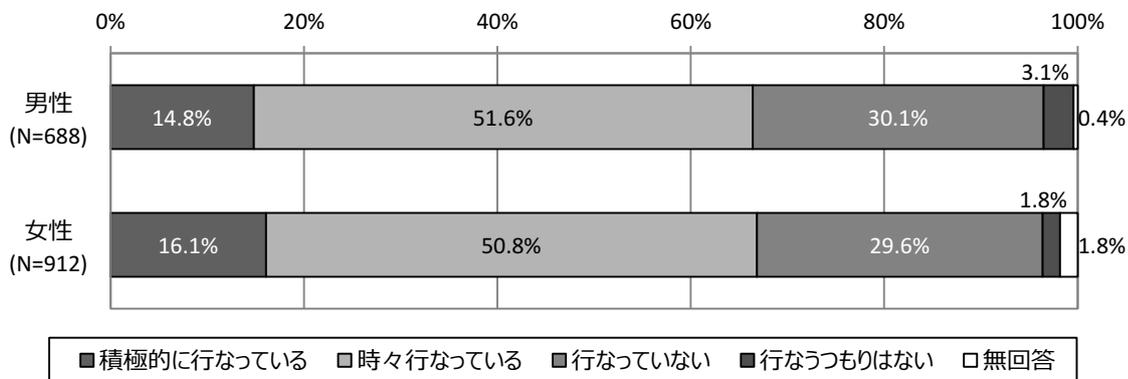
○清潔なまちを守るような普段からの行動の実践状況では、「時々行っている」が51.1%と半数を超え、「積極的に行っている」15.6%を合わせて66.7%が美化活動を実践していると回答している。

○前回との比較では、「積極的に行っている」「行っていない」の比率がそれぞれわずかに低下し、「時々行っている」の比率が上がっている。「積極的に行っている」、「時々行っている」を合わせた実践状況では、50歳代（+10.8ポイント）及び80歳代（+11.0ポイント）で実践している比率が上がっている。

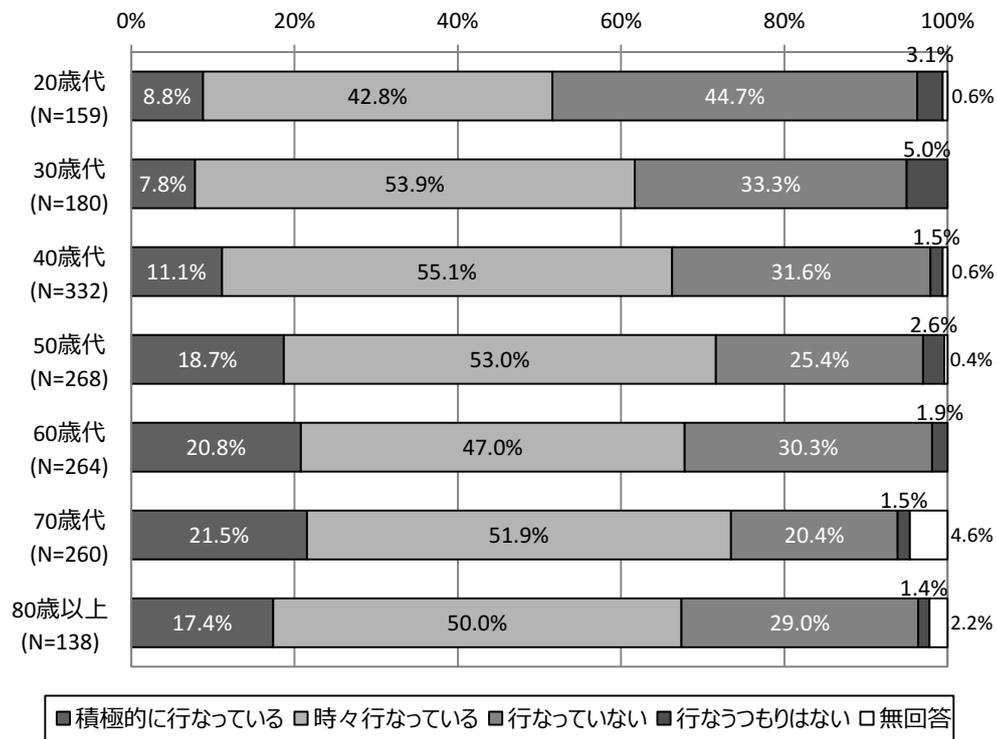
調査数	1,611	100.0%
積極的に行なっている	251	15.6%
時々行なっている	823	51.1%
行なっていない	478	29.7%
行なうつもりはない	37	2.3%
無回答	22	1.4%



○性別では、統計的に有意な差はない。

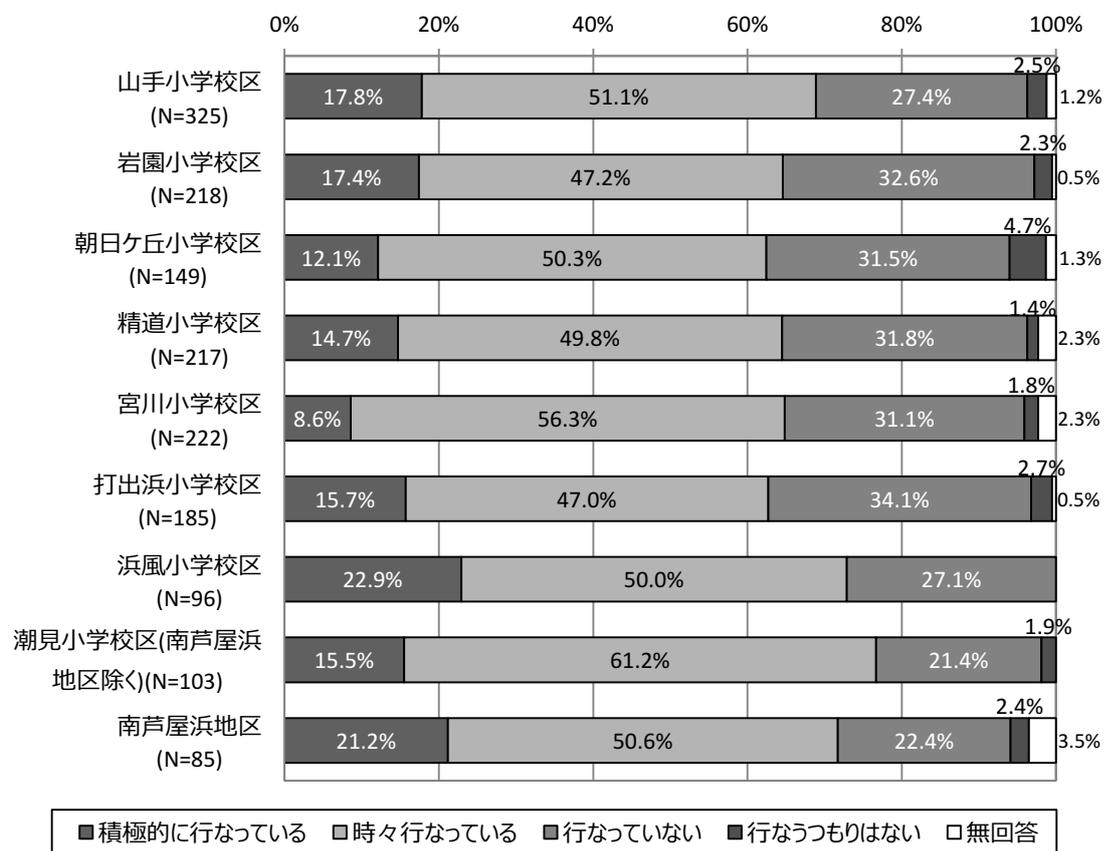


○年代別では、年齢が高い層ほど実践している比率が高くなる傾向にあり、60～70歳代で「積極的に行っている」の比率が高く、20～40歳代で低い。
 ○「行っていない」では20歳代、「行なうつもりはない」は30歳代で比率が高い。



■積極的に行なっている □時々行なっている ■行なっていない ■行なうつもりはない □無回答

○地区別では、統計的に有意な差はない。
 ○潮見小学校区、浜風小学校区、南芦屋浜地区で実践している比率が高い。



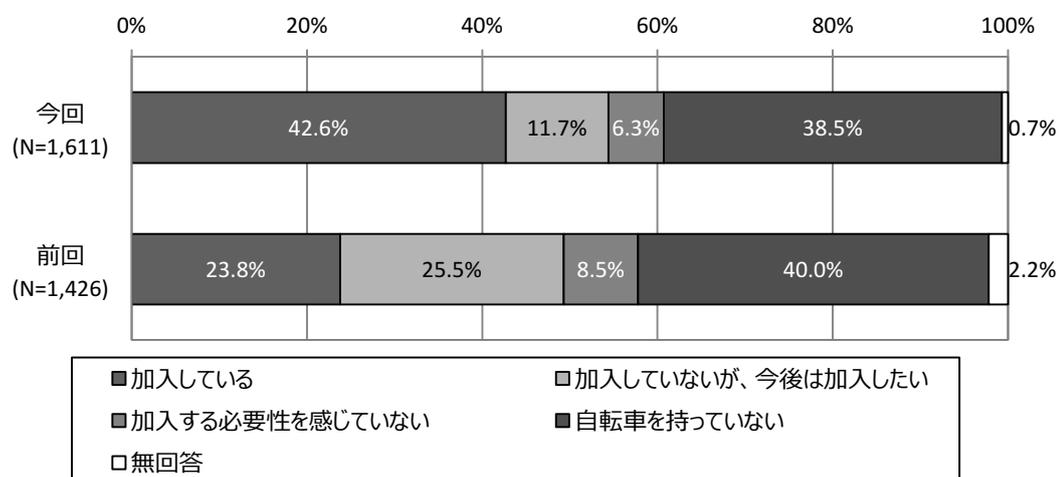
■積極的に行なっている □時々行なっている ■行なっていない ■行なうつもりはない □無回答

問 26 あなたは、自転車事故に関する賠償保険に加入していますか。【単数回答】

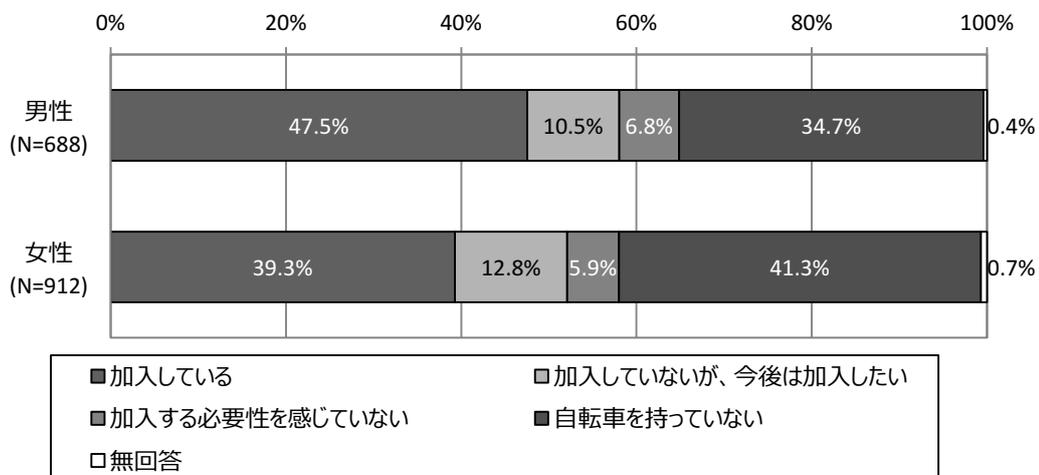
○自転車事故に関する賠償保険の加入状況は、「加入している」が42.6%と最も高い比率で、「加入していないが、今後は加入したい」が11.7%となっている。また、「自転車を持っていない」は38.5%である。

○前回との比較では、「加入していないが、今後は加入したい」の比率が低下し、「加入している」の比率が大きく上がっている。

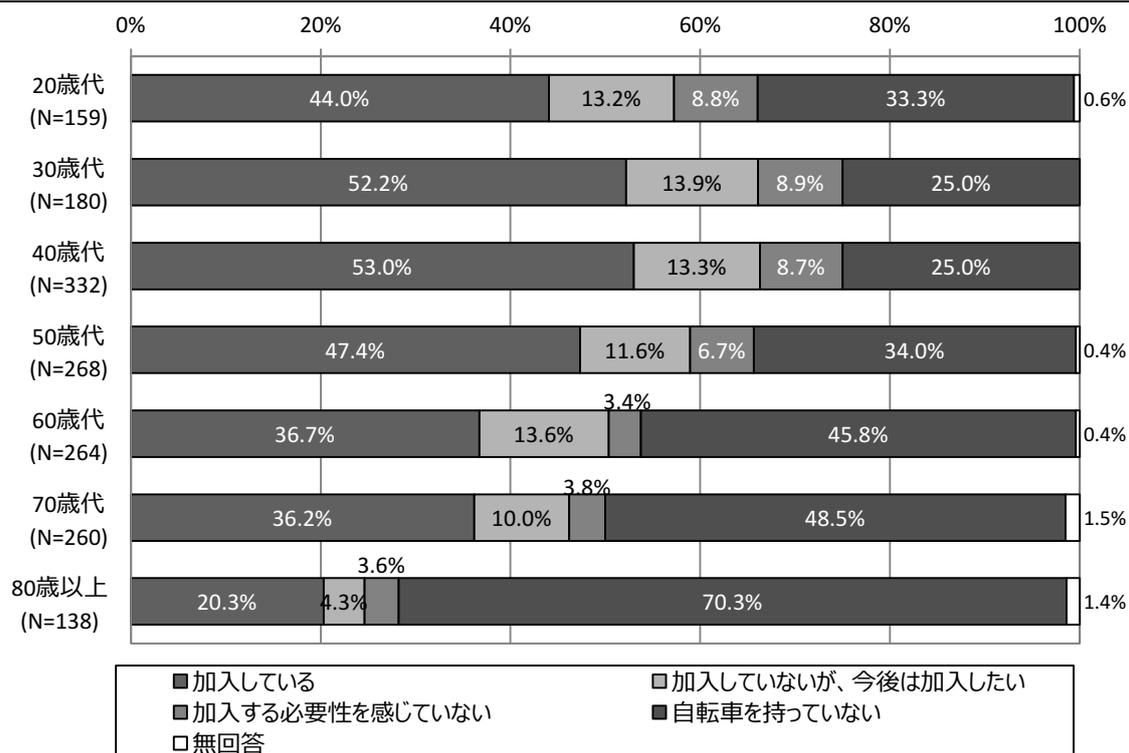
調査数	1,611	100.0%
加入している	687	42.6%
加入していないが、今後は加入したい	189	11.7%
加入する必要性を感じていない	102	6.3%
自転車を持っていない	621	38.5%
無回答	12	0.7%



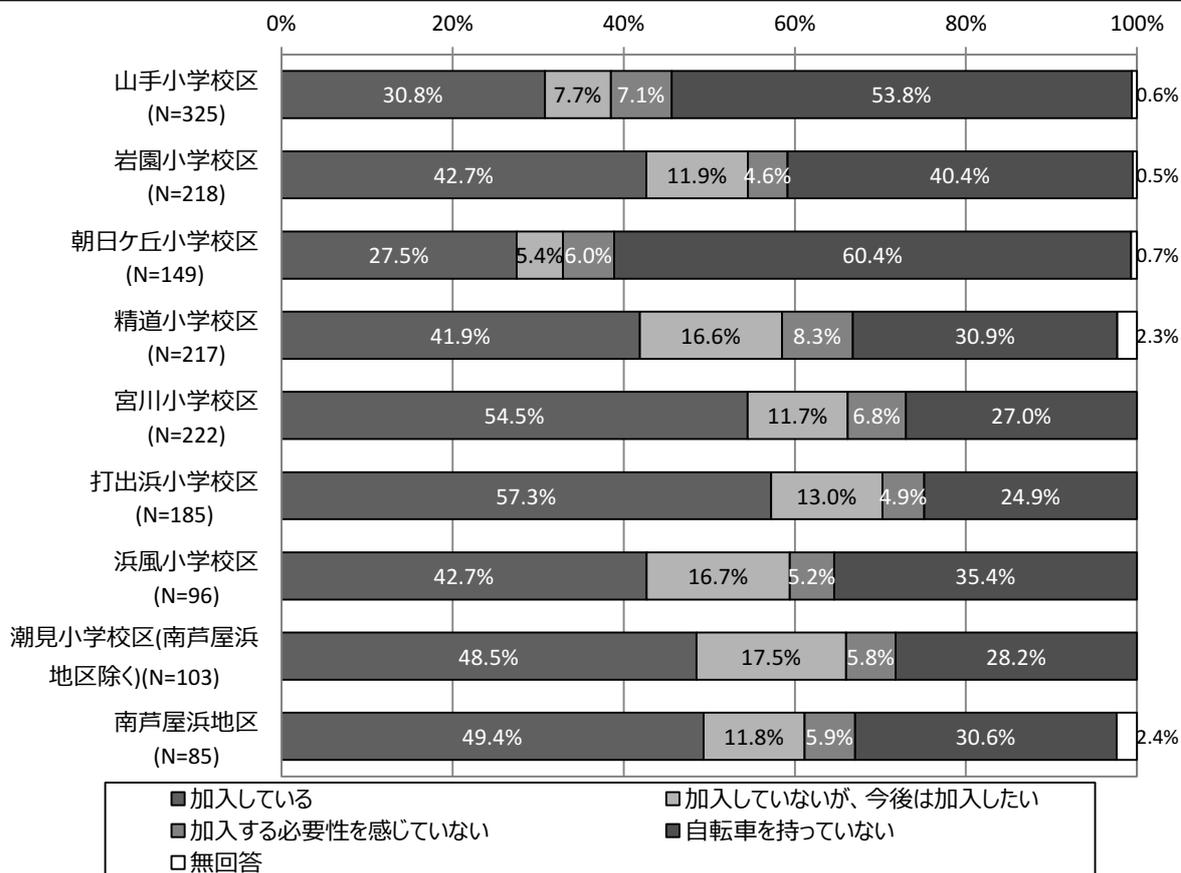
○男性で「加入している」の比率が高く、女性で「自転車を持っていない」の比率が高い。



○年代別にみると、30～40歳代で「加入している」の比率が高く、60歳代以上で低い。ただし、60歳代以上では「自転車を持っていない」の比率が高い。



○地区別では、宮川小学校区及び打出浜小学校区で「加入している」の比率が高い。
 ○朝日ヶ丘小学校区及び山手小学校区では「加入している」の比率が低い、「自転車を持っていない」の比率が高い。
 ○自転車を持っている人に限定すると、打出浜小学校区では「加入している」の比率が高く、朝日ヶ丘小学校区及び山手小学校区では他区との大きな違いはない。



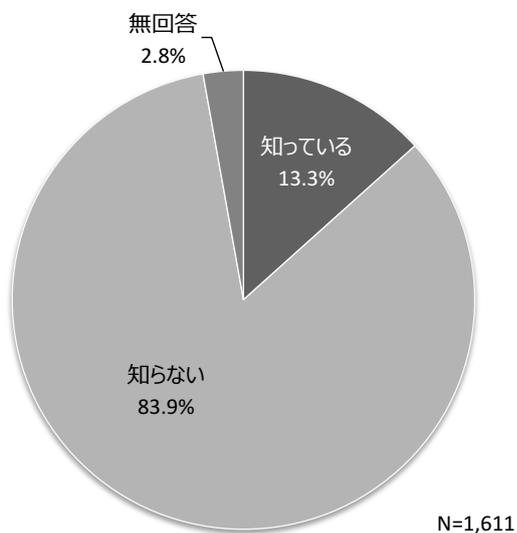
Ⅲ. 芦屋市が行うシティプロモーションについておたずねします。

問 27 芦屋市では、平成 29 年 3 月に「芦屋市シティプロモーション戦略」を策定し、シティプロモーションを推進しています。シティプロモーションで使用している下記のロゴマーク・キャッチコピーをご存知ですか。【単数回答】

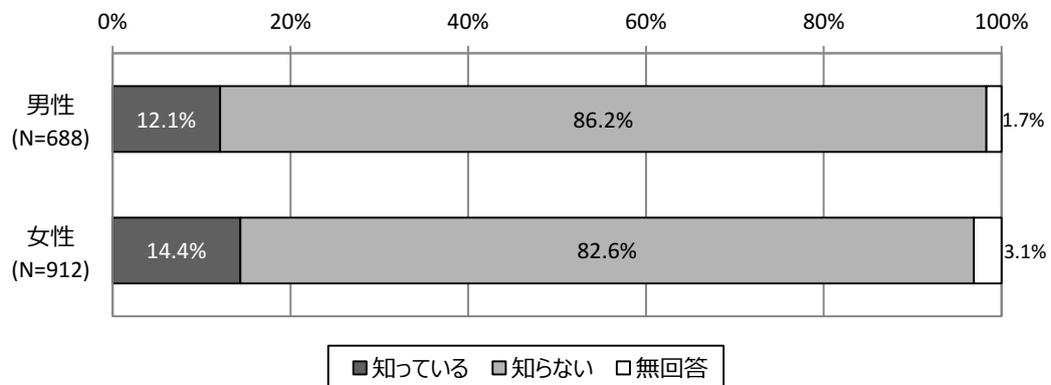
○シティプロモーションのロゴマーク・キャッチコピーについて、「知っている」は 13.3%にとどまり、「知らない」が 83.9%となっている。



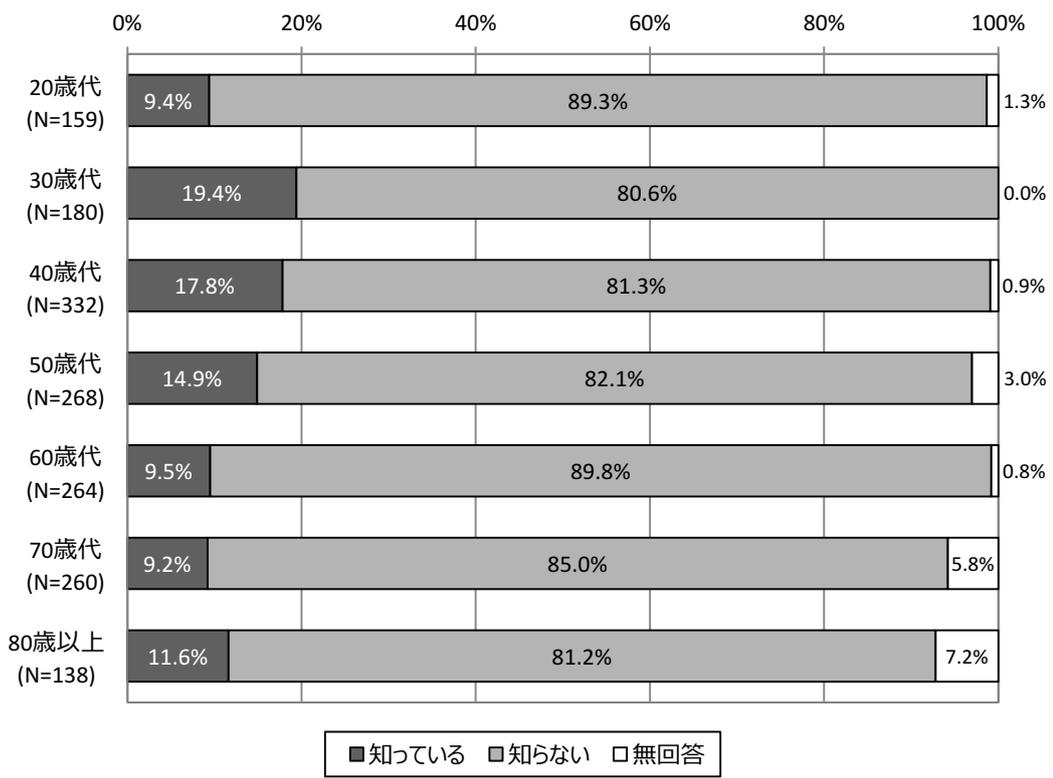
調査数	1,611	100.0%
知っている	214	13.3%
知らない	1,352	83.9%
無回答	45	2.8%



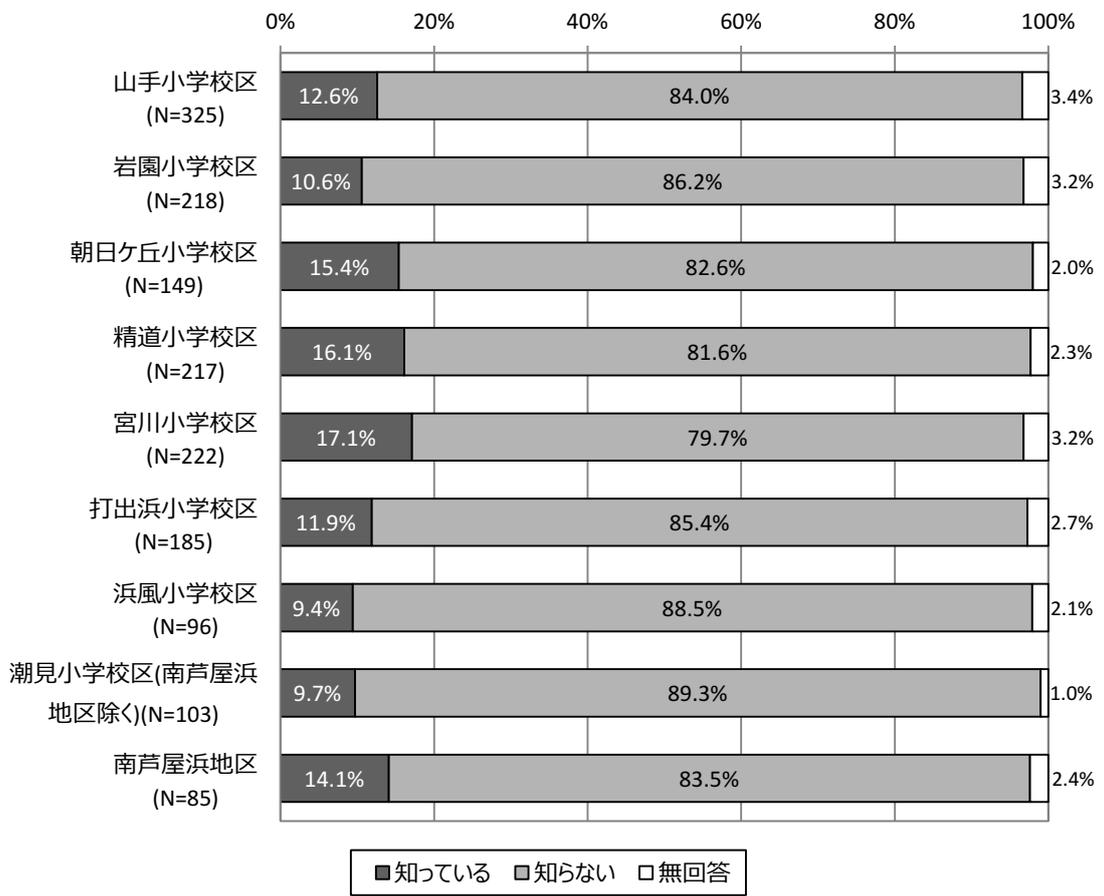
○性別では、統計的に有意な差はない。



○年代別にみると、30～40歳代で「知っている」の比率が高い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。

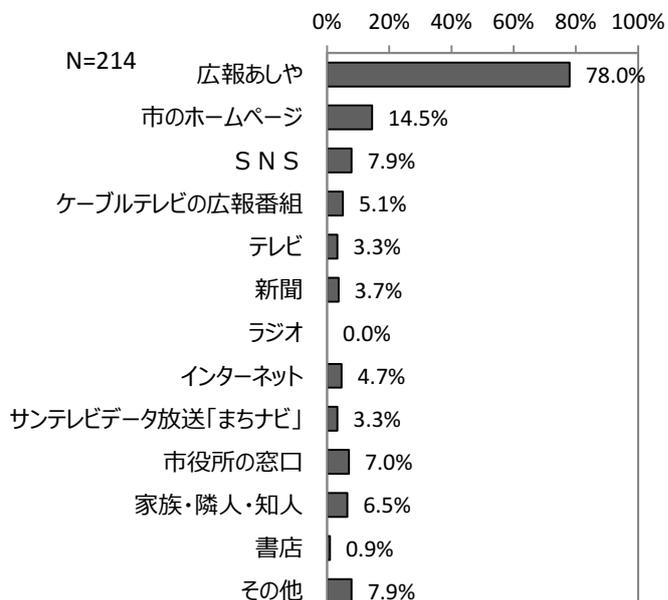


【問 27 で「1. 知っている」と答えた方に、おたずねします。】

問 28 ロゴマーク・キャッチコピーを知ったきっかけはなんですか。【複数回答】

○ロゴマーク・キャッチコピーを知ったきっかけとしては、「広報あしや」の比率が 78.0%と最も高く、以下「市のホームページ」14.5%、「SNS」7.9%と続いている。

調査数	214	100.0%
広報あしや	167	78.0%
市のホームページ	31	14.5%
SNS (Facebook、Twitter等)	17	7.9%
ケーブルテレビの広報番組	11	5.1%
テレビ	7	3.3%
新聞	8	3.7%
ラジオ	-	-
インターネット	10	4.7%
サンテレビデータ放送「まちナビ」	7	3.3%
市役所の窓口	15	7.0%
家族・隣人・知人	14	6.5%
書店	2	0.9%
その他	17	7.9%



※問 27 において、「知っている」と回答した 214 件を母数としている。

【性別】

○男性で「市のホームページ」、「テレビ」、女性で「広報あしや」の比率が高い。

【年代別】

○年代別では、20 歳代と 80 歳代で「サンテレビデータ放送『まちナビ』」、60 歳代と 80 歳以上で「市役所の窓口」の比率が高い。

	広報あしや	市のホームページ	SNS	ケーブルテレビの広報番組	テレビ	新聞	ラジオ
市全体(N=214)	78.0%	14.5%	7.9%	5.1%	3.3%	3.7%	-
男性(N=83)	71.1%	20.5%	8.4%	6.0%	8.4%	4.8%	-
女性(N=131)	82.4%	10.7%	7.6%	4.6%	-	3.1%	-
20歳代(N=15)	60.0%	20.0%	-	-	13.3%	6.7%	-
30歳代(N=35)	77.1%	14.3%	14.3%	2.9%	-	-	-
40歳代(N=59)	72.9%	6.8%	11.9%	5.1%	1.7%	1.7%	-
50歳代(N=40)	82.5%	20.0%	10.0%	7.5%	2.5%	10.0%	-
60歳代(N=25)	88.0%	20.0%	4.0%	-	4.0%	4.0%	-
70歳代(N=24)	75.0%	12.5%	-	12.5%	4.2%	-	-
80歳以上(N=16)	93.8%	18.8%	-	6.3%	6.3%	6.3%	-

	インターネット	サンテレビデータ放送「まちナビ」	市役所の窓口	家族・隣人・知人	書店	その他
市全体(N=214)	4.7%	3.3%	7.0%	6.5%	0.9%	7.9%
男性(N=83)	8.4%	4.8%	7.2%	4.8%	1.2%	7.2%
女性(N=131)	2.3%	2.3%	6.9%	7.6%	0.8%	8.4%
20歳代(N=15)	13.3%	13.3%	-	20.0%	6.7%	13.3%
30歳代(N=35)	2.9%	-	-	-	-	17.1%
40歳代(N=59)	1.7%	-	1.7%	5.1%	-	10.2%
50歳代(N=40)	7.5%	2.5%	2.5%	2.5%	-	5.0%
60歳代(N=25)	8.0%	-	20.0%	12.0%	4.0%	-
70歳代(N=24)	4.2%	8.3%	12.5%	8.3%	-	4.2%
80歳以上(N=16)	-	12.5%	31.3%	12.5%	-	-

※網かけ部分は全体平均より 5 ポイント以上、比率が大きい項目

○地区別では標本数が少ないこともあり、統計的に有意な違いがあるとはいえない。

	広報あしや	市のホームページ	SNS	ケーブルテレビの広報番組	テレビ	新聞	ラジオ
山手小学校区(N=41)	70.7%	19.5%	2.4%	2.4%	7.3%	7.3%	-
岩園小学校区(N=23)	87.0%	8.7%	4.3%	13.0%	-	4.3%	-
朝日ヶ丘小学校区(N=23)	69.6%	13.0%	8.7%	4.3%	4.3%	-	-
精道小学校区(N=35)	68.6%	14.3%	11.4%	2.9%	2.9%	2.9%	-
宮川小学校区(N=38)	81.6%	21.1%	13.2%	5.3%	-	2.6%	-
打出浜小学校区(N=22)	90.9%	9.1%	9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	-
浜風小学校区(N=9)	66.7%	11.1%	-	11.1%	-	-	-
潮見小学校区(N=10)	100.0%	-	-	-	-	10.0%	-
南芦屋浜地区(N=12)	83.3%	16.7%	16.7%	-	8.3%	-	-

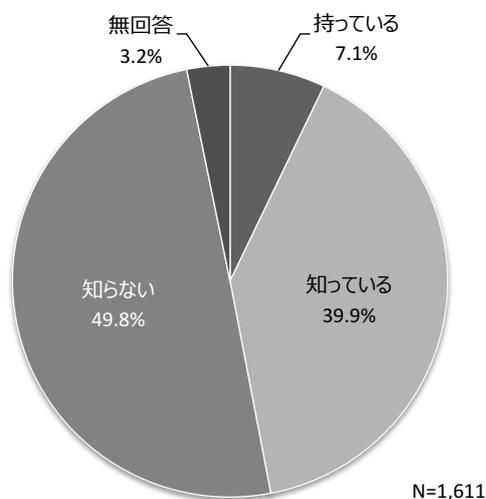
	インターネット	サンテレビデータ放送「まちナビ」	市役所の窓口	家族・隣人・知人	書店	その他
山手小学校区(N=41)	2.4%	2.4%	4.9%	7.3%	2.4%	14.6%
岩園小学校区(N=23)	-	-	4.3%	4.3%	-	-
朝日ヶ丘小学校区(N=23)	17.4%	-	4.3%	4.3%	-	-
精道小学校区(N=35)	5.7%	5.7%	8.6%	14.3%	-	5.7%
宮川小学校区(N=38)	5.3%	2.6%	7.9%	2.6%	-	7.9%
打出浜小学校区(N=22)	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%	-	9.1%
浜風小学校区(N=9)	-	-	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%
潮見小学校区(N=10)	-	-	-	-	-	-
南芦屋浜地区(N=12)	-	8.3%	8.3%	8.3%	-	25.0%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

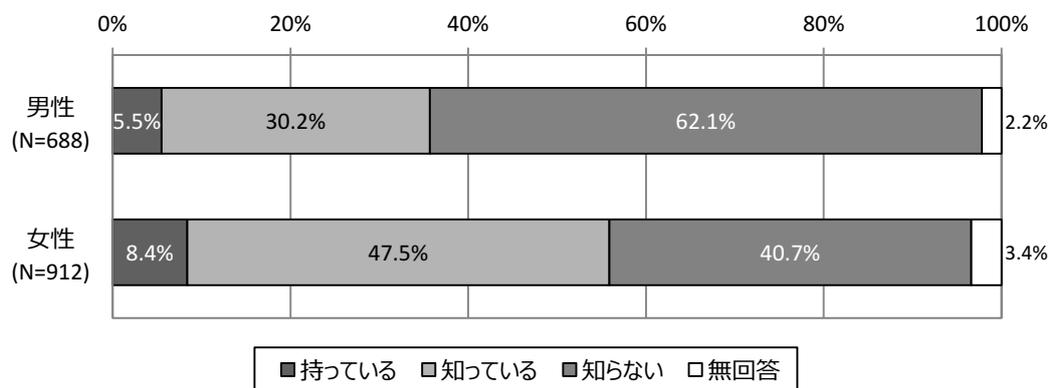
問 29 芦屋市の給食献立を紹介した給食レシピ本「芦屋の給食」をご存知ですか。【単数回答】

○給食レシピ本「芦屋の給食」の認知度は、「知っている」の比率が39.9%、「持っている」が7.1%で、合わせて47.0%となっている。「知らない」は49.8%である。

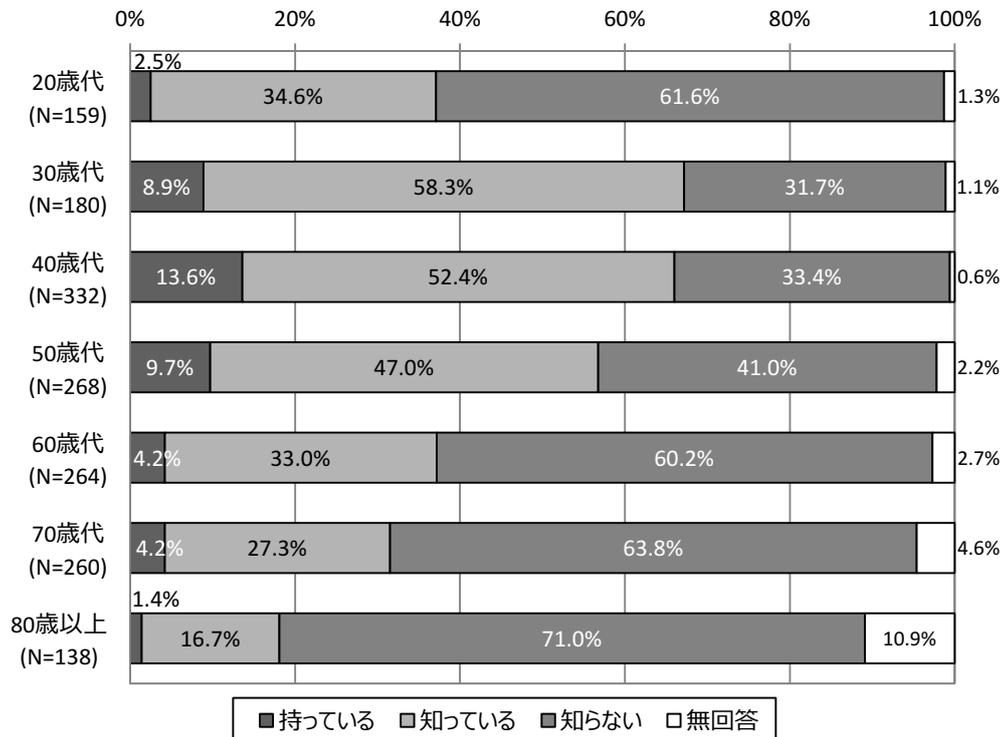
調査数	1,611	100.0%
持っている	115	7.1%
知っている	642	39.9%
知らない	803	49.8%
無回答	51	3.2%



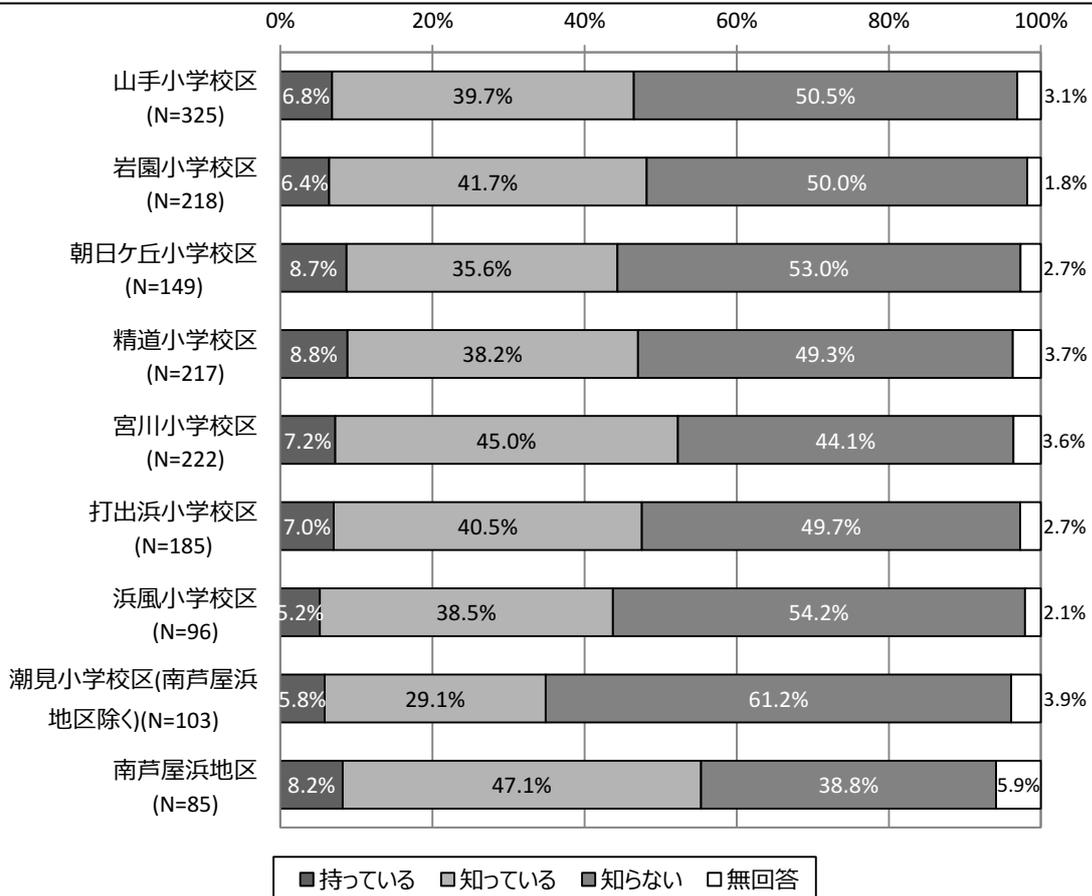
○「持っている」「知っている」の比率は女性で高く、「知らない」の比率は男性で高い。



○年代別では、40歳代で「持っている」の比率が、30歳代～50歳代では「知っている」の比率が高い。
 ○20歳代及び60歳代以上で「知らない」の比率が高い。



○地区別では、統計的に有意な差はない。
 ○南芦屋浜地区で認知度が最も高くなっている。

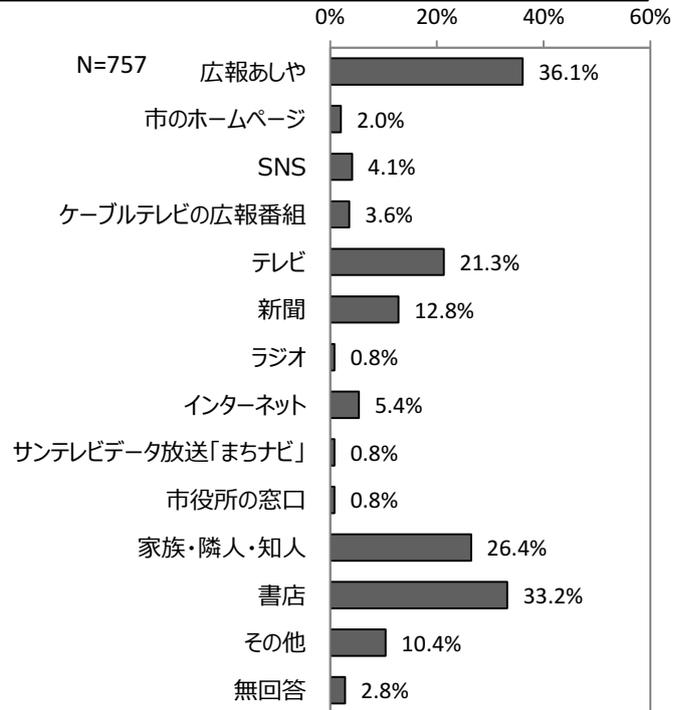


【問 29 で「1. 持っている」、「2. 知っている」と答えた方】

問 30 給食レシピ本「芦屋の給食」を知ったきっかけはなんですか。【複数回答】

○給食レシピ本「芦屋の給食」を知ったきっかけとしては、「広報あしや」の比率が 36.1%と最も高く、「書店」33.2%、「家族・隣人・知人」26.4%など多様な媒体が続いている。

調査数	757	100.0%
広報あしや	273	36.1%
市のホームページ	15	2.0%
SNS (Facebook、Twitter等)	31	4.1%
ケーブルテレビの広報番組	27	3.6%
テレビ	161	21.3%
新聞	97	12.8%
ラジオ	6	0.8%
インターネット	41	5.4%
サンテレビデータ放送「まちなび」	6	0.8%
市役所の窓口	6	0.8%
家族・隣人・知人	200	26.4%
書店	251	33.2%
その他	79	10.4%
無回答	21	2.8%



※問 29 において、「持っている」「知っている」と回答した 757 件を母数としている。

【性別・年代別】

○男性では「家族・隣人・知人」や「インターネット」、女性では「書店」の比率が高い。
○若い世代では「家族・隣人・知人」や「書店」、年齢の高い層では「広報あしや」「新聞」「テレビ」等の比率が高い。

	広報あしや	市のホームページ	SNS	ケーブルテレビの広報番組	テレビ	新聞	ラジオ
市全体(N=757)	36.1%	2.0%	4.1%	3.6%	21.3%	12.8%	0.8%
男性(N=246)	32.5%	3.7%	3.3%	2.8%	18.7%	14.2%	1.2%
女性(N=510)	37.6%	1.2%	4.5%	3.9%	22.5%	12.0%	0.6%
20歳代(N=59)	16.9%	5.1%	6.8%	1.7%	20.3%	10.2%	1.7%
30歳代(N=121)	25.6%	1.7%	6.6%	4.1%	14.9%	5.8%	0.8%
40歳代(N=219)	32.9%	0.5%	4.6%	2.7%	14.6%	10.0%	0.5%
50歳代(N=152)	37.5%	2.0%	4.6%	4.6%	23.0%	12.5%	1.3%
60歳代(N=98)	49.0%	3.1%	2.0%	3.1%	32.7%	18.4%	-
70歳代(N=82)	45.1%	2.4%	-	4.9%	31.7%	23.2%	1.2%
80歳以上(N=25)	68.0%	4.0%	-	4.0%	24.0%	20.0%	-

	インターネット	サンテレビデータ放送「まちなび」	市役所の窓口	家族・隣人・知人	書店	その他	無回答
市全体(N=757)	5.4%	0.8%	0.8%	26.4%	33.2%	10.4%	2.8%
男性(N=246)	9.3%	1.2%	0.8%	33.7%	28.0%	7.3%	1.6%
女性(N=510)	3.5%	0.6%	0.8%	22.9%	35.7%	12.0%	3.3%
20歳代(N=59)	10.2%	1.7%	-	32.2%	47.5%	5.1%	3.4%
30歳代(N=121)	5.8%	-	-	28.1%	28.9%	16.5%	4.1%
40歳代(N=219)	5.9%	-	0.5%	32.0%	27.4%	18.3%	3.7%
50歳代(N=152)	3.9%	-	-	22.4%	45.4%	4.6%	2.6%
60歳代(N=98)	5.1%	2.0%	3.1%	21.4%	30.6%	6.1%	2.0%
70歳代(N=82)	3.7%	2.4%	2.4%	23.2%	29.3%	1.2%	-
80歳以上(N=25)	4.0%	4.0%	-	12.0%	20.0%	8.0%	-

※網かけ部分は全体平均より 5 ポイント以上、比率が大きい項目

○地区別では標本数が少ないこともあり、統計的に有意な違いがあるとはいえない。

	広報あしや	市のホームページ	SNS	ケーブルテレビの広報番組	テレビ	新聞	ラジオ
山手小学校区(N=151)	29.1%	2.0%	2.0%	4.0%	17.9%	13.9%	0.7%
岩園小学校区(N=105)	34.3%	1.9%	4.8%	3.8%	21.0%	14.3%	1.0%
朝日ヶ丘小学校区(N=66)	36.4%	-	3.0%	4.5%	18.2%	12.1%	1.5%
精道小学校区(N=102)	34.3%	4.9%	2.0%	2.9%	23.5%	11.8%	1.0%
宮川小学校区(N=116)	37.1%	0.9%	4.3%	4.3%	19.0%	12.1%	-
打出浜小学校(N=88)	42.0%	-	6.8%	3.4%	23.9%	9.1%	1.1%
浜風小学校区(N=42)	42.9%	2.4%	7.1%	2.4%	21.4%	14.3%	-
潮見小学校区(N=36)	36.1%	5.6%	5.6%	2.8%	16.7%	13.9%	2.8%
南芦屋浜地区(N=47)	44.7%	2.1%	6.4%	2.1%	38.3%	14.9%	-

	インターネット	サンテレビデータ放送「まちなび」	市役所の窓口	家族・隣人・知人	書店	その他	無回答
山手小学校区(N=151)	6.0%	0.7%	-	22.5%	39.1%	7.9%	3.3%
岩園小学校区(N=105)	6.7%	1.0%	1.9%	22.9%	38.1%	16.2%	1.0%
朝日ヶ丘小学校区(N=66)	3.0%	-	-	28.8%	30.3%	7.6%	4.5%
精道小学校区(N=102)	5.9%	1.0%	1.0%	29.4%	33.3%	6.9%	-
宮川小学校区(N=116)	4.3%	-	0.9%	23.3%	30.2%	13.8%	6.0%
打出浜小学校(N=88)	3.4%	2.3%	-	30.7%	29.5%	11.4%	-
浜風小学校区(N=42)	7.1%	-	2.4%	35.7%	23.8%	9.5%	2.4%
潮見小学校区(N=36)	2.8%	-	2.8%	33.3%	47.2%	2.8%	-
南芦屋浜地区(N=47)	10.6%	2.1%	-	23.4%	19.1%	14.9%	8.5%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

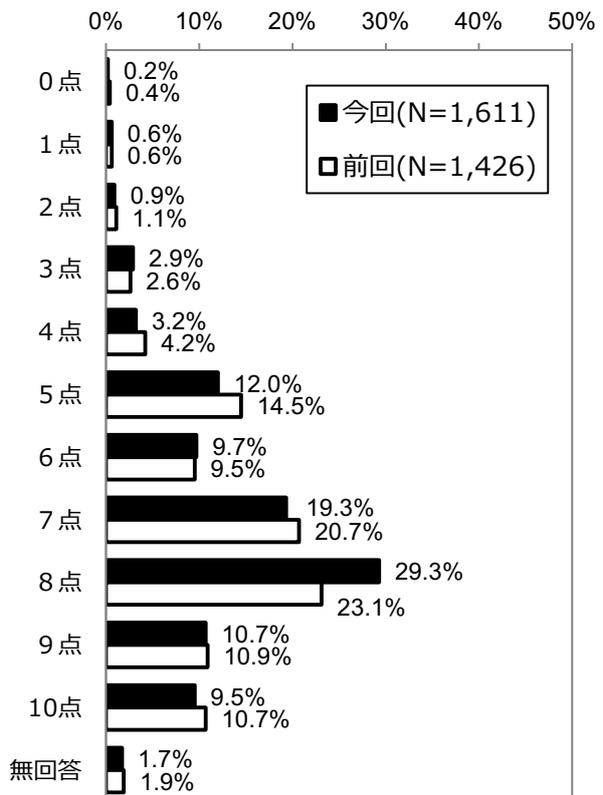
Ⅳ. あなたの幸福感についておたずねします。

問 31 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。【単数回答】

○幸福感については、「8 点」の比率が 29.3%と最も高く、「7 点」が 19.3%、「5 点」が 12.0%と続いている。

○前回と比較すると、8 点の比率が 6.2 ポイント高まり、5 点の比率が低下している。下表のように幸福度を 3 段階にまとめた比較では、幸福（10～7 点）の比率が上がって普通（6～4 点）の比率が下がっている。この傾向は、男性の 20 歳代、40～60 歳代、80 歳以上及び女性の 20 歳代、70 歳代などで顕著になっている。一方、30 歳代の女性では幸福の比率が 7.4 ポイントと大きく低下している。

	今回		前回
	1,611	100.0%	100.0%
0 点	3	0.2%	0.4%
1 点	9	0.6%	0.6%
2 点	14	0.9%	1.1%
3 点	46	2.9%	2.6%
4 点	52	3.2%	4.2%
5 点	193	12.0%	14.5%
6 点	157	9.7%	9.5%
7 点	311	19.3%	20.7%
8 点	472	29.3%	23.1%
9 点	173	10.7%	10.9%
10 点	153	9.5%	10.7%
無回答	28	1.7%	1.9%



【性別・年齢別集計】

今回(N=1,611)		幸福 (10～7点)	普通 (6～4点)	不幸 (3～0点)	無回答	前回(N=1,426)		幸福 (10～7点)	普通 (6～4点)	不幸 (3～0点)	無回答
市全体		68.8%	24.9%	4.6%	1.9%	市全体		65.4%	28.2%	4.7%	1.9%
男性	20歳代	58.8%	31.4%	8.8%	2.5%	男性	20歳代	47.5%	40.3%	12.3%	0.0%
	30歳代	67.9%	25.9%	5.0%	1.2%		30歳代	63.0%	26.0%	10.9%	0.0%
	40歳代	65.2%	28.0%	6.9%	0.0%		40歳代	58.9%	36.7%	4.3%	0.0%
	50歳代	67.9%	23.0%	9.1%	0.0%		50歳代	62.9%	30.9%	6.1%	0.0%
	60歳代	72.0%	25.2%	2.7%	0.0%		60歳代	67.2%	31.6%	1.0%	0.0%
	70歳代	66.9%	29.0%	2.4%	1.6%		70歳代	66.7%	25.6%	6.4%	1.3%
	80歳以上	68.6%	27.4%	2.0%	2.0%		80歳以上	54.7%	33.4%	4.8%	7.1%
	女性	20歳代	73.3%	20.3%	3.8%		2.5%	女性	20歳代	66.0%	30.8%
30歳代		71.8%	25.2%	3.0%	0.0%	30歳代	79.2%		19.2%	1.7%	0.0%
40歳代		74.4%	23.1%	2.0%	0.5%	40歳代	71.0%		24.0%	4.5%	0.5%
50歳代		62.9%	29.6%	5.6%	1.9%	50歳代	63.8%		26.7%	8.8%	0.7%
60歳代		71.3%	25.5%	2.6%	0.7%	60歳代	70.5%		28.0%	0.8%	0.8%
70歳代		74.3%	17.0%	2.9%	5.9%	70歳代	62.2%		32.0%	4.8%	1.0%
80歳以上		67.7%	22.9%	4.5%	4.6%	80歳以上	65.5%		26.3%	1.2%	7.1%

【性別】

○性別では、統計的に有意な差はない。

【年代別】

○全ての世代で幸福（10～7点）の比率が60%を上回っている。

【地区別】

○地区別では、全ての地区で幸福（10～7点）の比率が60%を上回っており、特に岩園小学校区においてこの比率が73.8%と高い。

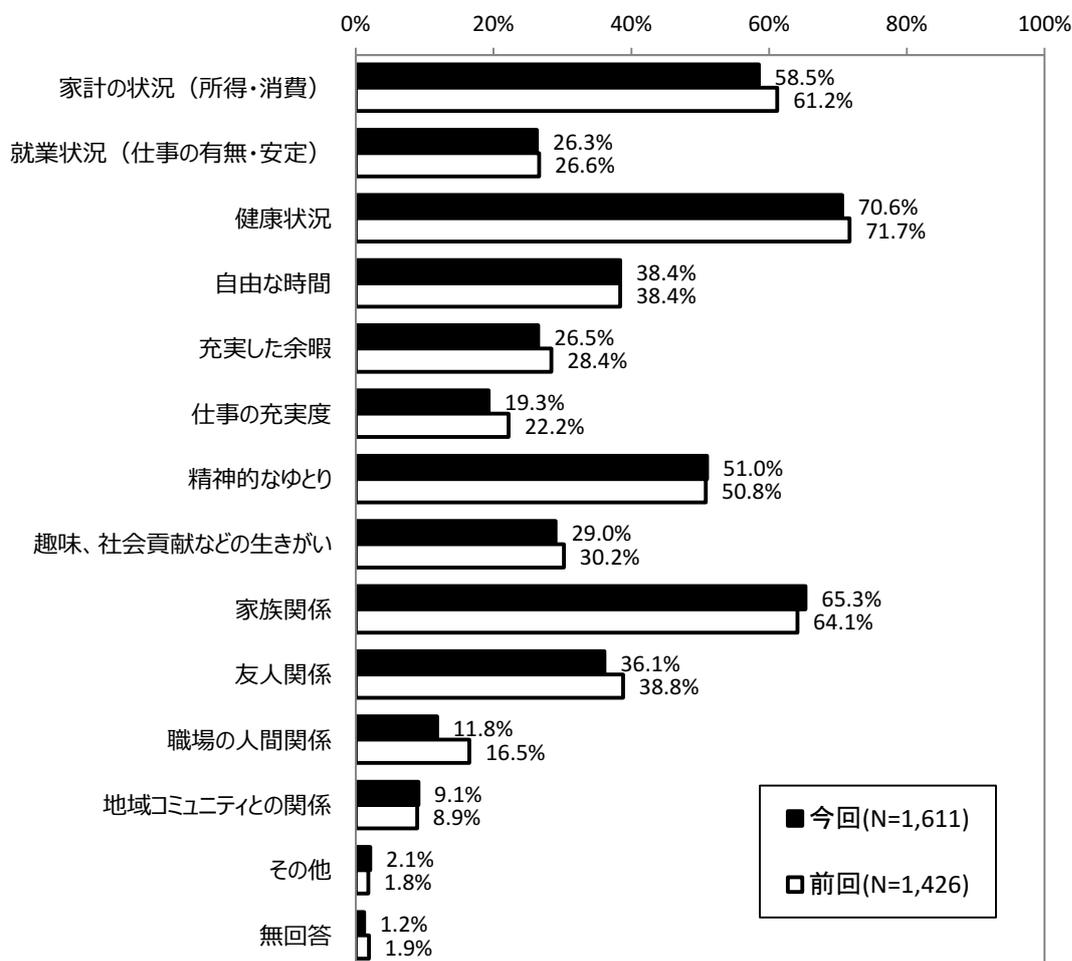
	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
男性(N=688)	0.3%	0.1%	1.6%	3.3%	3.9%	13.2%	9.9%	21.1%	29.7%	8.1%	8.0%	0.7%
女性(N=912)	-	0.9%	0.3%	2.2%	2.7%	11.2%	9.8%	18.2%	29.2%	12.8%	10.6%	2.1%
20歳代(N=159)	0.6%	1.3%	1.9%	2.5%	2.5%	9.4%	13.8%	24.5%	23.3%	8.8%	9.4%	1.9%
30歳代(N=180)	-	0.6%	1.1%	2.2%	3.3%	12.2%	10.0%	17.2%	31.1%	8.3%	13.3%	0.6%
40歳代(N=332)	0.3%	0.3%	1.2%	2.1%	3.0%	11.4%	10.5%	16.0%	31.6%	11.1%	12.0%	0.3%
50歳代(N=268)	-	0.4%	1.1%	5.6%	5.2%	10.8%	10.8%	20.5%	27.2%	9.7%	7.5%	1.1%
60歳代(N=264)	-	0.8%	-	1.9%	3.0%	13.6%	8.7%	20.8%	30.3%	11.0%	9.5%	0.4%
70歳代(N=260)	-	0.4%	0.4%	1.9%	1.9%	13.1%	7.7%	22.3%	27.7%	12.7%	8.1%	3.8%
80歳以上(N=138)	-	0.7%	0.7%	2.2%	3.6%	13.8%	7.2%	14.5%	34.1%	13.8%	5.8%	3.6%
山手小学校区(N=325)	-	1.2%	1.2%	2.5%	3.7%	10.8%	8.3%	17.8%	30.5%	10.5%	12.6%	0.9%
岩園小学校区(N=218)	-	0.5%	0.5%	3.2%	0.9%	9.6%	9.6%	18.3%	34.4%	13.3%	7.8%	1.8%
朝日ヶ丘小学校区(N=149)	-	-	2.0%	2.0%	2.7%	14.8%	9.4%	18.8%	26.2%	12.8%	10.7%	0.7%
精道小学校区(N=217)	-	0.5%	0.5%	0.9%	3.7%	12.0%	8.3%	24.0%	29.0%	12.0%	6.0%	3.2%
宮川小学校区(N=222)	-	0.5%	0.5%	1.8%	2.7%	12.2%	13.5%	19.8%	29.7%	8.1%	9.9%	1.4%
打出浜小学校区(N=185)	0.5%	0.5%	-	2.7%	1.6%	13.5%	11.9%	17.8%	26.5%	13.0%	9.7%	2.2%
浜風小学校区(N=96)	2.1%	-	2.1%	3.1%	4.2%	9.4%	14.6%	22.9%	25.0%	6.3%	8.3%	2.1%
潮見小学校区(N=103)	-	1.0%	1.0%	7.8%	4.9%	15.5%	6.8%	23.3%	23.3%	8.7%	7.8%	-
南芦屋浜地区(N=85)	-	-	1.2%	7.1%	8.2%	11.8%	4.7%	11.8%	34.1%	8.2%	10.6%	2.4%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

問 32 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。【複数回答】

○幸福感を判断する際に重視した事項は、「健康状況」の比率が70.6%で最も高く、「家族関係」65.3%、「家計の状況」58.5%、「精神的なゆとり」51.0%と続いている。
○前回との比較では、大きな変化はみられない。

調査数	1,611	100.0%
家計の状況（所得・消費）	943	58.5%
就業状況（仕事の有無・安定）	423	26.3%
健康状況	1,138	70.6%
自由な時間	619	38.4%
充実した余暇	427	26.5%
仕事の充実度	311	19.3%
精神的なゆとり	822	51.0%
趣味、社会貢献などの生きがい	467	29.0%
家族関係	1,052	65.3%
友人関係	582	36.1%
職場の人間関係	190	11.8%
地域コミュニティとの関係	146	9.1%
その他	34	2.1%
無回答	20	1.2%



【性別】

○男性で「就業状況」「仕事の充実度」「趣味、社会貢献などの生きがい」が、女性で「友人関係」の比率が高い。

【年代別】

○20～50歳代では、仕事や職場に関わる項目を重視する傾向が強い。

○このほか、20歳代では「自由な時間」「精神的なゆとり」「友人関係」を、50歳代でも「精神的なゆとり」を重視する回答の比率が高い。

○70歳代以上では「自由な時間」「地域コミュニティとの関係」の比率が高い。

	性別		年代別						
	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
家計の状況（所得・消費）	59.0%	58.3%	46.5%	61.7%	63.6%	67.2%	62.5%	52.3%	44.2%
就業状況（仕事の有無・安定）	32.0%	22.1%	35.2%	41.7%	36.7%	33.6%	21.6%	6.9%	2.9%
健康状況	69.0%	72.3%	59.1%	68.3%	70.5%	74.6%	76.1%	74.6%	63.8%
自由な時間	37.2%	39.5%	47.2%	35.6%	34.3%	33.2%	37.1%	44.6%	43.5%
充実した余暇	26.3%	26.6%	35.8%	28.3%	25.6%	26.9%	21.2%	25.8%	26.1%
仕事の充実度	23.7%	16.1%	18.9%	23.9%	29.2%	31.7%	15.2%	4.6%	2.2%
精神的なゆとり	48.8%	52.6%	61.0%	53.3%	49.4%	58.2%	46.6%	46.5%	43.5%
趣味、社会貢献などの生きがい	32.3%	26.4%	33.3%	25.0%	25.3%	28.7%	28.8%	35.4%	26.1%
家族関係	63.2%	67.2%	50.9%	77.2%	73.2%	72.8%	61.4%	58.1%	56.5%
友人関係	27.9%	42.3%	50.9%	33.9%	33.4%	33.2%	33.3%	39.6%	32.6%
職場の人間関係	12.1%	11.6%	17.6%	18.3%	16.6%	18.7%	7.2%	1.2%	0.7%
地域コミュニティとの関係	10.2%	8.3%	4.4%	7.8%	6.3%	9.3%	8.3%	13.1%	16.7%
その他	2.2%	2.1%	1.3%	1.7%	1.2%	3.0%	3.4%	2.3%	1.4%
無回答	0.6%	1.3%	1.3%	-	0.6%	0.7%	0.4%	1.9%	2.9%

※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

○地区別では、統計的に有意な差はない。

	地区別								
	山手小	岩園小	朝日ヶ丘小	精道小	宮川小	打出浜小	浜風小	潮見小	南芦屋浜
家計の状況（所得・消費）	58.8%	63.3%	55.0%	63.1%	58.6%	56.2%	55.2%	55.3%	56.5%
就業状況（仕事の有無・安定）	23.1%	31.2%	29.5%	30.0%	23.4%	29.2%	21.9%	20.4%	24.7%
健康状況	72.9%	72.5%	71.1%	69.1%	72.1%	67.0%	70.8%	74.8%	58.8%
自由な時間	42.5%	37.2%	39.6%	34.1%	38.7%	39.5%	42.7%	35.0%	30.6%
充実した余暇	29.8%	29.8%	24.2%	26.3%	23.9%	24.9%	24.0%	22.3%	29.4%
仕事の充実度	23.4%	20.2%	17.4%	20.3%	21.2%	14.6%	13.5%	20.4%	15.3%
精神的なゆとり	55.7%	49.1%	53.7%	48.8%	51.8%	48.1%	44.8%	45.6%	60.0%
趣味、社会貢献などの生きがい	32.6%	24.3%	28.9%	30.0%	26.1%	27.6%	37.5%	33.0%	23.5%
家族関係	68.3%	65.6%	62.4%	65.0%	65.3%	67.6%	64.6%	62.1%	60.0%
友人関係	39.1%	36.7%	38.3%	33.6%	33.8%	41.6%	33.3%	32.0%	28.2%
職場の人間関係	12.3%	13.8%	12.1%	12.4%	14.4%	11.4%	4.2%	8.7%	10.6%
地域コミュニティとの関係	8.6%	7.3%	8.7%	10.1%	7.2%	10.8%	8.3%	12.6%	11.8%
その他	2.8%	3.2%	2.7%	1.4%	1.4%	1.1%	1.0%	2.9%	2.4%
無回答	0.9%	1.4%	-	1.8%	1.4%	1.6%	1.0%	-	2.4%

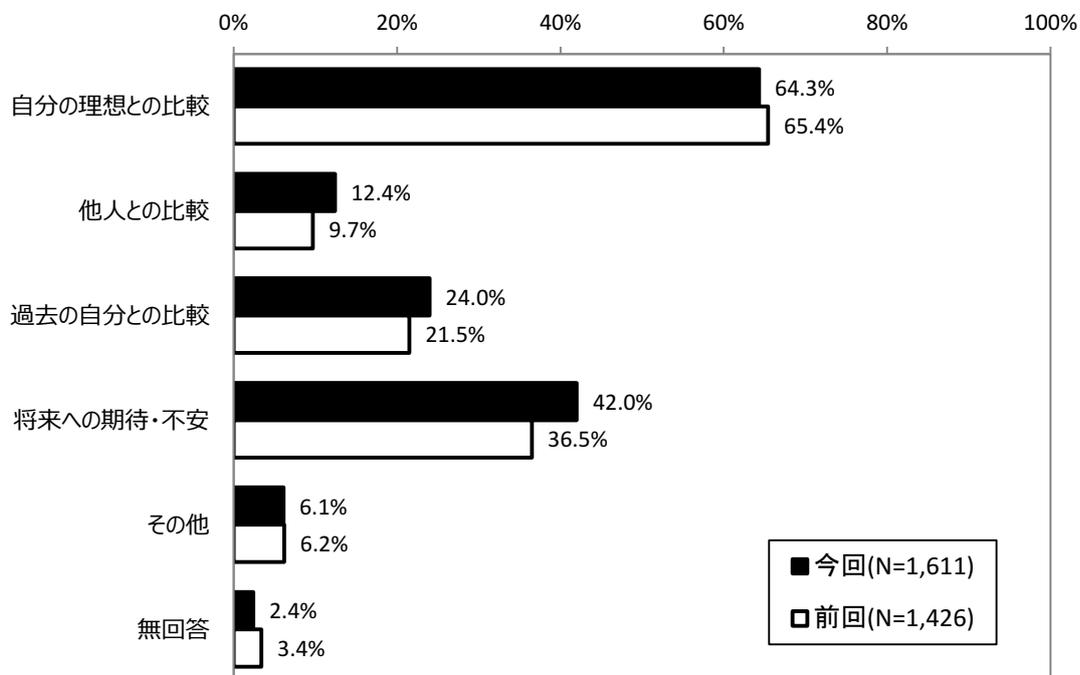
※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

問 33 幸福感を判断する際に重視した基準は何ですか。 【回答 2 つ】

○幸福感を判断する際に重視した基準は、「自分の理想との比較」の比率が 64.3%と最も高く、「将来への期待・不安」が 42.0%と続いている。

○前回との比較では、「将来への期待・不安」の比率が上がっており、特に 50 歳代 (+12.8 ポイント) で顕著である。また、80 歳以上で「他人との比較」の比率が 13.6 ポイント上がっている。

調査数	1,611	100.0%
自分の理想との比較	1,036	64.3%
他人との比較	200	12.4%
過去の自分との比較	386	24.0%
将来への期待・不安	676	42.0%
その他	99	6.1%
無回答	38	2.4%



【性別】

○性別では、統計的に有意な差はない。

【年代別】

○30歳代で「自分の理想との比較」の比率が高い。また、70歳代で「過去の自分との比較」の比率が高い一方、20歳代ではこの比率が低い。

【地区別】

○打出浜小学校区では「過去の自分との比較」の比率が高く、精道小学校区及び潮見小学校区ではこの比率が低い。

	性別		年代別						
	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
自分の理想との比較	64.2%	64.7%	66.7%	75.6%	67.8%	66.0%	67.0%	56.2%	47.8%
他人との比較	12.9%	12.2%	13.2%	7.8%	9.9%	9.7%	9.8%	18.1%	23.9%
過去の自分との比較	24.9%	23.1%	17.0%	21.1%	22.0%	24.6%	23.5%	30.0%	27.5%
将来への期待・不安	43.9%	40.7%	45.9%	43.9%	41.9%	47.4%	43.6%	38.8%	28.3%
その他	4.9%	7.1%	5.0%	4.4%	6.3%	5.2%	4.9%	8.5%	9.4%
無回答	1.5%	2.6%	1.9%	—	—	1.5%	1.1%	4.6%	8.7%

	地区別								
	山手小	岩園小	朝日ヶ丘小	精道小	宮川小	打出浜小	浜風小	潮見小	南芦屋浜
自分の理想との比較	68.3%	67.0%	63.8%	62.2%	67.6%	60.0%	57.3%	66.0%	60.0%
他人との比較	11.1%	12.8%	10.1%	12.4%	11.3%	13.0%	17.7%	13.6%	12.9%
過去の自分との比較	22.8%	22.0%	28.9%	18.0%	24.8%	31.9%	29.2%	15.5%	27.1%
将来への期待・不安	42.5%	40.8%	37.6%	44.7%	36.9%	42.2%	39.6%	51.5%	47.1%
その他	4.3%	4.1%	5.4%	6.9%	7.7%	7.6%	6.3%	8.7%	8.2%
無回答	1.8%	1.8%	1.3%	3.7%	2.3%	2.7%	2.1%	1.0%	2.4%

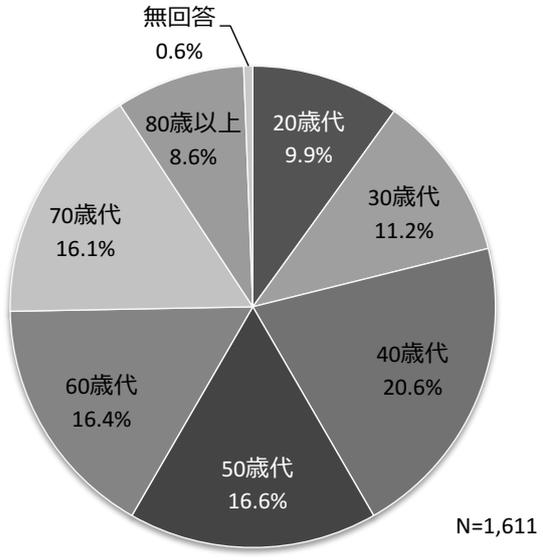
※網かけ部分は全体平均より5ポイント以上、比率が大きい項目

◆ あなた（回答者）ご自身についておたずねします。

1. あなたの年齢は、どれにあてはまりますか。【単数回答】

○回答者の年齢は、「40歳代」の比率が20.6%と最も高く、「50歳代」（16.6）、「60歳代」（16.4%）と続く。
 ○概ね、現状における本市の年齢構成に近い層から回答を得ている。

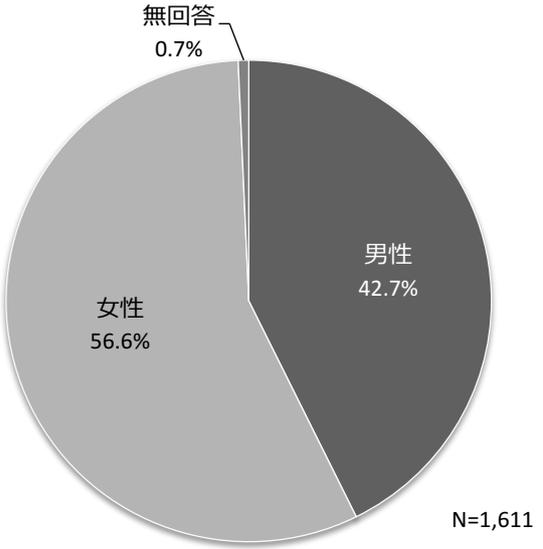
調査数	1,611	100.0%
20歳代	159	9.9%
30歳代	180	11.2%
40歳代	332	20.6%
50歳代	268	16.6%
60歳代	264	16.4%
70歳代	260	16.1%
80歳以上	138	8.6%
無回答	10	0.6%



2. あなたの性別は、どれにあてはまりますか。【単数回答】

○回答者の性別は、男性42.7%、女性56.6%で、やや女性からの回答の比率が高くなっている。
 ○現状における本市の性別構成に比べて、わずかに女性の比率が高くなっている。

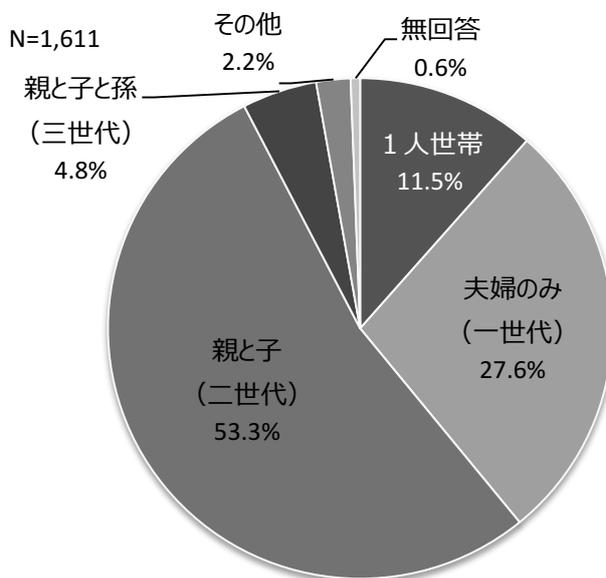
調査数	1,611	100.0%
男性	688	42.7%
女性	912	56.6%
無回答	11	0.7%



3. あなたと同居しているご家族の構成は、どれにあてはまりますか。【単数回答】

○回答者の家族構成は、「親と子（二世代）」が53.3%と半数を超え、「夫婦のみ（一世代）」27.6%、「1人世帯」11.5%と続いている。「親と子と孫（三世代）」は4.8%にとどまる。

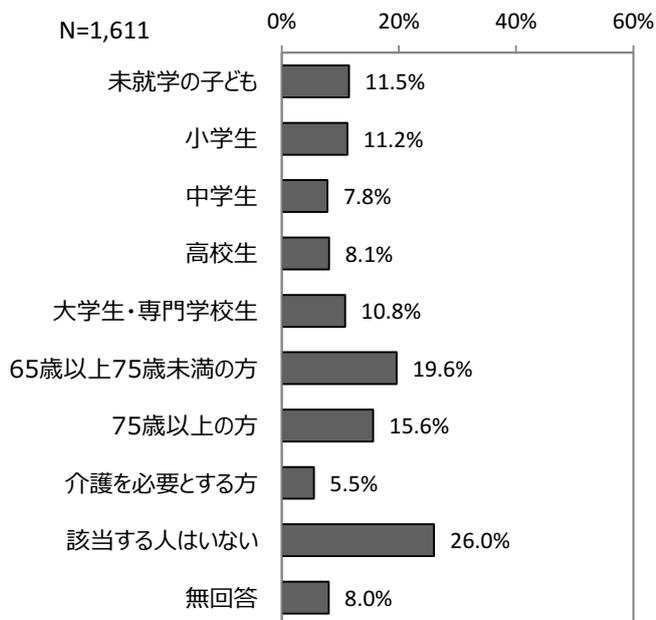
調査数	1,611	100.0%
1人世帯	185	11.5%
夫婦のみ（一世代）	444	27.6%
親と子（二世代）	858	53.3%
親と子と孫（三世代）	78	4.8%
その他	36	2.2%
無回答	10	0.6%



4. 同居のご家族には、いずれかにあてはまる方がいらっしゃいますか。（あなた自身を含む）【複数回答】

○同居家族では、「該当する人はいない」が26.0%と最も高い比率を示している。
 ○「65歳以上75歳未満の方」19.6%、「75歳以上の方」15.6%と、高齢者が同居する世帯からの回答も多くみられる。

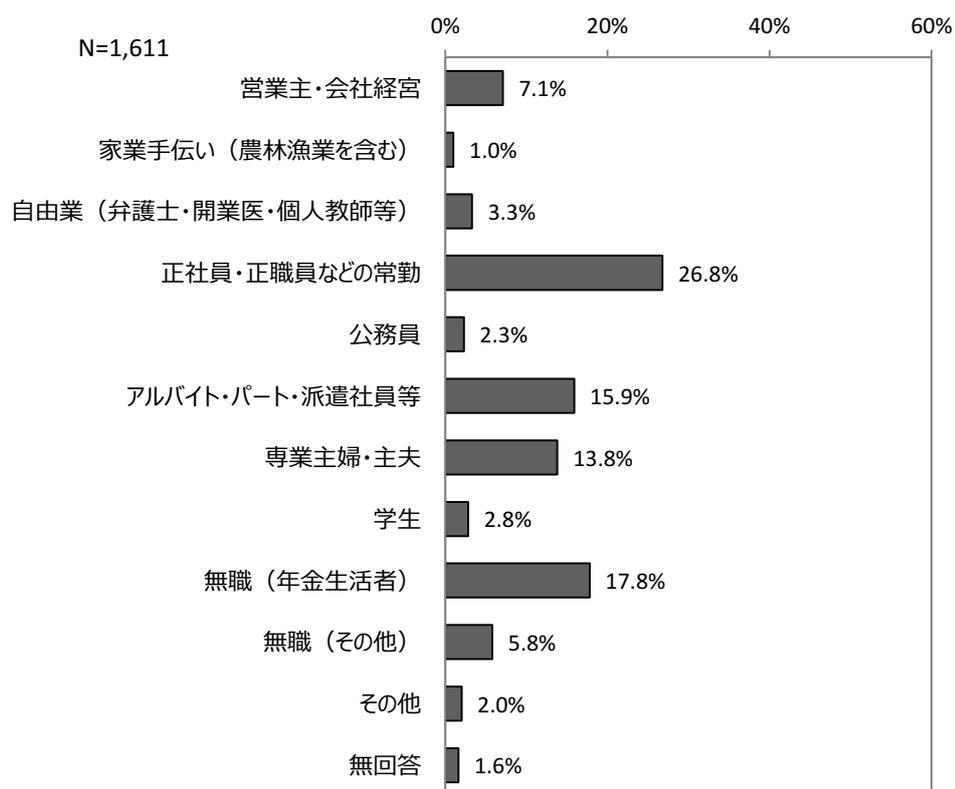
調査数	1,611	100.0%
未就学の子ども	185	11.5%
小学生	180	11.2%
中学生	126	7.8%
高校生	131	8.1%
大学生・専門学校生	174	10.8%
65歳以上75歳未満の方	316	19.6%
75歳以上の方	252	15.6%
介護を必要とする方	88	5.5%
該当する人はいない	419	26.0%
無回答	129	8.0%



5. あなたのお仕事は、どれにあてはまりますか。(2つ以上があてはまる場合は、主な収入を得ているもの)【単数回答】

○仕事は「正社員・正職員などの常勤」が26.8%と最も比率が高く、「無職（年金生活者）」17.8%、「アルバイト・パート・派遣社員等」15.9%、「専業主婦・主夫」13.8%と続いている。

調査数	1,611	100.0%
営業主・会社経営	114	7.1%
家業手伝い（農林漁業を含む）	16	1.0%
自由業（弁護士・開業医・個人教師等）	53	3.3%
正社員・正職員などの常勤	431	26.8%
公務員	37	2.3%
アルバイト・パート・派遣社員等	256	15.9%
専業主婦・主夫	223	13.8%
学生	45	2.8%
無職（年金生活者）	286	17.8%
無職（その他）	93	5.8%
その他	32	2.0%
無回答	25	1.6%



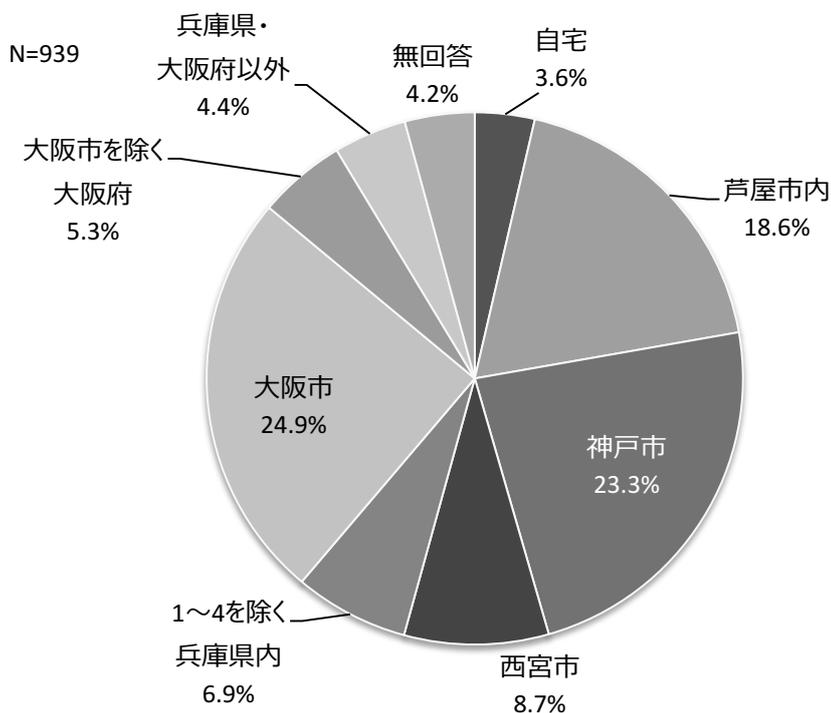
【お勤め又は通学されている方】

6. 主な勤め先（又は通学先）の場所（働きながら通学されている方は、お勤め先の場所でお答えください）【単数回答】

○通勤・通学先は「大阪市」が24.9%と最も比率が高く、「神戸市」23.3%、「芦屋市内」18.6%と続いている。

調査数	939	100.0%
自宅	34	3.6%
芦屋市内	175	18.6%
神戸市	219	23.3%
西宮市	82	8.7%
1～4を除く兵庫県内	65	6.9%
大阪市	234	24.9%
大阪市を除く大阪府	50	5.3%
兵庫県・大阪府以外	41	4.4%
無回答	39	4.2%

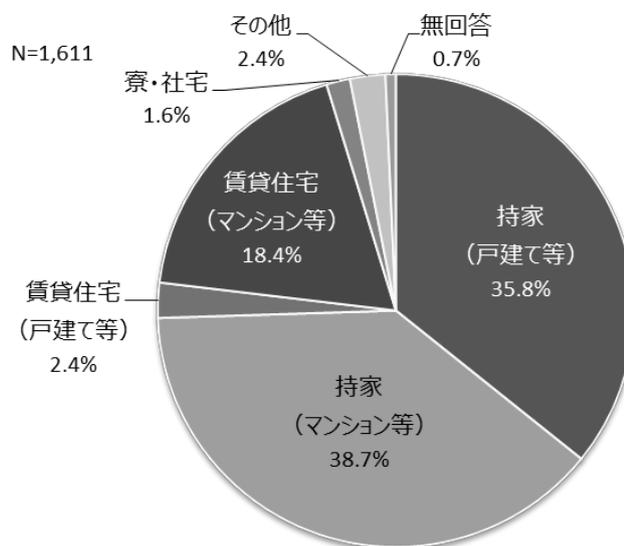
※◆5（前問）において、「営業主・会社経営」「家業手伝い（農林漁業を含む）」「自由業（弁護士・開業医・個人教師等）」「正社員・強い職員などの常勤」「公務員」「アルバイト・パート・派遣社員等」「その他」と回答した939件を母数としている。



7. あなたの住まいは、どれにあてはまりますか。【単数回答】

○住居形態は「持家（マンション等）」が38.7%と最も高く、「持家（戸建て等）」35.8%、「賃貸住宅（マンション等）」18.4%と続いている。

調査数	1,611	100.0%
持家（戸建て等）	577	35.8%
持家（マンション等）	623	38.7%
賃貸住宅（戸建て等）	38	2.4%
賃貸住宅（マンション等）	297	18.4%
寮・社宅	26	1.6%
その他	38	2.4%
無回答	12	0.7%



8. 今後の芦屋市のまちづくり全般について、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

【自由記述】

○芦屋市のまちづくり全般について、425件の回答があった。
 ○施策項目別に整理すると、「㉔市内を安全かつ快適に移動できる」が74件で最も多く、「全体」が65件、「㉓建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している」56件、「㉕清潔なまちづくりが進んでいる」48件、「㉖交通ルールやマナーに関する意識が高まっている」31件と続いている。

※一件の回答で複数の意見を記載しているものがあり、意見件数の合計と意見機会のあった回答数425件は一致しない。

	件数
まちづくり全体について	65
①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	15
②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	5
③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	4
④市民が教養を高める機会が豊富にある	11
⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	3
⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	1
⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	5
⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	17
⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている	2
⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	9
⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	10
⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	20
⑬市民が健康づくりに取り組んでいる	10
⑭市民が適切な診療を受けられる	9
⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	2
⑯高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている	9
⑰障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	2
⑱市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	4
⑲犯罪が起きにくいまちになっている	9
⑳家庭や地域、行政の防災力が向上している	6
㉑災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	7
㉒自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	30
㉓建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	56
㉔環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる	16
㉕清潔なまちづくりが進んでいる	48
㉖交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	31
㉗公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	14
㉘市内を安全かつ快適に移動できる	74
㉙良質なすまいづくりが進んでいる	14
㉚住宅都市としての機能が充実している	22
㉛市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	20
㉜市民参画による開かれた市政を運営している	12
㉝変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	10
㉞様々な資源を有効に活用している	7
㉟歳入・歳出の構造を改善している	11
その他	32

件数

まちづくり全体について	65
高齢者が住みよいまちづくりをしてほしい	12
若いファミリー、子育て世代が住みたくなるまちにしてほしい	10
子どもを安心して産み、育てられる環境・イメージをつくってほしい	10
芦屋市が大好き、住環境が魅力的、満足している	6
若者にやさしく、選ばれる活気あるまちにしてほしい	4
誰もが住みよい(共存共栄の)まちに	4
住んでいることに誇りが持てるまちに	3
まちの向かう先を明らかにしてほしい	2
高級だけでなく、普通の人も安心して住めるまちにしてほしい	2
まちも人の心もきれいなまちに	2
安全で住みよいまちづくり	2
今のまちづくりの継続を	2
高齢者、子育て世代以外の声なき市民の意見を聞いてほしい	1
生活利便性を高めてほしい	1
東京に転勤するが、戻るときには芦屋に住みたい	1
「芦屋らしさ」の定義をはっきりしてほしい	1
憧れではなく、普通に上品なまちになってほしい	1
まちの良さを知らせるイベント・オブジェを	1
①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	15
アンケート結果を公表してほしい	3
「広報あしや」を充実してほしい(掘り下げた情報、デザイン)	2
ホームページの利便性・コンテンツの充実	2
町内等のイベント情報を取得したい	2
市民の声を聞いて政策をつくってほしい	1
SNSは関わりたくない	1
駅周辺開発などまちづくり情報を定期的に提供してほしい	1
広報で明るい明日が見えてこない	1
フリーWiFiの導入	1
webを使えない人への対応	1
②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	5
ボランティアとしての参加、増員が必要	2
市民同士が話し合う場が必要である	1
近所とのつながりが薄い	1
同世代の交流機会があると良い	1
③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	4
芦屋市民としての誇りと心の豊かさが身についている	1
若い力、新しい風を取り入れる	1
地域の人が地域ごとに住みよいまちづくりに取り組むことが必要	1
公園の整備・管理の自治会への委託	1
④市民が教養を高める機会が豊富にある	11
図書館サービス・蔵書の充実や利用時間を拡大してほしい	5
文化活動が弱い、参加にためらいがある	3
これぞ芦屋市といえる文化をつくってほしい	1
美術館等で喫茶ができないか	1
教室等が確保できない	1
⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	3
行政主体のイベントの拡充	1
インバウンドが取り込めていない	1
山手も外国人の人が増えている	1
⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	1
平和都市を貫いてほしい	1

⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	5
一人親、母子家庭が生活できる対策に目を向けるべき	3
子どもを持つ親がゆとりを持ち、美しくられるようにしてほしい	1
妊娠・出産の支援が乏しい	1
⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	17
通学距離、生徒数のバランスを考えてほしい	3
公立小中学校の教育レベルを高めてほしい	3
通学が不便、通学路の安全性を確保してほしい	3
関係機関と連携していじめ対策を充実してほしい	1
学校・園の統合では住人に配慮してほしい	1
小学校に制服の導入を検討してほしい	1
公平性を重視しすぎて個性を活かせないことがないように	1
一人の人間として生徒を尊重した教育・指導してほしい	1
ものごとの善悪をきちんと教えてほしい	1
中学校の部活が少ない	1
小学校を整備してほしい	1
⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている	2
学生が勉強できる自習室をつくってほしい	1
小中高校生の常識がない	1
⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	9
学童保育を充実してほしい	4
公園の遊具(運動機能の向上)を整備してほしい	2
学生が放課後の勉強を見守る仕組みをつくってほしい	1
フードバンクの啓発	1
小中学校の情報交流サイトの活用	1
⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	10
子どもの遊び場を充実してほしい	3
高齢者と子ども・若者のコミュニケーションを図ってほしい	2
保育所等の設置が周辺環境に与える影響に配慮してほしい	2
通学路を柔軟に設定してほしい	1
多様な世代が寄り合い、交流できる場をつくってほしい	1
ファミリーサポートを利用しやすくしてほしい	1
⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	20
保育サービス・幼児教育を充実してほしい(待機児童解消)	14
子どもの医療費免除、助成、給付を考えてほしい	4
民間子育て施設を充実してほしい	1
子育て世帯への経済的支援を考えてほしい	1
⑬市民が健康づくりに取り組んでいる	10
健診や保健サービスを充実してほしい(市外健診等)	4
スポーツ施設(利便性)を充実してほしい	3
健康寿命を伸ばす参加の仕組みをつくってほしい	2
市民が健康づくりに努力し、互いを労ることが大切	1
⑭市民が適切な診療を受けられる	9
病院の質、スタッフの意識向上、診療科拡充してほしい	4
患者に寄り添った病院サービスを提供してほしい	2
夜間・休日診療を充実してほしい	1
医療圏について近隣と連携してほしい	1
救急医療を充実してほしい	1
⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	2
一人世帯の救急・緊急のサポート窓口がほしい	1
気軽に医療等の相談ができる窓口がほしい	1

⑩高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている	9
高齢者の就業機会をつくってほしい	3
高齢者の心身の健康対策を充実してほしい	2
一人暮らし高齢者対策に力を入れてほしい	1
学校における元気高齢者の活用ができないか	1
高齢者施設を整備してほしい	1
行政への死後埋葬方法の委任制度	1
⑪障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	2
障がいのある人の活動が地味に感じられる	1
福祉スポーツへの取組が弱い	1
⑫市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	4
夜中に騒音や騒ぐ店舗がある	1
鉄道の防音壁を設置要請してほしい	1
道路の防音壁を設置要請してほしい	1
一人暮らしや母子家庭など社会的弱者の孤立防止が必要	1
⑬犯罪が起きにくいまちになっている	9
街灯が少なく、夜間に暗いので明るくしてほしい	4
防犯カメラの周知と警官パトロールの強化	2
防犯の強化で治安の良いまちづくり	2
芦屋浜のカキの大量盗難は見た目にも悪い	1
⑭家庭や地域、行政の防災力が向上している	6
(災害時・訓練時の)緊急放送・防災無線が聞こえない	6
⑮災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	7
避難できる高い建物がなく心配している	2
防災・減災に力を入れて	2
津波被害想定を公開してほしい	1
津波対策を強化してほしい	1
ハザードマップはあるが、具体的な対策がわからない	1
⑯自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	30
芦屋川や宮川の維持・水質改善、親水性を高めてほしい	10
豊かな自然が感じられ、楽しめるまちになればいい	7
芦屋川の桜の手入れ、植え替えをしてほしい	4
ハイキング道・キャンプ場・サイクリング道を整備してほしい	2
駅周辺や芦屋浜を緑化してほしい	2
植林してほしい、街路樹を大きく育ててほしい	2
獣害(イノシシ)対策を強化してほしい	2
芦屋ブランドを活かした景観づくり	1
⑰建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	56
電線・電柱を地中化してほしい	12
公園を整備してほしい(遊び、コミュニティ機能、トイレ等)	7
屋外広告物条例は厳しすぎ、実効性不明	7
屋外広告物条例は良い、さらに強化・徹底を	6
住環境・景観(色彩・デザイン)を誘導・指導してほしい	6
草木の手入れや剪定に気を配ってほしい(公共、個人)	5
公園での球技はルールを守ってほしい	3
風情のある景観・街並みを回復してほしい	2
美しいまちを維持してほしい	2
もっと花と緑を増やし、維持したい	2
老朽アパートを解消してほしい	1
景観の最終的な全体像を市民にわかりやすく知らせてほしい	1
ルールに縛られすぎず、快適な緑化	1
多様な価値観に地域の合意で柔軟な対応を	1

②④環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる	16
パイプラインが継続できるようにしてほしい	6
ゴミ収集の強化(大型・粗大ゴミ、燃えないゴミ)	3
ごみが少なくきれいなまちを	2
ゴミステーションのカラス被害の対策を	2
ごみ処理は広域化するべきではない	1
環境担当の人員・規模が脆弱	1
夏場の水道水の温度が高い	1

②⑤清潔なまちづくりが進んでいる	48
飼い主のマナーの向上に努めてほしい(犬猫の糞等)	17
市民マナー条例を徹底・実行してほしい	6
愛犬家、ペットに住みよいまちをつかってほしい	5
街路樹の剪定、市道の清掃・収集をしてほしい	5
たばこやゴミのポイ捨てを取り締まってほしい	5
霊園、火葬場、市葬について考えてほしい	3
カラス対策を考えてほしい	2
喫煙禁止区域の徹底、エリアの拡大を図ってほしい	2
公共施設や集客施設のトイレを美化してほしい	2
飲食店における喫煙ルールの制定	1

②⑥交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	31
駅周辺等の違法駐車・駐輪、交通違反の取り締まり、排除	12
自転車のマナーが悪い	7
自動車の運転マナーを向上させてほしい	5
歩行者、公共交通の利用者マナーが悪い	4
通行量が多い場所で安全を確保(自転車、歩行者、ベビーカー)	2
事故の相談窓口の整備	1

②⑦公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	14
鉄道駅及び周辺のバリアフリー化を進めてほしい	11
まち全体(民間も)のバリアフリー化	2
車椅子が安心して通行できる歩道は一部しかない	1

②⑧市内を安全かつ快適に移動できる	74
バス交通・サービスを充実してほしい	20
JR芦屋駅周辺の開発・整備を進めてほしい	12
歩道を整備してほしい	11
道路を整備(拡幅、改善、舗装、分離帯設置)してほしい	10
駐車を整備、料金引き下げしてほしい	8
渋滞の改善や鉄道の高架化	6
駐輪場を拡充・利便性向上してほしい	5
自転車道路の整備	1
車がなくても不便でないようにしてほしい	1

②⑨良質なすまいづくりが進んでいる	14
マンション、住宅の老朽化・空き家対策を検討してほしい	5
マンションを抑制する	3
(高齢者向け単身)市営住宅の充実を	2
市営住宅をわかりやすく発信してほしい	1
宅地の分割などを防ぎ閑静な住宅地を守ってほしい	1
建設時の緑等の設置基準の再確認(検査)	1
住居費をリーズナブルに	1

⑩住宅都市としての機能が充実している	22
市域南部の文化・医療・商業・郵便機能の強化	6
JR芦屋駅付近(中心部)に公的施設を整備してほしい	2
地区・街区ごとに個性を育てほしい	2
民泊はやめてほしい	2
身近な自動販売機、コンビニを誘致してほしい	2
開発は抑制し、高級住宅地を維持してほしい	2
JR南側の再開発は住民の希望か、大きな建物は不要	1
来訪者を案内したくなる場所がほしい	1
駅周辺でレンタサイクルの導入を	1
駅から離れた校区は商業などの生活施設に不便	1
宅地の譲渡・売却における自然保全、防災安全への配慮が必要	1
地域間の整備差の改善	1
⑪市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	20
駅近くにスーパー等を誘致してほしい	8
鉄道駅周辺の商業が活性化してほしい	5
庶民的な居酒屋、定食、惣菜、喫茶、音楽・芸術の場がほしい	3
若者に魅力的な商業施設、お店をつくってほしい	2
昔なつかしい商店街がない	1
コンビニやクリーニングなどニーズのある商店を	1
⑫市民参画による開かれた市政を運営している	12
施策立案は広く市民の意見を聞いて	4
もっと団体、グループ、若者、働く世代の実態を聞いてほしい	3
もっと市民目線で市政運営。今は市民がついていけない	2
税金の使い道を説明してほしい	1
市民の反応をみながら政策の実行を	1
真面目で堅実な経営	1
⑬変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	10
手続きの待ち時間が短い、対応が丁寧	5
芦屋市に住む職員を増やしてほしい	2
行政組織間の連携・コミュニケーションを強化してほしい	1
時代に変化にしなやかに対応する	1
各種書類を他自治体で交付できるように	1
⑭様々な資源を有効に活用している	7
イメージを活かして人を呼び込む	1
住みよさ、豊かな自然、人のつながりは大切な財産	1
ラポルテ等での手続きが可能で便利	1
海、山、川、桜の素晴らしい環境のPRを強化してほしい	1
学校など現場に積極的に介入してもよい	1
啓発・プロモーションの民間委託を考えても良い	1
無形の財産(才能、知能、知的財産等)を高める努力を	1
⑮歳入・歳出の構造を改善している	11
職員数の適正化、人件費の抑制	2
未来ある子どものために財源を使ってほしい	1
徹底した行政改革を進めるべき	1
産業育成に力を入れてほしい	1
教育・福祉等は効率化に偏らず注力してほしい	1
市民が有用と考える費用負担を	1
活用率の低い施設等の有効活用による収入増	1
民間活力の導入	1
税負担の軽減を	1
ふるさと納税の活用による収入増	1
その他	32
アンケートについて	20
その他	5
特になし	7

参考資料

1 アンケート調査票

芦屋のまちづくりについての市民アンケート

【アンケートご協力のお願い】

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成30年度は10年間のまちづくりの指針となる総合計画の策定に向けた取組を予定していることから、現在の本市の状況や課題等の把握のため、「市民アンケート調査」を実施いたします。

本アンケートは、市内にお住まいの20歳以上の方のうち無作為に選んだ3,000の方を対象に実施するものです。ご回答いただいた調査結果は、集計・分析して今後の市政運営の基礎資料とするほか、統計的に処理し、個人が特定されないかたちでホームページなどにより公表します。

お忙しいところお手数をおかけして申し訳ございませんが、本アンケートの趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年（2018年）2月

芦屋市

【ご回答にあたってのお願い】

◆次の2つの方法からいずれか1つをお選びいただき、**2月16日（金）まで**に回答してください。

- 1 アンケート用紙（この冊子）に直接記入し、郵送により回答
- 2 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

1 アンケート用紙（この冊子）で回答

- (1) 封筒の宛名の方がご回答ください。（できるだけご本人がお答えください。ご本人が記入ににくい場合は同居のご家族や介助者の方の代筆をお願いします。）
- (2) 黒のボールペン又は濃い鉛筆でご記入ください。
- (3) お答えは、「1つだけ」「3つ以内」「すべて」などの表記に従って、該当する番号に○印を付けてください。（一部、記述をお願いする設問もあります）
- (4) ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストにご投函ください。

2 インターネットで回答

- (1) 別紙「インターネットでご回答される方へ」をご覧ください、ご回答ください。

◆この調査資料の利用に当たっては、芦屋市個人情報保護条例の規定に基づき適正に行ないます。

◆この調査に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

芦屋市 企画部 政策推進課 TEL 0797-38-2127/FAX 0797-31-4841

これは^{あしや}芦屋のまちづくりについてのアンケート調査票^{ちょうさひょう}です。
ふりがな付きのアンケート調査票が必要な場合は、ご連絡ください。
^{あしやし きかくぶ せいさくすいしんか}芦屋市 企画部 政策推進課 e-mail : seisakusuisin@city.ashiya.lg.jp

Survey on the Community Development in Ashiya City

If you need a Japanese with *furigana* version of the questionnaire,
please contact the office below:

Ashiya City Planning Department The Policy Promotion Section

I. お住まいの地域の住み心地や定住意向についておたずねします。

問1 あなたは、今お住まいになっている地域（町、学区など）を住みよいところだと思いますか。
次の中から 1 つだけ選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. かなり住みよい | 2. どちらかといえば住みよい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. かなり住みにくい |
| 5. わからない | |

問2 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。校区番号 1～9 から 1 つだけ選んで数字に○をつけてください。

校区番号	町名
1. 山手小学校区	奥山、奥池町、奥池南町、山手町、山芦屋町、東芦屋町、西山町、三条町、大原町、船戸町、松ノ内町、月若町、西芦屋町、三条南町、上宮川町、業平町、前田町、清水町
2. 岩園小学校区	六麓荘町、岩園町、翠ヶ丘町、親王塚町、楠町
3. 朝日ヶ丘小学校区	朝日ヶ丘町、東山町
4. 精道小学校区	茶屋之町、大榎町、公光町、川西町、津知町、竹園町、精道町、浜芦屋町、平田北町、伊勢町、松浜町、平田町
5. 宮川小学校区	打出小槌町、宮塚町、若宮町、宮川町、浜町、西藏町、呉川町
6. 打出浜小学校	春日町、打出町、南宮町、大東町
7. 浜風小学校区	新浜町、浜風町、高浜町
8. 潮見小学校区 (南芦屋浜地区除く)	若葉町、緑町、潮見町
9. 南芦屋浜地区	陽光町、海洋町、南浜町、涼風町

問3 あなたは、市内で、通算何年暮らしていますか（以前に転出して戻られた場合は、前に住んでいた年数も含めてお答えください）。次の中から 1 つだけ選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 7. 30年以上 | |

問4 あなたが、芦屋市に住むことになったきっかけは何ですか。次の中から 1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 結婚 | 2. 子どもの出生・成長 |
| 3. 家族との同居・近居 | 4. 就職・転職・転勤 |
| 5. 退職 | 6. 入学・進学 |
| 7. 生まれた時から住んでいる | 8. その他 () |

問5 あなたが、居住地として芦屋市を選ばれた理由は何ですか。次の中から 当てはまるものを全て選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 以前住んでいたところ・家族が住んでいる |
| 2. 地域イメージが良い |
| 3. 豊かな自然環境に恵まれている |
| 4. 緑豊かな美しい景観のまちなみ |
| 5. 通勤・通学に便利 |
| 6. 交通が便利 |
| 7. 買い物や医療など日常生活に便利 |
| 8. 気に入った物件があった |
| 9. 物価や住居費が安い |
| 10. 出産や子育て環境が良い |
| 11. 学校などの教育環境が良い |
| 12. 災害に強く安全で安心して暮らせる |
| 13. 福祉施設・サービスが充実している |
| 14. 集会所などのコミュニティ施設が充実している |
| 15. 文化・スポーツ施設が充実している |
| 16. 生活環境（まちの清潔さ）が良い |
| 17. その他 () |
| 18. 特に理由はない |

Ⅱ. 芦屋市のまちづくりの目標の達成状況などについておたずねします。

問9 下表に示す35の項目は、第4次芦屋市総合計画（平成23年度～32年度）の基本構想に掲げた施策の目標です。35項目それぞれについて、今の芦屋市の現状をどのように感じていますか。各項目についてあなたの考えに最も近いものを1～4から1つだけ選び、数字に○をつけてください。

※直感的に選択してください。

（参考）総合計画のHPアドレス

→<http://www.city.ashiya.lg.jp/gyousei/plan2020/plan/mokuji.html>



施策の目標 (35項目)	芦屋市の現状についての考え			
	と そう 思う な っ て い る	ま あ、 そ う な っ て い る と 思 う	と そ う な っ て い る と は 思 わ な い	わ か ら な い
①市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	1	2	3	4
②市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	1	2	3	4
③地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	1	2	3	4
④市民が教養を高める機会が豊富にある	1	2	3	4
⑤様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	1	2	3	4
⑥平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	1	2	3	4
⑦男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	1	2	3	4
⑧子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	1	2	3	4
⑨青少年が社会で自立するための力を身につけている	1	2	3	4
⑩学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	1	2	3	4
⑪世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	1	2	3	4
⑫子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	1	2	3	4
⑬市民が健康づくりに取り組んでいる	1	2	3	4
⑭市民が適切な診療を受けられる	1	2	3	4

施策の目標 (35項目)	芦屋市の現状についての考え			
	と思う	そう なっ てい る	ま あ、 そう なっ てい る と 思 っ て い る	わ か ら な い
⑮地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	1	2	3	4
⑯高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている	1	2	3	4
⑰障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	1	2	3	4
⑱市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	1	2	3	4
⑲犯罪が起きにくいまちになっている	1	2	3	4
⑳家庭や地域、行政の防災力が向上している	1	2	3	4
㉑災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4
㉒自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	1	2	3	4
㉓建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	1	2	3	4
㉔環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる	1	2	3	4
㉕清潔なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4
㉖交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	1	2	3	4
㉗公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	1	2	3	4
㉘市内を安全かつ快適に移動できる	1	2	3	4
㉙良質なすまいづくりが進んでいる	1	2	3	4
㉚住宅都市としての機能が充実している	1	2	3	4
㉛市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	1	2	3	4
㉜市民参画による開かれた市政を運営している	1	2	3	4
㉝変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	1	2	3	4
㉞様々な資源を有効に活用している	1	2	3	4
㉟歳入・歳出の構造を改善している	1	2	3	4

問 10 問 9 にある 35 項目の施策の目標全体を通して見たときに、芦屋市の市政の現状をどのよう
に感じていますか。次の中から 1 つだけ選んで、数字に○をつけてください。
※直感的に選択してください。

1. とてもうまくいっている
2. まあうまくいっている
3. あまりうまくいっていない
4. うまくいっていない

問 11 問 9 にある 35 項目の施策の目標のうち、芦屋市の魅力創出の視点から今後の 3 年間で特に
力を入れて取り組むべきと思われる番号を問 9 の表の中から 3 つ以内で選んで、下記に数字を
ご記入ください。また、理由やご意見をお聞かせください。

力を入れるべき施策目標 (1~35 の番号を記入)	選ばれた理由やご意見 (困っていること、今後期待されること、施策に対するアイデアなど)

ここからは、問 9 でおたずねした 35 項目の施策の目標のうち、いくつかの項目についてさらに具体
的におたずねします。

※施策目標ごとの設問の前に関連する番号を付けています。(例：項目●関連)

(項目 1 関連)

問 12 あなたは普段、情報を得るときに、主にどこから情報を得ますか。次の中から 3 つ以内で選
んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--------|
| 1. SNS (Facebook、Twitter 等) | 2. テレビ |
| 3. 新聞 | 4. ラジオ |
| 5. インターネット | 6. 雑誌 |
| 7. 家族・隣人・知人 | |
| 8. その他 (|) |

問 13 あなたは普段、芦屋市の行政情報を得るときに、主にどこから情報を得ますか。次の中から 3 つ以内で選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 広報あしや | 2. 市のホームページ |
| 3. SNS (Facebook、Twitter 等) | 4. スマートフォンアプリ |
| 5. ケーブルテレビの広報番組 | 6. 広報掲示板 (市内 76 ヶ所) |
| 7. サンテレビデータ放送「まちナビ」 | 8. 新聞やニュースなど (マスコミからの情報) |
| 9. 市役所への電話問い合わせ | 10. 市役所の窓口 |
| 11. 自治会の回覧板・掲示板 | 12. 家族・隣人・知人 |
| 13. その他 () | |

問 14 あなたがよく利用する SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) は何ですか。次の中から 3 つ以内で選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. Facebook | 2. Twitter |
| 3. Instagram | 4. LINE |
| 5. Google+ | 6. YouTube |
| 7. mixi | 8. その他 () |
| 9. 利用していない | |

問 15 あなたは、「広報あしや」に満足していますか。次の中から 1 つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| ● 3. やや不満 | 4. 不満 |
| 5. どちらともいえない (わからない) | 6. 広報あしやを知らない |

【問 15 で、「3. やや不満」、「4. 不満」と答えた方に、おたずねします。】

問 16 不満の理由は何ですか。次の中から 当てはまるものを全て選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 広報あしやが手に入らない | 2. 情報が探しにくい、読みにくい |
| 3. 知りたい情報が掲載されていない | 4. 記事の内容がわかりにくい |
| 5. その他 () | |

【すべての方に、おたずねします。】

問 17 あなたは、「市のホームページ」に満足していますか。次の中から 1 つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| ● 3. やや不満 | 4. 不満 |
| 5. どちらともいえない (わからない) | 6. パソコンなどを見る環境がない |
| 7. 見たことがない | |

【問 17 で、「3. やや不満」、「4. 不満」と答えた方に、おたずねします。】

問 18 不満の理由は何ですか。次の中から 当てはまるものを全て選んで数字に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 情報が探しにくい、読みにくい | 2. 知りたい情報が掲載されていない |
| 3. 新しい情報に更新されていない | 4. 情報の内容がわかりにくい |
| 5. その他 () | |

(項目 7 関連)

【仕事をお持ちの方におたずねします】

問 19 あなたは、仕事と自分の生活の両立ができていますか。次の中から 1 つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1. できている |
| 2. まあできている |
| 3. あまりできていない |
| 4. できていない |

【すべての方に、おたずねします】

問 20 あなたは、芦屋市に DV (ドメスティック・バイオレンス) の専門相談 (DV 相談室) があることをご存知ですか。次の中から 1 つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 具体的に知っている |
| 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない |
| 3. 知らない |

(項目 22 関連)

問 21 あなたは、山や川、海などで自然や生き物と親しむ機会を作っていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 心がけて作っている
2. 時々作っている
3. 作れていない (理由: _____)
4. 作るつもりはない

(項目 23 関連)

問 22 あなたがお住まいの地域におけるまちなみ等の景観の美しさについて、どのように感じていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. かなり良い
2. やや良い
3. やや悪い
4. かなり悪い
5. どちらともいえない (わからない)

(項目 24 関連)

問 23 あなたは、日ごろの暮らしの中で省エネやエコバック、ごみの分別など、環境に配慮した生活をしていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. している
2. まあしている
3. あまりしていない
4. していない

(項目 25 関連)

問 24 あなたは、芦屋市の「(通称) 市民マナー条例」(歩行喫煙の禁止、犬の放し飼いや糞の放置、指定区域内でのバーベキューなどの禁止)をご存知ですか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 聞いたことがあるし内容も知っていた
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 聞いたことはない

問 25 あなたは、地域の清掃など普段から清潔なまちを守るような行動を行なっていますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 積極的に行なっている
2. 時々行なっている
3. 行なっていない(理由: _____)
4. 行なうつもりはない

(項目 26 関連)

問 26 あなたは、自転車事故に関する賠償保険に加入していますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

1. 加入している
2. 加入していないが、今後は加入したい
3. 加入する必要性を感じていない
4. 自転車を持っていない

Ⅲ. 芦屋市が行うシティプロモーションについておたずねします。

問 27 芦屋市では、平成 29 年 3 月に「芦屋市シティプロモーション戦略」を策定し、シティプロモーションを推進しています。シティプロモーションで使用している右記のロゴマーク・キャッチコピーをご存知ですか。次の中から 1 つだけ 選んで、数字に○をつけてください。



キャッチコピー
「憧れを、日常に。芦屋市」

- 1. 知っている
- 2. 知らない → 問 29 へ

【問 27 で「1. 知っている」と答えた方に、おたずねします。】

問 28 ロゴマーク・キャッチコピーを知ったきっかけはなんですか。次の中から 当てはまるものを全て 選んで、数字に○をつけてください。

- 1. 広報あしや
- 2. 市のホームページ
- 3. SNS (Facebook、Twitter 等)
- 4. ケーブルテレビの広報番組
- 5. テレビ
- 6. 新聞
- 7. ラジオ
- 8. インターネット
- 9. サンテレビデータ放送「まちナビ」
- 10. 市役所の窓口
- 11. 家族・隣人・知人
- 12. 書店
- 13. その他 ()

問 29 芦屋市の給食献立を紹介した給食レシピ本「芦屋の給食」をご存知ですか。次の中から 1 つだけ 選んで、数字に○をつけてください。

- 1. 持っている
- 2. 知っている
- 3. 知らない → 問 31 へ



【問 29 で「1. 持っている」、「2. 知っている」と答えた方に、おたずねします。】

問 30 給食レシピ本「芦屋の給食」を知ったきっかけはなんですか。次の中から 当てはまるものを全て 選んで、数字に○をつけてください。

- 1. 広報あしや
- 2. 市のホームページ
- 3. SNS (Facebook、Twitter 等)
- 4. ケーブルテレビの広報番組
- 5. テレビ
- 6. 新聞
- 7. ラジオ
- 8. インターネット
- 9. サンテレビデータ放送「まちナビ」
- 10. 市役所の窓口
- 11. 家族・隣人・知人
- 12. 書店
- 13. その他 ()

IV. あなたの幸福感についておたずねします。

問 31 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中から 1 つだけ選んで、数字に○をつけてください。

※直感的に選択してください。

とても不幸											とても幸せ
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	

問 32 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中から 当てはまるものを全て選んで、数字に○をつけてください。

1. 家計の状況（所得・消費）	2. 就業状況（仕事の有無・安定）
3. 健康状況	4. 自由な時間
5. 充実した余暇	6. 仕事の充実度
7. 精神的なゆとり	8. 趣味、社会貢献などの生きがい
9. 家族関係	10. 友人関係
11. 職場の人間関係	12. 地域コミュニティとの関係
13. その他（	）

問 33 幸福感を判断する際に重視した基準は何ですか。次の中からあなたのお考えに近いもの 上位 2 つまで選んで、数字に○をつけてください。

1. 自分の理想との比較	2. 他人との比較
3. 過去の自分との比較	4. 将来への期待・不安
5. その他（	）

V. あなた（回答者）ご自身についておたずねします。

- ◆ 1 あなたの年齢は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 20 歳代 | 2. 30 歳代 |
| 3. 40 歳代 | 4. 50 歳代 |
| 5. 60 歳代 | 6. 70 歳代 |
| 7. 80 歳以上 | |

- ◆ 2 あなたの性別は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | |
|-------|
| 1. 男性 |
| 2. 女性 |

- ◆ 3 あなたと同居しているご家族の構成は、以下のうちどれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 1人世帯 | 2. 夫婦のみ（一世代） |
| 3. 親と子（二世帯） | 4. 親と子と孫（三世帯） |
| 5. その他（ | ） |

- ◆ 4 同居のご家族には、次のいずれかにあてはまる方がいらっしゃいますか。あなた自身を含め、次の中から当てはまるものを全て選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 未就学の子ども | 2. 小学生 |
| 3. 中学生 | 4. 高校生 |
| 5. 大学生・専門学校生 | 6. 65 歳以上 75 歳未満の方 |
| 7. 75 歳以上の方 | 8. 介護を必要とする方 |
| 9. 該当する人はいない | |

- ◆ 5 あなたのお仕事は、以下のうちどれにあてはまりますか。2つ以上があてはまる場合は、次の中から主な収入を得ているものを1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 営業主・会社経営 | 2. 家業手伝い（農林漁業を含む） |
| 3. 自由業（弁護士・開業医・個人教師等） | 4. 正社員・正職員などの常勤 |
| 5. 公務員 | 6. アルバイト・パート・派遣社員等 |
| 7. 専業主婦・主夫 | 8. 学生 |
| 9. 無職（年金生活者） | 10. 無職（その他） |
| 11. その他（ | ） |

【お勤め又は通学されている方におたずねします】

- ◆ 6 主な勤め先（又は通学先）の場所を次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。
（働きながら通学されている方は、お勤め先の場所でお答えください）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 自宅 | 2. 芦屋市内 |
| 3. 神戸市 | 4. 西宮市 |
| 5. 1～4を除く兵庫県内 | 6. 大阪市 |
| 7. 大阪市を除く大阪府 | 8. 兵庫県・大阪府以外 |

【すべての方に、おたずねします】

- ◆ 7 あなたの住まいは、以下に示す形式のうち、どれにあてはまりますか。次の中から1つだけ選んで、数字に○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 持家（戸建て等） | 2. 持家（マンション等） |
| 3. 賃貸住宅（戸建て等） | 4. 賃貸住宅（マンション等） |
| 5. 寮・社宅 | |
| 6. その他（ | ） |

- ◆ 8 今後の芦屋市のまちづくり全般について、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、2月16日（金曜日）までにポストにご投函ください。
(切手は不要です。また、お名前・ご住所を返信用封筒にご記入いただく必要はありません。)